

令和2年度

事業別予算概要説明書

(安曇野市議会基本条例第11条関係資料)

安曇野市

目 次

重点化施策	……	1	頁		
事業別予算概要説明	……	2			
一般会計					
議会事務局	……	5			
総務部					
総務課	……	8			
契約検査課	……	16			
職員課	……	18			
危機管理課	……	19			
人権男女共同参画課	……	24			
政策部					
政策経営課	……	28			
秘書広報課	……	33			
情報統計課	……	35			
財政部					
財政課	……	44			
税務課	……	49			
収納課	……	51			
財産管理課	……	52			
総合体育館建設推進課	……	57			
市民生活部					
地域づくり課	……	59			
市民課	……	66			
環境課	……	67			
廃棄物対策課	……	74			
穂高地域課	……	79			
三郷地域課	……	82			
堀金地域課	……	85			
明科地域課	……	88			
福祉部					
長寿社会課	……	93			
福祉課	……	100			
子ども支援課	……	109			
保健医療部					
健康推進課	……	119			
介護保険課	……	135			
国保年金課	……	137			
農林部					
農政課	……	141			
耕地林務課	……	162			
				商工観光部	
				商工労働政課	…… 181
				観光交流促進課	…… 190
				都市建設部	
				監理課	…… 200
				建設課	…… 209
				都市計画課	…… 218
				建築住宅課	…… 224
				上下水道部	
				経営管理課	…… 229
				会計課	…… 232
				教育部（教育委員会）	
				学校教育課	…… 234
				生涯学習課	…… 257
				文化課	…… 272
				監査委員事務局	…… 282
				選挙管理委員会事務局	…… 284
				農業委員会事務局	…… 287
				公平委員会事務局	…… 289
				特別会計	
				国民健康保険特別会計	…… 294
				後期高齢者医療特別会計	…… 333
				介護保険特別会計	…… 340
				上川手山林財産区特別会計	…… 367
				北の沢山林財産区特別会計	…… 371
				有明山林財産区特別会計	…… 374
				富士尾沢山林財産区特別会計	…… 377
				穂高山林財産区特別会計	…… 380
				産業団地造成事業特別会計	…… 383
				有明荘特別会計	…… 385

【重点化施策】

下図のうち網掛け部分は、第2次総合計画の基本施策のなかで実施計画において重点化施策として示された「積極的に強化すべき12施策」及び「最適化に向け見直すべき3施策」です。各重点化施策の右側の番号は、前期基本計画の重点施策に紐づく番号を掲載しています。

基本構想		前期基本計画					
将来都市像	基本目標	基本方針	基本施策（網掛け部分はR2年度の重点化施策）	前期基本計画 重点施策			
「北アルプスに育まれ 共に響き合う 田園産業都市 安曇野」	計画の実現に向けて	基本計画の推進に当たっての経営方針	方針1 協働によるまちづくりの推進 方針2 広報・広聴の充実 方針3 地域情報化の推進 方針4 質の高い行政経営の推進 方針5 健全財政の堅持	(1) 健康長寿のまちづくり			
	1 いきいきと健康に暮らせるまち	1-1 健康を大切に するまち	1-1-1 健康づくりの推進 (1) 1-1-2 地域医療の充実		(2) 活かに満ちた産業があるまちづくり		
		1-2 一人ひとりが大切に されるまち	1-2-1 高齢者福祉の充実 (1) 1-2-2 障がい者福祉の充実 1-2-3 生活困窮者への支援 1-2-4 人権の尊重				
			1-3 安心して暮らせる まち	1-3-1 地域福祉の推進 1-3-2 出産・子育て支援の充実 (3)			
				2 魅力ある産業を維持・創造するまち		2-1 農林水産業を 振興するまち	2-1-1 農業の振興 (6) 2-1-2 林業の振興 2-1-3 水を活用した産業の振興
			2-2 商工観光業を 振興するまち			2-2-1 商業の振興 2-2-2 工業の振興 2-2-3 労働・雇用対策の推進 2-2-4 観光の振興 (6)	
		2-3 ブランドの創出に 取り組むまち				2-3-1 戦略的な地域ブランドの創出 2-3-2 安曇野ブランド発信の強化 (2)	
	3 自然環境を大切に するまち	3-1 自然と共存・共生 するまち	3-1-1 自然環境の保全 3-1-2 快適な生活環境の創造	(4) 豊かな人を育むまちづくり			
			3-2 環境を守るまち		3-2-1 水環境の保全・強化・活用 (2) 3-2-2 環境負荷の軽減 3-2-3 地球温暖化対策の推進		
		4 安全・安心で 快適なまち			4-1 災害に強いまち	4-1-1 防災体制の充実 (6) 4-1-2 消防・救急体制の充実 4-1-3 治山・治水事業の推進	(5) 防災力・減災力の強化に向けたまちづくり
	4-2 事件・事故を防ぐ まち		4-2-1 防犯・交通安全の推進 4-2-2 消費者保護の推進				
			4-3 住みやすさを感じる まち	4-3-1 秩序あるまちづくりの推進 4-3-2 景観の保全と育成の推進 (5) 4-3-3 良質な住環境の整備 (5) 4-3-4 安定した水道・下水道事業の運営 4-3-5 移住・定住の促進 (2)			
	4-4 利便性の高いまち			4-4-1 道路整備の推進 4-4-2 公共交通の充実			
				5 学び合い 人と文化を はぐくむまち	5-1 子どもが健やかに 育つまち	5-1-1 学校教育の充実 (4) 5-1-2 青少年の健全育成	
	5-2 生涯を通じて 学び合うまち		5-2-1 生涯学習の推進 (4) 5-2-2 スポーツ活動の充実 (4)				
			5-3 文化を創り育むまち		5-3-1 芸術文化活動の推進 5-3-2 交流活動の推進 (4)		

事業別予算概要説明

一般会計

議会議務局

重点施策	—	コード	011401100	予算書ページ	54
		課・係等	議会事務局 庶務係		

予算	款	01	議会費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	議会費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	議会費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0101010	議会費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	247,026	0	0	0	0	247,026
前年度	253,513	0	0	0	0	253,513
増減額	△ 6,487	0	0	0	0	△ 6,487

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

0

【目的・効果】

【目的】

・安曇野市議会(本会議、常任委員会、特別委員会)の運営、議会改革の取組み、政務活動費の交付ほか

【効果】

・議会報告会を実施することにより、直接市民と対話ができ、市民の思いや考えを伺えとともに議会活動への理解を得る場ともなる。
 ・議会改革の取組みとして、研修会等を通じ政策提言への取組みを一層推進する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・議会改革推進委員会を中心に、平成26～令和元年度に開催した議会報告会での市民の意見を踏まえ、市の施策へ反映できるよう各委員会等で政策提言に向けて取り組んでいく。
 ・独自の議員研修会を開催し、議会としての政策提言の実現に向けて、積極的に取り組む。
 ・常任委員会・特別委員会・議会運営委員会・議会改革推進委員会のそれぞれの観点における視察研修を行い、先進地での取組みなどを参考に政策提言などの議会活動の充実を図っていく。

【詳細事業内訳】

議会費 247,026千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	92,184	議員報酬 92,184千円	10	需用費	5,652	議会だより印刷 3,802千円
02	給料	26,655	職員給料	11	役務費	102	インターネット回線使用料 82千円
03	職員手当等	51,440	議員・職員手当 51,440千円	12	委託料	12,722	会議録調整業務 9,820千円 会議録配信業務 1,684千円
04	共済費	43,977	議員・職員共済組合納付金 43,977千円	13	使用料及び賃借料	3,659	映像配信システム使用料 1,386千円 議長車借上げ料 858千円
07	報償費	517	議員研修会講師謝礼 150千円 議会傍聴者託児謝礼 44千円	17	備品購入費	237	図書室PC更新 204千円 図書室用図書 33千円
08	旅費	6,209	議員出張・委員会視察研修等の費用弁償 4,376千円	18	負担金補助及び交付金	3,492	全国議長会他負担金 972千円 政務活動費 2,520千円
09	交際費	180	議長交際費 180千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	・議会だより印刷製本費 ・会議録調整業務 ・会議録配信業務 ・議会映像配信システム使用料	議会の審査概要等について、年4回発行している議会だよりに掲載する。本会議や委員会の会議録を作成するとともに、本会議のライブ中継及び録画映像、会議録をインターネットを通じて配信し、市民に開かれた議会運営に努める。	10	需用費	3,802
				12	委託料	9,820
				12	委託料	1,684
				13	使用料及び賃借料	1,386
					計	16,692
2						
					計	0

総務部

重点施策	—	コード	010101100	予算書ページ	58
		課・係等	総務課 行政管理係		

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102010	一般管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	974,574	31	1,334	0	54,401	918,808
前年度	943,827	21	1,372	0	69,501	872,933
増減額	30,747	10	△ 38	0	△ 15,100	45,875

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	自衛官募集事務委託金	31	21	派遣職員給与費負担金	54,400				
16	特例処理事務交付金	1,324								
16	住宅新築資金県補助金	10								
18	指定寄附金	1								

【目的・効果】

【目的】

市の総務部門である総務部、政策部、財政部に従事する職員の人件費と総務課の一般管理費、平和都市宣言事業及び固定資産評価審査委員会事務に係る経費を計上する。

【効果】

- ・市の総務部門である総務部、政策部、財政部に従事する職員の人件費を一括して管理できる。
- ・研修旅費や会議費等の一般管理経費を計上することで、円滑な行政運営が図れる。
- ・平和行政の推進に向け、広島平和記念式典へ市内中学生を派遣するほか、平和と人権のつどいを開催することで、市民の平和意識の高揚が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・固定資産評価審査委員会を開催する。(11月)
- ・平和都市宣言事業を実施する。(市内小中高等学校への事業協力の依頼、広島平和記念式典への中学生派遣事業の実施、平和と人権のつどいの開催等)
- ・15周年記念事業の一環で長崎市長による講演会及び被爆クスノキ2世植樹式を行う。
- ・特別職、一般職の人件費の適正な支出を行う。

【詳細事業内訳】

一般管理費 971,187千円 平和都市宣言事業 3,358千円 固定資産評価審査委員会事務 29千円

【一般財源増加理由】 人件費(給料、職員手当等、共済費)の増及び特定財源(派遣職員給与費負担金)の減額に伴う増額

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	55	固定資産評価審査委員会委員報酬(3人)29千円 平和推進事業看護師報酬26千円	11	役務費	103	県人会等広告料96千円 広島平和記念式典参加生徒旅行保険7千円
02	給料	537,952		12	委託料	487	被爆クスノキ2世植樹式業務委託
03	職員手当等	264,483		13	使用料及び賃借料	264	広島平和記念式典参加事業(バス・DVD機器・駐車場借上げ)208千円、講演会講師等宿泊56千円
04	共済費	168,215		14	工事請負費	242	被爆クスノキ2世植樹に伴う銘板設置工事
07	報償費	216	平和と人権のつどい参加児童・生徒への記念品188千円、その他28千円	18	負担金補助及び交付金	86	暴力追放県民センター賛助会費50千円、職員研修負担金34千円、平和首長会議メンバーシップ納付金2千円
08	旅費	1,994	広島平和記念式典参加等(中学生28人+随員5人)1,731千円、講演会講師212千円、職員研修51千円				
10	需用費	477	消耗品297千円、食糧費83千円、広島平和記念式典参加体験文集印刷97千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	平和都市宣言事業	合併15周年を機に、長崎市から被爆クスノキ2世を譲り受け記念植樹式及び長崎市長講演会を行う。継続事業として、広島平和記念式典へ市内中学校7校から代表生徒28人を派遣し、戦争の悲惨さを学び、平和に対する意識の高揚を図る。安曇野市平和都市宣言の精神に基づき、平和と人権のつどいを開催し、市民の平和に対する意識の醸成を図る。	08	旅費	1,943
				12	委託料	487
				13	使用料及び賃借料	264
				14	工事請負費 外	664
					計	3,358
2					計	0

予算書ページ	60
--------	----

重点施策	—	コード	010101100
		課・係等	総務課 行政管理係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102015	寄附採納事務			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	436,115	0	0	0	304,419	131,696
前年度	337,897	0	0	0	204,224	133,673
増減額	98,218	0	0	0	100,195	△ 1,977

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	ふるさと寄附基金利子	4,419							
18	ふるさと寄附金	300,000								

【目的・効果】

【目的】

- ・ふるさと納税制度の趣旨に沿って返礼割合の3割を堅持し、「メイドイン安曇野」にこだわった特産品や製造品をお礼の品として提供する。
- ・地域産業の振興に向けて魅力的な特産品、製造品、サービスをお礼の品として取り揃えとともに、事業の資金調達等を図るために賛同を得られる寄附の募集テーマを設け、広く全国からふるさと寄附を募る。
- ・前年度に寄附をいただいた方との繋がりを大切にするため、お礼状とともにお礼の品一覧を掲載したパンフレットをお送りする。

【効果】

- ・自主財源を確保することで、健全財政を堅持できる。
- ・寄附された方が指定する募集テーマに沿った事業の特定財源として活用することで、一般財源の支出を抑制できる。
- ・お礼の品として地場産品を提供することで、地域産業の振興と雇用促進に寄与する。
- ・魅力ある返礼品を媒体にして、安曇野市を全国にPRできる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・お礼の品(特産品、製造品、サービス)を選定し購入する。
- ・寄附サイトやクレジット決済を活用することで、寄附する方の利便性を図る。(ふるさと寄附募集受付サイト使用料、クレジット決済手数料)
- ・新聞等の広告媒体を活用し返礼品に関する広告を掲載するとともに効果を検証する。
- ・ふるさと寄附基金への積立を行う。

【詳細事業内訳】

寄附採納事務 436,115千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	1,693	パートタイム会計年度任用職員(事務補助)報酬	24	積立金	304,420	ふるさと寄附基金積立金300,000千円 ふるさと寄附基金積立金利子4,420千円
03	職員手当等	364	パートタイム会計年度任用職員(事務補助)諸手当				
07	報償費	99,000	ふるさと寄附返礼品(特産品)				
08	旅費	24	パートタイム会計年度任用職員(事務補助)通勤費				
10	需用費	275	ふるさと寄附募集パンフレット印刷(5,000部)				
11	役務費	3,430	広告料550千円、クレジット決済手数料2,880千円				
13	使用料及び賃借料	26,909	ふるさと寄附事務処理システム使用料1,122千円、寄附募集サイト使用料(ふるさとチョイス、ふるなび)25,787千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	76
--------	----

重点施策	—	コード	010101100
		課・係等	総務課 行政管理係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	文書広報費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102190	文書管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	75,435	0	0	0	400	75,035
前年度	75,630	0	113	0	400	75,117
増減額	△ 195	0	△ 113	0	0	△ 82

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	コピー等サービス料	400							

【目的・効果】

【目的】

- ・市役所の郵便物の收受及び発送を一括して管理する
- ・ファイリングシステムを活用し、情報公開制度の基礎となる公文書等の適正管理に努め、業務の効率化を図る。
- ・書庫(文書館及び外書庫含む)に保管している公文書(現用文書)等の保存、廃棄、貸出や返却を適正に管理する。

【効果】

- ・郵便物を一括発送することで各種割引料金の適用を受けることができる。
- ・ファイリングシステムの活用により、組織として効率的な文書管理が行える。
- ・文書の收受、起案、決裁、保存、廃棄までの一連の文書管理サイクルを確立することで、適正な文書の保管と不要となる文書の削減が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・会計年度任用職員制度の導入に伴い、郵便の收受及び発送業務及び庁舎間メール便の集配、文書仕分業務等を業務委託する。
- ・外書庫(豊科書庫、穂高会館内書庫)の維持管理及び書庫内の公文書等の適正な管理を行う。
- ・公文書等の收受、保存期間別の分類と保管、廃棄、歴史的な重要文書への移管といった文書管理のPDCAサイクルをマネジメントする。

【詳細事業内訳】

文書管理事務 73,637千円 ファイリングシステム事務 1,145千円 書庫管理 653千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
10	需用費	1,013	ファイリングシステム事務用品805千円、参考図書等94千円、外書庫修繕・電気料114千円				
11	役務費	67,877	郵便料67,253千円、宅配料外624千円				
12	委託料	6,545	廃棄文書運搬326千円、メール便運行2,750千円、郵便物・文書仕分作業2,590千円、ファイリングシステム職員研修340千円、外書庫管理539千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	ファイリングシステム事務	文書の個人管理を組織管理(共有化)するために平成27年度から全課に導入したファイリングシステムを維持するため、専門業者による職員研修会を実施する。なお、これまで委託していた各課巡回調査は職員による直営に切り替えて実施する。	10	需用費	805
				12	委託料	340
					計	1,145
2						
					計	0

予算書ページ	76
--------	----

重点施策	—	コード	010101200
		課・係等	総務課 法務コンプライアンス係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	文書広報費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102195	法務管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,125	0	0	0	0	5,125
前年度	4,901	0	0	0	0	4,901
増減額	224	0	0	0	0	224

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・議案等の調製や法規事務に係る予算を適正に管理する。

【効果】

- ・例規の制定改廃に際して、例規総合管理システム等を効果的に活用することで、職員自身の例規立案能力の向上が図れる。
- ・所管する業務の法令根拠等の知識を深め、適正な事務を執行することで市民の信頼が得られる。
- ・正確な議案等の作成に努めることで、円滑な議会運営に寄与する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・議会定例会(6月、9月、12月、3月、臨時)の議案、予算書等の印刷製本を行う。
- ・例規総合管理システム及び例規集データベース等の維持管理を行う。
- ・地方自治関係実例判例集等の追録を行う。

【詳細事業内訳】

法務管理事務 5,125千円

【一般財源増加理由】 債権管理・回収実務webシステムを追加したことによる使用料の増額。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	旅費	136	職員研修旅費				
10	需用費	1,028	消耗品費194千円(法規関係図書・追録) 印刷製本費834千円(議案・予算書等)				
11	役務費	27	官報閲覧				
12	委託料	2,786	例規総合管理システム、例規集データベース運用保守等				
13	使用料及び賃借料	1,015	判例体系等検索システム利用料、コンシェルジュデスク維持管理料				
18	負担金補助及び交付金	133	職員研修負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	84
--------	----

重点施策	—	コード	010101100
		課・係等	総務課 行政管理係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	06	企画費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102310	行政改革			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	314	0	0	0	0	314
前年度	455	0	0	0	0	455
増減額	△141	0	0	0	0	△141

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・第2次市総合計画の実現に向け、事務の効率化や生産性の向上、健全財政の維持等を推進するために策定した第4次行財政改革大綱・アクションプランの確実な進捗管理を行う。
- ・令和2年度に指定期間が終了する公の施設や令和3年度から新たに指定管理を導入する新規施設等の指定管理者を選定する。

【効果】

- ・第4次行財政改革大綱・アクションプラン(令和2年度から5年間)に沿った行政改革を着実に推進することで、スリムで効率的な行財政運営が行える。
- ・専門的な知見を有した指定管理者審査委員会による指定管理者の公正な選定及び管理に係る適正な評価を受けることで、利用者の利便性が担保されるとともに、施設の維持管理経費等が節減できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・昨年度末に策定した第4次行財政改革大綱・アクションプランの進捗状況を行政改革推進委員会に報告し意見を求める。
- ・第3次行財政改革大綱・実施計画の取組結果を報告し意見を求める。
- ・公の施設指定管理者審査委員会を開催し、募集要項及び応募団体等の審査等を行うとともに、モニタリング評価を実施し、指定管理者による管理を検証する。
- ・行政改革推進委員会、指定管理者審査委員会の委員改選を行う。

【詳細事業内訳】

行財政改革大綱・実施計画進行管理事業 126千円 公共施設管理方針調整事業 188千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	314	行政改革推進委員会委員報酬126千円 公の施設指定管理者審査委員会委員報酬188千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	コード	010101200
		課・係等	総務課 法務コンプライアンス係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	11	諸費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102420	諸費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,401	0	0	0	0	2,401
前年度	2,405	0	0	0	0	2,405
増減額	△ 4	0	0	0	0	△ 4

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・市の行政運営における法的問題に適正かつ迅速に対応するため、弁護士より専門的見地からの助言と指導を受ける。
- ・市に係る係争事件の口頭弁論対応と早期解決を図るため、訴訟代理人との間で弁護委託を行う。

【効果】

- ・職員の法的知識のスキルアップと法的な問題を適正かつ早期に解決することで、市民に信頼される行政運営が図れる。
- ・専門的見地から指導、助言を受けることで職員の負担軽減と法に準拠した的確な対応が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・行政運営上の法的問題等の早期解決を図るため、顧問弁護士を選任する。(3人)
- ・係争案件に係る訴訟代理人弁護士の口頭弁論出廷に要する日当や、旅費等の諸経費の適正な支出を図る。
- ・弁護士へ助言を求めたり相談する中で、書類作成の必要性が生じた場合、遅滞なく適正な支出事務の執行に努める。

【詳細事業内訳】

顧問弁護士及び訴訟等委託事務 2,401千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	報償費	1	弁護士成功報酬				
12	委託料	2,400	顧問弁護士委託料2,200千円 裁判係争等に係る弁護士委託諸経費200千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	100
--------	-----

重点施策	—	コード	010101200
		課・係等	総務課 法務コンプライアンス係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	12	情報公開費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102450	情報公開管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	216	0	0	0	100	116
前年度	215	0	0	0	100	115
増減額	1	0	0	0	0	1

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	コピー等サービス料	100							

【目的・効果】
【目的】
 ・市が保有する公文書等を積極的に公表することで、情報公開制度の総合的な推進を図り、市政への市民参加を促す。
 ・市が保有する個人情報に適切に管理することで、個人の権利利益の保護を図る。
【効果】
 ・公平、公正で開かれた市政運営を行うことができる。
 ・市政に対する市民の理解と信頼を深めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・情報公開事務の適切な運用を推進する。
 ・個人情報の適切な取扱いと保護を図る。
 ・情報公開請求及び個人情報開示請求に係る決定等に対する審査請求があった場合は、「情報公開・個人情報保護審査会」へ諮問すると共に、答申事務を行う。

【詳細事業内訳】
 情報公開・個人情報開示請求事務 216千円

【一般財源増加理由】 消費税の増税に伴う費用弁償の増。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	101	情報公開・個人情報保護審査会委員報酬				
07	報償費	45	情報公開・個人情報保護審査会答申書作成謝礼				
08	旅費	42	情報公開・個人情報保護審査会委員費用弁償				
10	需用費	28	消耗品費(目隠しテープ)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	100
--------	-----

重点施策	—	コード	010101200
		課・係等	総務課 法務コンプライアンス係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	13	行政不服審査費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102451	行政不服審査会管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	188	0	0	0	0	188
前年度	187	0	0	0	0	187
増減額	1	0	0	0	0	1

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・市の処分又は不作為についての不服審査請求に基づき、行政判断の妥当性をチェックする。
 ・市民の権利と利益の救済を図り、市政の適正な運営を確保する。
【効果】
 ・公平、公正な市政運営を担保する。
 ・市政に対する市民の理解と信頼を深めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・行政不服審査事務の適切な運用を推進する。
 ・市の処分等に係る審査請求が生じた場合は、行政不服審査会へ諮問及び答申事務を行う。

【詳細事業内訳】
 行政不服審査事務 188千円

【一般財源増加理由】 消費税の増税に伴う費用弁償の増。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	101	行政不服審査会委員報酬				
07	報償費	45	行政不服審査会答申書作成謝礼				
08	旅費	42	行政不服審査会委員費用弁償				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	コード	010107100
		課・係等	契約検査課 検査係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102180	検査管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	173	0	0	0	0	173
前年度	180	0	0	0	0	180
増減額	△ 7	0	0	0	0	△ 7

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・建設工事をはじめとする契約の適正な完了を確認するための検査を行うとともに、請負業者の技術力向上に資するため、300万円以上の工事を対象に成績評価を行い、優良工事について表彰する。

【効果】

・契約の適正な完了を確認することで、健全な自治体経営の推進と請負業者の技術力向上に資する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・規定契約額以上の工事、業務委託及び物品購入について、契約書、仕様書その他関係書類に基づき契約の完了確認の検査を行う。

【詳細事業内訳】

検査管理費 173千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	報償費	9	優良建設工事表彰用品				
08	旅費	58	検査実務研修会				
10	需用費	20	優良表彰用品、参考図書代				
11	役務費	22	優良建設工事表彰状筆耕料				
18	負担金補助及び交付金	64	検査実務研修会負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	
2					計	

重点施策	—	コード	010107200
		課・係等	契約検査課 契約係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	05	財産管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102260	契約管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,118	0	0	0	0	1,118
前年度	607	0	0	0	0	607
増減額	511	0	0	0	0	511

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・競争性、透明性、公平性が確保された契約事務を執行する。
【効果】
 ・予算の効率的執行を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・一般競争入札を基本とした入札契約の執行
 ・入札結果データの公表、業務委託等における一般競争入札の試行を行う

【詳細事業内訳】
 契約管理費 1,118千円

【一般財源増加理由】 入札システム連携サーバ借上料を当初予算から計上したため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	360	入札参加資格及び契約事務補助業務				
08	旅費	74	契約実務研修会				
10	需用費	31	事務用品、参考図書代				
13	使用料及び賃借料	589	入札システム連携サーバ借上、落札業者データ検索システム等使用料				
18	負担金補助及び交付金	64	契約実務研修会負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	
2					計	

予算書ページ	60
--------	----

重点施策	—	コード	010102100
		課・係等	職員課 職員担当

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102030	職員管理			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	865,253	0	0	0	5,527	859,726
前年度	863,994	0	0	0	5,596	858,398
増減額	1,259	0	0	0	△ 69	1,328

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	職員健康診断共済組合補助	49	21	職員駐車場利用料	4,980				
21	市職員互助会職員社会保険等事業主負担金	260								
21	団体定期保険事務費外	138								
21	共済組合研修会助成	100								

【目的・効果】

【目的】

・安曇野市職員として誇りと使命感を持ち、市民に信頼され、より質の高いサービスを提供できる職員の育成を目指すとともに、スリムで柔軟な組織や、時代の変化に合った人事制度を構築し、適正な職員管理に努める。

【効果】

・効率的かつ弾力的な人員配置により適正な定員管理ができる。
 ・人事管理の根幹となる人事評価制度及び職員研修実施計画に基づく研修の実施により、職員の意識改革、職務遂行能力の向上及び組織力の強化と拡充を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・再任用職員数と将来見込まれる定年制延長を見据え、職員採用計画を策定する。
- ・階層別研修を体系的に実施し、職層ごと求められる能力の育成を行い、組織力の拡充と強化を目指す。
- ・女性職員の活躍の推進に向けた取組として、女性ステップアップ(キャリアアップ)研修を実施する。
- ・通信教育への助成及び自主学習応援制度を実施し、自主的な学びへの支援を行う。
- ・職員が心身ともに健康で、安心して働ける職場にするため、健康診断・メンタルヘルス事業等を実施する。
- ・職員の労働時間の適正管理を行うため、図書館4施設にタイムレコーダーを導入する。
- ・人事評価制度に対する職員の意識の醸成、管理監督職の評価スキルの向上を図るため、職員研修を実施するとともに人事評価結果を人材育成、人事配置等人事管理の基礎として活用する。
- ・処遇への反映については、現在勤勉手当の成績率に反映をしているが、昇給・昇格等への反映も含め拡充を図る。
- ・本庁舎の職員駐車場の管理(借地料、除雪等)を行う。

【詳細事業内訳】

職員採用事業 1,882千円 人事評価による人事管理事業 899千円 職員勤務管理事業 1,699千円 職員駐車場管理運営事業 10,439千円 職員管理総務費 850,334千円

【一般財源増加理由】 会計年度任用職員制度導入に伴い、社会保険料の事業主負担分が増加。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	6,939	産業医報酬(2人分)、会計年度任用職員(職員課2人、不在時対応3人)	12	委託料	17,474	採用試験(1・2次試験、作文)、職員研修、職員健康診断、職員駐車場管理等
03	職員手当等	131,887	時間外勤務手当、児童手当	13	使用料及び賃借料	9,939	職員駐車場借地料
04	共済費	249,785	社会保険料、公務災害	17	備品購入費	738	タイムレコーダー購入
07	報償費	712	採用試験面接官謝礼、退職者記念品	18	負担金補助及び交付金	435,520	職員研修負担金、退職手当負担金、職員互助会負担金、職員自主研修助成金
08	旅費	10,940	職員研修旅費、派遣職員日額旅費				
10	需用費	1,055	事務用品、職員作業服外(ヘルメット・作業服)				
11	役務費	264	退職者賞状筆耕料、手話通訳				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	職員研修事業の実施(職員管理総務費)	人材育成基本方針に掲げる、目指すべき職員像の実現のため、職員研修実施計画を策定し実施することで、職員のやる気と意欲の向上を図り、組織力の拡充と強化を目指す。	08	旅費	783
				12	委託料	1,713
				18	負担金補助及び交付金	1,858
					計	4,354
2	ハード	職員勤務管理事業	図書館4施設にタイムレコーダーを導入し入退庁記録参照システムに反映させることで、所属長による勤怠管理の徹底を図る。	10	需用費	256
				12	委託料	705
				17	備品購入費	738
					計	1,699

予算書ページ	272
--------	-----

重点施策	—	コード	010103200
		課・係等	危機管理課 消防防災係

予算	款	09	消防費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	消防費		基本方針	災害に強いまち
	目	01	常備消防費		基本施策	消防・救急体制の充実
	事業	0109010	常備消防負担金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,106,729	0	0	0	3,116	1,103,613
前年度	1,084,895	0	0	0	6,134	1,078,761
増減額	21,834	0	0	0	△ 3,018	24,852

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	高速自動車道救急支弁金	3,116							

【目的・効果】
【目的】
 ・常備消防の松本広域消防局が行う消防・救急業務が、効率的かつ効果的に行われるよう必要経費(人件費・消防設備費・消防業務費・救急業務費)について、構成団体として応分の負担をする。
【効果】
 ・松本広域消防局が行う消防・救急業務が的確に実施されることで、市民の生命・財産を災害から守り、安全と安心が確保される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・常備消防負担金1,100,806千円を支出する(前年度より24,809千円の増)。
 松本広域消防局通信指令システムの全面更新(令和6年度)に伴う基金積立金外
 ・県消防防災航空隊へ負担金として2,806千円を支出する(前年度より43千円の増)。
 ・『高速自動車国道における救急業務に関する覚書』に基づき、東日本高速道路株式会社及び中日本高速道路株式会社から安曇野市へ支払われた支弁金を、高速道路における救急業務を実施している松本広域連合へ負担金として3,116千円を支出する。

【詳細事業内訳】
 常備消防負担金事業 1,106,729千円

【一般財源増加理由】 常備消防負担金増額のため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
18	負担金補助及び交付金	1,106,729	県消防防災航空隊負担金、松本広域連合消防費負担金、高速自動車道救急事業支弁金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	コード	010103200	予算書ページ	272
		課・係等	危機管理課 消防防災係		

予算	款	09	消防費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	消防費		基本方針	災害に強いまち
	目	02	非常備消防費		基本施策	消防・救急体制の充実
	事業	0109020	非常備消防費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	173,422	963	0	18,100	20,893	133,466
前年度	161,501	0	0	14,500	21,176	125,825
増減額	11,921	963	0	3,600	△ 283	7,641

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	消防団設備整備費補助金	963	21	防災対策事業債	18,100				
21	消防団員退職報償金	18,049								
21	消防団員等公務災害補償給付金	2,622								
21	消防団員福祉共済	222								

【目的・効果】
【目的】
 ・火災時における初期消火活動の充実、強化
 ・多数の人数を必要とする大火、林野火災、地震、風水害等の大規模災害時における消防対応力の強化
【効果】
 ・火災予防、防火意識の高揚及び消防整備の充実など消防対応力の強化が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・消防組織法第9条に定める消防団の運営
 ・消防団の任務を遂行する為の人員費、物件費等
 ・地域密着性、要員動員力及び即時対応力の面で優れた組織である消防団が、大規模災害時の対応や身近な災害への取り組み等、地域の安全と安心を確保するための活動を行う。
 ・消防団マニュアルを改訂し、新たに震災対応を加え、有事に備える。
 ・消防団装備を充実強化するため、消防団員服制基準に適合した活動服を3年計画により購入する(令和2年度:第2ブロック(明科)、第3ブロック(穂高))。また、消防団から増台要望があったデジタル簡易無線機41基を追加配備する。
 ・消防車両(可搬ポンプ積載車2台)の更新及び女性消防隊に指揮広報車1台を配備する。
 ・消防委員会を開催し、消防団員確保対策の検討及び消防団車両配備計画の見直しを行う。

【詳細事業内訳】
 非常備消防運営事業 135,090千円 分団等運営補助金交付事業 13,700千円 消防団車両更新事業 24,632千円

【一般財源増加理由】		活動服(新基準)購入、デジタル簡易無線機追加配備、消防車両(指揮広報車)購入のため。							
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
01	報酬	26,461	消防団員報酬、消防委員報酬外		12	委託料	650	消防団幹部視察研修外運転代行、出初式分列行進警備	
03	職員手当等	238	会計年度任用職員		13	使用料及び賃借料	658	ポンプ操法大会テント借上料、デジタル簡易無線機電波利用料外	
05	災害補償費	2,623	消防団員公務災害補償		17	備品購入費	27,145	デジタル簡易無線機41基、可搬ポンプ積載車2台、指揮広報車1台	
07	報償費	44,297	災害・訓練出勤出席謝礼、退団者退職報償金外		18	負担金補助及び交付金	42,787	消防団退職報償金掛金、防火用水通水負担金、分団等運営費補助金外	
08	旅費	492	消防団幹部視察研修外		26	公課費	1,243	車両重量税	
10	需用費	24,465	ポンプ用ホース、活動服、車両・可搬ポンプ燃料、消防団マニュアル、ポンプ等修繕外						
11	役務費	2,363	車検・点検時検査費用外						

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	消防団車両更新事業	安曇野市消防団車両配備計画報告書(平成23年3月)に基づき、可搬ポンプ積載車(第15分団第1部・第16分団第1部)を更新し、女性消防隊に指揮広報車を配備することで、消防力の向上が図られる。	17	備品購入費	24,254
				11	役務費	277
				26	公課費	70
				08	旅費	31
					計	24,632
2					計	0

重点施策	—	コード	010103200	予算書ページ	274
		課・係等	危機管理課 消防防災係		

予算	款	09	消防費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	消防費		基本方針	災害に強いまち
	目	03	消防施設費		基本施策	消防・救急体制の充実
	事業	0109030	消防施設維持整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	84,593	0	0	35,400	0	49,193
前年度	67,609	0	0	0	0	67,609
増減額	16,984	0	0	35,400	0	△ 18,416

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	22	旧合併特例事業債	35,400							
								(入湯税)	(12,945)	

【目的・効果】
【目的】
 ・地域防災の中心的な役割を果たす消防団活動に対し、初動活動体制の拡充のため、施設等の環境整備を行う。
 ・火災発生時の水利確保のため、防火水槽・消火栓の整備を計画的に行う。
【効果】
 ・火災発生時に迅速・的確な消火活動を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・消防用水利(防火水槽・消火栓)を整備し、消防団員による円滑な消火活動ができる環境を整えることにより、災害発生時に市民が被る被害の減少を図る。
 ・防災拠点となる新総合体育館敷地内に耐震性防火水槽(40立米)を設置する。
 ・地域防災の拠点となる消防団詰所を、消防団員の活動拠点として十分な機能を果たせるように整備する。
 ・第6分団第1部・第3部統合詰所の新築工事を行う。

【詳細事業内訳】
 耐震性防火水槽新設・更新事業 8,853千円 消防施設維持整備事業 38,267千円 消防団詰所更新・統廃合事業 37,473千円

【一般財源増加理由】 統合詰所新築、耐震性防火水槽設置に係る工事費増額のため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
10	需用費	9,463	消火栓ホース外購入、詰所外施設修繕、光熱水費				
11	役務費	28	詰所浄化槽検査手数料、建築完了検査手数料				
12	委託料	1,828	詰所浄化槽管理、消防機材廃棄処分、詰所新築工事施工監理				
13	使用料及び賃借料	469	消防施設用地(詰所・警鐘楼敷地外)借地料				
14	工事請負費	48,899	統合詰所新築1棟、耐震性防火水槽設置1基、防火水槽撤去、火の見櫓撤去外				
17	備品購入費	986	消火栓用ホース格納箱				
18	負担金補助及び交付金	22,920	消火栓維持管理負担金外、消火栓修繕・更新・移設7基、消火栓新設7基				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	消防団詰所更新・統廃合事業	地域防災の拠点となる消防団詰所(第6分団第1部・第3部統合詰所)の整備を行う。分団・部の再編成により、団員の負担軽減と災害時に確実に出動できる体制の強化が図られる。	14	工事請負費	36,135
				12	委託料	1,210
				18	負担金補助及び交付金	110
				11	役務費	18
					計	37,473
2					計	0

予算書ページ	276
--------	-----

重点施策	—	コード	010103100
		課・係等	危機管理課 危機管理担当

予算	款	09	消防費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	消防費		基本方針	災害に強いまち
	目	03	消防施設費		基本施策	防災体制の充実
	事業	0109040	防災無線維持管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	33,086	0	0	0	0	33,086
前年度	35,563	0	0	0	0	35,563
増減額	△ 2,477	0	0	0	0	△ 2,477

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ○災害時における市民への情報伝達手段を確保する。
 ○平常時から防災行政無線等の設備を維持し、災害時においても適切に機能させる。
【効果】
 ○災害に関わる情報や避難情報を、迅速かつ正確に市民に伝達することにより、災害による被害の軽減を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○防災行政無線設備として、移動系(統制台、中継2局、移動352局)及び同報系(親局、遠隔制御装置、中継1局、子局236局、Jアラート受信装置)の維持管理を行う。
 ○コミュニティFM局と連携する緊急割込み放送システムの維持管理を行う。

【詳細事業内訳】
 防災行政無線維持整備事業 29,106千円 緊急割込み放送システム維持整備事業 3,980千円

【一般財源増加理由】 Jアラート新型受信機導入による。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
10	需用費	6,243	無線用品31千円、子局施設等電気料1,518千円、屋外子局等修繕・無線機バッテリー交換4,694千円				
11	役務費	1,647	防災無線用庁舎間専用回線等1,456千円、緊急割込放送用回線等191千円				
12	委託料	22,477	移動系・同報系設備保守業務18,688千円、緊急割込放送システム保守業務3,789千円				
14	工事請負費	2,404	防災行政無線拡声局移設工事2,404千円				
18	負担金補助及び交付金	315	県防災行政無線負担金112千円、無線技士講習会42千円、電波利用料161千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	(5)
------	-----

コード	010103100
課・係等	危機管理課 危機管理担当

予算書ページ	276
--------	-----

予算	款	09	消防費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	消防費		基本方針	災害に強いまち
	目	04	災害対策費		基本施策	防災体制の充実
	事業	0109050	災害対策費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	127,875	0	0	0	4,000	123,875
前年度	130,078	0	0	0	4,000	126,078
増減額	△ 2,203	0	0	0	0	△ 2,203

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	19	ふるさと寄附基金繰入金	4,000							

【目的・効果】
【目的】
 ○市民の生命・財産を侵害する事態に迅速に対応するため、危機管理体制の充実と計画的な備蓄を実施、自主防災組織活動の強化と市民の防災意識の高揚を図り、防災・減災に取り組むことを目的とする。
【効果】
 ○「災害に強いまちづくり」の推進。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○安曇野市防災会議の開催(「安曇野市地域防災計画」の見直し)
 ○防災啓発として市総合防災訓練及び防災講演会を開催して市民意識の高揚を図る。
 ○防災マップの改訂を行う。
 ○防災用品購入補助等を行う。
 ○自主防災組織活動の強化を図るため、「地域自主防災会議」の開催と、資機材整備及び防災訓練等に補助金を交付する。
 ○市民への情報発信手段として重要な「登録制メール配信システム」の運用・維持を行う。
 ○防災拠点施設として防災広場の維持管理を行う。
 ○備蓄計画に基づき、食料、飲料水、資機材等の備蓄を進める。
 ○災害対策充実のため被災地の視察研修を行う。

【詳細事業内訳】
 防災啓発事業 11,030千円 防災情報システム事業 2,772千円 防災計画関連事業 105千円 防災広場管理事業 3,185千円 災害対策総務費 94,158千円
 防災組織支援事業 5,747千円 災害対策事業 10,878千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	3,823	防災会議委員報酬105千円、防災専門官報酬3,718千円	11	役務費	1,515	電話等通信967千円、防災管理情報ネットワーク回線462千円、ビブスクリーニング等86千円		
02	給料	46,149		12	委託料	8,540	防災マップ改定5,940千円、防災広場維持管理2,283千円、防災訓練資材搬入・搬出等317千円		
03	職員手当等	27,071		13	使用料及び賃借料	3,310	メール配信システム2,310千円、防災訓練天幕等940千円、地図情報パソコン60千円		
04	共済費	14,892		14	工事請負費	435	操法コースライン設置等435千円		
07	報償費	330	防災講演会等講師謝礼330千円	17	備品購入費	4,732	災害備蓄品4,125千円、職員公用携帯電話607千円		
08	旅費	572	被災地現地視察439千円、職員研修会等98千円、防災講演会等講師旅費35千円	18	負担金補助及び交付金	8,750	自主防災活動支援補助5,650千円、防災用品補助3,000千円、災害補償負担95千円、防火管理者等負担5千円		
10	需用費	7,756	備蓄品6,470千円、防災訓練消耗品等582千円、防災広場管理用品・光熱水費等543千円、災害対策事務用品等161千円						

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	防災マップ改訂(防災啓発事業)	平成28年2月に発行した防災マップを改訂する。国・県が公表している最新の浸水想定区域図を考慮し、ユニバーサルデザインに配慮することで、見やすく、分かりやすい防災マップとする。各種災害において家庭や地域の防災対策に活用いただく。	12	委託料	5,940
					計	5,940
2	ソフト	防災組織支援事業	地域自主防災会議を開催して組織活動を支援するとともに、全組織において「地区自主防災計画」の策定と防災訓練実施を目指す。	18	負担金補助及び交付金	5,745
				11	役務費	2
					計	5,747

予算書ページ	94
--------	----

重点施策	(4)	コード	010104100
		課・係等	人権男女共同参画課 人権男女共生担当

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	総務管理費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	10	人権啓発費		基本施策	人権の尊重
	事業	0102410	人権啓発費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
2,642	2,550	92	0	0	0	625
			0	0	0	625
			0	0	0	92

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	厚生住宅使用料	132							
14	厚生住宅使用料滞納繰越分	1								
19	国際交流基金繰入金	492								

【目的・効果】

【目的】

- ・人権意識の高揚のため、学校・地域・職場などのあらゆる場や機会を通じて周知・啓発活動を推進し、いかなる差別も許さない社会の実現を目指す。
- ・性別や年齢、国籍に関わらず、誰もが地域の一員としてその役割を果たしていくことができる多文化共生の地域づくりを進める。

【効果】

- ・人権に対する啓発・広報活動を進めることで人権に対する市民の意識の高揚を図り、正しい理解を促進することができる。
- ・性別や年齢、国籍に関わらず、互いを認め合い、共に助け合う意識の醸成を進めることができる。
- ・人権擁護団体の育成を図ることにより、協働・連携しながら啓発や相談活動を促進できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・イベントの開催、人権パネルの展示等による啓発の場において、関連団体と協働して人権啓発活動を行う。
 - ・成人式において新成人に対し啓発を行い、人権意識の高揚を図る。
 - ・法務局、人権擁護委員による「人権特設相談所」の開設を支援し、人権に関する市民相談の機会を設ける。
 - ・法務局、保護司会と共に「社会を明るくする運動」に参加・支援する。
 - ・国籍等による文化や習慣の違いに対する理解を深めるため、多文化共生を推進する団体等に事業補助し、協働して事業を実施する。
 - ・社会教育担当と連携し「企業人権啓発事業」を推進する。
 - ・矯正施設所在自治体会議の重点事業である「再犯防止支援事業」を実施する。
 - ・警察、支援団体が実施する「犯罪被害者支援事業」に参加・協力すると共に、行政に関わる支援事業の相談を実施する。また、「ホンデリング」活動を支援団体と共催で実施する。
- ※今年度から人権のつどい等のイベント開催時に必要となる手話通訳・要約筆記者謝金を現課予算に計上することになったため、一般財源額が前年度を上回った。

【詳細事業内訳】

人権啓発費 2,642千円

【一般財源増加理由】 国内友好交流推進団体補助金を政策経営課から移管したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	53	人権擁護審議会委員報酬				
07	報償費	23	人権のつどい講演会託児、中学生人権作文コンテスト受賞者記念品				
08	旅費	36	人権施策関連集会、多文化共生研修会、矯正施設所在自治体会議担当者会議参加職員旅費				
10	需用費	212	人権啓発用品、人権特設相談所備い				
11	役務費	405	人権のつどい講師紹介手数料、手話通訳・要約筆記者謝金				
13	使用料及び賃借料	2	駐車場使用料				
18	負担金補助及び交付金	1,911	松本人権擁護委員協議会負担金、犯罪被害者支援団体負担金、矯正施設所在自治体会議負担金、同和対策推進団体補助金、国内友好交流推進団体補助金、保護司会交付金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容及効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	人権啓発費	イベントの開催や人権パネル展示等による啓発、新成人への啓発等、様々な機会を通じて人権意識の高揚を図り、一人ひとりが平等な立場で個性と能力を充分に発揮できる社会の実現を図る。	18	負担金補助及び交付金	1,911	
				13	使用料及び賃借料	2	
				11	役務費	405	
				10	需用費外	324	
					計	2,642	
2						計	0

予算書ページ	142
--------	-----

重点施策	(3)	コード	010104100
		課・係等	人権男女共同参画課 人権男女共生担当

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	04	男女共同施策費		基本施策	人権の尊重
	事業	0103220	男女共同推進費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	937	0	0	0	0	937
前年度	956	0	0	0	0	956
増減額	△19	0	0	0	0	△19

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・男女が互いにその人権を尊重し責任を分かち合い、性別によって制約されることがなく、個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を目指す。

【効果】

- ・国・県・市の施策を事業者や推進関係団体と連携・協働することで、市民の男女共同参画の意識を高めることができる。
- ・女性の社会活動を推進するため、自らの意識改革に向けた啓発を行うとともに、学習機会を提供する。
- ・第3次男女共同参画計画に沿い、重点的に取り組む課題を明確にして男女共同参画社会の実現を図っていく。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・第3次男女共同参画計画の実施状況審議のため、男女共同参画推進審議会を開催する。
- ・男女共同参画推進関係者による「男女共同参画フォーラム」を開催する。
- ・男女共同参画推進団体・男女共同参画コミュニケーターと連携して、若い世代と「男女共同参画講座」を開催することにより世代間交流を図ると共に、推進団体会員や市民に学習の機会を提供する。
- ・男女共同参画広報紙「湧愛」の発行により、地域や事業者への啓発を進めていく。
- ・企業人権啓発事業とタイアップし、事業者に男女共同参画の推進を啓発する。
- ・各種研修会や国・県主催の事業に参加し、男女共同参画推進のリーダー的人材の育成を図る。

【詳細事業内訳】

男女共同推進費 937千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	133	男女共同参画推進審議会委員報酬	18	負担金補助及び交付金	554	研修会負担金、男女共同参画推進団体補助金
07	報償費	70	男女共同参画講座講師謝礼、フォーラム・講座託児				
08	旅費	24	大会参加職員旅費				
10	需用費	30	事務用品、講演会用品				
11	役務費	4	男女共同参画コミュニケーターボランティア保険料				
12	委託料	113	研修会・大会等参加バス運転委託料				
13	使用料及び賃借料	9	研修会・大会等参加駐車場使用料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容及効果	節	節名称	金額
1	ソフト	男女共同推進費	男女が共にそれぞれの役割を担いながら、自らの意志で決定し、生涯に亘って参画していける社会を目指し、男女共同参画推進会議、コミュニケーターと共催により、フォーラム並びに講座を開催する。	18	負担金補助及び交付金	554
				13	使用料及び賃借料	9
				12	委託料	113
				11	役務費外	261
					計	937
2						
					計	0

予算書ページ	144
--------	-----

重点施策	—	コード	010104100
		課・係等	人権男女共同参画課 人権男女共生担当

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	社会福祉費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	05	人権同和推進費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0103225	住宅新築資金貸付事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	51	0	0	0	0	51
前年度	54	0	0	0	0	54
増減額	△3	0	0	0	0	△3

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・住宅新築資金等貸付事業の債権管理を適正に行う。
【効果】
 ・債権回収を進めていく。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・納入通知書、催告書等を発送する。
 ・個別ファイルにより、返済経過、折衝記録の管理を行う。
 ・債権回収が不可能な事案について、法に照らし、事案別の対応方法の検討を行う。

【詳細事業内訳】
 住宅新築資金貸付事業 51千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	旅費	32	研修会等職員旅費				
10	需用費	4	参考図書				
18	負担金補助及び交付金	14	研修会参加負担金				
26	公課費	1	登録免許税				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

政策部

予算書ページ	84
--------	----

重点施策	(1)	コード	010201100
		課・係等	政策経営課 企画担当

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	総務管理費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	06	企画費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0102320	企画総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	24,606	150	1,678	0	2,000	20,778
前年度	25,677	150	3,283	0	2,376	19,868
増減額	△ 1,071	0	△ 1,605	0	△ 376	910

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	新型交付金	150							
16	土地利用規制対策交付金	14								
16	元気づくり支援金	1,664								
19	ふるさと寄附基金繰入金	2,000								

【目的・効果】

【目的】

- 1 自転車活用推進事業
「自転車を活用したまちづくり」に向け、市民への機運の醸成を図る。
- 2 移住定住促進事業
人口減少を抑制し、住んでみたい、住み続けたいと感じてもらえるまちを目指す。
- 3 行政評価と実施計画
市民福祉の向上を目指し、最少の経費で最大の効果をあげる。

【効果】

- 1 市民を対象に自転車による健康づくりの実証実験を行うことで体力の向上等にどのように作用するかを検証できる。
- 2 人口の社会増が期待できる。
- 3 行政評価結果を実施計画の策定方針へ的確に反映できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 1 自転車による健康づくりの実証実験(2年目)。
- 2 移住・定住に係る支援体制の構築を進める。
- 3 事務事業評価、施策評価を実施し、その結果等をもとに市全体の政策を見渡し、最終評価・分析を行い、重点的に取り組むべき施策や改善すべき課題等を明らかにし、また、市民意識の変化を計る。

【詳細事業内訳】

広域行政推進事業 16,302千円 松本山雅ホームタウン事業 160千円 地方創生事業 147千円 自転車活用推進事業 2,391千円 移住定住促進事業 5,134千円 企画総務費 472千円

【一般財源増加理由】 主には「おためし住宅の修繕363千円」と「移住促進のパンフレット印刷324千円」を計上したため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	80	市民満足度調査入力事務	18	負担金補助及び交付金	16,420	松本広域連合16,291千円
07	報償費	861	安曇野暮らし支援協議会とセミナー等協力者494千円 まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議72千円 自転車活用アドバイザー150千円				
08	旅費	542	移住セミナー関係355千円 地方創生事業関係72千円 自転車活用推進事業関係41千円				
10	需用費	1,415	移住セミナーとおためし住宅関係1,127千円 市民満足度調査145千円				
12	委託料	4,834	結婚支援業務2,555千円 自転車活用健康づくり実証実験1,935千円				
13	使用料及び賃借料	348	移住セミナー会場使用料等144千円 安曇野暮らし支援協議会HPサーバー使用料202千円				
17	備品購入費	106	サイクリングコース用備品				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	移住定住促進事業	【事業内容】 移住・定住に係る支援体制の構築を進める。 【効果】 官民などが更に連携することで、人口の社会増が期待できる。	12	委託料	2,700
				10	需用費	1,127
				07	報償費	494
					旅費外	813
					計	5,134
2	ソフト	自転車活用推進事業	【事業内容】 自転車による健康づくりの実証実験(3か年計画の2年目) 【効果】 自転車による健康効果を実証することで、自転車活用の機運を醸成することができる。	12	委託料	2,084
				07	報償費	150
				17	備品購入費	106
					旅費外	51
					計	2,391

予算書ページ	86
--------	----

重点施策	(4)	コード	010201300
		課・係等	政策経営課 交通政策係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	総務管理費		基本方針	利便性の高いまち
	目	06	企画費		基本施策	公共交通の充実
	事業	0102330	公共交通事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	76,815	0	0	0	0	76,815
前年度	82,742	0	0	0	0	82,742
増減額	△ 5,927	0	0	0	0	△ 5,927

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

- 【目的・効果】**
【目的】
 1 市民の移動手段の確保・維持
【効果】
 1 市民生活の利便性や質的向上が図れる。
 2 地域間交流の活性化を促し、市域全体の活性化につながる。

- 【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 1 公共交通を維持し、持続可能な運行体制となるよう、地域公共交通協議会において、運行体系、利用料、運行委託単価について協議を行う。利用者の利便性向上にむけて、運行エリア、新たな運行路線について調査、研究を行う。
 要望が寄せられている巡回バスや定時定路線の延伸など、「あづみん」を補完する移動手段について、効率的かつ効果的な運行方法、運行の可能性について研究を行う。
 2 利用者要望に基づく利便性の向上を図る。
 3 安曇野市地域公共交通網形成計画の中間評価を実施する。
 4 大糸線利用促進輸送強化期成同盟会、中央東線高速化促進広域期成同盟会、篠ノ井線松本地域活性化協議会の事業と連携し、鉄道の利用促進を図る。

【詳細事業内訳】
 公共交通連携事業 342千円 公共交通事業 76,473千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
07	報償費	4	・先進地視察時土産							
08	旅費	60	・地域公共交通研修会、先進地視察、期成同盟会幹事会							
10	需用費	40	・事務用品							
13	使用料及び賃借料	2,909	・田沢駅構内使用料 14千円 ・デマンド交通運行管理システム賃借料 2,895千円							
18	負担金補助及び交付金	73,802	・安曇野市地域公共交通協議会 73,470千円 ・中央東線高速化促進広域期成同盟会外 332千円							

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	公共交通事業	・地域公共交通網形成計画に基づき事業を行い、持続可能な運行体系と利用者の利便性の向上を図る。 ・要望の寄せられている巡回バスや定時定路線の延伸など、「あづみん」を補完する移動手段の運行の可能性について研究を行う。	18	負担金補助及び交付金	73,470
				13	使用料及び賃借料	2,909
				08	旅費	50
				10	需用費外	44
					計	76,473
2					計	0

予算書ページ	96
--------	----

重点施策	—	コード	010201200
		課・係等	政策経営課 都市交流係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	総務管理費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	11	諸費		基本施策	青少年の健全育成
	事業	0102430	国内友好交流事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,231	0	0	0	1,280	5,951
前年度	7,787	0	0	0	2,080	5,707
増減額	△ 556	0	0	0	△ 800	244

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	交流事業参加負担金	1,280							

【目的・効果】

【目的】

1 友好都市との連携・交流を深め互いの特性を生かし、市民や企業・地域などの主体による多様な交流の展開を図り、文化交流と人材育成を推進する。

【効果】

友好都市との交流事業を通して、

1 安曇野市の特産品ならびに安曇野市を発信することにより、各都市住民への周知を図り、市内観光事業へつなげることができる。

2 青少年同士の交流を通して、息の長い人的交流が期待できるとともに、様々な経験を通しての人材育成に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

友好提携を結んでいる各都市のイベントへ前年度同様参加するほか、それぞれ以下の交流を実施する。また、市制施行15周年記念式典に友好都市首長等を招待する。

- 1 武蔵野市…隔年で実施している「武蔵野市への市民ツアー」の開催年度に当たるため、武蔵野市との連絡調整の上、訪問を実施する。
- 2 江戸川区…江戸川区花火大会観覧事業参加者を募集の上実施する。また、江戸川区穂高荘の担当者と調整の上、同施設利用者と安曇野市民の交流事業を企画・実施する。
- 3 福岡市東区…例年実施している「博多どんたく港まつり」への市民参加を募り、市民の交流事業として実施する。
- 4 三郷市・三郷町…三郷市で開催される、三郷・安曇野(みさと・さんごう・あづみの)友好都市交流推進協議会に参加するほか、同協議会の「住民ふれあい事業」での市民交流を実施する。
- 5 真鶴町…真鶴龍宮祭への出展など、イベントを通じた相互交流を実施する。
- 6 東金市…東金市産業祭への出展など、イベントを通じた相互交流を実施する。

【詳細事業内訳】

国内友好交流事業 7,231千円

【一般財源増加理由】 市制施行15周年記念式典関係経費の増による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	報償費	689	友好都市への記念品・土産代				
08	旅費	836	イベント参加普通旅費652千円、費用弁償184千円				
10	需用費	591	消耗品費145千円、市民交流事業食糧費446千円				
11	役務費	131	イベント時使用法被クリーニング代20千円、交流事業参加者保険料111千円				
12	委託料	2,285	バス運転委託料415千円、東区交流事業業務委託1,870千円				
13	使用料及び賃借料	1,624	催事駐車場使用料68千円、交流会場使用料583千円、江戸川区民まつりテント使用料10千円、市制施行15周年記念式典施設使用料963千円				
18	負担金補助及び交付金	1,075	友好都市協議会負担金350千円、江戸川区民まつり負担金70千円、民間交流補助金655千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	(4)	コード	010201200	予算書ページ	98
		課・係等	政策経営課 都市交流係		

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	総務管理費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	11	諸費		基本施策	交流活動の推進
	事業	0102440	国際友好交流事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,946	0	0	0	615	2,331
前年度	8,243	0	0	0	615	7,628
増減額	△ 5,297	0	0	0	0	△ 5,297

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	青少年交流事業支援基金利子	15							
17	国際交流基金利子	41								
19	国際交流基金繰入金	559								

【目的・効果】
【目的】
 1 広い視野と国際感覚を身に付けた人材を育成する。
【効果】
 国際姉妹都市であるオーストリア共和国クラムザッハとの交流事業を通して
 1 安曇野市及び日本文化を広く発信できる。
 2 海外の文化と交流した市民の活動により、広く市民に姉妹都市の文化を伝えることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 姉妹都市であるオーストリア共和国チロル州のクラムザッハから、東京2020オリンピック期間に合わせ訪問団を招聘する。
 滞在中は、安曇野市内での交流に加え、訪問団の皆様にもオリンピック観戦ツアーに加わってもらい、市民と共にオリンピックを観戦し両国を互いに応援し合うことで、更なる交流と相互理解の促進を図る。

【詳細事業内訳】
 国際友好交流事業 2,946千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	報償費	269	通訳謝礼60千円、訪問団への記念品・土産等209千円	24	積立金	16	青少年交流事業支援基金利子
08	旅費	126	訪問団送迎等旅費				
10	需用費	512	消耗品費66千円、訪問団食糧費446千円				
11	役務費	11	交流事業参加者保険料				
12	委託料	128	訪問団バス運行委託料				
13	使用料及び賃借料	1,274	訪問団会場使用料1,214千円、送迎時駐車場使用料60千円				
18	負担金補助及び交付金	610	県日中賛助金10千円、国際交流団体補助金(クラムザッハ友好会300千円、日中友好協会300千円)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	国際友好交流事業	クラムザッハからの訪問団を安曇野市に迎え交流する。特に本年は、オリンピック期間中に訪問団を迎え、安曇野市民と共にオリンピックを観戦し双方の国を応援し合うことで、交流を深め相互理解を促進する。	13	使用料及び賃借料	1,274
				18	負担金補助及び交付金	610
				10	需用費	512
					報償費他	550
					計	2,946
2					計	0

予算書ページ	100
--------	-----

重点施策	(4)	コード	010201200
		課・係等	政策経営課 都市交流係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	総務管理費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	11	諸費		基本施策	交流活動の推進
	事業	0102442	ホストタウン推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
7,695	6,949	746	0	0	0	5,000
			0	0	0	3,000
			0	0	0	2,000
						△1,254

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	19	ふるさと寄附基金繰入金	5,000							5,000

【目的・効果】

【目的】

- 2020年東京オリンピック・パラリンピックオーストリアカヌーチームのホストタウンとして、オーストリア並びに海外姉妹都市のクラムザッハとの人的・経済的・文化的な相互交流を通じて、地域の活性化、観光振興等を図る。
- ホストタウン事業を通じ、カヌー競技への理解促進、普及を図る。

【効果】

- オーストリアの歴史や文化を知るとともに、本市の魅力や情報を世界に向け拡散することで、訪日外国人の誘客や農産物の海外輸出等の事業の推進に資する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向け、全市を挙げて応援機運の醸成を図る。
- 東京2020オリンピック・パラリンピックのカヌー・スラローム競技、及びパラカヌー競技の観戦ツアーや、カヌー・スラローム競技決勝戦のパブリックビューイングを実施する。
- オーストリアカヌーチームの選手を市へ招き、世界レベルの選手と市民が身近に接し交流する場を設ける。
- カヌー教室を開催することにより、カヌーを身近に感じていただくとともに、ホストタウンの啓発を図る。

ホストタウン推進事業 7,695千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	報償費	326	カヌー教室講師謝礼150千円、オリ・パラ選手土産等176千円				
08	旅費	41	観戦ツアー添乗、オリ・パラ選手送迎旅費				
10	需用費	379	消耗品費105千円、オリ・パラ選手招聘時食糧費274千円				
11	役務費	55	オリ・パラ選手、カヌー教室参加者保険料				
12	委託料	5,534	オリ・パラ選手招聘時バス運行委託料207千円、観戦ツアー業務委託料5,327千円				
13	使用料及び賃借料	1,360	オリ・パラ選手招聘時施設使用料770千円、駐車場使用料40千円、パブリックビューイング使用料550千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	ホストタウン推進事業	東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向け、全市を挙げて応援機運を醸成し、期間中は観戦ツアーやパブリックビューイングを実施する。また、オーストリアカヌーチームの選手を市へ招き、市民と交流する場を設ける。また、カヌー教室を開催しカヌー競技の理解促進・普及を図る。	12	委託料	5,534
				13	使用料及び賃借料	1,360
				10	需用費	379
					報償費他	422
					計	7,695
2					計	0

予算書ページ	64
--------	----

重点施策	—	コード	010202100
		課・係等	秘書広報課 秘書広報担当

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102060	秘書・渉外			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,472	0	0	0	1,800	6,672
前年度	6,500	0	0	0	300	6,200
増減額	1,972	0	0	0	1,500	472

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	19	地域振興基金繰入金	1,500							
21	新年祝賀会会費	300								

【目的・効果】
【目的】
 ・市長及び副市長の交際、並びに渉外に関する事業を適正に執行し、開かれた市政を進める。
【効果】
 ・交際費を中心に、透明性ある行政の推進が図れる。
 ・市制施行15周年記念式典及び市功労表彰式、新年祝賀会の開催により、市政の進展とともに一体感の醸成が図れる。
 ・各市長会や友好都市との交流、自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会をはじめとする各種関係機関への会議の出席により得られた情報を市の施策に生かせる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市長日程・交際費を市ホームページで公開し、開かれた市政を進める。
 ・市制施行15周年を市民と祝い、市の一体感の醸成をさらに進めるため、記念式典を開催する。
 ・市功労表彰式を開催し、地方自治の振興に多大な功績を残された功労者に対して感謝と敬意を表す。
 ・新年祝賀会を開催し、年頭のあいさつを交わすとともに、新年の抱負を語り合い、市のより一層の発展を目指す。
 ・県内19市をはじめ、県・北信越市長会を通じて県・国等に対して政策要望を行う。

【詳細事業内訳】
 秘書・渉外事務 6,745千円 市制施行15周年記念式典実施事業 1,727千円

【一般財源増加理由】 市制施行15周年記念式典の開催に伴う事業費の増額

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	報償費	504	手話通訳者謝礼23千円、市功労表彰者等記念品他481千円	14	工事請負費	66	会議室ピクチャーレール設置工事
8	旅費	1,447	市長・副市長・職員旅費	17	備品購入費	301	ソファ一式
9	交際費	1,092	市長・副市長交際費960千円、電報料132千円	18	負担金補助及び交付金	1,788	全国市長会他負担金、市長会議出席負担金
10	需用費	1,064	事務消耗品費他171千円、新年祝賀会会食費他536千円、名刺印刷代357千円				
11	役務費	288	通信運搬費128千円、手数料10千円、表彰状筆耕料150千円				
12	委託料	1,642	新年祝賀会送迎バス・会場準備等431千円、15周年記念式典会場準備・市歌レリーフ制作業務1,211千円				
13	使用料及び賃借料	280	市長・副市長タクシー料金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○	市制施行15周年記念式典実施事業	市制施行15周年記念式典を開催することにより、合併15周年を市民と祝い、市の一体感の醸成をさらに進める。	7	報償費	268
					10	需用費	44
					11	役務費	138
						委託料外	1,277
						計	1,727
2							
						計	0

重点施策	(2)	コード	010202100	予算書ページ	78
		課・係等	秘書広報課 秘書広報担当		

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	文書広報費		基本施策	方針2 広報・広聴の充実
	事業	0102210	広報費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	53,990	0	0	0	3,130	50,860
前年度	53,635	0	0	0	3,130	50,505
増減額	355	0	0	0	0	355

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	広告料収入	3,130							

【目的・効果】
【目的】
 ・広報紙やホームページ、コミュニティFMなどの広報媒体を活用し、市民に迅速かつ分かりやすい市政情報を提供する。
【効果】
 ・市の施策、事業等に関する情報を市民に知ってもらうことができる。
 ・市政への関心、参画意識が高まる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【広報制度の充実】
 ○分かりやすく読みやすい「広報あづみの」を作成し、全世帯を対象に配布する。
 ・発行部数:37,800部、発行日:原則月2回水曜日発行、総発行回数:21回
 ・ごみの出し方や防災マップなど、市民に必要な不可欠な情報を戸別配布する。
 ○市ホームページを運営し市政情報を発信する。
 ・令和3年2月までに改編作業を行う。より調べやすく、分かりやすくなるよう情報を整理するとともに、シティプロモーションのサイトを新設し、安曇野の魅力を広く発信する。
 ・お問い合わせフォーム等から市民の意見を集め、広聴の充実にも努める。
 ○コミュニティFMを活用し、音声による市政情報の提供を行う。
【自主財源の確保】
 ○広報紙とホームページに有料広告を掲載し、自主財源の確保に努める。

【詳細事業内訳】
 広報広聴総務費 593千円 広報ラジオ番組放送事業 7,920千円 広報発行事業 38,658千円 インターネット広報事業 6,819千円

【一般財源増加理由】 配布物の増加等(防災マップ、ごみの出し方手引き)

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
7	報償費	100	市長と語る会シンポジウム謝礼				
8	旅費	69	日本広報協会主催研修会の参加旅費				
10	需用費	16,559	広報あづみの印刷代16,474千円、消耗品69千円、広報機材修繕費16千円				
11	役務費	68	市長と語る会シンポジウム手話通訳				
12	委託料	33,146	コミュニティFM市政情報放送委託料7,920千円、広報紙等配布22,184千円、市ホームページ保守委託料2,943千円、市長と語る会会議録作成委託料99千円				
13	使用料及び賃借料	3,982	市ホームページシステムリース料3,876千円、ホームページ編集ソフト使用料106千円				
18	負担金及び交付金	66	研修会負担金42千円、日本広報協会年会費24千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	インターネット広報事業	市ホームページやツイッターによる情報発信を行う。令和3年2月にホームページを改編し、掲載情報の整理と安曇野ブランド発信の強化を図る。	12	委託料	2,943
				13	使用料及び賃借料	3,876
					計	6,819
2	ソフト	広報発行事業	市の施策を分かりやすく伝えるため、主力の広報媒体として充実化を図る。市制施行15周年を記念した特集を作成する。	10	需用費	16,474
				12	委託料	22,184
					計	38,658

重点施策	—	コード	010203100	予算書ページ	90
		課・係等	情報統計課 情報政策係		

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	07	情報施策費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0102370	電算管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	319,201	7,294	0	0	874	311,033
前年度	268,865	2,391	0	0	858	265,616
増減額	50,336	4,903	0	0	16	45,417

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
15	個人番号カード利用環境整備費補助金	4,027								
21	財務会計処理実費徴収	874								

【目的・効果】
【事業内容】
 ICTの進展やICT環境の変化に対応しながら、行政情報システムの適正な管理・運用を行い、市民に対する行政サービスの継続性を確保する。
【効果】
 情報システムのセキュリティを確保することにより、市民から預かっている個人情報データを不正漏えいから守る。
 ICTの進展に合わせて行政情報システムを適正に管理・運用することにより各種証明書発行、窓口相談支援等市民サービスを向上させ、継続性を確保する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 情報システム管理業務
 庁内パソコン・プリンタの保守及びトナーの在庫を一括管理し、老朽化した機器の入れ替えを行う。
 システム動作状況の監視、及び、職員へのシステム操作支援を行う。
 障害発生時には、障害現象・範囲等の切り分け、保守委託会社との連絡・調整、庁内への周知等を行う。
 システムライセンス、及び、バージョン等のシステム更新情報を適切に管理しセキュリティ対策を行う。
 リース期間満了に伴う基幹系業務システムのリプレースを行う。(システム構築作業、及び、PC等機器更新費用を計上)
 マイナンバーカード利用環境整備としてマイキーIDの設定支援を行う。

【詳細事業内訳】
 電算システム管理運営事業 319,201千円

【一般財源増加理由】 基幹系業務システム更新に係るシステム構築作業費等の計上によるもの

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	旅費	140	J-LIS情報化フェア等県外研修旅費				
10	需用費	9,726	プリンタトナー、HUB、LANケーブル、及び事務用品 基幹系システム業務用紙印刷 PC等修繕費				
11	役務費	19,504	出先施設等ネットワーク通信 リース物件撤去廃棄手数料				
12	委託料	68,813	既存各システム保守、機器保守 基幹系システム更新作業 自治体中間サーバ更改 マイキーID設定支援				
13	使用料及び賃借料	211,262	ネットワーク機器、サーバ、パソコン、プリンター等借上 ネットワーク回線、各システム使用料				
18	負担金補助及び交付金	9,756	長野県SC、自治体中間サーバ				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	
2					計	

重点施策	(2)	コード	010203100	予算書ページ	92
		課・係等	情報統計課 情報政策係		

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	07	情報施策費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0102380	地域・行政情報化推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,061	0	0	0	0	7,061
前年度	5,977	0	0	0	0	5,977
増減額	1,084	0	0	0	0	1,084

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

0

【目的・効果】
【事業内容】
 情報通信技術を活用し、市民生活の利便性向上および行政事務の効率化を図る。
【効果】
 電子申請システム、公衆無線LANの整備などにより、市民生活における利便性を向上、安心・安全に暮らせる街づくりに寄与する。
 LGWAN(総合行政ネットワーク)安定稼働のために適切な維持管理を行い、各省庁その他の行政機関との安全なデータ通信を確保することにより、迅速・正確な行政事務を行う事ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 市内公共施設等22施設に整備した公衆無線LANの維持管理を行うとともに、市民や観光者への利活用を向上させるための周知を行う。
 LGWAN(総合行政ネットワーク)機器の管理・運用を行う。
 ながの電子申請の利用促進、庁内各部署からの手続き追加要望に伴う設定情報の追加・修正を行う。
 市民と行政の課題を共有し共に解決するための、道路・公園の不具合箇所通報アプリ(FixMyStreet Japan)及び議事録作成・障がい者支援システム(UDトーク)の運用管理を継続して行う。

【詳細事業内訳】
 地域・行政情報化推進事業 6,501千円
 ながの電子申請・届出システム有効利用推進事業 560千円

【一般財源増加理由】「情報ブロードウェイながの」の回線変更(100M→200M)に伴う負担金増の計上によるもの

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	役務費	1,795	公衆無線LAN用通信費				
13	使用料及び賃借料	2,345	内部情報系(LGWAN系)業務機器借上 FixMyStreetJapanシステム等使用料				
18	負担金補助及び交付金	2,921	情報ブロードウェイ長野等負担金、電子申請システム負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	地域・行政情報化推進事業	令和元年度にWiFi機器の強化を行い、利便性の向上を図った。今後、適正な維持管理と広報等周知を行い利用促進を図る。	11	役務費	1,795
				13	使用料及び賃借料	2,345
				18	負担金補助及び交付金	2,361
					計	6,501
2						
					計	

重点施策	—	コード	010203200
		課・係等	情報統計課 統計係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	05	統計調査費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	統計調査総務費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0102570	統計調査総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,391	0	36	0	0	2,355
前年度	1,809	0	36	0	0	1,773
増減額	582	0	0	0	0	582

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・各種施策に役立てることを目的として、安曇野市の統計データの作成及びホームページへの掲載等を行う。
 ・国が行う各種統計調査の実施にあたり、統計調査員の推薦を円滑に県へ報告するため、登録調査員の確保を行う。
【効果】
 ・市の人口・経済など市勢の現況やその推移を明らかにした統計資料を公表する。これらの調査結果は、行政等の各種計画策定に活用されている。
 ・調査員の確保対策事業を行うことにより、円滑・正確な統計調査を推進することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業概要】
 ・安曇野市の統計データの作成及びホームページへの掲載等を行う。
 ・統計登録調査員の確保や多年統計調査実務者の表彰推薦のため、調査員・指導員台帳の作成整備を行う。

【詳細事業内訳】
 統計調査総務費 2,391千円

【一般財源増加理由】	パートタイム会計年度任用職員に関する報酬・職員手当・旅費(費用弁償)増額のため										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	1,892	パートタイム会計年度任用職員報酬								
03	職員手当等	364	パートタイム会計年度任用職員諸手当								
08	旅費	51	パートタイム会計年度任用職員(通勤費)								
10	需用費	37	統計調査用事務用品								
11	役務費	26	登録調査員等諸連絡郵便料及び通信費								
12	委託料	19	県知事表彰等表彰式調査員送迎バス運行委託料								
13	使用料及び賃借料	2	コピー機使用料								

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—	コード	010203200
		課・係等	情報統計課 統計係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	05	統計調査費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	基幹統計費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0102580	学校基本調査費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20	0	18	0	0	2
前年度	20	0	18	0	0	2
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	学校基本調査委託金	18							

【目的・効果】
【目的】
 学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的に行われる。
【効果】
 学校教育全般にわたる諸施策策定上の基礎資料として活用される。また、地方交付税の算定の基礎としても活用される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 本調査の実施にあたって、調査関係資料の配布、調査票内容の点検等を行う。
【調査の概要】
 ・所管省庁 文部科学省
 ・調査周期 毎年
 ・調査対象 市内の小学校(10校)、中学校(7校)、幼稚園(1園)、認定こども園(1園)と安曇野市教育委員会
 ・調査方法 教育委員会を通じて協力依頼及び調査票配布(調査はすべてインターネット調査による。)
 ・調査期日 令和2年5月1日現在

【詳細事業内訳】
 学校基本調査費 20千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
10	需用費	20	統計調査用事務用品								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—	コード	010203200
		課・係等	情報統計課 統計係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	05	統計調査費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	基幹統計費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0102590	工業統計調査費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	803	0	793	0	0	10
前年度	750	0	740	0	0	10
増減額	53	0	53	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	工業統計調査委託金	793							

【目的・効果】
【目的】
 製造業を営む全ての事業所に対し、経営の態様、製品出荷額等について調査を実施し、工業の実態を明らかにすることを目的に行われる。
【効果】
 調査結果は、産業政策、中小企業政策など、国や都道府県などの地方公共団体の行政施策のための基礎資料となる。また、国の経済統計体系の根幹を成し、経済白書、中小企業白書などの経済分析及び各種の経済指標へデータが提供され活用される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 本調査の実施にあたって調査員・指導員の推薦、用品購入、事務打合せ会の開催、調査票等の審査を行い県へ提出する。
【調査の概要】
 ・所管省庁 経済産業省 ・調査周期 毎年 ・調査対象 製造業の経営を行う全ての個人、組織、法人
 ・調査方法
 ①調査員調査方式 調査員による調査客体への調査票の配布、回収 経済産業省→都道府県→市町村→調査員→調査客体
 ②本社等一括調査方式 経済産業省→調査客体
 ③国直送調査方式 経済産業省→調査客体
 ・配布方法 調査員配布
 ・回答・収集方法 調査員調査(調査員回収)、オンライン回答、郵送(国直送、本社一括分)
 ・調査基準日 令和2年6月1日現在
 指導員1人 調査員21人 予定

【詳細事業内訳】
 工業統計調査費 803千円

【一般財源増加理由】		主な内容		主な内容	
節	節名称	金額	節	節名称	金額
01	報酬	701			
03	職員手当等	18			
08	旅費	44			
10	需用費	17			
11	役務費	20			
13	使用料及び賃借料	3			

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	コード	010203200
		課・係等	情報統計課 統計係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	05	統計調査費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	基幹統計費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0102600	農林業センサス			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	67	0	65	0	0	2
前年度	10,734	0	10,724	0	0	10
増減額	△ 10,667	0	△ 10,659	0	0	△ 8

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	農林業センサス委託金	65							

【目的・効果】
【目的】
 我が国の農林業の生産構造、就業構造を明らかにするとともに、農山村の実態を総合的に把握し、農林行政の企画・立案等のための基礎資料を作成、提供することを目的に実施される。
【効果】
 普通交付税算定の際、農業行政費及び林野行政費の算出や「食料・農業・農村基本計画」、「森林・林業基本計画」等策定の際の基礎資料として活用される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 前年度実施された本調査に係る集計等事後報告に関する事業。

【詳細事業内訳】
 農林業センサス 67千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
10	需用費	9	統計調査用事務用品								
11	役務費	44	調査実施集計等県への郵便料及び通信費								
13	使用料及び賃借料	14	コピー機使用料								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—	コード	010203200	予算書ページ	114
		課・係等	情報統計課 統計係		

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	05	統計調査費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	基幹統計費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0102700	国勢調査費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	37,102	0	37,092	0	0	10
前年度	484	0	474	0	0	10
増減額	36,618	0	36,618	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	国勢調査委託金	37,092							

【目的・効果】
【目的】
 国の最も重要な基幹統計の一つで、国内の人口及び世帯の実態を把握し、各種行政施策やその他の基礎資料を得ることを目的としている。
【効果】
 衆議院の小選挙区の改定や、地方交付税の算出など各種法令に基づく利用がされる。また、子育て支援や、高齢者福祉、防災計画といった行政上の施策へ利用される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 本調査の実施にあたって調査員・指導員の推薦、用品購入、事務打ち合わせ会の開催、調査票等の審査を行い県に提出する。
【調査の概要】
 ・所管省庁 総務省
 ・調査周期 5年周期
 ・調査対象 令和2年10月1日現在、日本国内に普段、住んでいるすべての人及び世帯を対象とする
 ・回答・収集方法 統計調査員が調査客体への調査票配布、回収(調査員調査)及びオンライン回答、郵送回答を実施予定
 ・主な調査事項【世帯について】世帯員の数、世帯の種類、住居の種類、住宅の建て方の4項目
【世帯員について】男女の別、出生の年月、配偶者の有無、就業状態、従業地又は通学地など15項目
 ・調査期日 令和2年10月1日
 指導員67人 調査員458人 予定

【詳細事業内訳】
 国勢調査費 37,102千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	31,382	統計調査指導員67人、調査員458人、パートタイム会計年度任用職員 報酬			13	使用料及び賃借料	480	コピー機使用料		
03	職員手当等	892	時間外勤務手当								
07	報償費	202	調査協力謝金								
08	旅費	489	統計調査 指導員67人、調査員458人 交通費								
10	需用費	344	統計調査用事務用品								
11	役務費	1,165	調査員等諸連絡郵便料及び通信費								
12	委託料	2,148	国調用地図・調査区要図作成業務委託・調査用品等発送業務委託								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

予算書ページ	116
--------	-----

重点施策	—	コード	010203200
		課・係等	情報統計課 統計係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	05	統計調査費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	基幹統計費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0102720	経済センサス			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	226	0	214	0	0	12
前年度	1,612	0	1,602	0	0	10
増減額	△ 1,386	0	△ 1,388	0	0	2

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	経済センサス—活動調査準備委託金	195							
16	経済センサス委託金	19								

【目的・効果】
【目的】
 我が国の全産業分野における事業所及び企業の経済活動の実態を全国及び地域別に明らかにするとともに事業所及び企業を調査対象とする各種統計調査の精度向上に資する母集団情報を得ることを目的としている。
【効果】
 地方消費税の清算の基礎資料に利用されている。
 国民経済計算(GDPなど)、産業関連表の推計や中小企業振興など各種補助金を交付するための基礎資料に利用される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 令和3年「経済センサス—活動調査」の円滑な調査実施を図るため調査員確保、準備用調査用品の購入等の事前準備を行う。
 調査区管理においては調査区変更になった事業所及び登記簿等の行政記録から追加された事業所などについて、「調査区台帳」を用いた効率的な調査区同定を行う。

【詳細事業内訳】
 経済センサス 205千円 経済センサス(調査区管理) 21千円

【一般財源増加理由】 調査区管理の詳細事業が増え、本総括事業に追加されたため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	63	パートタイム会計年度任用職員報酬				
03	職員手当等	51	時間外勤務手当				
10	需用費	87	統計調査用事務用品				
11	役務費	20	郵便料等				
13	使用料及び賃借料	5	コピー機使用料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

財政部

予算書ページ	80
--------	----

重点施策	—	コード	010301100
		課・係等	財政課 財政担当

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	03	財政管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102230	財政管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,382	0	0	0	0	2,382
前年度	2,401	0	0	0	0	2,401
増減額	△ 19	0	0	0	0	△ 19

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ○普通交付税の算定における基礎数値を把握・報告し、算出を行う。
 ○特殊財政事情の内容、予算額を報告し、特別交付税の交付を受ける。
 ○前年度決算に基づき、地方財政状況調査表を作成する。
 ○地方財政状況調査結果により、財政健全化比率を算出する。
 ○財政事務に必要な実務能力の向上と、地方公会計(財務書類)の取り組みによる財政分析及び活用を行う。
【効果】適正で健全な計画性のある財政運営につなげる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 財政計画に基づく健全財政の堅持。

【詳細事業内訳】
 財政管理費 2,382千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	旅費	96	財務業務一般研修等								
10	需用費	147	地方財務実務提要、参考図書資料他								
12	委託料	2,139	公会計システム保守、財務書類等作成支援								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策	—	コード	010301100
		課・係等	財政課 財政担当

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	03	財政管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102250	基金積立金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	28,299	0	0	0	28,295	4
前年度	28,109	0	0	0	28,105	4
増減額	190	0	0	0	190	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	財政調整基金利子	12,511							
17	減債基金利子	3,533								
17	公共施設整備基金利子	5,588								
17	地域振興基金利子	6,663								

【目的・効果】
【目的】
 条例の定めにより、特定の目的のために財産を維持するとともに、資金を積み立てる。
【効果】
 市の健全な財政運営に資する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・財政調整基金条例の定めにより、R1年度決算剰余金からR2年度に繰り越す歳出予算の財源に充てるべき金額(継続費の支出財源として繰り越した金額を含む。)を控除した額の2分の1を下らない額を財政調整基金に積み立てる。
 ・財政調整基金、減債基金、公共施設整備基金及び地域振興基金の4基金の運用で生じた利子を、当該基金へ積立てる。
【参考:基金残高(R1年度末見込額)】
 財政調整基金 5,321,554千円/減債基金 1,517,004千円/公共施設整備基金 1,858,881千円/地域振興基金 2,749,119千円

【詳細事業内訳】
 財政4基金積立金 28,299千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
24	積立金	28,299	地域振興基金利子、財政調整基金利子、減債基金利子、公共施設整備基金利子								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—	コード	010301100
		課・係等	財政課 財政担当

予算	款	12	公債費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	公債費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	元金		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0112010	長期借入金償還元金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,958,359	0	0	594,200	200,000	4,164,159
前年度	5,160,658	0	0	820,600	200,000	4,140,058
増減額	△ 202,299	0	0	△ 226,400	0	24,101

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	19	減債基金繰入金	200,000							
22	借換債(衛生債・旧合併特例事業債)	594,200								

【目的・効果】
【目的】
 地方債元金を償還する。
【効果】
 将来を見据え、計画的に償還を進める。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 R1年度までの借入に対し元金を償還する。
 (地方債現在高のR1年度末見込額 41,784,066千円)
 (内、H30借入までの分36,871,075千円、R1借入見込額4,912,991千円)
 ※上記のうち、H22地方債借換分【合併特例】日赤 594,200千円

【詳細事業内訳】
 長期借入金償還元金 4,958,359千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
22	償還金、利子及び割引料	4,958,359	地方債の償還元金分								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—	コード	010301100
		課・係等	財政課 財政担当

予算	款	12	公債費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	公債費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	利子		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0112020	長期借入金償還利子			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	165,179	0	0	0	165,179
前年度	190,216	0	0	0	190,216
増減額	△ 25,037	0	0	0	△ 25,037

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・地方債利子を償還する。
 ・一時借入のための利子を確保する。
【効果】
 将来を見据え、計画的に償還を進める。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 R1年度までの借入に対し利子を償還。

【詳細事業内訳】
 長期借入金償還利子 163,679千円 一時借入金利子 1,500千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
22	償還金、利子及び割引料	165,179	地方債の償還利子、一時借入金利子						

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

予算書ページ	366
--------	-----

重点施策	—	コード	010301100
		課・係等	財政課 財政担当

予算	款	13	予備費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	予備費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	予備費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0114010	予備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	50,000	0	0	0	0	50,000
前年度	50,000	0	0	0	0	50,000
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 地方自治法217条により予備費を設ける。
【効果】
 当初予期しなかった予算外の支出が生じた場合及び歳出予算計上額に不足が生じた場合、これに充てることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 予備費として50,000千円を計上

【詳細事業内訳】
 予備費 50,000千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
29	予備費	50,000	予期しない歳出予算計上額の不足財源に充てる				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

予算書ページ	102
--------	-----

重点施策	—	コード	010302100
		課・係等	税務課 諸税係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	02	徴税費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	税務総務費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102460	税務総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	511,793	0	115,000	0	1	396,792
前年度	419,330	0	114,000	0	1	305,329
増減額	92,463	0	1,000	0	0	91,463

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	県民税徴収事務委託金	115,000							
21	その他税務関係雑入	1								

【目的・効果】
【目的】
 税の公平・公正・適正な賦課及び捕捉率の向上に努める。
 広報活動の充実等により納税意識の向上を図り、安定した財政基盤を確保する。
【効果】
 安定した財政基盤の確保。
 適正な課税客体の捕捉による不公平感の是正。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 【事業概要】**
- 公平・公正・適正な賦課と捕捉率の向上に向け
 - ①未申告者の解消。
 - ②庁内各種内部資料、国・県資料による課税の是認、否認。
 - ③訪問指導等の実施。
 - 納税意識の高揚(関心の増加)を図るため
 - ①租税教育、中高生の税に関する作文・ポスターの募集及び表彰の実施。
 - ②広報紙・ホームページ・新聞等を活用した税務広報。
 - ③口座振替、電子申告、電子納税の推進。
 - ④特別徴収事業所の推進。

【詳細事業内訳】
 市民税賦課等総務費 511,793千円

【一般財源増加倍理由】 還付金(法人市民税)について、景気動向による中間申告分還付金の増額を見込んでいるため。(H31 51,300千円、R2 152,000千円)

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	13,074	会計年度任用職員報酬 受付窓口・課税事務補助2人、申告事務・課税資料整理等(短期)延べ33人	11	役務費	715	税のPR用広告料、申告会場電話機能変更手数料、軽自動車税環境性能割徴収取扱費
02	給料	171,095	一般職49人(職員課)	12	委託料	20,381	市税納税通知書等印刷及びシステム保守委託業務、課税原票管理システム保守委託業務、税制改正に伴うシステム改修等
03	職員手当等	83,210	一般職 扶養手当・期末勤勉手当等、会計年度任用職員期末手当(職員課)	13	使用料及び賃借料	11,517	課税原票管理システム機器賃借料、eLTAX申告支援サービス利用料等、RPAライセンス等
04	共済費	52,728	職員共済組合納付金(職員課)	18	負担金補助及び交付金	2,423	地方税共同機構負担金、松本地区税務協議会負担金、日本経営協会研修参加料
07	報償費	631	租税教育推進協議会主催「税に関する作文・ポスター」応募者及び入賞者記念品	22	償還金、利子及び割引料	152,000	市税過年度分還付金及び還付加算金
08	旅費	537	地方税電子化協議会全国説明会・日本経営協会研修会出席旅費(東京他)、会計年度任用職員通勤費				
10	需用費	3,482	事務用品、入湯税啓発用品、軽自ナンバープレート、参考図書・追録代、申告関係印刷製本代等				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	○ 市民税賦課等総務費	RPAのソフトウェアライセンスを取得し、課税事務及び関連する事務の中で、データ入力や手順が決まった作業を効率化することにより、人的ミスの防止、入力作業の自動化を図ることにより課税事務の効率化を図ります。	14	使用料及び賃借料	578
					計	578
2					計	0

予算書ページ	102
--------	-----

重点施策	—	コード	010302300 010302400
		課・係等	税務課 家屋担当 土地担当

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	02	徴税費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	賦課徴収費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102470	資産税費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	56,452	0	0	0	1	56,451
前年度	77,324	0	0	0	1	77,323
増減額	△ 20,872	0	0	0	0	△ 20,872

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	固定資産土地精通者謝金		1						

【目的・効果】
【目的】
 市町村税体系における基幹的な税として、固定資産税の公平・公正、適正な課税を行う。
【効果】
 ・財政基盤の安定
 ・市民への「受益と負担」の関係における負担についての不公平感の是正

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・令和3基準年度評価替えに向け、直近の課税客体の状況把握を目的とした市内の航空写真を撮影し、そのデータを活用した資料を整備することにより適性かつ公平な課税を効率的に行う。
 ・地方税法343条第2項に基づき、相続人等の調査を実施し納税義務者を死亡者から相続人等に賦課替えを行うため、改めて課税に係る手続きを行い適正な賦課に努める。

【詳細事業内訳】
 土地の鑑定評価及び評価体系集約化事業 12,372千円 課税客体調査事業 26,751千円 基幹系システムセンター代行業務 9,810千円
 資産税総務費 7,519千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	3,535	パートタイム会計年度任用職員報酬			17	備品購入費	20	災害時災害住宅調査機材		
03	職員手当等	728	パートタイム会計年度任用職員諸手当			18	負担金補助及び交付金	200	職員研修負担金		
08	旅費	568	職員研修旅費、パートタイム会計年度任用職員通勤費			26	公課費	7	公用車重量税		
10	需用費	1,390	印刷製本費、公用車ガソリン代、参考図書代								
11	役務費	83	公用車車検費用								
12	委託料	49,277	航空写真撮影等業務、土地評価システム化業務								
13	使用料及び賃借料	644	帳票電子化機器借上料、地図情報システム使用料								

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	課税客体調査事業	令和3基準年度評価替えに当たり、直近の課税客体の状況を把握する必要があるため、新たに市内の航空写真の撮影を行い、撮影された写真を用いてデジタルオルソを作成しGISシステムに反映させる。	12	委託料	26,751
					計	26,751
2	ソフト	土地の鑑定評価及び評価体系集約化事業	地元に精通した不動産鑑定士や評価支援を行う専門機関を活用し、主に土地の固定資産評価に関する基礎資料を作成する。	12	委託料	12,372
					計	12,372

重点施策	—	コード	010304100・010304200
		課・係等	収納課 管理係・整理担当

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	02	徴税費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	賦課徴収費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102480	収納費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	57,599	0	40,000	0	2,101	15,498
前年度	56,675	0	40,000	0	2,301	14,374
増減額	924	0	0	0	△ 200	1,124

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	督促手数料	2,100							
16	県民税徴収事務委託金	40,000								
21	その他税務関係雑入	1								

【目的・効果】

【目的】

- 市税等の納期内納付の勧奨及び滞納整理を実施することにより未納額の縮減、財政基盤の安定化を図る。
- 口座振替の推進、コンビニ収納の実施等により納税者が市税を納めやすい環境を整備する。
- 新規滞納者の抑制

【効果】

- 滞納整理業務を執行し、納税義務の公平性の確保と貴重な自主財源としての市税を確保することができる。
- 納税義務者が市税を納めやすい環境を整備し、納期内納付の推進及び収納率の向上を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【事業概要】

- ・財産調査予告書・差押予告書による催告の実施。
- ・催告に応じない滞納者に対して実態調査や財産調査を行い、差押処分を執行する。
- ・大口案件や困難案件を長野県地方税滞納整理機構に移管する。
- ・市税の当初納付書の発送時にハガキ型の口座振替依頼書、口振勧奨チラシを同封し、口座振替を推進する。
- ・新規滞納者を増やさないため、納税コールセンターによる自主納付の勧奨を行う。

【詳細事業内訳】

収納総務費 52,035千円 納税コールセンター業務委託事業 5,564千円

【一般財源増加理由】 相続人調査(固定資産税)を行うための非常勤職員1人増による報酬の増。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	15,063	滞納整理顧問1人・会計年度任用職員7人	13	使用料及び賃借料	477	コンビニ収納システム使用料、官報閲覧システム、駐車料金等/納税コールセンター基幹系パソコン借上料
03	職員手当等	3,016	会計年度任用職員の期末手当	17	備品購入費	212	コンビニ収納データ端末他
07	報償費	468	収納嘱託員自動車借上げ謝礼	18	負担金補助及び交付金	6,956	日本経営協会研修負担金等、長野県地方税滞納整理機構負担金、松本地区納税貯蓄組合負担金
08	旅費	836	日本経営協会等研修参加費・県外臨戸旅費	26	公課費	16	自動車重量税
10	需用費	2,942	事務用品・督促状・催告書・口座振替依頼書・手書き納付書等印刷、封筒作成、公用車修繕等、公用車ガソリン代				
11	役務費	17,780	携帯電話料、窓口収納他金融機関手数料、コンビニ収納取扱手数料、相続財産管理人予納金、自賠責保険				
12	委託料	9,833	督促状センター代行業務、県外滞納者居実態調査業務、滞納管理システム保守、不動産鑑定/納税コールセンター業務				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	納税コールセンター業務委託事業	新規滞納者を増やさないため、納税コールセンターから初期未納者に対して架電を行い自主納付を促す。	12	委託料	5,465
				10	需用費	60
				13	使用料及び賃借料	39
					計	5,564
2						
					計	0

重点施策	—	コード	010305300	予算書ページ	66
		課・係等	財産管理課 庁舎管理係		

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102020	本庁舎管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	180,945	0	0	0	2,010	178,935
前年度	183,358	0	0	0	1,922	181,436
増減額	△ 2,413	0	0	0	88	△ 2,501

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	電報電話料(本庁舎)	1	21	その他雑入(庁舎管理係)	1,780				
21	資源ごみ売却代(本庁舎)	60								
21	自動販売機設置電気料(本庁舎)	168								
21	公衆電話料(本庁舎)	1								

【目的・効果】

【目的】

・本庁舎の維持管理を行う。総合管理によりきめ細やかな運用で、住民サービスと施設長寿命を図る。

【効果】

・総合管理により専門的な施設管理ができることから、施設の長寿命化や維持管理コストの低減が図れる。これにより、庁舎利用者の利便性と安全が確保でき、住民サービスの向上に繋げられる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・総合管理の委託内容は、施設常駐管理、設備管理、宿日直警備業務、清掃業務、総合受付案内業務、電話交換業務、植栽管理業務、除雪業務を行う。
- ・本庁舎で使用する複合機、印刷機、コピー用紙等の必要経費の維持管理と光熱水費、通信費の支出事務
- ・市有施設のNHKテレビ受信料、危険物取扱者、防火管理者、危険物安全協会に係わる事務

【詳細事業内訳】

本庁舎管理費 180,945千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	1,679	パートタイム会計年度任用職員報酬	18	負担金補助及び交付金	186	安曇危険物安全協会負担金、防火管理者協議会負担金
03	職員手当等	364	パートタイム会計年度任用職員諸手当				
10	需用費	50,228	コピー用紙、インク等消耗品、冷暖房用灯油、本庁舎光熱水費、施設・物品修繕				
11	役務費	9,590	電話料、危険物取扱受験料				
12	委託料	91,536	本庁舎総合管理委託、印刷機保守、本庁舎設備機器点検				
13	使用料及び賃借料	26,513	コピー機・印刷機借上料、テレビ受信料、借地料				
14	工事請負費	849	本庁舎サイン変更工事、敷地西側植栽				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—	コード	010305300	予算書ページ	66
		課・係等	財産管理課 庁舎管理係		

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102080	公用車管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	36,627	0	0	0	600	36,027
前年度	40,454	0	0	0	600	39,854
増減額	△ 3,827	0	0	0	0	△ 3,827

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	公有自動車損害共済金	600							

【目的・効果】
【目的】
 ・共有車両の維持管理を行う。20年経過の車両または走行距離15万キロ以上の車両は修繕費等の費用が嵩むことから順次更新等を行う。
 ・共有車両を一元管理することにより、効率的な利用と運用を図る。
【効果】
 ・共有車両の一元化により効率的な利用と配車により維持管理経費の節減ができる。
 ・老朽車両の維持管理経費の節減。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・共有車両(40台及びバス5台)の一元管理及び総務部(危機管理課を除く)、政策部、財政部(収納課、税務課を除く)、議会事務局車両の50台の維持管理費、燃料、車検、法定点検等を一元管理する。
 ・市の所有する全ての公用車(企業会計及び貸出車両は除く)の任意保険の加入を行い、事務手続き、事故処理について一元管理により行う。
 ・有料道路使用料(ETC)の一元管理を行う。但し、企業会計、国保・介護保険特別会計及び貸出車両の経費は除く。

【詳細事業内訳】
 公用車更新事業 5,975千円 公用車管理費 30,652千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
10	需用費	14,684	公用車タイヤ代、燃料費、車両修繕費				
11	役務費	10,184	車検・点検手数料				
13	使用料及び賃借料	8,604	高速道路等使用料				
17	備品購入費	2,334	小型乗用車				
18	負担金補助及び交付金	58	安全運転管理者協会負担金				
26	公課費	763	自動車重量税				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	68
--------	----

重点施策	—	コード	010305100
		課・係等	財産管理課 管財担当

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102083	AED維持管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,700	0	0	0	0	4,700
前年度	6,908	0	0	0	0	6,908
増減額	△ 2,208	0	0	0	0	△ 2,208

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・市が保有する施設のAED（自動体外式除細動器）の更新と付属品の交換等保守点検業務
- ・耐用年数を迎えた機器、バッテリー、パッドの更新
- ・消耗したバッテリー、パッドの補充

【効果】

- ・公共施設へのAED配備により緊急時の救命措置が行え多くの人の救護ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・AED本体 更新 10台、新規購入 1台
- ・バッテリー 更新 29個、予備 2個
- ・パッド 更新 37セット、予備 6セット
- ・収納ボックス 2個

【詳細事業内訳】

AED維持管理費 4,700千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
10	需用費	2,038	収納ボックス2個、バッテリー更新29個、予備2個、パッド更新37セット、予備6セット				
17	備品購入費	2,662	AED更新10台、新規購入1台				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	AED維持管理費	公共施設にAEDを配備し、緊急時に使用できるように消耗品等の交換を行い適切な維持管理をする。	10	需用費	2,038
				17	備品購入費	2,662
					計	4,700
2						
					計	0

予算書ページ	82
--------	----

重点施策	—	コード	010305100・010305200
		課・係等	財産管理課 管財担当・施設経営担当

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	05	財産管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102270	財産管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	71,863	0	0	25,300	1	46,562
前年度	76,457	0	0	28,200	1	48,256
増減額	△ 4,594	0	0	△ 2,900	0	△ 1,694

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	建物総合損害共済金	1							
22	施設除却事業	25,300								

【目的・効果】

財産管理課 管財担当

【目的】

- ・低未利用地及び低未利用施設を処分して維持管理費の低減を図るとともに、自主財源を確保する。
- ・公共施設再配置計画に基づき老朽化した押野集会施設を解体する。
- ・庁舎施設長寿命化計画を策定し、10カ年の施設改修・補修の具体的方針・計画を示す。

【効果】

- ・遊休資産の処分により、自主財源の確保と維持管理費の低減ができ、新たな宅地供給の促進と税の増収が見込める。
- ・公共施設再配置計画10年計画に沿った施設面積の圧縮が図れる。
- ・長寿命化計画策定により施設の長寿命化が図られコスト縮減が期待される。

財産管理課 施設経営担当

【目的】

- ・施設を所管する事業担当課とともに実施設計の段階からしゅん工、引渡しに及ぶ工事管理に一元的に携わり技術提供することで建築コストの適正な管理と施設経営の良好な運営を支援する。

【効果】

- ・長寿命化に憂慮した技術提案や設備機能の最適化により維持管理コストの低減が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

財産管理課 管財担当

- ・市有財産の管理と地方公会計移行による固定資産税台帳の整備を継続して行っていく。
- ・未利用となった教員住宅ほかの市有財産の不動産鑑定等を行い、一般競争入札により処分する。
- ・建物災害共済及び総合賠償保険の事務を行う。・押野集会施設を解体する。
- ・長寿命化計画策定予備調査の作業で10カ年の対応優先施設を絞り込み、改修・補修の計画立案を行う。

財産管理課 施設経営担当

- ・施設の建物用途や利用目的に応じた安全性、機能性の確保はもとよりライフサイクルコストの低減を図るとともに市民の皆様方が利用し易い公共建築を実現、維持していく。

【詳細事業内訳】

市有財産管理費 39,088千円 公共建築物のコスト・品質・施工管理 6,130千円 押野集会施設解体事業 26,645千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	報償費	600	設計士等謝礼	14	工事請負費	26,015	押野集会施設解体工事費
08	旅費	255	不動産登記事務研修、技術セミナー「公共建築工事積算」	18	負担金補助及び交付金	334	技術セミナー等研修会負担金
10	需用費	506	設計積算書籍及びテキスト代、事務用品外				
11	役務費	14,513	不動産鑑定料、市有物件災害共済、総合賠償補償				
12	委託料	29,497	固定資産台帳等データ異動更新業務、エネルギーサービスプロバイダー業務、庁舎施設長寿命化計画策定予備調査業務、アスベスト調査、設計監理委託等				
13	使用料及び賃借料	143	刊行物掲載情報利用料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	○	押野集会施設解体事業(管財担当)	公共施設再配置計画に基づき、老朽化した押野集会施設を解体する。	12	委託料	787
					14	工事請負費	25,858
						計	26,645
2	ソフト		市有財産管理費(管財担当)	低未利用地および低未利用施設を処分することにより、維持管理費の低減と自主財源の確保が図られ、新たな宅地供給の促進と税の増収が見込まれる。	12	委託料	24,025
					11	役務費	14,513
					10	需用費	169
						他	381
						計	39,088

予算書ページ	86
--------	----

重点施策	—	コード	010305100
		課・係等	財産管理課 管財担当

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	06	企画費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102340	土地開発基金費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	508	0	0	0	463	45
前年度	522	0	0	0	477	45
増減額	△ 14	0	0	0	△ 14	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	土地開発基金利子	463							

【目的・効果】

【目的】

・土地開発基金の財産の管理、運営を行い、最終的に土地開発基金の整理を行う。

【効果】

・土地開発基金運営により、市事業の円滑な展開が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・土地開発基金で先行取得した土地の整理を行う。

【詳細事業内訳】

土地開発基金費 508千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
18	負担金補助及び交付金	44	中信平左岸土地改良区賦課金				
27	繰出金	464	基金運用益				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	土地開発基金費	土地開発基金で先行取得した土地について市による買戻し手続きを行い、資産の健全運用を図る。	27	繰出金	464
				18	負担金補助及び交付金	44
					計	508
2					計	0

重点施策	(4)	コード	010306100	
		課・係等	総合体育館建設推進課 総合体育館建設推進係	

予算書ページ	264
--------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	04	都市計画費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	03	公園事業費		基本施策	スポーツ活動の充実
	事業	0102275	新総合体育館建設事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
1,413,770	723,563	690,207	705,000	0	669,800	30,000
			348,000	0	339,600	0
			357,000	0	330,200	30,000
						△ 26,993

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
19	公式スポーツ施設整備基金繰入金	30,000								
22	体育施設整備事業	669,800								

【目的・効果】
【目的】
 ・健康志向の高まりなどに伴い、スポーツ活動に対する市民の関心とニーズが一段と高まる中、市民が自主的・主体的にスポーツ活動を展開するための仕組みを構築し、スポーツを通じたコミュニティづくりと心身の健康増進及び競技力の向上を図るための環境づくりを目的とする。
 ・豊科南部総合公園を大規模災害発生時の対策活動拠点として整備し、市内東部エリアの防災機能の強化を図るため。
【効果】
 ・スポーツに親しむことで、体力の向上、ストレス解消、生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の維持、増進に大きな効果を得ることができる。
 ・老朽化する「豊科南社会体育館」と「豊科武道館剣道場」の代替施設となることから、公共施設再配置計画の推進が図られる。
 ・災害時に避難所及び救援物資集積所となる体育館を整備することで、災害時の地域防災拠点としての機能の向上が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 新総合体育館整備基本計画に基づき、豊科南部総合公園に整備を予定している新総合体育館の建設促進を図る。

○安曇野市新総合体育館
 ・所在地 安曇野市豊科高家(豊科南部総合公園南側拡張敷地内)
 ・敷地面積 約29,480㎡ ・建築面積 約5,640㎡ ・屋内延べ面積 約7,300㎡ ・鉄骨造2階建て ・建物高さ 約18.2m
 ・メインアリーナ(アリーナ:約1,856㎡、有効高さ:約12.5m、収容人員:約2,000人、観客席数:1,004席
 ・サブアリーナ(アリーナ:約687㎡、有効高さ:9.9m) ・トレーニング室兼多目的室:約317㎡ ・柔剣道場:約385㎡ ・会議室:約250㎡
 ・駐車場 普通自動車:507台(常設駐車場:148台(うち身障者用7台) 臨時駐車場:359台)、大型バス:15台
 ・広場 ふらっとひろば、多目的ひろば、ウォームアップひろば、スケートボードひろば

【詳細事業内訳】
 新総合体育館建設事業 1,413,770千円

【一般財源増加理由】 新総合体育館建設工事の進捗を図るため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	報償費	4	先進地視察土産				
08	旅費	12	工場検査旅費日当				
10	需用費	253	建設用地管理及び事務消耗品、設計図書等印刷				
11	役務費	484	中間検査手数料、現場見学会傷害保険				
12	委託料	14,908	工事監理業務委託				
14	工事請負費	1,398,023	新総合体育館建設工事				
17	備品購入費	86	事業データ保存用外付HDD				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	新総合体育館建設事業	スポーツ振興の新たな拠点であり、災害時には避難所及び救援物資集積場所として機能する体育館となります。また、信州安曇野ハーフマラソンスタートの地でもあることから、安曇野市に来訪される方々との交流拠点にもなります。	14	工事請負費	1,398,023
				12	委託料	14,908
				11	役務費	484
				10	需用費外	355
					計	1,413,770
2					計	0

市民生活部

予算書ページ	68
--------	----

重点施策	—	コード	10401300
		課・係等	地域づくり課 豊科地域係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102095	豊科地域事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,242	0	0	0	0	4,242
前年度	4,408	0	0	0	0	4,408
増減額	△ 166	0	0	0	0	△ 166

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・豊科地域各区の支援及び団体等との協働により、地域課題を地域自らが解決できる仕組みの構築と、地域の活性化を図る。

【効果】

・市民一人ひとりが、いきいきと心豊かにくらすことができる地域社会の実現が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・豊科地域区長会等を通じて、各区が抱える地域課題を共有し、解決に向けた取り組みを支援する。
 ・あづみ野祭り実行委員会に補助金を交付するとともに実行委員の運営を支援する。

【詳細事業内訳】

豊科地域管理事業 187千円 豊科地域づくり事業 4,055千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	報償費	322	豊科地域区長会出席謝礼				
08	旅費	6	豊科地域区長会視察研修帯同				
10	需用費	195	事務用品、区長会区長賄				
12	委託料	219	文書仕分配達、区長会視察研修バス運転業務				
18	負担金補助及び交付金	3,500	あづみ野祭り補助金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—	コード	010401400
		課・係等	地域づくり課 市民相談室

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	総務管理費		基本方針	事件・事故を防ぐまち
	目	02	文書広報費		基本施策	消費者保護の推進
	事業	0102220	市民相談事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	904	0	0	0	0	904
前年度	896	0	0	0	0	896
増減額	8	0	0	0	0	8

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・各種法律の専門家による相談の機会を設け、多様化、複雑化する市民が抱える問題の解消を図る。
 ・総務大臣から委嘱された行政相談委員の活動へ協力する。
【効果】
 ・専門的な相談の機会を設けることにより、市民が抱える問題の解決や悩み解消が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・弁護士派遣業務委託契約による無料法律相談会の定期開催
 ・司法書士会、行政書士会、調停委員等による相談会の定期開催
 ・心配ごと相談事業と連携した行政相談委員による相談会の開催

【詳細事業内訳】
 市民相談事業 904千円

【一般財源増加理由】 消費税率改定に伴う増加

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
12	委託料	872	法律相談担当弁護士派遣業務委託				
13	使用料及び賃借料	2	会議等駐車場料金				
18	負担金補助及び交付金	30	長野行政相談委員協議会負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—	コード	010401100	予算書ページ	88
		課・係等	地域づくり課 まちづくり推進係		

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	06	企画費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102350	協働のまちづくり推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,930	0	0	0	2,555	4,375
前年度	9,531	0	0	0	3,907	5,624
増減額	△ 2,601	0	0	0	△ 1,352	△ 1,249

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	ふるさとづくり基金利子	3							
19	ふるさとづくり基金繰入金	252								
19	地域振興基金繰入金	2,300								

【目的・効果】

【目的】

市民、市民活動団体をはじめとするあらゆる主体が、目的や課題を共有し、それぞれの特性を活かし、主体的・自発的に役割を担い合い、対等な立場で連携することにより、「みんなが主役ではじまる協働のまちづくり」を推進する。

【効果】

「協働」を通して、全市の一体感が醸成できる。
一人ひとりが行動することで、いきいきと心豊かに暮らすことができる地域社会の実現が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

令和元年度から5年間で計画期間とする「第2次安曇野市協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画」に基づき、「みんなが主役ではじまる協働のまちづくり」を推進する。

- ・ 市民活動サポートセンターの機能の充実と事業の拡充
- ・ 協働のまちづくりフォーラム等の開催
- ・ 市民協働事業提案事業の実施
- ・ 光城山1000人SAKURAプロジェクト、アルプス花街道事業の実施
- ・ つながりひろがる地域づくり事業補助金の交付

【詳細事業内訳】

協働のまちづくり推進事業 6,930千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	報償費	597	協働のまちづくり策定評価委員出席謝礼、SAKURAプロジェクト講師謝礼等				
10	需用費	246	SAKURAプロジェクト消耗品、事務用品				
11	役務費	110	傷害保険料、手話通訳				
12	委託料	3,600	アルプス花街道事業委託料、SAKURAプロジェクト管理委託料				
15	原材料費	33	SAKURAプロジェクト苗木				
18	負担金補助及び交付金	2,340	つながりひろがる地域づくり事業補助金				
24	積立金	4	ふるさとづくり事業基金利子				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	協働のまちづくり推進事業	「安曇野市協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画」に基づき、諸事業を実施する。 豊かな地域と幸せな市民生活の実現が図れる。	12	委託料	3,600
				18	負担金補助及び交付金	2,340
				7	報償費	597
					需用費、役務費ほか	393
					計	6,930
2					計	0

重点施策	—		コード	010401100		予算書ページ	88
			課・係等	地域づくり課 まちづくり推進係			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて	
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針	
	目	06	企画費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進	
	事業	0102355	区等地域力向上事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	120,526	0	0	0	113,001	7,525
前年度	108,718	0	0	0	99,343	9,375
増減額	11,808	0	0	0	13,658	△ 1,850

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	その他証明手数料		1						
19	地域振興基金繰入金		97,000							
21	コミュニティ助成事業助成金(一般・地域防災)		16,000							

【目的・効果】
【目的】
 各区等の地域力向上の支援をし、地域課題を自ら解決できる仕組みを構築する。
【効果】
 豊かな地域と幸せな市民生活の実現が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・区等交付金、コミュニティ助成事業補助金などの交付
 ・区における部制度構築支援
 ・「区マニュアル」「コミュニティ・マニュアル」等の普及啓発
 ・まちづくり推進会議等を通じた地域課題の共有と解決に向けた取り組み

【詳細事業内訳】
 区等地域力向上事業 120,526千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	2,568	地域おこし協力隊賃金				
03	職員手当等	535	地域おこし協力隊諸手当				
07	報償費	970	まちづくり推進会議、区長会理事出席謝礼				
08	旅費	122	区長会視察研修、地域おこし協力隊費用弁償				
10	需用費	95	事務用品、区長会理事賄				
12	委託料	69	区長会視察研修バス運転業務				
18	負担金補助及び交付金	116,167	コミュニティ助成事業、区等交付金、地区集会施設建設補助金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	まちづくり推進会議の運営	地域課題の解決に向けて検討を行う「まちづくり推進会議(推進委員会・ワーキンググループ)」を運営する。地域課題の解決並びに協働の推進が図れる。	07	報償費	445
					計	445
2	ソフト	区等交付金の交付	地域力の向上並びに主体的な区民で構成される支え合い助け合う区の仕組みが構築できる。	18	負担金補助及び交付金	97,950
					計	97,950

重点施策	—		コード	010401200		予算書ページ	92
			課・係等	地域づくり課 生活安全係			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち	
	項	01	総務管理費		基本方針	事件・事故を防ぐまち	
	目	08	交通安全対策費		基本施策	防犯・交通安全の推進	
	事業	0102390	交通安全対策費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	13,377	0	107	0	0	13,270
前年度	14,427	0	153	0	0	14,274
増減額	△ 1,050	0	△ 46	0	0	△ 1,004

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	元気づくり支援金	107							

【目的・効果】
【目的】
 ・交通安全対策を推進し、ライフステージに応じた段階的かつ体系的な交通安全教育、啓発等を通じて、交通安全思想の普及徹底を図る。
【効果】
 ・市民の交通安全意識が向上することにより、交通事故の総量抑制を図り、交通事故のない安全な地域社会の実現を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・子どもから高齢者までライフステージに応じた交通安全教室の開催
 ・関係機関・団体、区等と連携した高齢者宅家庭訪問、街頭啓発等の実施
 ・運転免許証の自主返納に対する支援(デマンド交通割引回数券の交付)

【詳細事業内訳】
 交通安全対策推進事業 13,377千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	報償費	809	交通安全推進協議会委員出席謝礼、安曇野市交通指導員活動謝礼	18	負担金補助及び交付金	4,426	安曇野交通安全協会負担金
08	旅費	90	交通安全教育指導者研修会旅費	26	公課費	7	公用車自動車重量税
10	需用費	1,731	交通安全啓発物品等				
11	役務費	91	公用車車検・点検外、交通指導員活動保険				
12	委託料	3,116	高齢者交通安全教室運転業務委託、各種交通安全教室業務委託料				
13	使用料及び賃借料	3,030	高齢者交通安全教室会場使用料、デマンド交通割引回数券購入				
17	備品購入費	77	交通安全教育視聴覚教材				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—	コード	010401200
		課・係等	地域づくり課 生活安全係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	総務管理費		基本方針	事件・事故を防ぐまち
	目	09	防犯対策費		基本施策	防犯・交通安全の推進
	事業	0102400	防犯対策費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	26,954	0	0	0	200	26,754
前年度	28,597	0	0	0	200	28,397
増減額	△ 1,643	0	0	0	0	△ 1,643

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	地区防犯灯新設分担金	200							

【目的・効果】
【目的】
 ・生活道路における防犯灯を計画的に整備することで、夜間における犯罪や交通事故が起きにくい環境を確立する。
 ・関係機関・団体、区等との連携を強化した防犯運動及び啓発活動を実施し、地域社会における犯罪に対する抵抗力の向上、防犯意識の高揚を図る。
【効果】
 ・地域社会における自主防犯の意識を高めることにより、犯罪のない安全で安心な社会の実現を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・地区要望に応じた防犯灯の新設及び故障した防犯灯の修繕
 ・木柱等の劣化、老朽化した独立柱防犯灯の建替及び移設
 ・安曇野防犯協会連合会をはじめとする関係機関・団体、区等と連携した防犯啓発活動の実施
 ・高齢者を対象とした特殊詐欺、悪質商法等の被害防止のための特殊詐欺等被害防止対策機器設置補助

【詳細事業内訳】
 防犯対策推進事業 2,829千円 防犯灯管理運営費 24,125千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
10	需用費	18,059	防犯灯施設修繕、防犯灯電気料								
11	役務費	462	防犯灯移設								
14	工事請負費	5,742	防犯灯新設・増設、老朽化独立柱の更新工事								
18	負担金補助及び交付金	2,691	安曇野防犯協会連合会負担金、特殊詐欺等被害防止対策機器設置補助								

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	244
--------	-----

重点施策	—	コード	010401400
		課・係等	地域づくり課 市民相談室

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	商工費		基本方針	事件・事故を防ぐまち
	目	04	消費者行政対策費		基本施策	消費者保護の推進
	事業	0107180	消費者行政対策費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,392	0	0	0	0	7,392
前年度	5,766	0	0	0	0	5,766
増減額	1,626	0	0	0	0	1,626

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・資格を有する消費生活相談員の雇用により相談体制を充実させ、市民が相談をしやすい環境を確保する。
- ・悪質、巧妙化する消費者問題に対する適切な対応及び改正の頻度が高い関係法令に関する知識の習熟のため、各種研修会に参加し知識の向上を図る。
- ・悪質商法等の被害防止のための出前講座、啓発活動等を通じて消費者教育を実施することにより、消費者被害を防止し、消費者の安全・安心を確保する。

【効果】

- ・消費者問題に関して相談のしやすい体制を確立することにより、消費者被害の防止及び被害の回復・救済を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・消費生活センターにおける消費生活相談員による相談対応
- ・消費者問題に関する出前講座の開催
- ・高齢者宅家庭訪問による消費者トラブルの注意喚起
- ・中学生や新成人への消費者トラブル防止の啓発活動

【詳細事業内訳】

消費者行政対策事業 7,392千円

【一般財源増加理由】 消費生活相談員の増員に伴う報酬等の増加

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	5,268	消費生活相談員報酬				
03	職員手当等	1,142	消費生活相談員期末手当				
08	旅費	142	研修会旅費、消費生活相談員通勤費				
10	需用費	813	消費生活啓発物品、参考図書等				
13	使用料及び賃借料	3	会議等駐車料金				
18	負担金補助及び交付金	24	研修受講料、安曇野市消費者の会補助				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	108
--------	-----

重点施策	—	コード	010402100
		課・係等	市民課 市民担当

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	03	戸籍住民基本台帳費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	戸籍住民基本台帳費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0102490	戸籍住民基本台帳管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	207,410	19,927	88	0	43,324	144,071
前年度	187,164	9,336	94	0	44,000	133,734
増減額	20,246	10,591	△ 6	0	△ 676	10,337

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	戸籍住民基本台帳手数料	43,324	15	中長期在留者住居地届出等事務委託金	400				
15	個人番号カード交付事業費補助金	7,000	16	人口動態調査委託金	88					
15	個人番号カード交付事務費補助金	6,103								
15	戸籍法改正に伴うシステム改修整備費補助金	6,424								

【目的・効果】

【目的】

行政事務の基礎となる戸籍及び住民基本台帳の整備と管理を行う。

【効果】

住民に関する基礎資料を正確かつ統一的に整備することで行政事務の効率化を図るとともに、窓口来訪者の待ち時間削減等利便性を向上させ、良好な市民サービスを提供する。また、法律改正にも適切かつ迅速に対応できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【事業概要】

国におけるマイナンバーカードを活用した消費活性化策及びマイナンバーカードの健康保険証利用開始に向けて、個人番号カードの普及促進を積極的に行い、住民の利便性を図る。
戸籍総合システム、証明書コンビニ交付システム等のシステム保守を行い、常に正常な状態でシステムを維持することで、良好な市民サービスを提供する。
証明書の申請、交付に係る窓口での市民負担の軽減を図るため、ICT機器の導入についての検討を引き続き進めるとともに、窓口対応にあたっては心づかいや配慮を大切にする。
戸籍システム機器更改に伴いデータベースソフトの価格改定による調達価格の増額及び印鑑登録証明書への旧姓併記対応に係るシステム改修による増額により、当年度の一般財源額が前年度を上回った。

【詳細事業内訳】

市民総務費 185,484千円、戸籍総合システム管理業務 13,116千円、証明書コンビニ交付事業 8,810千円

【一般財源増加理由】		戸籍システム機器更改に伴いデータベースソフトの価格改定による調達価格の増額及び印鑑登録証明書への旧姓併記対応に係るシステム改修による増額。									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	7,011	戸籍住民基本台帳事務・個人番号カード交付事務			12	委託料	17,222	戸籍総合システム・ブックレス、証明書コンビニ交付システム等保守業務委託料、法改正に伴うシステム改修業務委託料		
02	給料	89,780				13	使用料及び賃借料	9,153	戸籍総合システム・ブックレス機器等借上料、戸籍総合システム・ブックレスソフトウェア使用料		
03	職員手当等	42,305				18	負担金補助及び交付金	10,465	個人番号カード等関連委任事務交付金		
04	共済費	27,388									
08	旅費	296	法律改正等に係る研修会参加旅費、コンビニ交付システム改修に伴う試験旅費								
10	需用費	2,892	戸籍住民基本台帳関係図書費、印鑑登録証カード購入費等								
11	役務費	898	個人番号カード交付通知書類郵送料								

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	証明書コンビニ交付事業	個人番号カードを利用して証明書をコンビニで交付することで、窓口の混雑緩和及び市民の利便性向上を図る。	08	旅費	30
				11	役務費	8
				12	委託料	6,044
				18	負担金補助及び交付金	2,728
					計	8,810
2						
					計	0

重点施策	(2)	コード	010403200
		課・係等	環境課 環境保全担当

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にすまち
	項	01	総務管理費		基本方針	環境を守るまち
	目	06	企画費		基本施策	水環境の保全・強化・活用
	事業	0102360	水資源対策費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	13,050	0	0	0	0	13,050
前年度	7,487	0	0	0	0	7,487
増減額	5,563	0	0	0	0	5,563

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・地下水の保全、涵養及び適正利用を図る。

【効果】

・地下水収支のバランスを改善し、健全な水循環(水量・水質)を創出し、地下水資源の活用により豊かな安曇野を創成する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・地下水水位観測調査を実施する。(地下水水位観測調査12箇所、湧水量調査2箇所)
- ・平成28年度に策定された「水環境基本計画(マスタープラン)」「水環境行動計画(アクションプラン)」に基づき、各取り組みを計画的に進める。
- ・実効性のある有効な地下水涵養施策や涵養経費の負担方法などについて、水資源対策協議会及び同協議会資金調達専門部会で検討していくとともに、令和4年度資金調達開始に向けた資金調達ルールを決定していく。
- ・雨水貯留施設設置者に対して補助金を交付する。

【詳細事業内訳】

水資源対策事業 13,050千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	1,681	地下水採取審査委員会の委員報酬・会計年度任用職員の報酬				
03	職員手当等	307	会計年度任用職員の手当				
07	報償費	4	先進自治体視察時の土産等				
08	旅費	289	関係省庁事務打ち合わせ、先進地視察、全国名水サミット(愛媛県西条市)、会計年度任用職員の通勤費				
12	委託料	9,141	地下水水位等観測業務委託				
13	使用料及び賃借料	10	堀金地下水水位観測井借地料				
18	負担金補助及び交付金	1,618	水資源対策協議会負担金、雨水貯留施設設置補助金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	水資源対策事業	資金調達運営支援業務(令和4年度から、「資金調達」を開始するにあたり、令和2年度から令和3年度にかけて、資金調達ルールの確立(運用、管理体制など)を検討・決定させるため運営支援)の業務委託。	12	委託料	9,141
				01	報酬	1,681
				18	負担金補助及び交付金	1,618
					その他	610
					計	13,050
2					計	0

予算書ページ	176
--------	-----

重点施策	—	コード	010403200
		課・係等	環境課 環境保全担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	04	霊園管理費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0104140	霊園管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	91,693	0	0	0	91,691	2
前年度	26,427	0	0	0	26,426	1
増減額	65,266	0	0	0	65,265	1

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	霊園管理料	10,427	17	霊園基金利子	306				
13	霊園管理料滞納繰越分	24	19	霊園基金繰入金	69,443					
14	霊園使用料	11,485								
14	霊園事務手数料	6								

【目的・効果】

【目的】

・市内10箇所の市営霊園及び合葬式墳墓の定期的な施設管理と必要な施設整備を行う。

【効果】

・霊園施設及び合葬式墳墓の適切な維持管理が図られることで、利用者の利便性が向上するとともに周辺環境の保全に寄与する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・市営霊園(市内10ヶ所、3,786区画)及び合葬式墳墓の維持管理を実施する。
- ・合葬式墳墓の申し込みの受付と埋蔵等の手続きを行う。
- ・穂高墓地公園擁壁石積壁改修工事を実施する。

【詳細事業内訳】

穂高墓地公園擁壁石積壁改修事業 68,420千円 霊園管理費 23,273千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
10	需用費	2,634	清掃用具・除草剤等の消耗品、施設修繕、光熱水費	24	積立金	9,405	霊園基金積立金及び利子
11	役務費	222	市営霊園トイレの汲み取り、浄化槽法定点検手数料				
12	委託料	11,474	市営霊園墓地施設管理委託外、穂高墓地公園擁壁石積壁改修工事監理委託				
13	使用料及び賃借料	308	墓地管理システム使用料				
14	工事請負費	66,539	穂高墓地公園擁壁石積壁改修工事				
15	原材料費	11	市営霊園の植木代				
22	償還金、利子及び割引料	1,100	霊園聖地の使用料還付金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—	コード	010403100
		課・係等	環境課 環境政策係

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にすまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	自然と共存・共生すまち
	目	05	環境衛生費		基本施策	自然環境の保全
	事業	0104150	環境基本計画推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	21,604	0	0	0	259	21,345
前年度	29,767	0	0	0	208	29,559
増減額	△ 8,163	0	0	0	51	△ 8,214

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	19	ちくりに生きものみらい基金繰入金	249							
21	その他刊行物頒布代	10								

【目的・効果】
【目的】
 第2次環境基本計画の施策の展開により、豊かで美しい自然環境を守り、快適な生活環境を次代につなぐ。
【効果】
 市民一人ひとりが、安曇野に住むことに誇りを持ち、安曇野らしい景観や環境を守ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・環境審議会の運営
 ・環境基本計画の施策の推進
 ・環境フェアの開催
 ・自然観察会の開催
 ・特定外来生物駆除研修会の実施
 ・省エネのための緑のカーテンの普及啓発等
 ・エコアクション21の運営
 ・太陽光発電システム設置補助による新エネルギー活用の推進

【詳細事業内訳】
 環境基本計画推進事業 5,271千円 地球温暖化対策事業 16,333千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	350	環境審議会委員報酬			18	負担金補助及び交付金	15,023	住宅用太陽光発電システム設置補助金		
07	報償費	1,758	環境フェア謝礼、環境教育プログラム他講師謝礼、アレチウリ駆除謝礼、地球温暖化対策啓発								
08	旅費	156	自然保護有識者、エコアクション21審査人費用弁償								
10	需用費	443	環境フェア、特定外来生物駆除啓発、緑のカーテン								
11	役務費	847	エコアクション21審査手数料、環境フェア保険料								
12	委託料	2,979	環境フェア運営他、自然観察会運営サポート、エコアクション21支援業務								
13	使用料及び賃借料	48	環境フェア展示物運搬車両								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

予算書ページ	180
--------	-----

重点施策	—	コード	010403200
		課・係等	環境課 環境保全担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	05	環境衛生費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0104160	環境衛生総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	201,065	0	0	0	3,989	197,076
前年度	200,654	0	0	0	4,486	196,168
増減額	411	0	0	0	△ 497	908

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	霊園管理料	14							
14	狂犬病予防注射済票交付手数料	2,851								
14	犬の登録手数料	1,124								

【目的・効果】
【目的】
 ・安曇野の自然環境、田園環境を活かした快適な生活環境を維持するため、市民の生活に身近な環境施策を実施する。
【効果】
 ・身近な生活環境の整備や保全により、安曇野らしい、快適な田園産業都市生活の発展と健全維持を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・公衆浴場経営安定化事業の補助金を交付する。
 ・広域豊科葬祭センターを利用した市民の火葬料無料化と、管外施設を利用した市民への扶助を行う。
 ・安曇野松筑広域環境施設組合 広域豊科葬祭センター施設運営費等の負担をする。
 ・犬の登録と狂犬病予防注射を実施し、犬鑑札及び注射済票を交付する。
 ・地域猫の不妊・去勢手術費用に対して補助金を交付する。
 ・豊科駅前・新田公衆便所の管理を行う。

【詳細事業内訳】
 環境衛生総務費 187,109千円 公衆便所管理事業 1,699千円 公衆浴場経営安定化助成事業 1,800千円 狂犬病予防・動物愛護事業 2,582千円
 火葬料負担事業 7,875千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	115	会計年度任用職員の報酬(狂犬病予防注射)	11	役務費	151	公用車、動力噴霧器等の点検手数料、保護犬治療代外
02	給料	78,537	職員給料	12	委託料	3,165	犬の登録管理狂犬病予防委託、休日等保護犬搬送業務委託、公衆便所清掃委託
03	職員手当等	40,248	職員手当	18	負担金補助及び交付金	52,305	公衆浴場経営安定化助成金、火葬料負担金、安曇野松筑広域環境施設組合負担金、猫不妊・去勢手術費用補助
04	共済費	25,145	職員共済費	19	扶助費	140	火葬料
07	報償費	3	動物慰霊祭供物				
08	旅費	5	会計年度任用職員の通勤費(狂犬病予防注射)				
10	需用費	1,251	アメシロ防除薬剤等、狂犬病予防注射済票・犬鑑札、公衆便所の光熱水費外				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	180
--------	-----

重点施策	—	コード	010403200
		課・係等	環境課 環境保全担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にするまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	環境を守るまち
	目	05	環境衛生費		基本施策	水環境の保全・強化・活用
	事業	0104170	合併浄化槽補助事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,684	3,390	3,079	0	0	8,215
前年度	18,016	4,050	3,746	0	0	10,220
増減額	△ 3,332	△ 660	△ 667	0	0	△ 2,005

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
16	浄化槽設置整備補助金(県)	3,079								

【目的・効果】
【目的】
 ・下水道整備区域外の水洗化を図るため、合併処理浄化槽の設置を推進し、市民の生活環境の向上を目指す。
【効果】
 ・市民の生活環境の向上及び公共用水域の水質改善に繋げる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・下水道整備区域外に建築される専用住宅に対し、合併浄化槽を設置する際、設置者に補助金を交付する。

【詳細事業内訳】
 合併浄化槽補助事業 14,684千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
18	負担金補助及び交付金	14,684	浄化槽設置整備補助金								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

予算書ページ	182
--------	-----

重点施策	—	コード	010403200
		課・係等	環境課 環境保全担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にすまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	自然と共存・共生すまち
	目	06	公害対策費		基本施策	快適な生活環境の創造
	事業	0104180	公害対策費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,849	0	0	0	0	9,849
前年度	12,663	0	0	0	0	12,663
増減額	△ 2,814	0	0	0	0	△ 2,814

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・水質、大気、騒音等に係る環境調査により、市民の健康を保護するうえで維持されることが望ましい環境基準を達成する。

【効果】

・各種検査、測定を実施することで公害監視体制の強化を図り、公害のない健康で快適な市民生活の保持を目指す。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・自動車騒音等の各種環境調査定期測定を実施する。
ダイオキシン類大気検査5箇所、大気中窒素酸化物3箇所、道路騒音調査8箇所、河川水質検査1回/26箇所、地下水水質検査2回/28箇所、硝酸態窒素水質調査2回/3箇所、トリクロロエチレン水質検査6箇所、自動車騒音常時監視及び面的評価3路線。
- ・公害発生の早期発見と発生状況を監視するため、公害監視員による市内の巡回を行う。
- ・悪臭防止法に基づく臭気指数規制に係る臭気指数調査を行う。
三郷地域畜産臭気測定3回/8箇所、苦情に係る臭気指数調査の実施。

【詳細事業内訳】

公害対策費 6,177千円 臭気対策費 3,672千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	報償費	341	臭気モニター及び公害監視員謝礼				
08	旅費	19	公害対策研修会への職員旅費				
10	需用費	160	公害対応作業に伴う消耗品				
11	役務費	545	公害測定機保守点検及び公害監視員傷害保険料				
12	委託料	8,784	環境調査定期測定等の委託料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	182
--------	-----

重点施策	(5)	コード	010403200 (010403300)
		課・係等	環境課 環境保全担当 (空家対策室)

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	05	環境衛生費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0104185	空家対策等事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	11,861	0	0	0	0	11,861
前年度	1,273	0	0	0	0	1,273
増減額	10,588	0	0	0	0	10,588

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・空家等の予防・適正な管理を推進し、住環境の悪化を抑止する。
- ・空き家バンク等へ情報提供を行い、空家の利活用の推進を行う。

【効果】

- ・空家対策に取り組むことで、空家等の発生数を減少させることができる。
- ・空家所有者へ補助金を交付することで住宅ストック流通の活性化が促進される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・空家等対策協議会を開催し、特定空家の認定等の協議を行う。
- ・空家の適正管理を促し、また有効活用を図るため、空家相談会、講演会を開催する。
- ・市内の空家に対して、適切な対応と対策を図るため、空家実態調査に基づく空家管理台帳の整備、活用を図る。
- ・空き家バンク等を活用し、空家の利活用を推進する。
- ・空家対策補助金制度を新設し、空家所有者に対する支援を行う。

【詳細事業内訳】

空家対策等事業 11,861千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	報償費	292	予防啓発講演会講師、空家等対策協議会委員への謝礼				
08	旅費	19	新規制度説明会旅費				
10	需用費	33	消耗品等				
11	役務費	28	ハチの巣駆除費(緊急時)				
12	委託料	913	空家データベースシステム更新業務委託、司法書士相談・調査委託				
13	使用料及び賃借料	76	空家地図のコピーライセンス料				
18	負担金補助及び交付金	10,500	空家対策補助金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○	空家対策等事業	空家の適正管理、利活用を推進するため、建築士・司法書士による相談会及び予防啓発講演会等の開催。空家対策補助金制度(片付け清掃補助、貸家リフォーム補助、空家解体補助)を新設し、空家整備と利活用促進を図っていく。	18	負担金補助及び交付金	10,500
					12	委託料	913
					07	報償費	292
						その他	156
						計	11,861
2					計	0	

予算書ページ	186
--------	-----

重点施策	—	コード	010404100
		課・係等	廃棄物対策課 廃棄物対策担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にすまち
	項	02	清掃費		基本方針	自然と共存・共生すまち
	目	01	清掃総務費		基本施策	快適な生活環境の創造
	事業	0104210	清掃費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,535,599	0	0	2,391,900	97,688	1,046,011
前年度	2,321,921	0	0	1,300,700	105,788	915,433
増減額	1,213,678	0	0	1,091,200	△ 8,100	130,578

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	一般廃棄物許可申請等手数料	340	22	旧合併特例事業債(新ごみ処理施設建設事業)	2,391,900				
14	可燃ごみ処理手数料	90,840								
14	動物死骸処理手数料	2,125								
21	資源売却代	4,383								

【目的・効果】

【目的】

・市民から排出されるごみ・資源物の適正な収集及び処理を行う。また、不法に投棄される廃棄物の早期回収・処理を行い、市民の清潔で快適な生活環境を確保する。

【効果】

・ごみ・資源物、不法投棄ごみなど、適正な処理を行うことにより清潔で快適な生活環境を確保することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・不法投棄防止及び早期撤去を行う。
- ・可燃ごみ証紙の管理事務を行う。
- ・可燃ごみ、不燃ごみ、資源物の収集運搬業務を委託する。
- ・粗大ごみ等の収集・運搬・処理業務を委託する。
- ・市内一斉清掃を実施する。
- ・穂高広域施設組合の運営並びに新ごみ処理施設の整備費用について応分の負担をする。
- ・地域ごとに環境部長会議を開催し、必要な研修機会を設けることで地域活動を支援する。
- ・指定集積場所への施設設置費用及び施設改修費用の補助を行う。

【詳細事業内訳】

穂高広域施設組合新ごみ処理施設建設事業 2,816,552千円 廃棄物収集運搬事業 358,408千円 穂高広域施設組合事業 335,450千円 乳幼児の紙おむつ処理手数料減免事業 737千円 廃棄物対策総務費 10,287千円 不法投棄対策事業 6,231千円 可燃ごみ有料化事業 7,934千円

【一般財源増加理由】 穂高広域施設組合新ごみ処理施設整備費負担金

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	3,358	パートタイム会計年度任用職員報酬	15	原材料費	145	旧穂高処分地整備
03	職員手当等	728	パートタイム会計年度任用職員諸手当	17	備品購入費	1,725	軽トラックダンプ
07	報償費	2,867	不法投棄監視連絡員出席謝礼	18	負担金補助及び交付金	3,153,752	指定集積場所施設整備補助金、穂高広域施設組合負担金、新ごみ処理施設整備費負担金
08	旅費	303	東京高裁裁判、不用食器運搬	26	公課費	54	公用車重量税
10	需用費	2,797	不法投棄防止看板、出荷管理票印刷、直営管理集積場所修繕、公用車燃料費、減免用交付袋				
11	役務費	8,265	公用車車検手数料、可燃ごみ証紙売り捌き手数料				
12	委託料	361,605	直営集積場所管理、不法投棄等粗大ごみ処理、収集運搬・中間処理、犬猫死体回収、動物死骸処理				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	廃棄物収集運搬事業	①市民が指定集積場所に排出する可燃ごみ・不燃ごみを収集し、穂高クリーンセンター等へ搬入する業務を業者へ委託する。 ②市民が分別排出した資源物の収集運搬・保管・中間処理を業者へ委託し、資源物のリサイクルをする。なお、資源物の売却収入の一部を財源として充当する。	12	委託料	358,408
					計	358,408
2	ソフト	穂高広域施設組合新ごみ処理施設建設事業	穂高広域施設組合が進める、令和3年3月共用開始の新ごみ処理施設建設に伴う費用負担に関する事務手続きを行う。	18	負担金補助及び交付金	2,816,552
					計	2,816,552

予算書ページ	188
--------	-----

重点施策	—	コード	010404100
		課・係等	廃棄物対策課 廃棄物対策担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にすまち
	項	02	清掃費		基本方針	環境を守るまち
	目	02	じんかい処理費		基本施策	環境負荷の軽減
	事業	0104220	ごみ減量化再利用対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	10,721	0	0	0	10,721	0
前年度	29,638	0	0	0	14,450	15,188
増減額	△ 18,917	0	0	0	△ 3,729	△ 15,188

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
21	再商品合理化拠出金配分金	1,550								

【目的・効果】
【目的】
 ・市民から排出されるごみの分別・資源化を進め、ごみの減量化と市民の住環境の向上を図る。
【効果】
 ・ごみの減量化による行政経費の軽減と資源化再利用により環境負荷が軽減される。
 ・市民活動を支援することにより、住民協働の進展とごみの減量化や生活環境の保全が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・ごみ減量化・資源化を図るため、適正な分別の啓発・指導の推進を行う。
 ・「ごみ・資源物収集カレンダー」を全戸に配布する。
 ・穂高広域施設組合新ごみ処理施設の供用開始後は、これまで処理困難物の可燃性粗大ごみの搬入が可能となることから、「家庭用 資源物・ごみ出し方の手引き」改訂版を作成し、全戸配布する。
 ・スマートフォン、タブレット向け「ごみ分別アプリケーション」の安曇野市版を配信することにより、更なるごみの分別・啓発を行う。
 ・市民から排出されるせん定枝をチップ化し市民に無償で提供する「緑のリサイクル事業」を委託する。
 ・食品ロス削減推進計画策定検討に向け、ごみの組成分析調査を委託により実施する。

【詳細事業内訳】
 ごみ減量化推進事業 10,721千円

【一般財源増加理由】		金額		主な内容	
節	節名称	金額	節	節名称	金額
10	需用費	2,283			
11	役務費	511			
12	委託料	6,008			
13	使用料及び賃借料	179			
18	負担金補助及び交付金	1,700			
26	公課費	40			

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	ごみ減量化推進事業	出し方の手引き・収集カレンダーの発行及びごみ分別アプリケーションサービスによる啓発を行い、市民より排出される廃棄物の分別の徹底を図り、ごみの減量化・資源化を推進する。	12	委託料	6,008
				10	需用費	2,283
				18	負担金補助及び交付金	1,700
				11	役務費外	730
					計	10,721
2					計	0

重点施策	—	コード	010404100
		課・係等	廃棄物対策課 廃棄物対策担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にすまち
	項	02	清掃費		基本方針	環境を守るまち
	目	02	じんかい処理費		基本施策	環境負荷の軽減
	事業	0104230	最終処分場施設管理事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	17,299	0	0	0	0	17,299
前年度	14,628	0	0	0	0	14,628
増減額	2,671	0	0	0	0	2,671

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・一般廃棄物の自区内処理の原則により、三郷一般廃棄物最終処分場では市内から排出されるガラス・陶器・家庭焼却灰を、小岩岳不燃物処理場では市内から排出されるブロック・コンクリート・瓦・タイル・壁土等を埋立て処分するとともに、適切な維持管理を行う。
 ・埋立てが終了している旧豊科町最終処分場の監視及び、旧穂高町不燃物処理場の管理を行う。
【効果】
 ・廃棄物処理施設を適正に維持管理することにより、周辺環境の保全を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・三郷最終処分場の放流水等検査、小岩岳不燃物処理場等の地下水検査を行う。
 ・三郷最終処分場の測量を委託し、埋立残余量を把握する。
 ・小岩岳不燃物処理場では、一般廃棄物のブロック・コンクリート・瓦・タイル・壁土等を埋立処分する。

【詳細事業内訳】
 最終処分場施設管理事業 17,299千円

【一般財源増加理由】 電磁流量計検出器・電磁流量計変換機交換

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
10	需用費	5,870	施設修繕費、光熱水費				
11	役務費	59	電話料、し尿汲み取り料				
12	委託料	10,771	施設管理業務、周辺環境整備、埋立業務、受入れ業務、水質検査				
13	使用料及び賃借料	186	重機借上料、監視井戸借地料				
15	原材料費	413	覆土用土砂				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	最終処分場施設管理事業	三郷一般廃棄物最終処分場に搬入されたガラス・陶器・家庭焼却灰の埋立て処分業務を委託する。	12	委託料	10,771
				10	需用費	5,870
				15	原材料費	413
				13	使用料及び賃借料外	245
					計	17,299
2					計	0

予算書ページ	190
--------	-----

重点施策	—	コード	010404100
		課・係等	廃棄物対策課 廃棄物対策担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にすまち
	項	02	清掃費		基本方針	環境を守るまち
	目	02	じんかい処理費		基本施策	環境負荷の軽減
	事業	0104240	リサイクルセンター管理運営事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	13,770	0	0	0	3,904	9,866
前年度	12,032	0	0	0	6,487	5,545
増減額	1,738	0	0	0	△ 2,583	4,321

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	木くず受入処理手数料	2,112							
21	資源売却代	1,621								
21	リサイクルセンター再生品販売代	171								

【目的・効果】
【目的】
 ・市内3箇所(豊科・穂高・明科)のリサイクルセンターの管理・運営を行い、資源物回収の拠点として廃棄物の資源化の促進を図る。
【効果】
 ・多様化する市民のライフスタイルに対応するため、指定集積所での収集に加え、休日等に拠点施設での資源物の受け入れを行い、市民が分別排出する機会を増やすことにより、リサイクル事業の進展を図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・3施設に受入指導員を配置し、適正な分別方法の周知と管理運営を行う。
 ・3施設において事業所資源物(紙類)の受け入れを行う。
 ・緑のリサイクルでは受け入れできないせん定枝・丸太などの処理困難物を豊科リサイクルセンターにおいて有料で受け入れ、処理を業者に委託する。

【詳細事業内訳】
 リサイクルセンター施設管理事業 13,770千円

【一般財源増加理由】 穂高RCにて緑のリサイクルを実施するための人員増(シルバー人材センター)

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	報償費	1,155	受入れ指導員・リサイクル工房指導員謝礼				
10	需用費	1,184	自転車修理用部品外、灯油代、施設修繕費、光熱水費				
11	役務費	191	電話料、フォークリフト特定検査、豊科RCエアコン点検料、指導員保険料				
12	委託料	11,240	受入れ指導・清掃業務、木くず収集運搬・破碎処理				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	リサイクルセンター施設管理事業	ごみ減量化・資源化推進のため、利用者への適正な分別指導を行う。また、開場日の混雑時に整理等をし、円滑な施設運営を行う。	12	委託料	11,240
				10	需用費	1,184
				07	報償費	1,155
				11	役務費	191
					計	13,770
2						
					計	0

予算書ページ	190
--------	-----

重点施策	—	コード	010404100
		課・係等	廃棄物対策課 廃棄物対策担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にすまち
	項	02	清掃費		基本方針	自然と共存・共生すまち
	目	03	雑排水処理費		基本施策	快適な生活環境の創造
	事業	0104260	雑排水処理事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20,888	0	0	0	69	20,819
前年度	23,133	0	0	0	71	23,062
増減額	△ 2,245	0	0	0	△ 2	△ 2,243

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
21	雑排水配管敷設借地料	3								

【目的・効果】
【目的】
 ・家庭雑排水沈殿槽の清掃を奨励し、適正に処分することで生活排水による河川等の汚濁を防止する。
 ・市内全域から収集された生活雑排水を受け入れ、処理を行う。(汚水・汚泥は地下水で希釈後に下水道に放流)
 ・柏原団地の生活雑排水浄化施設の維持管理を行い、排水水質の浄化安定を図る。
【効果】
 ・定期的な清掃を実施し、汚水汚泥の適正な処理を行う。また、市内全域から収集された生活雑排水の適正な処理を行うことができる。
 ・柏原団地浄化施設の適正な管理を行うことで、放流先の農業用灌漑水に影響のない安定した水質の排水が確保できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・家庭雑排水沈殿槽の清掃と汚泥収集運搬業務を委託する。
 ・処理施設の管理運営を行う。
 ・定期的に浄化槽の清掃を行う。
 ・施設の計画的な修繕を行う。
 ・柏原浄化施設の槽・設備機器の維持管理を行う。

【詳細事業内訳】
 生活雑排水処理施設管理事業 20,888千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
10	需用費	4,739	管理用消耗品、灯油代、施設修繕費、光熱水費				
11	役務費	56	電話料				
12	委託料	15,994	沈砂槽・貯留槽清掃業務、施設管理作業、生活雑排水汚泥保管・運搬、生活雑排水汚泥汲取(助成)				
13	使用料及び賃借料	4	雑排水管借地料				
18	負担金補助及び交付金	95	放流水水質検査負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	68
--------	----

重点施策	—	コード	010406100
		課・係等	穂高地域課 地域担当(穂高)

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102110	穂高支所費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	23,708	0	0	0	81	23,627
前年度	23,497	0	0	0	100	23,397
増減額	211	0	0	0	△ 19	230

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	穂高支所雑入	80							
21	コピーサービス料等	1								

【目的・効果】
【目的】
 ○市民の視点に立った管理運営をし、利便性の向上を図る。
 ○各区との連携。
【効果】
 ○継続的かつ適切な維持管理を行うことにより、利用者の安全・安心・快適性が確保できると共に、災害発生時などの地域支援の拠点として機能することができる。
 ○各区との連携により、地域住民の安全・安心な生活環境づくりに努めている。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・穂高支所、及び所管施設(福武書庫)、公用車の維持管理を行う。
 ・穂高地域区長会の運営補助。
 ・本庁部局との連絡調整。
 借地①庁舎敷地935.39㎡(地権者1名)
 ②公用車駐車場2,231㎡(地権者1名)

【詳細事業内訳】
 穂高支所等施設管理運営事業 22,379千円 穂高地域づくり事業 1,329千円

【一般財源増加理由】 会計年度任用職員制度移行に伴う報酬等の増加。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	6,716	会計年度任用職員	13	使用料及び賃借料	3,735	コピー機外借上げ、各種使用料、駐車場外借地等
03	職員手当等	1,456	会計年度任用職員	14	工事請負費	224	庁舎関連工事
07	報償費	322	区長会出席謝礼	18	負担金補助及び交付金	814	穂高地域納涼祭補助
08	旅費	78	普通旅費(区長会研修同行)				
10	需用費	4,765	事務消耗品、燃料費、施設修繕費、光熱水費、物品修繕費他				
11	役務費	1,376	電話料、法定点検手数料、管理手数料他				
12	委託料	4,222	管理委託(庁舎清掃、保守点検業務他)、警備業務				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	穂高地域づくり事業	地域課題の解決に向け、協働(市民等と行政)で取組む仕組みづくりを推進する。	18	負担金補助及び交付金	814
				07	報償費	322
				10	需用費	155
				12	委託料他	38
					計	1,329
2					計	0

重点施策	—		コード	010406100		予算書ページ	338
			課・係等	穂高地域課 地域担当(穂高)			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち	
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進	
	事業	0110395	穂高公民館管理費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	22,801	0	0	0	840	21,961
前年度	21,565	0	0	0	840	20,725
増減額	1,236	0	0	0	0	1,236

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	穂高公民館使用料	600							
21	穂高公民館雑入	240								

【目的・効果】
【目的】
 ・多くの市民が利用する生涯学習の場として利用者にとって使いやすく安全かつ快適に利用できるように維持管理を行う。
 ・市民が安心して利用できる施設として、更なる利用の促進を図る。
【効果】
 ・穂高会館の一層の利活用を図り、教育・文化の振興に資することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・施設・備品等の点検を行い、市民が安心して利用できる環境整備を図る。
 ・施設予約システムにより適正な受付・管理業務を行う。
 ・利用者の意向・要望に沿える運営を進めるとともに必要な情報を提供する。
 ・館内清掃を業務委託し、施設を常に清潔な環境に保つ。
 ・貸館事務等の業務委託

【詳細事業内訳】
 穂高公民館施設管理運営事業 22,801千円

【一般財源増加理由】 会計年度任用職員制度移行に伴う報酬等の増加。施設点検委託料等の増加。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	1,679	穂高会館事務補助員報酬	18	負担金補助及び交付金	4	負担金
03	職員手当等	364	期末手当	22	償還金、利子及び割引料	5	施設使用料還付金
08	旅費	51	通勤費	26	公課費	9	自動車重量税
10	需用費	7,850	事務消耗品、施設修繕費、光熱水費、物品修繕費				
11	役務費	1,181	電話料、法定点検手数料他、公用車自賠責保険				
12	委託料	10,591	穂高会館施設管理委託料、事務事業委託料他				
13	使用料及び賃借料	1,067	コピー機借上げ料、使用料他				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	(4)	コード	010406100		予算書ページ	340
		課・係等	穂高地域課 地域担当(穂高)			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110400	穂高公民館事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,440	0	0	0	120	4,320
前年度	4,150	0	0	0	30	4,120
増減額	290	0	0	0	90	200

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	穂高公民館雑入		120						

【目的・効果】
【目的】
 ・地域住民が主体的に公民館事業の企画運営に関わり、また積極的に公民館事業の活性化を図る。
【効果】
 ・多くの市民が、公民館事業に積極的に参加することにより地域の繋がりが深まり、地域間の交流も活発化する。
 ・文化祭・芸能祭・スポーツ大会等、学びの成果を発表する機会を提供することで生きがいと更なる学習意欲がうまれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・各種公民館講座、球技大会等の開催により子供から高齢者まで生涯を通じて学びあえる機会を提供する。
 ・生涯学習の成果発表の場及び市民交流の場として文化祭、芸能祭及びスポーツ大会を開催する。
 ・公民館サポート委員及びスポーツ推進委員と連携し、市民の意向を事業に反映させる。
 地区公民館役員会議を定期的で開催し、情報提供及び共有を図る。
 ・地区公民館活動を活性化するための研修会・講習会を開催する。

【詳細事業内訳】
 穂高公民館事業 4,440千円

【一般財源増加理由】 会計年度任用職員制度移行に伴う報酬等の増加

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	2,258	公民館長報酬	13	使用料及び賃借料	20	公民館講座
03	職員手当等	479	公民館長手当				
07	報償費	567	労務謝礼、記念品等				
08	旅費	86	公民館長通勤費				
10	需用費	400	事務用品費、球技大会用品他、印刷製本費				
11	役務費	194	公民館事業保険料				
12	委託料	436	文化祭設営。撤去費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	穂高公民館事業	地区公民館対抗球技大会を開催し、穂高地域住民の健康づくりと、親睦・交流の促進を図る。	01	報酬	2,258
				07	報償費	567
				03	職員手当等	479
					委託料ほか	1,136
					計	4,440
2						
					計	0

予算書ページ	70
--------	----

重点施策	—	コード	010407100
		課・係等	三郷地域課 地域担当(三郷)

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102130	三郷支所費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	25,296	0	0	0	132	25,164
前年度	25,781	0	0	0	132	25,649
増減額	△ 485	0	0	0	0	△ 485

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	三郷支所雑入		132						

【目的・効果】
【目的】
 ○三郷支所・公民館の利用者である市民のために、支所複合施設を適正に維持管理・運営し、利用者に安全で安心な施設を提供する。
【効果】
 ○継続的かつ適切な施設管理を行うことにより、三郷地域の身近な行政サービスの拠点が維持されるほか、災害発生時などに地域支援の拠点としての機能も確保される。
 ○ふるさととして地域に愛着を感じ、この地が心の拠り所として存在することを感じてもらえるよう、市民にふれあいの場を提供することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・支所・公民館が一体である複合施設の利点を生かし、管理経費の低減を意識する中で、利用者に対し安全で安心な施設提供に努める。
 ・三郷地域区長会を支援し、市からの依頼事項の確認や、地域課題への対応に向け情報の共有と交換を行う。
 ・地域づくり事業として、地域住民にふれあいの場を提供している「ふるさと夏祭り」へ補助を行う。

【詳細事業内訳】
 三郷支所等施設管理運営事業 23,490千円 三郷地域づくり事業 1,806千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	3,769	窓口業務外パートタイム会計年度任用職員報酬			13	使用料及び賃借料	5,153	庁舎事務機器使用料及び敷地借地料		
03	職員手当等	728	窓口業務外パートタイム会計年度任用職員諸手当			18	負担金補助及び交付金	1,500	「ふるさと夏祭り」補助金		
07	報償費	210	区長会出席謝礼								
08	旅費	107	窓口業務外パートタイム会計年度任用職員通勤費 区長会研修随員職員旅費								
10	需用費	7,088	支所光熱水費外								
11	役務費	591	電話料外								
12	委託料	6,150	施設維持管理、法定点検等管理委託料								

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	三郷地域づくり事業	三郷地域の区長さんの相談窓口として、本庁各課と地域をつなぎ、地域課題解決や区運営支援を行う。 地域住民ふれあいの場と位置付ける「ふるさと夏祭り」への補助を行う。	18	負担金補助及び交付金	1,500
				07	報償費	196
				10	需用費	70
					委託料外	40
					計	1,806
2					計	0

予算書ページ	340
--------	-----

重点施策	—	コード	010407100
		課・係等	三郷地域課 地域担当(三郷)

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110405	三郷公民館管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,773	0	0	0	876	7,897
前年度	8,669	0	0	0	768	7,901
増減額	104	0	0	0	108	△ 4

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	三郷公民館使用料	720							
21	三郷公民館雑入	156								

【目的・効果】
【目的】
 ○多くの市民が利用する生涯学習の場として、安全かつ快適で利用者にとって使いやすい施設を提供する。
【効果】
 ○生涯学習を支える環境が整備されることにより、市民の学習行動が活発化・多様化し、その成果が家庭や地域に還元される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・三郷公民館は周辺に多くの公共施設が位置しており、大人から子どもまで多くの市民が利用する生涯学習施設の拠点であるため、安全かつ使いやすい施設となるよう適正な維持管理を行う。
 ・施設・備品等の点検修理を行い、利用環境の維持を図る。
 ・貸館及び管理事務(夜間・休日)を業務委託し、市民が利用しやすい環境を整える。
 ・新公共施設予約システムを活用し、窓口業務の迅速化を図る。
 ・館内清掃を業務委託し、常に清潔で衛生的な施設を提供する。

【詳細事業内訳】
 三郷公民館施設管理運営事業 8,773千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
10	需用費	618	施設管理用消耗品費、施設修繕費外							
11	役務費	103	電話料外							
12	委託料	5,123	公民館管理貸館事務、清掃業務委託外							
13	使用料及び賃借料	2,929	公民館事務機器使用料及び敷地借地料							

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策	(4)	コード	010407100		予算書ページ	342
		課・係等	三郷地域課 地域担当(三郷)			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110410	三郷公民館事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,514	0	0	0	52	5,462
前年度	5,275	0	0	0	56	5,219
増減額	239	0	0	0	△ 4	243

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	三郷公民館雑入	52							

【目的・効果】
【目的】
 ○地域住民が主体的に公民館事業の企画運営に関わり、積極的に参加することにより、公民館事業の多様化・活性化を図る。
【効果】
 ○多くの市民が公民館事業に参画することにより地域の繋がりが深まり、地区間交流の活発化も期待できる。
 ○文化祭・芸能祭・スポーツ大会等、学びの成果を発表する機会を提供することで、生活の励みや生きがい創出に結びつき、加えて健康増進や、さらなる学習意欲の向上が期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市民運動会やスポーツ大会、公民館講座・教室の開講を通じ、地域住民の交流を図る。
 ・生涯学習の成果を発表する場として「三郷祭」を冠する文化産業展、芸能発表会、ふれあいコンサート等を開催し、地域文化の振興を図る。
 ・公民館サポート会議委員及びスポーツ推進員と連携し、市民の意向を公民館事業に反映させる。
 ・地区公民館役員会議を定期的に開催し、情報の提供及び共有を図る。
 ・地区公民館活動への支援を図るため、研修会・講習会を開催する。

【詳細事業内訳】
 三郷公民館事業 5,514千円

【一般財源増加理由】 公民館長報酬の会計年度任用職員制度移行による人件費増額のため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	2,250	公民館長報酬	13	使用料及び賃借料	377	三郷祭芸能発表会照明機器借上料外
03	職員手当等	479	公民館長諸手当				
07	報償費	1,277	三郷祭、地区対抗スポーツ大会等協力員謝礼 運動会等景品				
08	旅費	86	公民館長通勤費				
10	需用費	405	三郷祭プログラム印刷費、事務用品費外				
11	役務費	194	公民館総合保障制度掛金				
12	委託料	446	三郷祭会場設営委託料外				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	三郷公民館事業	伝統ある三郷祭(昭和33年～)を継続的に開催することで、生涯学習の成果を発表する場を提供すると共に、世代を超えた交流と、地域の活性化に資する。	07	報償費	1,277
				13	使用料及び賃借料	377
				12	委託料	446
					需用費外	3,414
					計	5,514
2					計	0

予算書ページ	72
--------	----

重点施策	—	コード	010408100
		課・係等	堀金地域課 地域担当(堀金)

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102150	堀金支所費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
20,840	22,194	△ 1,354	0	0	0	48
			0	0	0	48
			0	0	0	0
						△ 1,354

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	堀金支所雑入	48							

【目的・効果】

【目的】

- 堀金複合施設庁舎(支所・図書館・公民館・上下水道料金センターを備えた施設)の維持管理業務を行う。世代を超えた市民の交流並びに学習の拠点となる施設運営の充実のため、総合管理による設備管理、警備、清掃、敷地管理等の管理を行う。
- 公用車の適切な管理を行う。
- 快適なまちづくりと地域社会の構築を図る。
- 市並びに堀金地域の活性化を図る。

【効果】

- 総合管理により、施設の安全化と長寿命化を高め、また維持管理コストの低減を図ることができる。これにより庁舎利用者の安全性並びに施設利用料の軽減を確保でき、住民サービスの向上に繋がる。
- 安全、安心で快適なまちづくりと、皆で支え合い助け合う地域社会の構築が図られる。
- 地域振興事業の開催を通し、安曇野市並びに堀金地域の魅力をピーアールすることで、地域活性化が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 支所地域課と、地域公民館、図書館、上下水道料金センター及び文書館とが所管を超え連携している。更に連携を強化し特に節電、節水において省エネ対策に取り組み、維持管理経費の縮減に努める。
- 支所地域課と地域公民館とが一体となり、地域固有の行事などを育み、併せて、地域の問題解決に向け、市民と行政が協働して地域づくりを進める。
- 重要かつ対等なパートナーとしての区の代表組織である区長会と協働し、区が抱える諸課題解決に向けて会議並びに研修会等の開催や助言を行う。
- 「ほりがね秋の振興祭り」は、地域農産物や特産品のピーアール催事事業である。農業者、商工業者代表の実行委員会に補助金を交付する。

【詳細事業内訳】

堀金支所等施設管理運営事業 19,907千円 堀金地域づくり事業 933千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	1,679	窓口業務職員報酬	13	使用料及び賃借料	2,039	印刷機、コピー機、給茶機外レンタル料、コピー機、あづみのテレビ使用料、庁舎用地借地料外
03	職員手当等	364	窓口業務職員手当	18	負担金補助及び交付金	715	「ほりがね秋の振興祭り」補助金
07	報償費	133	各種行事式典等報償用物品、区長会出席謝礼	26	公課費	9	公用車車検重量税
08	旅費	57	窓口業務職員通勤費外				
10	需用費	7,350	事務消耗品費、燃料費、施設修繕費、光熱水費、物品修繕費外				
11	役務費	1,006	電話料、法定点検手数料、マット・モップ交換外				
12	委託料	7,488	庁舎管理委託料(清掃業務、保守点検業務外)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	堀金地域づくり事業	地域区長会を開催し、情報交換等を行う事で地域課題の解決に資する。地域振興事業の開催を通し、地域の魅力をピーアールすることで、地域活性化が図られる。	18	負担金補助及び交付金	715
				07	報償費	126
				10	需用費	45
				12	委託料外	47
					計	933
2					計	0

予算書ページ	342
--------	-----

重点施策	—	コード	010408100
		課・係等	堀金地域課 地域担当(堀金)

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110415	堀金公民館管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,132	0	0	0	1,320	2,812
前年度	4,930	0	0	0	1,140	3,790
増減額	△ 798	0	0	0	180	△ 978

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	堀金公民館使用料	1,200							
21	堀金公民館雑入	120								

【目的・効果】
【目的】
生涯学習の場として公民館施設を維持管理し、運用・活用を推進する。
【効果】
生涯学習環境の整備により、市民の学習活動が活発化・多様化し、その成果が家庭や地域に還元される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業概要】
○公民館施設・備品の維持及び貸出の管理運営。

【詳細事業内訳】
堀金公民館施設管理運営事業 4,132千円

【一般財源増加理由】		節 節名称		金額	節 節名称		金額	主な内容	
10	需用費	531	管理消耗品、暖房灯油燃料費、光熱水費						
11	役務費	280	マット・モップ交換、雑排水汲み取り、ピアノ調律						
12	委託料	3,010	施設管理委託、印刷機保守						
13	使用料及び賃借料	307	印刷機・複合機借上料・複合機使用料						
18	負担金補助及び交付金	4	防火管理者協議会会費						

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

予算書ページ	344
--------	-----

重点施策	(4)	コード	010408100
		課・係等	堀金地域課 地域担当(堀金)

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110420	堀金公民館事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,600	0	0	0	17	4,583
前年度	4,604	0	0	0	17	4,587
増減額	△ 4	0	0	0	0	△ 4

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	堀金公民館雑入		17						

【目的・効果】
【目的】
 ○地域づくりの拠点としての地区公民館の支援
 ○地域の文化・芸術の振興、生涯学習の推進
 ○スポーツを通じた健康長寿
【効果】
 多くの市民が公民館事業に積極的に参加することにより地域の繋がりが深まり、地域間の交流も活発化する。
 生涯学習・生涯スポーツの推進により、生きがいと更なる学習意欲が生まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業概要】
 ○地区公民館関係者研修会や役員会を開催し、地区公民館の支援、地域づくりの意識向上、連携活動を行う。
 ○文化祭・芸能祭などの発表の場、学びのつどいなどの芸術鑑賞の場を設ける。
 ○地域の特色を生かした講座を開催する。
 ○地区公民館と連携し、運動会・みんなでスポーツin常念、堀金一周駅伝大会・冬期スポーツ大会を開催する。

【詳細事業内訳】
 堀金公民館事業 4,600千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	2,272	パートタイム会計年度任用職員報酬				
03	職員手当等	479	パートタイム会計年度任用職員諸手当				
07	報償費	1,220	講師・大会協力者・サポート会議委員謝礼、文化祭・スポーツ大会記念品				
08	旅費	86	パートタイム会計年度任用職員通勤費				
10	需用費	239	事務消耗品費				
11	役務費	216	クリーニング代、総合補償掛金				
12	委託料	88	バス運転、交通誘導業務委託				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	堀金公民館事業	地区公民館の支援を行い、地域の活性化を図る。 文化祭・芸能祭を開催し、地域文化活動の振興を図る。 各種講座の開催により、生涯学習の推進を行う。 運動会・一周駅伝大会・冬期スポーツ大会を開催し、スポーツによる健康推進、および交流による地域の絆づくりに寄与する。	01	報酬	2,272	
				07	報償費	1,220	
				03	職員手当等	479	
				10	需用費外	629	
					計	4,600	
2					計	0	

重点施策	—	コード	010409100	予算書ページ	74
		課・係等	明科地域課 地域担当(明科)		

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102170	明科支所費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	17,114	0	0	0	79	17,035
前年度	17,290	0	0	0	82	17,208
増減額	△ 176	0	0	0	△ 3	△ 173

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	明科支所雑入		79						

【目的・効果】
【目的】
 ・明科支所、公民館の複合施設の維持管理業務を行う。
 ・市民と行政の協働のまちづくりを推進する。
【効果】
 ・明科庁舎等の適切な維持管理が図られる。
 ・利用者の安全、安心を確保し、利便性を向上することができる。
 ・市民と行政の協働のまちづくり体制が構築される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・支所及び公民館利用者の利用しやすい環境整備を行うと共に、地域の活性化を図るための事業を重点的に進める。
 ・明科庁舎等の行政財産を適正に維持管理し、市民が安全で安心して利用できる親しみやすい環境を整える。
 ・お客様(市民の皆さん)をお待たせしない市民サービスを提供する。
 ・明科支所配置の公用車(2台)の維持管理を行う。
 ・明科地域区長会活動の支援を行う。
 ・地域の市民団体の育成、支援を進める。
 ・地域の交流推進のため「あやめまつり」の開催に向け実行委員会の補助、補助金を交付する。

【詳細事業内訳】
 明科地域づくり事業 1,564千円 明科支所等施設管理運営事業 15,550千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	3,495	会計年度任用職員	13	使用料及び賃借料	233	コピー機使用料、テレビ受信料、庁舎案内看板借地料
03	職員手当等	728	会計年度任用職員期末手当	18	負担金補助及び交付金	1,260	あやめまつり事業補助金
07	報償費	198	地域区長会出席謝礼	26	公課費	9	自動車重量税
08	旅費	107	会計年度任用職員通勤費				
10	需用費	4,829	事務消耗品費、公用車燃料費、区長会来客贈費、施設修繕費、光熱水費、公用車等修繕費				
11	役務費	499	電話料、公用車車検手数料、管理手数料、自賠責保険料				
12	委託料	5,756	庁舎等管理(電気設備、消防設備、清掃、警備、空調ほか)点検委託料、ごみ処理、剪定				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	明科地域づくり事業	地域区長会を開催し、情報交換を行うことで地域課題の解決に資する。「あやめまつり」の開催補助を行う。地域の活性化が図られる。	18	負担金補助及び交付金	1,260
				8	報償費	198
				11	需用費	70
				13	委託料外	36
					計	1,564
2					計	0

予算書ページ	184
--------	-----

重点施策	—	コード	010409100
		課・係等	明科地域課 地域担当(明科)

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	07	飲料水供給費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営
	事業	0104190	飲料水供給費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,668	0	0	0	154	3,514
前年度	2,400	0	0	0	154	2,246
増減額	1,268	0	0	0	0	1,268

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	飲料水供給施設使用料	154							

【目的・効果】
【目的】
 明科南陸郷区内の山間集落(金井沢地区)において、市民の健康と生活環境を確保するため、安曇野市明科飲料水供給施設(以下「飲料水供給施設」という)により、生活のための飲料水を安定供給する。
【効果】
 安全で安心な飲料水を供給できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・飲料水供給施設として整備されている配水施設の維持管理を、安曇野市水道事業の管理を行う者(安曇野市長:上水道課)に委託する。
 ・浄水ろ過膜設備の洗浄及び保守点検業務を専門業者に委託し、安定した水質を確保し、安全で安心な飲料水を供給する。
 ・各受益世帯(7世帯)の水道使用量を検針(偶数月)し、使用料を徴収する。
 ・ろ過処理能力が低下している膜モジュールの更新を行う。

【詳細事業内訳】
 飲料水供給施設管理運営事業 3,668千円

【一般財源増加理由】 浄水場備品浄水ろ過膜モジュールの更新のため増

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
10	需用費	294	設備用消耗品				
11	役務費	40	テレメーター電話料				
12	委託料	1,794	飲料水供給施設維持管理委託料、ろ過膜洗浄及び施設保守点検委託料				
17	備品購入費	1,540	ろ過設備膜モジュール				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	344
--------	-----

重点施策	—	コード	010409100
		課・係等	明科地域課 地域担当(明科)

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110425	明科公民館管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,875	0	0	0	1,041	2,834
前年度	3,880	0	0	0	1,041	2,839
増減額	△ 5	0	0	0	0	△ 5

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	明科公民館使用料	800							
21	明科公民館雑入	241								

【目的・効果】
【目的】
 ・多くの市民が利用する生涯学習の場として、利用者にとって使いやすく、安全かつ快適に利用できるよう維持管理を行う。
 ・市民に最も身近な地域の拠りどころとして、様々なサービスを提供し、情報発信の拠点となるよう心掛ける。
【効果】
 ・情報発信の拠点となることにより、市内外各地からの多くの利用者・参加者が見込まれる。
 ・地域、世代間の交流を進め、山積する地域課題に目を向ける機会を提供し、地域づくりの機運を高める。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・施設利用方法等の周知を徹底し、不慮の事故等が発生しないよう管理する。
 ・施設、備品等の点検修理を行い、環境整備を図る。
 ・施設利用システムを使い窓口事務の迅速化を図る。
 ・利用者の意向、要望に添えるよう、案内及び情報提供を行う。
 ・利用者の使用日誌への記帳を徹底させ、光熱水費の削減に努める。

【詳細事業内訳】
 明科公民館施設管理運営事業 3,875千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
10	需用費	550			・施設管理用消耗品外				
11	役務費	439			・調理実習室内クリーニング外				
12	委託料	2,463			・公民館管理シルバー委託外				
13	使用料及び賃借料	414			・印刷機借上料外				
26	公課費	9			・自動車重量税				

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	346
--------	-----

重点施策	(4)	コード	010409100
		課・係等	明科地域課 地域担当(明科)

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110430	明科公民館事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,169	0	0	0	40	4,129
前年度	3,896	0	0	0	40	3,856
増減額	273	0	0	0	0	273

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	明科公民館雑入	40							

【目的・効果】

【目的】

- ・市民の交流と学習の場として、地域の課題に目を向け、時代に即した学習と交流の機会を創出し、地域の活性化を図る。
- ・地域の伝統を活かした事業を中心に継続し、開催方法や事業内容など市民の意向を取り入れ、より時代に即した事業を展開する。

【効果】

- ・より多くの市民が興味を持って積極的に公民館事業に参加することにより、地域のつながり(絆)や市民同士の交流の活性化が一層図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・地区公民館役員を対象に、定期会議のほか「協働のまちづくり」に向けた研修会を区役員と合同で開催し、更なる地域づくりの向上を図っていく。
- ・市民が主体となった団体などとの協働により、地域に目を向けた内容の講座や学習会の企画、運営を展開する。
- ・スポーツ大会等の企画、立案、運営など、旧体育協会を中心とした組織から市民主体の実行委員会組織へ再構築し、長期的視点に立った運営を目指す。

【詳細事業内訳】

明科公民館事業 4,169千円

【一般財源増加理由】 公民館長期末手当と通勤費の増。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	2,274	・公民館長報酬				
03	職員手当等	479	・公民館長期末手当				
07	報償費	860	・文化祭・運動会参加景品外				
08	旅費	86	・公民館長通勤費				
10	需用費	195	・事業用及び大会用消耗品費				
11	役務費	194	・公民館総合保障制度加入掛金				
12	委託料	81	・公民館講座車両運行業務委託料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	明科公民館事業	地域内の交流、市民同士の親睦、体力と健康づくりを目的に、運動会とスポーツ大会を開催する。また、生涯学習の成果を発表するため文化祭を開催する。	01	報酬	2,274
				07	報償費	860
				03	職員手当等	479
				10	需用費外	556
					計	4,169
2					計	0

福祉部

重点施策	—		コード	010501100		予算書ページ	120
			課・係等	長寿社会課 福祉政策担当			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち	
	項	01	社会福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち	
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	地域福祉の推進	
	事業	0103010	社会福祉総務費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	408,424	0	14,010	0	754	393,660
前年度	455,473	45,929	14,057	0	775	394,712
増減額	△ 47,049	△ 45,929	△ 47	0	△ 21	△ 1,052

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	民生委員活動委託金	12,803							
16	民生委員協議会委託金	1,207								
17	福祉基金利子	694								
21	社会福祉雑入	60								

【目的・効果】

【目的】

- ・民生委員・児童委員活動、災害時避難行動要支援者名簿の作成と提供といった法令の定めに従い、市民生活を守るための事業を実施する。
- ・地域福祉の推進、心配ごと相談等、市民の日常的な問題や課題を解決する事業を実施する。
- ・戦没者追悼式を行い、戦争で尊い命を失った先人のことを後世に伝えていく事業を実施する。

【効果】

このような事業を実施することで、市民の安全や安心を確保し、生活しやすい安曇野市を形成する効果がある。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・市と社協が一体となった「第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画」(平成30年度～平成34年度)の周知と検証を進め、地域福祉の推進を図る。
- ・民生児童委員、行政相談委員、保護司、人権擁護委員等を相談員とした心配ごと相談を社協へ委託して開催する。
- ・戦没者追悼式を毎年開催することにより、平和への希求を高める。
- ・ボランティア団体の活動の場である「豊科ささえあいセンター」の指定管理者を社協とし、ボランティア活動の促進を図る。(2年目/指定管理期間:平成31年度～令和5年度)
- ・災害時避難行動要支援者に対し、関係機関への名簿提供同意を進め、システム登録及び関係機関へ名簿を提供する。
- ・市社会福祉協議会、民生児童委員協議会の各種活動や事業を支援するため補助金等を交付し、地域共生社会の実現を図る。
- ・民間福祉施設への防災ラジオ購入を補助する。(期間延長1年目/3年間)
- ・第十一回戦没者特別弔慰金事務を実施する。

【詳細事業内訳】

社会福祉総務費 262,803千円 心配ごと相談事業 4,011千円 戦没者追悼式 493千円 ささえあいセンター指定管理業務 5,083千円 災害時避難行動要支援者名簿作成事業 754千円 民生児童委員協議会運営 36,028千円 社会福祉法人安曇野市社会福祉協議会補助事業 99,147千円 地域福祉計画推進策定事業 105千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	3,336	民生委員推薦会委員報酬、会計年度任用職員報酬(2人)		11	役務費	9	白布等クリーニング代		
02	給料	138,316	一般職(39人)		12	委託料	10,282	ささえあいセンター指定管理料、心配ごと相談、避難行動要支援者台帳システム保守、戦没者追悼式会場設営、民生児童委員等バス運行委託		
03	職員手当等	66,339	職員諸手当		13	使用料及び賃借料	487	避難行動要支援者台帳システム使用料		
04	共済費	42,422	職員共済組合納付金		18	負担金補助及び交付金	125,998	地区民児協補助金・交付金、社協地域福祉推進事業補助金、全国・県民児協負担金、市遺族会補助金、民間福祉施設防災ラジオ購入補助金		
07	報償費	18,948	福祉委員報償、地域福祉計画推進・策定委員報償		24	積立金	695	福祉基金積立金利子		
08	旅費	356	社会福祉主事資格認定講座参加旅費、社会福祉法人実務研修参加旅費、会計年度任用職員通勤費							
10	需用費	1,236	事務用品、民生児童委員手帳、民生児童委員活動着、封筒印刷代							

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	122
--------	-----

重点施策	—	コード	010501100
		課・係等	長寿社会課 福祉政策担当

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	地域福祉の推進
	事業	0103020	福祉医療費給付事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	620,065	0	217,784	0	8,315	393,966
前年度	582,156	0	214,287	0	6,185	361,684
増減額	37,909	0	3,497	0	2,130	32,282

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	福祉医療給付事業補助金	217,784							
21	福祉医療費貸付金元金収入	8,315								
								(地方消費税交付金・引上分の地方消費税)	(156,000)	

【目的・効果】

【目的】

- ・乳幼児等、障がい者、母子・父子家庭に医療費を給付する。
- ・低所得者(前年度の住民税非課税者)で医療費の支払いが困難な方に、資金貸付事業を実施する。

【効果】

子育て世帯、障がい児・者、ひとり親世帯の経済的負担を軽減することにより、早期受診と福祉の増進を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・福祉医療受給資格者の保険診療(調剤を含む)に係る自己負担額について助成する。
- ・受給資格者が支払った自己負担額から、1レセプトごと、500円の負担金を控除した額を受給資格者に給付金として支給する。(自動給付:継続)
- ・受給資格者(出生から中学卒業まで)が窓口で負担する500円を超える保険診療分を、市から医療機関へ支払う。(現物給付:継続)
- ・福祉医療受給資格者で医療機関等での一時的な支払いが困難な受給資格者に対し、医療費を貸し付ける。

【詳細事業内訳】

福祉医療費貸付事業 8,316千円 福祉医療費給付事業 611,749千円

【一般財源増加理由】 福祉医療費給付額の増加

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
10	需用費	98	受給者証カバー購入、送付封筒印刷代				
11	役務費	31,703	医療機関事務手数料				
12	委託料	214	受給者証更新業務委託				
19	扶助費	578,343	福祉医療費給付金				
20	貸付金	8,316	福祉医療費資金貸付				
27	繰出金	1,391	地単事業減額調整分補てん金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—	コード	010501200
		課・係等	長寿社会課 長寿福祉係

予算書ページ	134
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	0103130	老人福祉総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	251,296	0	1,742	0	10,000	239,554
前年度	246,004	0	1,742	0	10,000	234,262
増減額	5,292	0	0	0	0	5,292

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	老人クラブ活動助成事業補助金	1,742							
19	ふるさと寄附金繰入金	10,000								

【目的・効果】

【目的】

連携が必要な各団体等への支援や高齢者の社会参加を促進することで、生きがいをもって生き活きと暮らす高齢者を増やす。

【効果】

各団体の運営が安定化することにより、高齢者に提供されるサービスの向上が見込まれ、生きがいづくり・健康づくり及び高齢者福祉の増進につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・シルバー人材センター、老人クラブ連合会へ補助金を交付する。
- ・市社会福祉協議会が運営する老人福祉センターへの運営補助金を交付する。
- ・養護老人ホームを運営する一部事務組合へ負担金を支出する。
- ・老人大学を委託方式により開催する。
- ・70歳以上の高齢者に対し、入浴料金割引券を交付する。
- ・一定の要件を満たす在宅で介護を行う家族に対し、年額50,000円の介護慰労金を支給する。
- ・市内男女最高齢者、100歳、88歳の人に対し、祝い品等を贈呈する。

【詳細事業内訳】

老人大学委託事業 2,819千円 福祉有償運送運営協議会事務 56千円 老人クラブ連合会育成事業 5,268千円 老人福祉センター運営補助事業 19,513千円 介護慰労金支給事業 28,900千円 老人福祉総務費 154,492千円 高齢者祝賀事業 3,690千円 シルバー人材センター運営助成事業 11,329千円 地域グループ支援事業 600千円 入浴料金割引券交付事業 24,629千円

【一般財源増加理由】 入浴料金割引券交付及び高齢者祝賀事業対象者の増による

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
02	給料	80,820	一般職(22人)	12	委託料	3,159	老人大学開催委託料
03	職員手当等	37,154	職員諸手当	18	負担金補助及び交付金	47,137	シルバー人材センター、老人クラブ連合会、老人福祉センター運営補助他
04	共済費	25,712	職員共済組合納付金	19	扶助費	56,535	入浴料金割引券交付事業、介護慰労金、高齢者敬老祝品
07	報償費	189	各地区敬老会御祝、福祉有償運送協議会出席者謝礼				
08	旅費	17	研修会旅費				
10	需用費	545	事務用品、参考図書、封筒印刷代				
11	役務費	28	賞状筆耕料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	(1)	コード	010501200
		課・係等	長寿社会課 長寿福祉係

予算書ページ	136
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	0103140	在宅福祉事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	54,197	0	4,390	0	19,141	30,666
前年度	51,718	0	955	0	17,822	32,941
増減額	2,479	0	3,435	0	1,319	△ 2,275

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	高齢者にやさしい住宅改良促進事業補助金	630	21	緊急通報システム利用料	1,584	21	生活管理短期宿泊利用料	365	
16	宅幼老所等整備事業補助金	3,750	21	緊急通報システム利用料滞納繰越分	1	21	生活管理短期宿泊利用料滞納繰越分	1		
16	緊急宿泊支援事業補助金	10	21	配食サービス利用料	11,940	21	軽度生活援助利用料	248		
19	ふるさと寄附金繰入金	5,000	21	配食サービス利用料滞納繰越分	1	21	軽度生活援助利用料滞納繰越分	1		

【目的・効果】
【目的】
 各種サービスを活用して高齢者の在宅生活を安心して生活できるように支援。
【効果】
 在宅高齢者の健康と増進につながることで、施設に頼らない在宅生活での継続を期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・配食サービス、緊急通報サービス、軽度生活援助サービス等、高齢者の在宅生活を支援する各種サービスを業者に委託し実施。
 ・高齢者の生きがいづくり、健康づくりに寄与する事業を実施する者に対して補助金を交付する。
 ・所得、介護認定等の一定の要件を満たし、段差解消等の住宅改良工事を実施した場合に費用の一部を補助する。
 ・一定の要件を満たし、既存建物を改修し宅幼老所の整備を行った場合に費用の一部を補助する。
 ・要介護3以上の認定を受けている高齢者に対して、500円分のタクシー券を年間最大30枚交付する。

【詳細事業内訳】
 配食サービス事業 20,006千円 宅幼老所等整備事業 7,500千円 緊急通報サービス事業 8,557千円 軽度生活援助サービス事業 910千円 緊急宿泊支援事業 20千円 アクティブシニアがんばろう事業 10,275千円 訪問理美容サービス事業 420千円 生活管理短期宿泊事業 1,201千円 高齢者外出支援事業 4,048千円 高齢者にやさしい住宅改良促進事業 1,260千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	報償費	500	健康体操指導員派遣事業講師謝礼				
10	需用費	79	封筒印刷代等				
12	委託料	29,473	配食サービス、緊急通報サービス、軽度生活援助サービス事業他				
18	負担金補助及び交付金	18,535	アクティブシニアがんばろう事業補助金、高齢者にやさしい住宅改良事業補助金、宅幼老所等整備事業				
19	扶助費	5,610	緊急宿泊支援、高齢者外出支援、訪問理美容、生活管理短期宿泊事業				

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010501200
課・係等	長寿社会課 長寿福祉係

予算書ページ	136
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	0103150	老人福祉施設入所措置事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	99,181	0	0	0	15,807	83,374
前年度	96,842	0	0	0	13,820	83,022
増減額	2,339	0	0	0	1,987	352

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	老人入所措置費個人負担金	15,806							
13	老人入所措置費個人負担金滞納繰越分	1								

【目的・効果】
【目的】
 心身及び経済的な理由から在宅生活が困難な高齢者を施設に入所措置し、養護をするとともに、自立した日常生活が営めるよう援助する。
【効果】
 施設入所により施設内での自立した生活や社会活動に参加するための支援が受けられる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・入所に際しての判定会議を開催する。
 ・養護が必要な高齢者を養護老人ホームへ入所措置する。また利用者及び扶養義務者から所得に応じて負担金を徴収する。

【詳細事業内訳】
 老人福祉施設入所措置事業 99,181千円

【一般財源増加理由】 措置入所者の増によるもの

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	報償費	17	養護老人ホーム入所判定委員会出席謝礼				
19	扶助費	99,164	養護老人ホーム措置費用				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	コード	010501200	予算書ページ	138
		課・係等	長寿社会課 長寿福祉係		

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	0103160	老人福祉施設管理事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	139,345	0	0	0	65,365	73,980
前年度	135,168	0	0	0	21,071	114,097
増減額	4,177	0	0	0	44,294	△ 40,117

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	豊科ふれあいホール使用料	192	21	デイサービスセンター指定管理者納付金	5,990				
14	総合福祉センター使用料	1	21	総合福祉センター管理費等徴収金	14,059					
19	公共施設整備基金繰入金	45,000								
21	高齢者福祉施設自販機電気料	123								

【目的・効果】
【目的】
 高齢者の健康、福祉増進や要介護者の在宅生活を支援するため、市の各種施設を管理運営する。
【効果】
 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活でき、健康、福祉増進が図られることにより、健康長寿が期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・穂高地域福祉センター、三郷福祉センター(三郷屋内ゲートボール場を含む)は、指定管理者制度により管理運営する。
 ・介護保険施設であるデイサービスセンター4施設(穂高、三郷、堀金、明科)は、指定管理者制度により管理運営する。
 ・三郷福祉センター等18施設長寿化計画劣化診断業務を行う。
 ・明科デイサービスセンターのエアコン故障に伴い、同福祉センターエアコン更新工事設計業務を行う。
 ・明科総合福祉センター給水設備更新のための更新工事を行う。

【詳細事業内訳】
 老人福祉施設等管理事業 75,386千円 明科総合福祉センターエアコン更新事業 7,975千円 明科総合福祉センター給水設備更新事業 55,984千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
10	需用費	21,470	各施設光熱費、小破修繕、施設管理消耗品				
11	役務費	164	ふれあいホールピアノ調律、明科福祉センター汚泥汲み取り手数料他				
12	委託料	55,747	各施設設備等管理委託、各施設指定管理料、18施設長寿化計画劣化診断委託、明科総合福祉センターエアコン更新工事設計業務、明科総合福祉センター給水設備更新工事監理委託				
13	使用料及び賃借料	6,320	三郷福祉センター借地料、レンタルエアコン等賃借料				
14	工事請負費	55,640	レンタルエアコン仮設電気設備工事、明科総合福祉センター給水設備更新工事				
18	負担金補助及び交付金	4	防火管理協会負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	160
--------	-----

重点施策	—	コード	010501100
		課・係等	長寿社会課 福祉政策担当

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	04	災害救助費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	01	災害救助費		基本施策	地域福祉の推進
	事業	0103570	災害救助費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	500	0	0	0	0	500
前年度	500	0	0	0	0	500
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 自己の居住の用に供する家屋における火災のり災者に対し、見舞金及び弔慰金を支給する。
【効果】
 見舞金等を支給することでり災者の福祉、生活安定の向上に寄与できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・火災により死亡した者に対する弔慰金 100千円
 ・被害面積が、住居の延べ床面積のおおむね70パーセント以上に達した場合の見舞金 50千円
 ・被害面積が、住居の延べ床面積のおおむね20パーセント以上に達した場合の見舞金 30千円

【詳細事業内訳】
 災害弔慰金等支給事業 500千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
19	扶助費	500	災害見舞金、弔慰金							

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

予算書ページ	122
--------	-----

重点施策	—	コード	010502100
		課・係等	福祉課 障がい福祉担当

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	障がい者福祉の充実
	事業	0103040	障がい者支援センター費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	66,337	3,772	3,474	0	1,510	57,581
前年度	67,285	4,001	3,586	0	1,510	58,188
増減額	△ 948	△ 229	△ 112	0	0	△ 607

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	地域生活支援事業補助金	3,772	21	障害者就労支援センター指定管理者納付金	1,000				
16	地域福祉総合助成金	1,586								
16	地域生活支援事業補助金	1,888								
21	障害者活動支援センター指定管理者納付金	510								

【目的・効果】

【目的】

- ・障害者活動支援センター:食事や入浴、排泄等の介護や日常生活上の支援、生産活動等の機会を提供する。
- ・就労継続支援B型事業所:就労や生産活動の機会を提供すると共に、一般就労への移行に向けた必要な支援・指導等を行う。
- ・地域活動支援センター:社会交流の促進や創作活動の場を提供することで、障がい者の地域生活支援の促進を図る。

【効果】

- ・障がい者、障がい児のニーズに即した適切なサービスが提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・障害者活動支援センター、豊科たんぼぼ、穂高わたぼうし、三郷すみれの郷、堀金かえでの家、明科ふきぼこの家、ひめこぶしの家の7施設について指定管理の委託を行う。
- ・地域活動支援センターである、穂高わたぼうし、三郷すみれの郷、明科ふきぼこの家、ひめこぶしの家については指定管理料を支払う。
- ・三郷すみれの郷の、雨漏り修理の工事を行う。

【詳細事業内訳】

障がい者支援センター運営事業 66,337千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
10	需用費	400	諸修繕				
12	委託料	65,289	指定管理委託料(穂高わたぼうし、三郷すみれの郷、明科ふきぼこの家、ひめこぶしの家)				
14	工事請負費	648	三郷すみれの郷玄関屋根雨漏り対策工事				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	○	三郷すみれの郷玄関屋根雨漏り対策工事	14	工事請負費	648
			【事業内容】三郷すみれの郷玄関天井が、雨漏りで大きく染みになっており、天井ライトのカバー内にも浸水した跡もあることから改修を行う。 【効果】令和元年度の建物調査でも対応の指摘を受けており、至急改修を行い、漏電等のリスク軽減を図る。		計	648
2					計	0

重点施策	—	コード	010502100
		課・係等	福祉課 障がい福祉担当

予算書ページ	124
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	障がい者福祉の充実
	事業	0103050	障がい者支援事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
1,714,053	1,699,847	14,206	851,062	425,531	0	0
			844,300	422,150	0	44
			6,762	3,381	0	△ 44
						437,460
						433,353
						4,107

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
15	自立支援医療負担金	22,920	16	自立支援医療負担金	11,460					
15	障害児入所給付費等負担金	105,336								
16	自立支援給付費負担金	361,403					(地方消費税交付金・引上分の地方消費税)	(433,000)		

【目的・効果】

【目的】

障害者総合支援法、児童福祉法に基づき、障がい者、障がい児が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービス等の利用者に対して必要な給付を行う。

【効果】

障がい者、障がい児の自立した日常生活及び社会生活に寄与している。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【事業内容】

- ・自立支援医療給付(更生・育成・療養介護)
- ・自立支援給付(障害福祉サービス等[介護給付費、訓練等給付費、障害者相談支援給付費、特定障害者特別給付費、やむを得ない事由による措置費]・補装具費・高額障害福祉サービス費)
- ・障害児通所給付費(児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、訪問型児童発達支援、障害児相談支援給付費、就学前発達支援無償化給付費)
- ・支援区分認定等事務(消耗品、医師意見書、支援区分認定審査会負担金)

【費用負担】

- ・給付基準額に対し、国:1/2、県:1/4、市:1/4

【詳細事業内訳】

障害支援区分認定等事務 8,033千円 自立支援給付事業 1,495,348千円 障害児通所支援給付事業 210,672千円

【一般財源増加理由】 利用者の意向を踏まえ、総合的・継続的なサービスを提供している。利用者、利用量の増加により、費用の増加が見込まれる。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	2,995	障害認定区分認定調査員報酬	19	扶助費	1,702,304	自立支援医療給付費、自立支援給付費、障害児通所支援給付費
03	職員手当等	649	パートタイム会計年度任用職員諸手当				
07	報償費	210	育成医療審査に係る医師への謝礼				
08	旅費	101	パートタイム会計年度任用職員(通勤費)				
11	役務費	4,040	国保連等審査支払手数料、認定調査医師意見書作成費用				
13	使用料及び賃借料	660	障害福祉サービス請求内容チェックシステム借上料				
18	負担金補助及び交付金	3,094	支援区分認定調査審査会負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	自立支援給付事業	地域社会における共生の実現に向けて、障害福祉サービスの充実や提供等により障がい者・障がい児の日常生活や社会生活を総合的に支援する。	19	扶助費	1,491,632
				11	役務費	2,846
				13	使用料及び賃借料	660
				07	報償費	210
					計	1,495,348
2	ソフト	障害児通所支援給付事業	日常生活における基本的な動作指導・知識技能の付与・集団への適応訓練・生活能力の向上・社会との交流の促進等を目的に、障がい児及びその家族に障害児福祉サービスを提供することで日常生活や社会生活を総合的に支援する。	19	扶助費	210,672
					計	210,672

重点施策	(3)
------	-----

コード	010502100
課・係等	福祉課 障がい福祉担当

予算書ページ	124
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	障がい者福祉の充実
	事業	0103060	児童発達支援事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	15,425	0	0	0	0	15,425
前年度	14,196	0	0	0	0	14,196
増減額	1,229	0	0	0	0	1,229

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 発達に心配のある子どもが、自立した生活を営むことができるように育成するために、子どもの発達促進や保護者の子どもへの理解が深化するための事業を実施する。具体的には、発達支援に必要な事業の実施及び、効果的な事業実施のために子ども発達支援相談室への多様な専門職の配置や、支援機関等との連携体制構築による、支援情報の共有化・集積化を図る。
【効果】
 ・障がいの早期発見や相談体制の強化により子どもの特性を把握し、その子にあった安心して生活できる環境を整備することで、子どもの自立した生活の営みが見込まれる。
 ・早期療育を実施することにより、家族理解が深まり、生活における二次障害を予防できる。
 ・自立した生活基盤の確保ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 専門職による発達に心配のある子ども及び保護者の相談、個別療育、教室運営、子育てサポートプログラム等発達支援、啓発に必要な事業を実施する。
 1) 遊びの教室の実施 本年度は、遊びの教室の1回の定員を減らし実施回数を増加することで参加者への効果を高める取り組みを行う:20回(40教室)→30回(60教室)へ増加し、職員の報償費が増加が見込まれる。※1歳児穂高教室後半を10回(20教室)増やす。
 2) 早期発見、早期支援のための個別相談、発達検査の実施
 3) 乳幼児期から途切れることのない子どものライフステージに応じた一貫した支援
 4) 利用者の同意の下、健康推進、認定こども園、児童発達支援事業所等と連携した支援体制を構築し、また庁内では関係部署による支援会議を実施し必要な情報の共有を図る。
 5) 認定こども園等への巡回相談
 6) 子育てサポートプログラム、はいはいたちの相談日事業の実施
 7) 学校、認定こども園等対応職員との連携強化と専門性向上のための支援

【詳細事業内訳】
 児童発達支援事業 15,425千円

【一般財源増加理由】 会計年度任用職員制度への移行と遊びの教室を10回(20教室)を増やしたことによる保育士等の報償費の増額の為、一般財源が増加した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	9,576	保育士、言語聴覚士、作業療法士、子ども相談員報償費と時間外勤務分報酬	18	負担金補助及び交付金	26	研修会参加負担金
03	職員手当等	2,047	保育士、言語聴覚士、作業療法士、子ども相談員職員手当	26	公課費	24	公用車重量税
07	報償費	2,497	遊びの教室、はいはいたち、サポートプログラム講演会等講師謝礼、医師等労務謝礼				
08	旅費	302	会計年度任用職員通勤費、県外研修会旅費				
10	需用費	452	公用車燃料費、公用車修繕費、心理発達検査等用紙、サポートブック、ワンタッチ鉄棒、PPCペーパー、教材				
11	役務費	438	電話料、公用車車検、公用車手数料、公用車保険料				
17	備品購入費	63	フォーム飛び箱(遊びの教室使用)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	児童発達支援事業	【事業内容】多様な専門職による発達に心配のある子ども及び保護者への相談、検査、療育等の実施。関係機関等と連携した支援の実施。 【効果】支援による子どもの発達の促進と保護者の理解の深化により、不適応の軽減や二次障害の発生予防がなされ、自立した生活を営むことができる子どもの育成が見込まれる。	01	報酬	9,576
				03	職員手当	2,047
				07	報償費	2,497
				08	旅費他	1,305
					計	15,425
2						

重点施策	—	コード	010502100	予算書ページ	126
		課・係等	福祉課 障がい福祉担当		

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	障がい者福祉の充実
	事業	0103070	地域生活支援事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	84,368	25,031	12,543	0	0	46,794
前年度	79,618	24,807	12,388	0	0	42,423
増減額	4,750	224	155	0	0	4,371

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	地域生活支援事業補助金	25,031							
16	小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業補助金	30								
16	地域生活支援事業補助金	12,513								

【目的・効果】
【目的】
 ・障害者総合支援法第77条及び第78条に基づく市町村地域生活支援事業
 障がい者、障がい児が基本的人権を享受する個人としての尊厳にふさわしい日常生活または社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業形態による事業を総合的に実施する。
【効果】
 基本的人権を享受する個人としての尊厳にふさわしい日常生活または社会生活に寄与している。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【費用負担】
 国の定める基準額に対して、国:1/2、県:1/4、市:1/4
【主な事業内容】
 ○理解促進研修・啓発事業
 ・12/3～12/9の障害者週間にちなみ、障がい者福祉について広く市民の関心と理解を深めるため、令和2年度は防災に関する講演等を実施する。
 ○日常生活用具給付等事業
 ・障がい者の日常生活がより円滑に行われるために必要な用具を給付する。
 ○意思疎通支援事業
 ・聴覚又は音声機能、言語機能に障がいを有する者に対し、手話通訳者又は要約筆記者を派遣し意思疎通の支援を行う。

【詳細事業内訳】
 日常生活用具給付等事業 25,000千円 移動支援、訪問入浴、日中一時支援事業 30,135千円 自発的活動支援事業(補助金) 903千円 障がい者相談支援事業 20,390千円 地域生活支援拠点整備事業 1,715千円 理解促進研修・啓発事業 94千円 手話奉仕員養成研修事業 462千円 地域活動支援センター事業(Ⅱ型) 102千円 意思疎通支援事業 1,749千円 レクリエーション活動等支援、芸術文化活動振興事業(補助金) 1,322千円 成年後見制度事業 2,496千円

【一般財源増加理由】 訪問入浴サービス事業等の利用増による予算全体の増加、及び新規に地域生活支援拠点整備事業を実施するため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	報償費	503	理解促進研修・啓発事業、手話奉仕員養成研修事業				
08	旅費	38	理解促進研修・啓発事業				
10	需用費	15	理解促進研修・啓発事業、手話奉仕員養成研修事業				
11	役務費	1,749	意思疎通支援事業				
12	委託料	52,240	障害者相談支援事業、移動支援事業、日中一時支援事業、訪問入浴サービス事業				
18	負担金補助及び交付金	4,265	自発的活動支援事業、成年後見制度法人後見支援事業、レクリエーション等活動支援、芸術文化活動振興事業				
19	扶助費	25,558	成年後見制度利用支援事業、日常生活用具給付等事業				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	理解促進研修・啓発事業	障がい者等や障がい特性等に関する地域住民の理解を深めるため、また「心のバリアフリー」の推進を図るための研修及び啓発活動を実施することにより、障がい者等が日常生活及び社会生活を営む上で生じる「社会的障壁」の除去および共生社会の実現を図ることを目的とする。 令和2年度は、防災をテーマに講演等を実施する。	07	報償費	50
				08	旅費	38
				10	需用費	6
					計	94
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010502100
課・係等	福祉課 障がい福祉担当

予算書ページ	128
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	障がい者福祉の充実
	事業	0103080	精神障がい者居宅生活支援事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,728	527	0	0	0	3,201
前年度	3,263	504	0	0	0	2,759
増減額	465	23	0	0	0	442

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	ひきこもり対策推進事業補助金	527							

【目的・効果】

【目的】

- ・在宅の精神障がい者の社会復帰の促進と地域理解を深め精神障がい者を抱える家族の精神的負担の軽減を図る。
- ・ひきこもり者支援についての方向性を探り、個別事案に関しては個々にあった支援対応や社会復帰の支援を実施する。

【効果】

- ・精神障がい者(ひきこもり者を含む)の地域での理解を深め社会復帰及び家族の負担軽減と支援方法の獲得を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・精神障がい者を抱える家族に対し、情報の提供や対応のスキルアップ、同じ悩みを持つ家族同士の意見交換等による家族の精神的負担の軽減、精神障がい者の回復を促す暮らしやすい環境づくりのための家族教室の実施。
- ・ひきこもり支援に関する啓発のための講演会の実施、家族交流会開催、及び庁内外支援機関との連絡会議の実施による事業実施方法の検討。

【詳細事業内訳】

精神障がい者等相談支援事業 2,670千円 ひきこもり支援事業 1,058千円

【一般財源増加理由】 会計年度任用職員制度への移行による増額

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	2,907	パートタイム会計年度任用職員報酬				
03	職員手当等	626	パートタイム会計年度任用職員諸手当				
07	報償費	99	精神障がい者家族教室、ひきこもり支援講演会等講師謝礼				
08	旅費	91	パートタイム会計年度任用職員通勤費				
11	役務費	5	ひきこもり家族交流会等使用のためのDVD借用送料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	ひきこもり支援事業	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口を明確にし、相談等の実施により個々にあった支援対応や社会復帰の支援につなげていく。 ・家族交流会を実施し家族の孤立予防や情報共有ができるよう支援していく。また、地域での家族会の紹介など地域での支援活動につなげていく。 ・講演会の実施により、地域理解、支援活動を促進する。 ・庁内外の支援関係機関との連携会議を開催し、情報共有と事業実施方法の検討を行い、各事業所・各課等との連携を図り包括的な支援ができるよう考えていく。 <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり者の疾病・障がい等の支援により、ひきこもりの予防につなげることができる。地域でのひきこもりの理解促進につなげていく。 	01	報酬	820
				03	職員手当等	173
				07	報償費	50
				08	旅費他	15
					計	1,058
2					計	0

重点施策	—		コード	010502100		予算書ページ	128
			課・係等	福祉課 障がい福祉担当			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち	
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち	
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	障がい者福祉の充実	
	事業	0103090	障がい者福祉総務費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	127,174	国支出金	県支出金	市債	その他	
前年度	126,879	41,668	3,920	0	0	81,586
増減額	295	37,699	3,637	0	0	85,543
		3,969	283	0	0	△ 3,957

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	特別障害者手当負担金	41,668							
16	地域福祉総合助成金	3,220								
16	特別児童扶養手当事務委託金	700								

【目的・効果】

【目的等】

・障がい者等誰もが生きがいを持って生き生きと暮らせる安全で安心な社会づくりの実現に向けて、様々な補助事業及び扶助を総合的・一体的に実施する。

【効果】

・自分らしく心豊かな生活を送るための福祉サービスができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・第6期安曇野市障害福祉計画、第2期障害児福祉計画等の策定
- ・障がい者団体(身体障害者福祉協会、手をつなぐ育成会、聴覚障害者協会、夢の実)への補助金交付を行う。
- ・障がい者の外出を支援するための外出支援事業、ふれあいバスの旅事業へ補助を行う。
- ・障がい者の生活を扶助するための特別障害者・障害児福祉手当、タイムケア事業、重度心身障害児・者福祉金、透析通院支援等を実施する。
- ・入浴時に介助を必要とする障がい者へしゃくなげの湯暖らんの湯(家族風呂)利用料の扶助を行う。
- ・児童発達支援事業所の運営等の補助を行う。
- ・あったカフェ運営への補助を行う。

【詳細事業内訳】

特別児童扶養手当事務 700千円 障害者余暇活動支援事業補助 300千円 特別障害者・障害児福祉手当事業 55,558千円 重度心身障害児・者福祉金事業 29,198千円 重度障害者家族介護慰労金事業 5,750千円 身体障害者補助犬飼育助成事業 36千円 自動車運転免許取得・改造助成事業 500千円 通所通園補助事業補助 977千円 特定疾患患者見舞金事業 6,120千円 軽度・中等度難聴児補聴器購入補助 300千円 障害者社会参加促進事業補助 1,350千円 障がい者外出支援事業 5,490千円 透析患者通院支援事業 3,714千円 障がい福祉総務費 4,413千円 障害者住宅等整備事業補助 3,150千円 障害者福祉団体活動補助 1,166千円 障害児・者タイムケア事業 2,549千円 児童発達支援等事業運営補助 4,450千円 家族介護用品購入助成事業 814千円 身体障害者会館運営事業 528千円 障害児通園施設利用児療育支援補助 111千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	2,122	特別児童扶養手当等事務、会計年度任用職員報酬(窓口事務者)			18	負担金補助及び交付金	12,615	児童発達支援事業運営支援補助事業等、障害者余暇活動支援事業補助、障害児通園施設利用児療育支援補助、障害者住宅等整備、難聴児補聴器購入、身体障害者福祉協会・手をつなぐ育成会・夢の実補助、通所通園補助、ふれあいバスの旅事業補助、自動車改造等助成、研修参加負担金、松本圏域障がい者スポーツ大会負担金、あったカフェ運営補助		
03	職員手当等	364	会計年度任用職員期末手当			19	扶助費	109,625	特定疾患見舞金、外出支援タクシー券、重度心身障害児・者福祉金、家族介護用品購入助成、重度障害者家族介護慰労金、透析患者通院支援補助、身体障害者補助犬飼育助成、暖らんの湯利用扶助、障害児・者タイムケア事業、特別障害者・障害児福祉手当		
07	報償費	368	登録手話通訳者・要約筆記者現任研修会、特別障害者手当審査、障害福祉運営委員会								
08	旅費	174	パートタイム会計年度任用職員通勤費、研修等旅費、手話通訳士特殊健康診断、連絡会								
10	需用費	990	豊科身体障害者会館修理費、特別児童扶養手当事務消耗品、事務用品外、家族介護用品購入助成券外、福祉課内送付用窓あき封筒印刷、障がい福祉計画等計画書印刷								
11	役務費	248	特別児童扶養手当通知等郵送代、クリーニング代、手話通訳士特殊健康診断健診料、手話通訳者等損害保険料、筆耕翻訳速記料								
12	委託料	668	豊科身体障害者会館、大型バス運行、障がい者就労事業所事務事業委託								

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	○	児童発達支援等事業運営補助	18	負担金補助及び交付金	4,450
			【事業内容】 児童発達支援事業所数の増大及び、医療的ケアを必要とする児童が児童発達支援事業所に通えるよう、事業所の開設及び看護師の配置に対して補助を行う。 【効果】 児童発達支援事業所数の増加及び医療的ケア児の通所支援		計	4,450
2	ソフト		しゃくなげの湯暖らんの湯(家族風呂)利用扶助	19	扶助費	396
			【事業内容】 入浴時に介助を必要とする障がい者に、しゃくなげの湯暖らんの湯(家族風呂)の利用料に扶助を行う。 【効果】 利用者の健康増進と社会参加を促進する。	10	需用費	38
					計	434

重点施策	(3)	コード	010502200	予算書ページ	132
		課・係等	福祉課 生活支援担当		

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	生活困窮者への支援
	事業	0103125	生活困窮者自立支援事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	19,836	13,222	0	0	0	6,614
前年度	14,479	10,119	0	0	0	4,360
増減額	5,357	3,103	0	0	0	2,254

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
15	生活困窮者住居確保給付金負担金	514	15	一時生活支援事業補助金	80					
15	子ども学習支援事業補助金	1,672								
15	就労準備支援事業補助金	1,833								

【目的・効果】
【目的】
 生活困窮者自立支援法に基づき、現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなる恐れのある者に対し、生活困窮状態からの自立を支援する。
【効果】
 個別に具体的な支援プランを作成することで、提供するサービス(事業)が明確になり自立支援につなげることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・自立相談支援機関(委託)による、相談支援、支援調整会議開催、支援プランの作成を行い、サービス(事業)の提供を行う。
 ・離職者に対し、住居確保給付金の支給を行い求職活動を支援する。
 ・子ども学習支援事業を行い、貧困の連鎖を食い止め、将来において最低限度以上の生活を維持できることを目指す。
 ・県との共同で就労準備支援事業を行い、一般就労が困難な者に対し、就労に必要な訓練を日常生活自立、社会生活自立段階から実施し一般就労に結び付ける。
 ・家計に問題を抱える生活困窮者に対してアセスメントを行い、家計の状況を「見える化」し、家計再生のための個別のプランを作成し、利用者の家計管理意識を引き出す。
 ・住居のない生活困窮者に対し、一定期間宿泊施設及び食事の供与等を実施し次の支援へつなげる。

【詳細事業内訳】
 一時生活支援事業 120千円 住居確保給付金事業 687千円 生活困窮者自立相談支援事業 10,623千円 家計改善支援事業 2,312千円 子ども学習支援事業 3,344千円 就労準備支援事業 2,750千円

【一般財源増加理由】生活困窮者自立相談支援事業、家計改善支援事業における人件費増。子ども学習支援事業の実施地区拡大のため委託料増。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	委託料	16,279	生活困窮者自立相談支援事業、子ども学習支援事業、家計改善支援事業				
18	負担金補助及び交付金	2,750	就労準備支援事業(県との共同実施)負担金				
19	扶助費	807	生活困窮者住居確保給付金、一時生活支援事業(宿泊費、食費)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	子ども学習支援事業	生活保護を含む生活困窮世帯等の子どもに対する学習支援、また、その保護者等に対し生活習慣、育成環境の改善、教育・就労に関する支援等を行うことにより、貧困の連鎖の防止を図る。	12	委託料	3,344
					計	3,344
2						
					計	0

重点施策	—	コード	010502200	予算書ページ	158
		課・係等	福祉課 生活支援担当		

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	03	生活保護費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	生活保護総務費		基本施策	生活困窮者への支援
	事業	0103510	生活保護総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	690,132	461,256	3,000	0	4,800	221,076
前年度	752,976	510,838	3,000	0	5,011	234,127
増減額	△ 62,844	△ 49,582	0	0	△ 211	△ 13,051

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	生活保護費国庫負担金	456,525	15	生活困窮者就労準備支援事業等補助金(生活保護適正化)	2,226	21	徴収金(旧法を含む)	260	
15	被保護者就労支援事業負担金	1,730	16	生活保護費県負担金	3,000	21	返還金過年度	300		
15	生活困窮者自立相談支援事業負担金	434	21	生活保護支援貸付金元金収入	480	21	徴収金過年度(旧法を含む)	960		
15	生活保護適正実施推進事業補助金	341	21	返還金	2,800					

- 【目的・効果】**
【目的】
 ・要保護者の生活維持と自立支援を図るため、生活扶助、医療扶助等を給付する。
【効果】
 ・保護費の支給により、最低限度の生活が維持できる。
 ・生活環境を整え、就労へつなげることができる。

- 【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・生活保護受給者に対し、生活保護費(扶助費)を支給する。(生活保護費給付事業)
 ・レセプト点検により、適正な医療扶助費の支給に努める。(生活保護適正実施推進事業)
 ・行旅者に対し帰来先までの交通費と食料を供与する。(行旅者対策事業)
 ・生活保護申請者に対し保護費受給開始までの間の生活費を貸し付ける。(生活保護支援資金貸付事業)
 ・安定した仕事に就くことにより保護を必要としなくなった世帯に対し保護廃止後に給付金を支給する。(就労自立給付金事業)
 ・2021年1月より、生活保護受給者に対して健診受診勧奨、保健指導等を行う「被保護者健康管理支援事業」が全ての福祉事務所で必須となるため準備を進める。

【詳細事業内訳】
 生活保護費給付事業 613,200千円 生活保護適正実施推進事業 391千円 行旅者対策事業 50千円 生活保護支援資金貸付事業 480千円 就労自立給付金事業 500千円 生活保護総務費 75,511千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	9,188	パートタイム会計年度任用職員報酬	11	役務費	1,002	携帯電話料、審査支払手数料、公用車車検手数料等
02	給料	31,041	一般職	12	委託料	3,443	介護認定調査委託、介護審査判定委託、レセプト点検、システム保守(生保、訪問支援)
03	職員手当等	17,809	職員諸手当、パートタイム会計年度任用職員諸手当	13	使用料及び賃借料	1,426	訪問支援システム賃貸借料、レセプト管理システム使用料
04	共済費	9,846	職員共済組合納付金	19	扶助費	613,750	生活保護扶助費、就労自立給付金、行旅者対策費
07	報償費	558	嘱託医謝礼(2名分)	20	貸付金	480	生活保護支援貸付金
08	旅費	440	パートタイム会計年度任用職員通勤費、管外扶養調査旅費、職員研修等旅費	26	公課費	41	公用車重量税
10	需用費	1,108	参考図書、事務用品、公用車燃料、公用車修繕費、緊急避難所修繕費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	生活保護費給付事業	要保護者に対し、生活維持と自立支援を図るため、適正な生活扶助、医療扶助等を給付する。保護費の支給により最低限度の生活維持が可能になる。	19	扶助費	613,200
					計	613,200
2					計	0

予算書ページ	160
--------	-----

重点施策	—	コード	010502200
		課・係等	福祉課 生活支援担当

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	03	生活保護費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	社会就労センター費		基本施策	生活困窮者への支援
	事業	0103520	社会就労センター管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	88,244	41,152	0	0	5,837	41,255
前年度	80,749	41,958	0	0	967	37,824
増減額	7,495	△ 806	0	0	4,870	3,431

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	公共施設目的外使用料(就労センター)	8	21	社会就労センター目販機電気料	109				
15	生活保護費国庫負担金	41,152								
19	公共施設整備基金繰入金	5,000								
21	障害者就労支援センター電気料	720								

【目的・効果】
【目的】
 ・社会就労センター管理運営を効率的・効果的かつ安定的に行うこと。
【効果】
 ・民間のノウハウを取り込むことで、管理経費の削減やサービスの向上を期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・社会就労センターの管理運営を効率的・効果的かつ安定的に行うため指定管理者へ管理運営に関する業務を委託する。
 ・就労または技能習得のための機会等を提供する。
 ・各企業から1年を通じて安定的な仕事を確保する。
 ・利用者の確保と一般就労への支援を行う。
 ・三郷社会就労センターの空調機改修を行う。

【詳細事業内訳】
 三郷社会就労センター空調機改修事業 8,624千円 社会就労センター管理費 79,620千円

【一般財源増加理由】 三郷社会就労センター空調機改修に伴う増額

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
10	需用費	200	施設修繕費50,000円×4施設				
12	委託料	79,237	指定管理料、空調機改修工事監理業務委託料(三郷)				
14	工事請負費	7,832	空調機改修工事(三郷)				
18	負担金補助及び交付金	975	社会就労センター福利厚生等事業への補助金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	社会就労センター管理費	社会就労センターの管理運営を指定管理者へ委託。民間のノウハウを活かし、事業の効率化・安定化が期待できる。	12	委託料	78,445
				18	負担金補助及び交付金	975
				10	需用費	200
				11	役務費	0
					計	79,620
2	ハード	○ 三郷社会就労センター空調機改修事業	三郷社会就労センター第1作業室のエアコン設備が室内温度調節不能となり改修をするもの。利用者の職場環境を快適に保ち、作業効率の向上を図る。	14	工事請負費	7,832
				12	委託料	792
					計	8,624

予算書ページ	132
--------	-----

重点施策	(3)	コード	010503100
		課・係等	子ども支援課 児童係

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103100	母子福祉事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	30,265	国支出金	県支出金	市債	その他	
前年度	19,866	14,442	5,165	0	1	10,657
増減額	10,399	9,756	2,825	0	1	7,284
		4,686	2,340	0	0	3,373

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13		母子生活支援施設等入所者負担金	1	16	児童入所施設措置費等県費負担金	5,165			
15		児童入所施設措置費等国庫負担金	10,330							
15		母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金	2,937							
15		児童虐待・DV対策等総合支援事業費国庫補助金	1,175							

【目的・効果】

【目的】

- ・DV被害者やひとり親家庭等からの相談に対する家庭への支援
- ・ひとり親家庭の親が資格を有して安定した職業に就くことができるようになるための生活援助
- ・親子の自立促進に向けた母子生活支援施設等への措置入所の方針決定及び手続き
- ・DV被害時の緊急時における早期対応
- ・実務研修会等への参加による相談員の資質向上
- ・孤独、孤立防止への相談窓口の周知

【効果】

- ・専門的立場からの助言、指導による支援
- ・ひとり親家庭等への経済的支援
- ・DV被害者等への安全、安心の確保及び自立に向けた情報提供
- ・定期的な相談によるDV被害等の未然防止と不安解消
- ・避難施設の維持管理による緊急時の安全確保

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・DV被害者やひとり親等が抱える多種多様な相談への支援対応
- ・ひとり親家庭の親が有資格により安定した就労を目指すための経済的支援
- ・DV被害者等の緊急時の安全確保のための常時利用可能となる避難施設の整備
- ・DV被害者等に対する配偶者暴力相談支援センターの積極的な活用

【詳細事業内訳】

母子福祉事業 6,482千円 女性保護事業 23,783千円

【一般財源増加理由】 母子生活支援施設への入所世帯数増による施設入所措置費及び1世帯あたりの児童数の増員による措置単価の増額

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	4,038	女性・自立支援相談員報酬	19	扶助費	24,620	高等職業訓練促進給付金、母子生活支援施設入所措置費
03	職員手当等	836	相談員期末手当				
08	旅費	368	研修会参加費、相談員通勤費				
10	需用費	297	避難施設維持管理費及び施設修繕費				
11	役務費	86	携帯電話使用料				
12	委託料	10	避難施設草刈				
18	負担金補助及び交付金	10	協議会等負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	女性保護事業	・配偶者暴力相談支援センター機能を積極的に活用し、DV被害者等の安全確保と自立促進に向けた支援に取り組んでいく。 ・母子生活支援施設入所世帯に対し、定期的な状況報告を受けつつ早期自立に向けて支援策を立てていく。 ・DV被害等からの安全確保のため、緊急時にも迅速に対応できるよう避難施設を維持管理していく。 ・多様化する児童虐待、育児不安の相談件数の増加に伴い、専門的な研修会等への参加とともに、関係機関等と情報共有しながら支援していく。	19	扶助費	20,704
				01	報酬	2,065
				03	職員手当等	418
				10	需用費外	596
					計	23,783
2					計	0

重点施策	(3)	コード	010503100
		課・係等	子ども支援課 児童係

予算書ページ	144
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103230	児童福祉総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
1,997,714	1,954,836	42,878	1,139,832	225,003	0	10,145
			1,141,322	230,036	0	10,134
			△ 1,490	△ 5,033	0	11
						622,734
						573,344
						49,390

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	児童扶養手当国庫負担金	125,792	15	子ども子育て支援交付金	3,622	21	児童手当返還金	10	
15	児童扶養手当国庫負担金前年度精算分	44	16	児童手当県費負担金	221,373	21	児童手当過年度返還金	10		
15	児童手当国庫負担金	1,010,274	16	子ども子育て支援交付金	3,622	21	児童扶養手当返還金	42		
15	児童手当国庫負担金前年度精算分	1	16	児童福祉施設入所負担金判定委託金	8	21	児童扶養手当過年度返還金	83		
15	児童虐待・DV対策等総合支援事業費国庫補助金	99	19	ふるさと寄附基金繰入金	10,000		(地方消費税交付金・引上分の地方消費税)	(504,000)		

【目的・効果】

【目的】

- ・関係機関との連携による児童虐待の早期発見と未然防止
- ・要対協の調整機関として執行すべき関係機関との連携強化に向けた体制整備
- ・実務研修会等への参加による相談員の資質向上
- ・社会保障制度に基づく児童手当、児童扶養手当と単独事業の子育て応援手当の支給事務処理
- ・計画策定に伴う、子ども・子育て会議での各事業の取り組み状況等の確認及び把握
- ・ファミリーサポートセンター事業に対する子育て世代の利用率向上及び登録会員の増加

【効果】

- ・児童虐待通告時の早期対応とともに、関係機関と情報共有することで、重篤な事案とならないよう支援していく。
- ・法令等で定められた各種手当を支給することにより経済的支援を図ることができる。
- ・計画で策定された支援方針や施策に基づき、様々な子育て支援サービスを提供できるよう市が主導となって進めていく。
- ・ファミリーサポート会員に登録し、地域の相互援助活動に参加することで、住民協働のまちづくりに貢献できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童虐待相談への早期対応と支援
- ・法令等による各種手当の支給事務
- ・子ども・子育て支援事業計画の進捗状況の把握
- ・ファミリーサポートセンター事業の利用促進

【詳細事業内訳】

児童扶養手当給付事業 377,499千円 家庭児童相談事業 9,605千円 ファミリーサポート事業 8,152千円 子育て応援手当給付事業 34,500千円 児童福祉総務費 114,295千円 児童手当給付事業 1,453,663千円

【一般財源増加理由】 児童扶養手当法改正により、年3回の支給月が隔月(年6回)になり当該年度で前倒し支給分が増加したため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	9,297	家庭児童相談員及び事務補助員報酬	11	役務費	697	広報紙掲載料、手当振込手数料
02	給料	59,418	一般職員給与	12	委託料	10,487	システム保守業務委託、子育て支援事業業務委託
03	職員手当等	31,250	職員諸手当及び会計年度任用職員期末手当	18	負担金補助及び交付金	84	研修会、協議会等負担金
04	共済費	20,148	職員共済組合給付金	19	扶助費	1,864,358	児童手当、児童扶養手当等給付費
07	報償費	105	子ども・子育て会議出席謝礼	26	公課費	18	公用車重量税
08	旅費	410	研修会参加旅費、会計年度任用職員通勤費				
10	需用費	1,442	公用車維持管理費、各種手当通知書等印刷製本費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	家庭児童相談事業	・児童虐待等への対応における支援体制の強化を図るため、要保護児童対策地域協議会を活用した子ども家庭総合支援拠点の設置に向けて取り組んでいく。 ・子育て支援事業を積極的に活用し、保育施設等の利用促進や各種支援事業により養育者の育児不安を解消していく。	01	報酬	5,872
				12	委託料	2,041
				03	職員手当等	1,253
				08	旅費外	439
					計	9,605
2	ソフト	ファミリーサポート事業	・登録会員の増加を図ることで、地域での見守りとともに相互援助活動としての発展に寄与していく。 ・利用促進を図るため、広報活動等に積極的に取り組むことにより、子育て世代を孤立させないとともに気軽に相談できる地域の仲間づくりの場を提供していく。	12	委託料	7,852
				19	扶助費	300
					計	8,152

重点施策	(3)	コード	010503100
		課・係等	子ども支援課 児童係

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103240	児童遊園管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	550	0	0	0	0	550
前年度	2,797	0	0	0	0	2,797
増減額	△ 2,247	0	0	0	0	△ 2,247

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・経年劣化や安全確保できない遊具等を地域住民と協議しながら随時撤去を行っていく。
【効果】
 ・利用することが危険な遊具の撤去により、児童の安全を確保することができる。
 ・安全点検を実施する遊具基数を減らし、点検費用のコスト削減に繋げることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・児童遊具撤去工事5基(地区住民への遊具の撤去依頼及び状況説明)

【詳細事業内訳】
 小規模公園整備事業 550千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
14	工事請負費	550	児童遊具撤去工事				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	小規模公園整備事業	・公園管理一元化に向け、再度、公園遊具管理台帳を整備したうえで小規模公園の維持管理等を含めた管理体制のあり方を市として決定づけ、その方針について区長会等を通して提示又は依頼していく。	14	工事請負費	550	
					計	550	
2							
					計	0	

重点施策	(3)	コード	010503200
		課・係等	子ども支援課 保育担当

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103290	公立認定こども園整備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	191,166	0	0	171,300	0	19,866
前年度	962,434	0	51,200	844,200	20,000	47,034
増減額	△ 771,268	0	△ 51,200	△ 672,900	△ 20,000	△ 27,168

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	22	保育所建設事業	171,300							

【目的・効果】

【目的】

子育て支援の充実を図るため、老朽・狭隘化した園舎を新築・改修し、未満児室・延長保育室を設置充実するなど教育・保育環境を改善する。

【効果】

施設更新や改修により、教育・保育環境や耐震性能、防犯性能等、施設環境の向上を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 明科南…駐車場を整備する。
- たつみ…園庭及び駐車場を整備する。
- 上川手…園庭拡張に向けた上川手公園の改修工事を実施する。

【詳細事業内訳】

たつみ認定こども園建設事業 81,060千円 / 上川手認定こども園改修事業 10,391千円 / 明科南認定こども園建設事業 99,715千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	役務費	26	建築確認審査手数料、他				
12	委託料	2,196	工事監理業務委託料、他				
14	工事請負費	188,944	駐車場造成工事、他				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	継続	明科南認定こども園建設事業 たつみ認定こども園建設事業 駐車場を整備することで、円滑に園を運営することが可能になる。 園庭を整備することで、健全な保育環境を提供することができる。(たつみ)	11	役務費	26
				12	委託料	1,001
				14	工事請負費	179,748
					計	180,775
					計	0

重点施策	(3)	コード	010503200			予算書ページ	150
		課・係等	子ども支援課 保育担当				
予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち	
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち	
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実	
	事業	0103300	保育政策費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	585,686	261,703	118,183	0	17,112	188,688
前年度	503,752	194,665	106,925	0	33,238	168,924
増減額	81,934	67,038	11,258	0	△ 16,126	19,764

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	保育児童保育料	5,603	15	子ども子育て支援交付金	11,060	16	子ども子育て支援交付金	11,060	
15	子どものための教育保育給付費負担金	196,119	15	子ども・子育て支援事業費補助金	4,547	16	保育対策総合支援事業補助金	33		
15	子育てのための施設等利用給付費負担金	12,974	16	子どものための教育保育給付費負担金	98,059	16	第3子以降の保育料減免事業補助金	144		
15	子どものための教育保育給付費負担金前年度精算分	1	16	子育てのための施設等利用給付費負担金	6,487	21	一時的保育料	11,447		
15	保育対策総合支援事業補助金	1,002	16	子どものための教育保育給付費負担金前年度精算分	1	21	病児・病後児保育利用料	62		
15	保育所等整備交付金	36,000	16	子育て支援総合助成金	2,399					

【目的・効果】

【目的】

- 子ども・子育て支援法に基づく、教育・保育の給付及び地域子ども・子育て支援事業の実施
- 認可外保育施設を支援し、認可外保育施設を利用する児童の処遇向上を図る
- 多子世帯に対する経済的負担の軽減

【効果】

幼児期の良質な教育・保育が保護者の選択によって多様な実施主体において受けることができるほか、多子世帯に対する経済的負担の軽減や多様な保育サービス等により、子育て環境の充実が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 児童福祉法並びに子ども・子育て支援法に基づく、教育・保育の給付(私立の特定教育・保育施設(保育所、幼稚園、認定こども園)、子育てのための施設等利用給付及び特定地域型保育事業(小規模保育事業、家庭的保育事業)に対する給付費の支給)
- 地域子ども・子育て支援事業の実施(私立の特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の延長保育事業に対する補助、病児・病後児保育保育事業の医療機関への業務委託、公立認定こども園における一時預かり事業の実施)
- 認可外保育施設への補助金の交付
- 認可外保育施設等を利用する第3子目以降の子どもに対する利用料に係る補助金の交付
- 小規模保育事業所の施設整備に係る補助金の交付

【詳細事業内訳】

私立保育所等延長保育事業 13,665千円 私立保育所等特別保育事業 27,332千円 保育総務費 12,147千円 多子世帯保育料負担軽減事業 525千円 認可外保育施設支援事業 16,658千円 子どものための教育・保育給付費 436,313千円 病児・病後児保育事業 13,170千円 一時預かり事業 20,259千円 実費徴収補給付事業 570千円 小規模保育施設整備事業 40,500千円 幼児教育・保育無償化対策費 4,547千円

【一般財源増加理由】 幼児教育・保育の無償化により、法定負担割合(国1/2、県1/4、市1/4)の市負担分も増加した。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	25,539	パートタイム会計年度任用職員報酬	19	扶助費	25,949	子育てのための施設等利用給付費
03	職員手当等	8,259	パートタイム会計年度任用職員諸手当	22	償還金、利子及び割引料	1	過年度国庫・県費還付金
07	報償費	69	入園等支援委員会出席謝礼、認定こども園民営化事業者選考委員会出席謝礼				
08	旅費	654	研修等旅費、パートタイム会計年度任用職員通勤費				
10	需用費	1,437	消耗品費、保育ガイド等印刷製本費				
12	委託料	15,571	病児・病後児保育事業、市外保育業務委託				
18	負担金補助及び交付金	508,207	私立保育所等延長保育事業、私立保育所等特別保育事業、多子世帯保育料負担軽減事業、認可外保育施設支援事業、子どものための教育・保育給付費、実費徴収補給付事業、小規模保育施設整備事業				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	子どものための教育・保育給付費	私立の保育所、認定こども園、幼稚園、地域型保育事業を利用する子どもに対して、教育・保育給付費を負担するとにより、すべての子どもが発達段階に応じた幼児期の教育・保育を受けられる。	18	負担金補助及び交付金	407,905
				19	扶助費	25,949
				12	委託料	2,459
					計	436,313
2	ハード	小規模保育施設整備事業	小規模保育施設の設置者に整備に係る補助金を交付して、施設整備を行い、3歳未満児の受け皿を拡大することにより、待機児童の解消を図る。	18	負担金補助及び交付金	40,500
					計	40,500

重点施策	(3)	コード	010503200	予算書ページ	152
		課・係等	子ども支援課 保育担当		

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103310	認定こども園管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,604,372	300	13,772	0	182,663	1,407,637
前年度	1,553,059	406	22,805	0	589,403	940,445
増減額	51,313	△ 106	△ 9,033	0	△ 406,740	467,192

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	保育児童保育料	179,278	13	保育料督促手数料	20	16	教育支援体制整備事業補助金	484	
13	突発長時間保育料	2,496	15	子ども・子育て支援体制整備総合推進事業補助金	300	16	第3子以降の保育料減免事業補助金	2,448		
13	保育児童保育料滞納繰越金	480	16	電源立地地域対策交付金	10,651	21	南穂高認定こども園太陽光発電売電	27		
13	他市町村保育児童保育料	360	16	子育て支援総合助成金	189	21	西穂高認定こども園太陽光発電売電	2		

【目的・効果】

【目的】

○安曇野市の公立認定こども園を適切に管理・運営し、子ども・子育て支援法、児童福祉法並びに認定こども園法に基づき、幼児期の教育・保育の給付を行う。

【効果】

○発達段階に応じた質の高い教育・保育及び子育て支援の提供ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【事業概要】

施設及び設備の点検及び修繕を行い、適切に維持管理するとともに、園長及び主任保育士を含め保育士に対して担当業務に必要な研修を行い、質を高めながら幼児期の教育・保育を提供する。また、信州やまほいく認定制度も活用しながら安曇野市としての特色ある教育・保育を実践していく。また、会計年度任用職員制度及び幼児教育・保育の無償化により一般財源が前年度を上回った。

【詳細事業内訳】

公立認定こども園管理費 1,503,657千円 有明あおぞら認定こども園管理 5,634千円 公立認定こども園空調機設置事業 327千円 たつみ認定こども園管理 4,218千円 豊科認定こども園管理 6,546千円 西穂高認定こども園管理 7,496千円 穂高認定こども園管理 7,717千円 上川手認定こども園管理 4,857千円 有明の森認定こども園管理 5,480千円 三郷東部認定こども園管理 6,303千円 三郷北部認定こども園管理 4,621千円 堀金認定こども園管理 8,955千円 豊科南部認定こども園管理 5,263千円 三郷西部認定こども園管理 4,245千円 明科南認定こども園管理 5,411千円 南穂高認定こども園管理 6,188千円 アルプス認定こども園管理 3,718千円 北穂高認定こども園管理 4,301千円 三郷南部認定こども園管理 5,310千円 明科北認定こども園管理 4,125千円

【一般財源増加理由】		会計年度任用職員制度による保育士等の報酬の増及び幼児教育・保育の無償化により一般財源が増加した。							
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
01	報酬	668,646	保育士等パートタイム会計年度任用職員報酬、園医報酬		11	役務費	7,978	各園電話料、機器調整手数料、尿検査手数料ほか	
02	給料	358,423	保育士等職員給料		12	委託料	23,755	園設備管理点検委託料ほか	
03	職員手当等	288,326	職員諸手当、パートタイム会計年度任用職員諸手当		13	使用料及び賃借料	10,956	コピー印刷機借上げ、園用地借地料ほか	
04	共済費	107,337	職員共済組合納付金		14	工事請負費	8,842	園施設改修工事ほか	
07	報償費	10,645	研修会講師謝礼、医師等労務謝礼		17	備品購入費	2,867	各園備品購入	
08	旅費	14,653	自家用車公務使用、研修会旅費、パートタイム会計年度任用職員通勤費ほか		18	負担金補助及び交付金	2,545	研修会講習会負担金ほか	
10	需用費	99,399	各園光熱水費、保育用消耗品、保育士作業用被服費、園施設修繕費ほか						

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	(3)	コード	010503200
		課・係等	子ども支援課 保育担当

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103320	認定こども園給食運営費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	402,525	0	0	0	21,940	380,585
前年度	329,666	0	0	0	21,940	307,726
増減額	72,859	0	0	0	0	72,859

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	認定こども園職員給食代	21,924							
21	認定こども園廃油売却代金	16								

【目的・効果】
【目的】
 ・児童に安全安心な給食を提供する。
 ・給食施設の衛生・安全点検を行う。
【効果】
 ・給食調理業務の民間委託により、民間の活力を生かした効率的な運営ができる。
 ・ウイルス検査、食品微生物点検、給食室消毒等を行うことで常に衛生的な環境で調理業務を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・給食調理業務委託を以下の区分に分け、業者に委託している。
 Aグループ 西穂高・北穂高・穂高
 Bグループ 有明の森・有明あおぞら・堀金
 Cグループ 三郷東部・三郷西部・三郷南部・三郷北部
 Dグループ 豊科・豊科南部・つつみ・アルプス
 Eグループ 南穂高・上川手・明科南・明科北
 ・食器、調理用消耗品、衛生用品、給食材料の購入。
 ・職員保菌検査、ノロウイルス検査等の実施。
 ・調理用備品の整備

【詳細事業内訳】
 公立認定こども園給食運営費 402,525千円

【一般財源増加理由】 主に、給食調理業務委託料の増加によるもの。(消費税率改定による増額を含む)

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
10	需用費	203,504	給食用消耗品、給食材料費ほか				
11	役務費	1,178	衛生管理検査費ほか				
12	委託料	196,754	調理業務委託ほか				
17	備品購入費	1,089	給食用備品				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	310
--------	-----

重点施策	(3)	コード	010503200
		課・係等	子ども支援課 保育担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	04	幼稚園費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	01	幼稚園費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110295	穂高幼稚園運営費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	57,134	0	0	0	72	57,062
前年度	62,184	0	0	0	18,273	43,911
増減額	△ 5,050	0	0	0	△ 18,201	13,151

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	幼稚園預かり保育料	72							

【目的・効果】
【目的】
 ・次世代を担う人づくりの推進を図るため、穂高幼稚園を適切に管理・運営することにより、幼児教育の給付を行う。
【効果】
 ・園児に発達段階に応じた質の高い幼児教育を提供することができ、安全な環境の中で成長に必要な幼児期の基礎を培うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 学校教育法に基づき、基準に適したクラス編成、職員配置並び施設管理を行い、幼稚園教育要領に則って適切な幼児教育を提供する。
 また、加配教諭等を配置し、個々の児童の発達状況に応じて必要な支援を行う。

【詳細事業内訳】
 穂高幼稚園運営費 57,134千円

【一般財源増加理由】 幼児教育・保育の無償化により一般財源が増加した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	18,967	園医等報酬、幼稚園教諭等パートタイム会計年度任用職員報酬	11	役務費	487	電話料、各種検査手数料ほか
02	給料	14,282	幼稚園教諭等職員給料	12	委託料	1,487	園舎設備管理業務委託ほか
03	職員手当等	11,494	職員・パートタイム会計年度任用職員諸手当	13	使用料及び賃借料	278	印刷機借り上げ料ほか
04	共済費	4,590	職員共済組合納付金	17	備品購入費	57	園児用保育室備品
07	報償費	835	講演会講師謝礼、保育協力員謝礼ほか	18	負担金補助及び交付金	87	研究会、協議会等参加負担金ほか
08	旅費	949	研修・研究会等旅費ほか				
10	需用費	3,621	消耗品、光熱水費、燃料費、印刷製本費ほか				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	(3)	コード	010503200	予算書ページ	314
		課・係等	子ども支援課 保育担当		

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	04	幼稚園費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	01	幼稚園費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110300	穂高幼稚園給食運営費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	13,486	0	0	0	3,137	10,349
前年度	11,658	0	0	0	3,910	7,748
増減額	1,828	0	0	0	△ 773	2,601

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	幼稚園給食費	3,136							
21	幼稚園廃油売却代金	1								

【目的・効果】
【目的】
 ・児童に安全安心な給食を提供する。
 ・給食施設の衛生・安全点検を行う。
【効果】
 ・給食調理業務の民間委託により、民間の活力を生かした効率的な運営ができる。
 ・ウイルス検査、食品微生物点検、給食室消毒等を行うことで常に衛生的な環境で調理業務を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・給食調理業務の事業者委託。
 ・食器、調理用消耗品、衛生用品、給食材料の購入。
 ・職員保菌検査、ノロウイルス検査等の実施。
 ・老朽化した備品の整備。

【詳細事業内訳】
 穂高幼稚園給食運営費 13,486千円

【一般財源増加理由】 主に、給食調理業務委託料の増加によるもの。(消費税率改定による増額を含む)

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
10	需用費	5,442	給食用消耗品、給食材料費ほか				
11	役務費	98	食品検査、厨房機器点検				
12	委託料	6,930	調理業務委託				
17	備品購入費	1,016	給食調理備品				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

保健医療部

重点施策	—	コード	010701100	予算書ページ	162
		課・係等	健康推進課 健康推進担当		

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすま
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	地域医療の充実
	事業	0104010	保健衛生総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	272,828	0	0	0	0	272,828
前年度	266,471	0	0	0	0	266,471
増減額	6,357	0	0	0	0	6,357

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ○休日、および、夜間の地域医療の体制を充実させる。 ○松本医療圏救急医療体制を維持する。 ○松本地域における出産子育て安心ネットワークを維持する。
 ○災害時医療救護所等医療体制の整備を進める。
【効果】
 ○地域医療、救急医療の体制整備を進めることができる。 ○少子化対策の一環となる。 ○災害時医療体制の整備を進めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○在宅(休日)当番医制事業を安曇野市医師会へ委託する。
 ○在宅(休日)歯科当番医制事業を安曇野市歯科医師会へ委託する。
 ○病院群輪番制病院運営事業について、負担金を支払う。
 ○松本地域出産子育て安心ネットワーク事業について、同協議会へ負担金を支払う。
 ○災害時医療救護活動にかかわる事業を実施する。

【詳細事業内訳】
 保健衛生総務費 272,386千円 保健医療救護事業 442千円

【一般財源増加理由】	○前年度予防総務費に計上していた健康推進担当の非常勤職員3名分の賃金を、01報酬等に変更し計上したため										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	6,144	会計年度任用職員報酬分			11	役務費	244	休日診療医師賠償保険		
02	給料	131,985				12	委託料	6,924	在宅(休日)当番医制事業委託、安定ヨウ素剤管理委託		
03	職員手当等	62,867				18	負担金補助及び交付金	22,611	病院群輪番制負担金、松本地域出産子育て安心ネットワーク事業負担金 外		
04	共済費	41,499									
07	報償費	98	新型インフルエンザ等体制検討委員会委員、医療救護活動マニュアル検証委員会委員の出席謝礼								
08	旅費	152	会計年度任用職員通勤費								
10	需用費	304	医療救護所医薬品、新興感染症備蓄品など								

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—	コード	010701300	予算書ページ	162
		課・係等	健康推進課 健康支援担当		

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104015	予防総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	48,710	0	0	0	100	48,610
前年度	65,198	0	0	0	100	65,098
増減額	△ 16,488	0	0	0	0	△ 16,488

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
	21	その他衛生費雑入(健康推進課)	100								100

【目的・効果】
【目的】
 ○健康づくりに関係する各種計画に基づき事業評価を行う。
 ○実務にあたる専門職員の人材確保(会計年度任用職員)と資質向上を図る。
 ○健康管理システム運用により市民の健康データを一元的に管理し、効果的な保健指導を実施する。
【効果】
 ○各種保健事業を実施するための環境が整備されることで、市民の健康を守り健康長寿を推進することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○附属機関会議(食育推進会議)及び有識者会議(健康づくり推進協議会・歯科口腔保健部会)を開催し各種計画の進捗管理を行う。
 ○事業実施に必要な専門職員(会計年度任用職員)を雇用する。また専門職対象に開催されるの研修会に出席する。
 ○健康管理システムのリース及び保守・改修業務委託を行う。

【詳細事業内訳】
 予防総務費 48,710千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	32,007	食育推進会議委員・会計年度任用職員分	18	負担金補助及び交付金	220	専門職研修会負担金
03	職員手当等	6,572	会計年度任用職員諸手当				
07	報償費	126	健康づくり推進協議会・歯科口腔保健部会委員出席謝礼				
08	旅費	1,217	専門職員研修会旅費・会計年度任用職員通勤費				
10	需用費	2,788	健診こよみ・保健事業報告書・各種検診申込票印刷代等				
12	委託料	2,949	健康管理システム保守業務委託料・各種検診申込票代行印刷業務委託料				
13	使用料及び賃借料	2,831	健康管理システムリース料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	164
--------	-----

重点施策	(1)	コード	010701300
		課・係等	健康推進課 健康支援担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすま
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104020	健康づくり事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,596	60	0	0	0	2,536
前年度	2,751	0	0	0	0	2,751
増減額	△ 155	60	0	0	0	△ 215

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	地域自殺対策強化事業補助金	60							

【目的・効果】
【目的】
 ○健康づくり推進員活動や啓発活動を通して住民自らが健康づくりに取り組める。
【効果】
 ○健康づくり推進員自らが地域の健康課題を理解し健康づくりに取り組める。
 ○健康づくり推進員地区活動等を通して各地区住民が健康づくりの学習機会がもてる。
 ○住民自らが健康づくりに関心を持ち、生活改善等実践ができる。
 ○住民が自殺予防への関心を持ち、ゲートキーパーとしての役割が実践できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○健康づくり推進員が自ら学習をしながら地区活動等が実践できるよう支援をする。
 ○地区活動の実践に向けてわかりやすい学習項目の提示や食生活改善推進員活動の利用を進める。
 ○自殺対策を支える人材を育成するため、市民及び職員向けのゲートキーパー研修会を開催する。

【詳細事業内訳】
 健康づくり事業 2,596千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	報償費	1,857	講演会・健康づくり推進員地区活動に伴う講師謝礼、総会等出席謝礼、ゲートキーパー研修会講師謝礼				
10	需用費	17	歯科指導出前講座材料費、自殺対策啓発用上質紙				
11	役務費	35	健康づくり推進員保険料				
12	委託料	687	食改県推進大会・健康づくり推進員研究大会等バス代、食改伝達講習会委託料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	健康づくり事業	健康づくり推進員や食生活改善推進員活動、各地区組織への健康教室や自殺対策におけるゲートキーパー研修等の啓発活動を通して住民自らが健康づくりに取り組むことができる。	07	報償費	1,857
				12	委託料	687
				11	役務費	35
				10	需用費	17
					計	2,596
2						
					計	0

重点施策	—	コード	010701300	予算書ページ	166
		課・係等	健康推進課 健康支援担当		

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104025	穂高健康支援センター管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20,270	0	0	0	1,113	19,157
前年度	21,478	0	0	0	1,111	20,367
増減額	△ 1,208	0	0	0	2	△ 1,210

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	公共施設目的外使用料(保健センター分)	4							
14	保健センター使用料	21								
21	保健センター自販機電気料	24								
21	穂高健康支援センター外部団体光熱水費	1,064								

【目的・効果】
【目的】
 ○市の保健医療施策を展開する拠点として各種事業が計画どおり執行されるよう、また地域の保健事業の拠点として市民が健康づくり活動を安心安全に行えるよう、施設の維持管理を行う。
【効果】
 ○各種検診及び予防活動の際に事故や不具合がなく効果的に事業が実施できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○施設利用者の安全を確保するため、施設及び設備の保守点検業務を業者に委託して実施し、不具合箇所は早期に対処する。
 ○施設及び設備の計画的な更新を検討する。
 ○配置された公用車を適正に管理する。

【詳細事業内訳】
 穂高健康支援センター管理事業 20,270千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
10	需用費	12,358	事務用品・施設管理用品・公用車用品・公用車燃料費・施設修繕費・光熱水費・施設及び公用車修繕費								
11	役務費	2,361	電話料・公用車定期点検手数料・自賠責保険料								
12	委託料	4,433	施設及び設備管理業務委託料(警備・消防用設備点検・清掃・自動ドア保守点検・外構整備・休日施設管理・除雪等)								
13	使用料及び賃借料	902	コピー機・印刷機借上料及び使用料								
18	負担金補助及び交付金	4	防火管理者協議会負担金								
26	公課費	212	自動車重量税								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策	—	コード	010701300
		課・係等	健康推進課 健康支援担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104030	地域保健センター管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,787	0	0	0	25	3,762
前年度	3,923	0	0	0	22	3,901
増減額	△ 136	0	0	0	3	△ 139

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	保健センター使用料	25							

【目的・効果】
【目的】
 ○地域の保健事業の拠点として市民が健康づくり活動を安心安全に行えるよう施設の維持管理を行う。
【効果】
 ○各種検診及び予防活動の際に事故や不具合がなく効果的に事業が実施できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○施設利用者の安全を確保するため、施設及び設備の保守点検業務を業者に委託して実施し、不具合箇所は早期に対処する。
 ○施設及び設備の計画的な更新を検討する。

【詳細事業内訳】
 地域保健センター管理費 3,787千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
10	需用費	632	施設管理用品・燃料代・施設修繕費						
11	役務費	489	電話料・クリーニング代						
12	委託料	2,489	施設及び設備管理業務委託料(警備・清掃・自動ドア保守等)						
13	使用料及び賃借料	177	コピー機借上料及び使用料						

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—	コード	010701100
		課・係等	健康推進課 健康推進担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすま
	目	02	予防費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104060	予防接種事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	267,999	8,132	180	0	0	259,687
前年度	270,040	12,738	0	0	0	257,302
増減額	△ 2,041	△ 4,606	180	0	0	2,385

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	感染症予防事業費等国庫負担(補助)金	8,132							
16	造血細胞移植後のワクチン再接種費用助成事業県補助金	180								

【目的・効果】

○予防接種は、各種の病原体に対する免疫を持たない者を対象に行われるもので、感染予防、発病防止、重症化予防、感染症のまん延予防などを目的としている。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 予防接種法で規定されている定期の予防接種を実施できるように接種券等の送付を行う。
- 近年変更が相次ぐ予防接種が混乱なく実施できるよう、対象者や医療機関への周知を行う。
- 個別予防接種として、医療機関との委託契約を締結し実施する。
 A類(個人負担なし):二種混合(DT)、麻しん風しん(MR)、日本脳炎、BCG、Hib、小児用肺炎球菌、4種混合、水痘、子宮頸がん、B型肝炎
 B類(個人負担あり):高齢者インフルエンザ(1,200円)、高齢者肺炎球菌(2,000円)
- 風しんの追加的対策として3か年計画の2年目。抗体保有率の低い年代の男性に対する抗体検査・予防接種(定期接種)を実施する。
- 新たに、ロタウイルスワクチンを令和2年10月から定期接種(A類)として実施する。
- 新たに、造血細胞移植後ワクチン再接種費用の助成を実施する。

【詳細事業内訳】

予防接種事業 267,999千円

【一般財源増加理由】	ロタウイルスワクチンの定期接種化及び造血細胞移植後ワクチン再接種費用助成事業による増額						
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	214	予防接種封入作業	19	扶助費	708	県外などでの予防接種扶助
08	旅費	23	予防接種従事者研修会 外				
10	需用費	2,286	予防接種予診票・通知封筒印刷 外				
11	役務費	1,337	予防接種郵送料、国保連合会手数料				
12	委託料	262,966	予防接種・風しん抗体検査委託				
13	使用料及び賃借料	65	ドットインパクトプリンタリース料				
18	負担金補助及び交付金	400	造血細胞移植後ワクチン再接種費用助成				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	予防接種事業	予防接種法で規定されている定期の予防接種を実施できるように接種券等の送付を行うことにより、感染予防、発病防止、重症化予防、感染症のまん延予防などを図る。	01	報酬	214
				10	需用費	2,286
				12	委託料	262,966
				19	扶助費 外	2,133
					計	267,599
2	ソフト	○ 造血細胞移植後ワクチン再接種費用助成事業(予防接種事業)	小児がん等の治療を目的とした造血細胞移植により、移植前に接種した定期予防接種ワクチンの免疫が消滅し、ワクチンの再接種が必要と医師が認めた20歳未満で市内に住所を有する者を対象に助成を行う。	18	負担金補助及び交付金	400
					計	400

重点施策	—	コード	010701300
		課・係等	健康推進課 健康支援担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104070	成人検診事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	89,670	50	0	0	6,490	83,130
前年度	79,416	50	0	0	6,550	72,816
増減額	10,254	0	0	0	△ 60	10,314

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	がん検診推進事業補助金	50							
19	国民健康保険特別会計繰入金	500								
21	成人検診徴収金	5,990								

【目的・効果】
【目的】
 ○がんや結核の早期発見・早期治療のための検診を実施し、壮年期死亡の減少や健康寿命の延伸を目指す。
【効果】
 ○検診等の受診により自らの健康を維持していくことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○がん検診(胃・大腸・乳房超音波・マンモグラフィ・子宮頸部・肺がんCT)の実施。
 ○結核検診の実施。
 ○がん検診受診率向上をめざし検診体制の検討を行うとともに、受診勧奨通知の送付等を行う。
 ○休日検診の実施。

【詳細事業内訳】
 成人検診事業 89,670千円

【一般財源増加理由】消費税率改正(8%から10%)による委託料の増額

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	379	がん検診等事務会計年度任用職員分				
07	報償費	338	看護師謝礼、医療体制検討会議出席謝礼				
08	旅費	50	会計年度任用職員通勤費				
10	需用費	814	医薬材料費、検診通知用封筒・無料クーポン券・受診勧奨通知の印刷製本				
11	役務費	168	女性がん検診無料クーポン券等の郵送料				
12	委託料	87,891	検診通知・問診票の作成封入等事務委託及び各種がん検診、結核検診の医務委託				
18	負担金補助及び交付金	30	女性がん検診の検診費用補助(クーポン券対象者の契約医療機関以外の受診に対する費用扶助)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	成人検診事業	各種がん検診、結核検診により市民が自らの健康状態を把握し、健康の保持増進に努めることができる。多くの市民が検診を受診できるように受診勧奨を行う。また、精密検査が必要な場合には確実に医療機関を受診できるように支援する。	12	委託料	87,891
				10	需用費	814
				01	報酬	379
				07	報償費 外	586
					計	89,670
2					計	0

予算書ページ	170
--------	-----

重点施策	(1)	コード	010701300
		課・係等	健康推進課 健康支援担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすま
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104075	健康増進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	12,755	0	4,000	0	340	8,415
前年度	12,470	0	2,000	0	505	9,965
増減額	285	0	2,000	0	△ 165	△ 1,550

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	保健事業補助金	4,000							
21	健康診査徴収金	340								

【目的・効果】
【目的】
 ○健康診査等を実施し、健診結果に基づく保健指導を行い、生活習慣病の発症予防、重症化予防に取り組み、健康増進を図る。
【効果】
 ○一人ひとりの健診結果に基づく保健指導により、生活習慣病の発症リスクを確認し、個人にあった生活改善の方法を知ることができる。
 ○生活改善により、生活習慣病の発症予防、重症化予防ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○健康増進法に基づく事業を行う。
 健康相談 健康教育
 保健指導 訪問指導
 健康増進法対象者(医療保険未加入者対象)健康診査
 肝炎ウイルス検診
 骨健診
 成人歯科健診(個別健診)等
 ○若年者健診
 ○特定保健指導

【詳細事業内訳】
 健康増進事業 12,755千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	47	健康診査等事務会計年度任用職員分						
07	報償費	1,046	保健師、看護師、運動指導士、歯科衛生士、歯科医師等謝礼						
08	旅費	8	会計年度任用職員通勤費						
10	需用費	1,039	医薬材料、保健指導用教材購入、検診帳票、通知用封筒等の印刷製本						
11	役務費	1,101	骨健診、成人歯科健診、肝炎ウイルス検診受診勧奨通知及び結果通知運搬費						
12	委託料	9,430	健診等の通知及び問診票の作成、封入等事務委託、各種健診等の医務委託						
13	使用料及び賃借料	84	保健指導教材ソフト(iPad付)使用料						

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	健康増進事業	一人ひとりの健診等結果に基づいた個別の保健指導を実施することにより、生活習慣病発症予防、重症化予防ができる。成人歯科健診、健康増進法対象者(医療保険未加入者対象)健康診査の個別健診を導入することにより、発症予防・重症化予防を図る。	12	委託料	9,430
				11	役務費	1,101
				07	報償費	1,046
				10	需用費 外	1,178
					計	12,755
2						
					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010701100
課・係等	健康推進課 健康推進担当

予算書ページ	170
--------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすまち
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	地域医療の充実
	事業	0104080	骨髄バンクドナー助成事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	600	0	300	0	0	300
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	600	0	300	0	0	300

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	骨髄バンクドナー助成事業県補助金	300							

【目的・効果】
【目的】
 ・骨髄ドナーの負担を軽減し、必要とする方が骨髄等の移植を受けられるようにする。
【効果】
 ・骨髄ドナー登録者の増加及び骨髄ドナーが提供しやすい環境が整う。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【対象者】
 ○市内に住所があつて、骨髄バンク事業において骨髄等の提供を完了したドナー
 ○ドナーが勤務している事業所
【助成方法】
 ○ドナーに対する助成:入院・通院・面談1日あたり2万円(10日間を上限)
 ○ドナーが勤務する事業所に対する助成:入院・通院・面談1日あたり1万円(10日間を上限)

【詳細事業内訳】
 骨髄バンクドナー助成事業 600千円

【一般財源増加理由】		新規事業					
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
18	負担金補助及び交付金	600	骨髄バンクドナー助成				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○ 骨髄バンクドナー助成事業	骨髄または末梢血幹細胞を提供した者及びその者が勤務する事業所等に対し、助成金を交付することにより、骨髄等の移植の推進及びドナー登録の推進に寄与する。	18	負担金補助及び交付金	600	
					計	600	
2					計	0	

予算書ページ	172
--------	-----

重点施策	—	コード	010701300
		課・係等	健康推進課 健康支援担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0104090	母子保健事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	16,485	0	0	0	0	16,485
前年度	17,068	0	0	0	0	17,068
増減額	△ 583	0	0	0	0	△ 583

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】すべての子どもが健やかに成長発達し、将来にわたる健康的な生活習慣を身につけるための支援をする。
【効果】
 ○保護者が子どもの月齢に応じた発育・発達や、栄養、歯科口腔保健等を理解し、安心して育児ができる。
 ○健康的な生活習慣を身につけ、将来の生活習慣病予防等につながる。
 ○育児に対する不安を軽減し、虐待等の予防につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○特定妊婦やハイリスク妊婦など特に支援を要する妊婦が増加しているため、出産後の背景などを確認し支援につなげることを目的に、母子・子育て相談窓口と連携し相談、訪問等を行う。
 ○乳幼児健診や相談、教室などを実施し、発達や生活リズム、栄養や歯科口腔等の個別指導を行う。
 ○子どもや保護者に対し、必要に応じて個別相談や訪問、専門医による診察、療育の教室等につなげ継続的な支援を行う。
 ○保護者の社会的問題や心の問題、虐待などについて、関係機関と連携を図りながら対応する。
 ○保育園、小中学校でのフッ化物洗口の実施。
 ○医療機関での妊婦歯科健診の実施。

【詳細事業内訳】
 母子保健事業 16,485千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
		01	報酬	265	フッ化物洗口補助のための会計年度任用職員分				
		07	報償費	12,540	医師、歯科医師、助産師、保健師、管理栄養士、歯科衛生士等専門職労務謝礼				
		08	旅費	34	会計年度任用職員通勤費				
		10	需用費	2,248	乳幼児健診等必要物品・医薬材料費購入、視聴覚検査用紙・健診帳票・健診通知用封筒印刷				
		12	委託料	1,398	フッ化物洗口の薬剤師・妊婦歯科健診の委託料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	母子保健事業	乳幼児健診・相談を実施し、発育・発達に関する情報提供を行うことで、保護者が児の発育・発達の状態を理解し、育児不安が軽減し、安心した育児ができる。また虐待予防にもつながる。	07	報償費	12,540
				10	需用費	2,248
				12	委託料	1,398
				01	報酬外	299
					計	16,485
2					計	0

重点施策	—	コード	010701100
		課・係等	健康推進課 健康推進担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0104110	妊婦・乳児一般健康診査事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	78,723	0	0	0	0	78,723
前年度	79,979	0	0	0	0	79,979
増減額	△ 1,256	0	0	0	0	△ 1,256

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ○妊娠中に医療機関での妊婦一般健康診査により継続した健康管理を行う。
 ○乳児期に医療機関で乳児一般健康診査を行い、健康管理を行う。
【効果】
 ○妊婦が安心して安全な出産ができるとともに、経済的な負担を軽減できる。
 ○乳児期の疾病等を早期発見し、早期治療につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○母子手帳交付時に妊婦一般健康診査受診票を妊婦に交付する。
 ○産後、乳児一般健康診査受診票を郵送する。

【詳細事業内訳】
 妊婦・乳児一般健康診査事業 78,723千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
10	需用費	77			妊婦一般健康診査受診票等印刷				
11	役務費	306			国保連合会事務手数料				
12	委託料	76,683			妊婦・乳児一般健康診査委託				
18	負担金補助及び交付金	1,657			県外妊婦一般健康診査の助成				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1					計	0	
2					計	0	

重点施策	—	コード	010701100	予算書ページ	174
		課・係等	健康推進課 健康推進担当		

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0104130	未熟児養育医療事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,474	3,736	1,867	0	1,000	1,871
前年度	8,895	3,945	1,972	0	1,000	1,978
増減額	△ 421	△ 209	△ 105	0	0	△ 107

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	養育医療国庫補助金(前年度精算分)	1							
15	養育医療国庫補助金	3,735								
16	養育医療県補助金	1,867								
21	未熟児養育医療費徴収金	1,000								

【目的・効果】
【目的】
 ○未熟児の養育に係る医療費を市が負担する。
【効果】
 ○未熟児の養育のために保護者の経済的負担を軽減する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○おおむね出生児体重が2000g以下で、医師が入院による養育が必要であると認めた乳児の保護者に対し、経済的負担の軽減を図る。

【詳細事業内訳】
 未熟児養育医療事業 8,474千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
		11	役務費	4	事務手数料				
		19	扶助費	8,470	未熟児養育医療給付費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策	—	コード	010701100
		課・係等	健康推進課 健康推進担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0104131	母子・子育て相談事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,181	1,756	1,756	0	0	2,669
前年度	6,136	1,734	1,734	0	0	2,668
増減額	45	22	22	0	0	1

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	子ども子育て支援交付金	1,756							
16	子ども子育て支援交付金	1,756								

【目的・効果】
【目的】
 ○妊娠・出産・育児に関する相談に応じ、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援により、安心して妊娠、出産、子育てができるようにする。
【効果】
 ○妊娠の早期から子育て期にわたるまで、相談を受けることができ、安心して妊娠、出産、子育てを行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○相談窓口の専任の相談員として、保健師(会計年度任用職員)を1名配置。妊娠・出産・育児に関する各種相談に応じ、必要に応じて地域の保健医療又は福祉に関する機関との連絡調整を行う。(母子・子育て相談窓口)
 ○助産師や保健師が、出産後に家庭訪問等を行い、保健指導を実施する。(産婦・新生児等訪問指導事業)

【詳細事業内訳】
 母子・子育て相談事業 6,181千円

【一般財源増加理由】 相談窓口の会計年度任用職員報酬の増額のため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	2,643	相談窓口 会計年度任用職員報酬				
03	職員手当等	566	会計年度任用職員諸手当				
07	報償費	1,764	助産師・保健師訪問指導謝礼				
08	旅費	24	会計年度任用職員通勤費				
10	需用費	1,184	訪問指導等消耗品・母子手帳 外				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	母子・子育て相談事業	妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援(相談・訪問指導等)を提供することにより、安心して妊娠、出産、子育てができる。	01	報酬	2,643
				03	職員手当等	566
				07	報償費	1,764
				10	需用費 外	1,208
					計	6,181
2						
					計	0

予算書ページ	176
--------	-----

重点施策	—	コード	010701100
		課・係等	健康推進課 健康推進担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0104132	産前産後支援事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,072	7,013	0	0	0	7,059
前年度	13,497	6,724	0	0	0	6,773
増減額	575	289	0	0	0	286

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ○妊娠や育児に関する不安を軽減し、妊産婦が安心して子育てをすることができる。
【効果】
 ○妊娠中の不安や、産後うつ等の早期発見ができ、早期に支援を受けることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○医療機関等へ宿泊型の産後ケアや母乳相談の委託を行う。(産後ケア事業)
 ○医療機関等へ産後2週間及び1か月時に行う産婦健康診査の委託を行う。(産婦健康診査事業)
 ○保健センターにおいて母乳育児相談を実施し、個別に妊産婦の相談に応じる。(母乳・育児相談事業)
 ○助産師や保健師による妊婦訪問により、妊婦の相談に個別に応じる。(妊婦訪問事業)

【詳細事業内訳】
 産前産後支援事業 14,072千円

【一般財源増加理由】 宿泊型産後ケア事業の利用見込み増のため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	報償費	3,233	母乳育児相談保健師等謝礼				
10	需用費	31	母乳相談等助成券・産婦健康診査受診票印刷				
11	役務費	26	産婦健康診査事務手数料				
12	委託料	10,332	産後ケア・産婦健康診査委託				
18	負担金補助及び交付金	450	県外産婦健康診査補助				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	産婦健康診査 (産前産後支援事業)	産後2週間及び1か月の産婦の心身の状態を把握する健康診査を実施することで、産後うつの早期発見と支援ができる。	07	報償費	3,233
				10	需用費	19
				12	委託料	5,832
				18	負担金補助及び交付金 外	476
					計	9,560
2	ソフト	産後ケア (産前産後支援事業)	産婦健康診査の結果により、支援が必要な産婦が宿泊型や母乳相談等の産後ケアを利用できる。	10	需用費	12
				12	委託料	4,500
					計	4,512

重点施策	—	コード	010701100	予算書ページ	176
		課・係等	健康推進課 健康推進担当		

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0104133	不妊・不育症治療費助成事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20,181	0	0	0	5,000	15,181
前年度	21,464	0	0	0	5,000	16,464
増減額	△ 1,283	0	0	0	0	△ 1,283

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	19	ふるさと寄附基金繰入金	5,000							

【目的・効果】
【目的】
 ○不妊・不育症治療を行う夫婦に対して、その治療費の一部を補助することにより、経済的負担軽減と少子化対策を行う。
【効果】
 ○経済的負担軽減と少子化対策につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○不妊・不育症治療を行う夫婦に対して、その治療費の3分の2で上限30万円の助成を行う。

【詳細事業内訳】
 不妊・不育症治療費助成事業 20,181千円

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
18	負担金補助及び交付金	20,181	不妊・不育症治療助成						

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	不妊・不育症治療費助成事業	不妊・不育症治療を行う夫婦に対して、その治療費の3分の2で上限30万円の助成を行うことにより、経済的負担軽減と少子化対策につなげる。	18	負担金補助及び交付金	20,181
					計	20,181
2					計	0

予算書ページ	184
--------	-----

重点施策	—	コード	010701100
		課・係等	健康推進課 健康推進担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすま
	目	08	診療所費		基本施策	地域医療の充実
	事業	0104200	夜間急病センター運営費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	23,744	0	1,300	0	11,831	10,613
前年度	23,520	0	1,300	0	11,871	10,349
増減額	224	0	0	0	△ 40	264

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	夜間急病センター診療手数料	11,680							
14	夜間急病センター診療手数料滞納繰越分	1								
14	夜間急病センターその他手数料	150								
16	小児初期救急医療体制整備補助金	1,300								

【目的・効果】
【目的】
 ○地域医療体制充実のために、夜間における一次医療体制を担う。
【効果】
 ○夜間の急病患者や家族の安心と二次救急医療の負担軽減ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○安曇野市医師会館内にセンターを設置。医師会医師により夜間の診療を行う。

【詳細事業内訳】
 夜間急病センター運営事業 23,744千円

【一般財源増加理由】 会計年度任用職員の通勤費を計上したため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	17,461	医師報酬				
07	報償費	63	運営委員出席謝礼				
08	旅費	226	会計年度任用職員通勤費				
10	需用費	2,473	医薬材料費購入 外				
11	役務費	431	白衣等クリーニング代 外				
12	委託料	1,783	医療事務委託 外				
13	使用料及び賃借料	1,307	医師会館借上料 外				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	夜間急病センター運営事業	安曇野市医師会館内にセンターを設置し、医師会医師により夜間の診療を行うことにより、夜間の急病患者や家族の安心の確保と2次救急医療の負担軽減等を図る。	01	報酬	17,461
				07	報償費	63
				10	需用費	2,473
				12	委託料 外	3,747
					計	23,744
2					計	0

予算書ページ	140
--------	-----

重点施策	—	コード	010702100
		課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	0103180	介護保険対策費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,422,696	38,601	74,900	0	0	1,309,195
前年度	1,337,976	21,979	11,289	0	0	1,304,708
増減額	84,720	16,622	63,611	0	0	4,487

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
16	低所得者保険料軽減県負担金	19,300								
16	介護保険事業費補助金	300								113,501
16	長野県地域医療介護総合確保基金事業(介護施設等整備分)補助金	55,300								

【目的・効果】

【目的】

介護保険特別会計へ地域支援事業・介護給付費の市負担分を繰出す他、保険料軽減負担金及び事務費を繰出し、介護保険事業の円滑な運営を図る。
介護保険特別会計以外の介護保険に関する事業を実施し介護保険事業の円滑な運営を図る。

【効果】

介護保険事業が円滑に運営される。
施設整備補助や社会福祉法人への軽減補助を実施し、介護保険事業所等の充実が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・第7期介護保険事業計画に基づく施設整備事業に対する補助金交付
- ・介護保険特別会計への繰出金支出

【詳細事業内訳】

介護保険施設整備等補助事務 55,300千円 介護保険特別会計繰出金 1,354,228千円 介護保険事業費補助金 400千円 介護保険課総務費(特別会計によらないもの) 12,768千円

【一般財源増加理由】 低所得者保険料軽減強化による繰出金の増加等。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	6,716	本庁窓口会計年度任用職員、介護保険事務4名				
03	職員手当等	1,456	会計年度任用職員期末手当				
08	旅費	290	会計年度任用職員通勤費				
18	負担金補助及び交付金	60,006	松塩筑木曾老人福祉施設組合運営経費負担金、施設整備への補助(認知症高齢者グループホーム創設)				
27	繰出金	1,354,228	介護保険事業(給付費、地域支援事業)市負担分繰出金、保険料軽減繰出金、事務費繰出金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	140
--------	-----

重点施策	コード	010702300
	課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	0103190	在宅介護福祉事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	16,382	0	0	0	0	16,382
前年度	16,803	0	0	0	0	16,803
増減額	△ 421	0	0	0	0	△ 421

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 要介護者が在宅で生活するためのサービス提供とその家族等の支援と高齢者の権利擁護を目的とする。
【効果】
 当事業を実施することにより介護をする家族の経済的、肉体的、精神的な負担軽減が図れ、判断力が低下し自己決定が困難な高齢者が成年後見制度を利用することにより高齢者の権利が守られ、安定した生活が送られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・家族介護者を支援するため家庭介護用品(8品目)購入の際に利用できる助成券を対象者に交付する。(要介護3～5の者を在宅で介護している家族に1か月あたり1,000円の介護用品購入助成券を交付。)
 ・成年後見支援センターへの補助金交付。

【詳細事業内訳】
 在宅介護福祉事業 16,382千円

【一般財源増加理由】		主な内容		主な内容	
節	節名称	金額	節	節名称	金額
10	需用費	308			
18	負担金補助及び交付金	8,190			
19	扶助費	7,884			

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	介護用品購入助成事業 (在宅介護福祉事業)	要介護3～5の高齢者を在宅で介護している家族に1か月あたり1,000円の介護用品購入助成券を交付。介護する家族の経済的、精神的負担の緩和が図られる。	10	需用費	308
				19	扶助費	7,884
					計	8,192
2	ソフト	成年後見支援センター運営補助金 (在宅介護福祉事業)	安曇野市他1市5村が利用する成年後見支援センターの運営に対し補助金を交付する。成年後見制度に関する相談、啓発、法人後見の活用等により市民の権利擁護の推進が図られる。	18	負担金補助及び交付金	8,190
					計	8,190

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0103120	国保会計繰出金			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	660,853	90,667	283,084	0	287,102
前年度	659,968	87,951	285,232	0	286,785
増減額	885	2,716	△ 2,148	0	317

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	保険基盤安定負担金	90,667							
16	保険基盤安定負担金	283,084								

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業を実施するにあたり、法令等で定められた額を国保特別会計に繰り出す。
【効果】
 ・国民健康保険事業で必要とする費用を繰り出すことにより、国保加入者の負担を軽減できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・国民健康保険事業実施による経費についての繰出しを随時行う。

【詳細事業内訳】
 国保会計繰出金 660,853千円

【一般財源増加理由】 保険基盤安定事業繰出、精神給付金等、繰出額が増加したため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
27	繰出金	660,853	国保特別会計への繰出金660,853千円(内訳:保険基盤安定事業498,335千円、出産育児一時金16,800千円、財政安定化支援事業58,401千円、精神給付金21,000千円、事務費66,317千円)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	(1)	コード	010703100	予算書ページ	142
		課・係等	国保年金課 国保年金担当		

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0103200	後期高齢者医療事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,317,715	0	202,420	0	6,815	1,108,480
前年度	1,250,811	0	176,130	0	7,790	1,066,891
増減額	66,904	0	26,290	0	△ 975	41,589

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	後期高齢者医療保険基盤安定負担金	202,420							
21	市町村特別対策広報等事業補助金	6,815								

【目的・効果】
【目的】
 ・後期高齢者医療被保険者を対象に、人間ドック受診者に対し受診費用の一部の助成を行う。
 ・後期高齢者医療保険を運営している長野県後期高齢者医療広域連合へ法令に基づく市負担金の支払い、及び、後期高齢者医療特別会計への繰出しを行う。
【効果】
 ・後期高齢者被保険者人間ドック事業を実施することにより、身体機能の保持と疾病の早期発見・早期治療を促し、健康で長寿を目指す。
 ・後期高齢者医療保険の健全な運営が保たれ、制度も安定的に維持されていく。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・後期高齢者医療人間ドック等受診者に対する助成金を交付する。(助成方式・償還払い方式)
 ・医療給付費負担金は、長野県後期高齢者医療広域連合からの請求に基づき支出をする。
 ・繰出金 ①保険基盤安定繰出金 ②事務費繰出金 を繰出計画に基づき後期高齢者医療保険特別会計へ繰出す。

【詳細事業内訳】
 後期高齢者医療事業 1,290,702千円 後期高齢者医療人間ドック等助成事業 27,013千円

【一般財源増加理由】 人間ドック受診者数増加見込み、繰出金の増加

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
10	需用費	13	人間ドック等受診券用紙				
12	委託料	25,900	人間ドック受診助成委託費				
18	負担金補助及び交付金	968,594	人間ドック等補助金1,100千円				
27	繰出金	323,208					

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	後期高齢者医療人間ドック等助成事業	人間ドックの受診に対し、受診内容に応じた費用の一部を助成し、費用の負担軽減を図る。早期発見・治療により重症化予防ができ、後期高齢医療費の抑制を図る。	12	委託料	25,900
				18	負担金補助及び交付金	1,100
				10	需用費	13
					計	27,013
2					計	0

予算書ページ	142
--------	-----

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	03	国民年金事務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0103210	国民年金事務費			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	83,272	19,427	0	0	63,845
前年度	74,947	21,000	0	0	53,947
増減額	8,325	△ 1,573	0	0	9,898

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	国民年金事務委託金	19,427							

【目的・効果】
【目的】
 ・国民年金事務の一部は、法定受託事務として市町村が行うこととなっている。また、法定受託事務に関する事務や相談等は国と市の協力・連携のもと実施している。
 ・主な手続きとして、国民年金の加入・喪失届出の手続き、口座振替の推進、免除制度の案内、未支給年金手続きの受付や年金の加入等による相談を行う。
【効果】
 ・市の窓口で受付を行うことで、国民年金被保険者の利便性が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・国民年金に関する各種届出受付業務を扱い、受付した届出書等を日本年金機構へ進達する。

【詳細事業内訳】
 国民年金事務費 83,272千円

【一般財源増加理由】 国庫支出金の減及び人件費の増加による

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
02	給料	46,301					
03	職員手当等	22,252					
04	共済費	14,388					
10	需用費	331	啓発用パンフレット				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

農林部

重点施策	—	コード	010801100	予算書ページ	198
		課・係等	農政課 農業政策係		

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	農業総務費		基本施策	農業の振興
	事業	0106030	農業総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	164,727	0	0	0	0	164,727
前年度	177,321	0	0	0	0	177,321
増減額	△ 12,594	0	0	0	0	△ 12,594

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

0

【目的・効果】
 【目的】
 ・農業振興事業関係の事務的経費
 【効果】
 ・農業振興事業の円滑な推進

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・農業振興事業の事務的経費(人件費、報償費、需用費、公用車管理経費など)

【詳細事業内訳】
 農業総務費 164,475千円 農業・農村計画事業 252千円

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
01	報酬	5,756	会計年度任用職員報酬(3名)		11	役務費	272	公用車車検費用	
02	給料	82,976	一般職(23名)		12	委託料	46	バス運転代行業務	
03	職員手当等	41,685	一般職・会計年度任用職員諸手当		13	使用料及び賃借料	6	駐車場使用料	
04	共済費	25,636	職員共済組合納付金		18	負担金補助及び交付金	6,371	譲渡施設関連補助金	
07	報償費	262	農業農村振興計画推進委員出席謝礼・視察土産		26	公課費	26	公用車車検重量税	
08	旅費	304	職員旅費・会計年度任用職員費用弁償						
10	需用費	1,387	事務消耗品・参考図書・会議贈・公用車消耗品・公用車燃料・公用車修繕						

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策	—	コード	010801100
		課・係等	農政課 農業政策係

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	農業総務費		基本施策	農業の振興
	事業	0106040	農業振興地域整備促進費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	813	0	0	0	6	807
前年度	978	0	0	0	6	972
増減額	△ 165	0	0	0	0	△ 165

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	農振関係証明手数料	6							

【目的・効果】
【目的】
 ・農業振興地域の整備に関する法律(農振法)と安曇野市農業振興地域整備計画に基づく適正な計画変更の推進
【効果】
 ・優良農地の保全

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・農振法に基づく農振整備計画の変更手続き(年2回)
 ・安曇野市農業振興地域整備促進協議会及び同地域協議会の運営

【詳細事業内訳】
 農業振興地域整備促進事業 813千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	175	農業振興地域整備促進協議会委員報酬(25人)				
07	報償費	588	農業振興地域整備促進地域協議会委員出席謝礼				
10	需用費	50	事務消耗品・会議賄				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	(6)	コード	010801200			予算書ページ	200
		課・係等	農政課 生産振興担当				
予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち	
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち	
	目	03	農業振興費		基本施策	農業の振興	
	事業	0106060	農業生産振興費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	22,905	0	8,395	0	0	14,510
前年度	21,017	0	7,030	0	0	13,987
増減額	1,888	0	1,365	0	0	523

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	環境保全型農業直接支払交付金	895							
16	産地パワーアップ事業	7,500								

【目的・効果】

【目的】

- ・農家所得の向上を目指すための新技術やスマート農業などの検証事業を実施するため、市農業再生協議会へ交付金を交付しJA等の農業関係者と取組む。検証結果等は、年度末に生産者へ向けて発信する。
- ・地域の営農戦略に基づき、意欲のある農業者等が高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取組みに対し支援する。
- ・環境にやさしい農業技術方法を発信する。

【効果】

- ・農業技術の課題克服やコスト低減、環境に配慮した農業技術方法を発信することで、農家所得の向上や環境に配慮した農業を実践する。
- ・担い手への集約やコスト低減技術の導入等により生産コストを低減する。また、品質向上や高付加価値化等により販売額を向上させる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・市農業再生協議会(農家・市・JA・県改良普及センター・のうさい・市農業委員会で組織)では、農業技術向上検証事業等により所得の向上や農業農村振興に繋がる取組みを実施。令和2年度の取組み事業として18事業を計画している。
- ・環境保全型農業の推進では、国の事業を活用し、有機農業及び緑肥使用等による化学肥料・化学合成農薬使用を低減する営農活動に対し、市からも対象農家へ補助金を支給し支援する。
- ・生産コスト削減や高収益な作付け体系への転換を図る取組みを行う農業者等の掘り起こしを行い支援する。

【詳細事業内訳】

農業生産振興事業(市再生協事業) 13,410千円 産地パワーアップ事業 7,500千円 農業生産振興総務費 801千円 環境保全型農業推進支援事業 1,194千円

【一般財源増加理由】 環境保全型農業の取組み面積、CSF(豚コレラ)対策費(消石灰等の購入費)、再生協議会臨時職員の期末手当の増加。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	旅費	114	視察研修等職員旅費				
10	需用費	614	CSF対策等消耗品、防除等啓発チラシ印刷費				
11	役務費	33	ニオイセンサー定期点検料				
18	負担金補助及び交付金	22,144	水田機能維持・地方増進推進事業交付金、農業再生協議会負担金、産地パワーアップ事業補助金、環境保全型農業直接支払交付金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	農業生産振興事業(市再生協事業)	農業技術向上検証等による所得の増加や、農業農村振興に向けた取組みを実施し、その情報を農家に提供していく。	18	負担金補助及び交付金	13,410
					計	13,410
2	ソフト	産地パワーアップ事業	地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、意欲ある農業者が高収益な作物、栽培体系への転換を図るための取組みを総合的に支援する。	18	負担金補助及び交付金	7,500
					計	7,500

予算書ページ	202
--------	-----

重点施策	(6)	コード	010801200
		課・係等	農政課 生産振興担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	03	農業振興費		基本施策	農業の振興
	事業	0106070	水田農業振興事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	25,160	0	20,500	0	0	4,660
前年度	28,832	0	19,500	0	0	9,332
増減額	△ 3,672	0	1,000	0	0	△ 4,672

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	経営所得安定対策等推進事業費補助金	20,500							

【目的・効果】

【目的】

- ・経営所得安定対策及び水田活用の直接支払交付金事業を円滑に推進する。
- ・水稻の病害虫及び稲黄萎病による被害を未然に防ぎ、水稻の安定生産と安定収入に繋げる。

【効果】

- ・需要に見合った米の適正生産及び経営所得安定対策等推進事業の円滑化。
- ・一等米比率は全国トップクラスを維持しており、安曇野米のブランドを維持している。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【主な事業】

- ・経営所得安定対策等推進事業の事務費等として、県交付金は全額市農業再生協議会へ交付。
- ・苗箱施薬剤購入費の一部(200円/kg)補助。

【詳細事業内訳】

経営所得安定対策等推進事業 20,500千円 苗箱施薬剤購入補助事務 4,660千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
18	負担金補助及び交付金	25,160	経営所得安定対策等推進事業、苗箱施薬剤購入補助事業				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	経営所得安定対策等推進事業	市農業再生協議会が実施している、経営所得安定対策等推進事業を推進することにより、農業経営の安定を図る。	18	負担金補助及び交付金	20,500
					計	20,500
2	ソフト	苗箱施薬剤購入補助事務	稲作の病害虫防除対策として、施薬剤購入費の一部を助成することにより、高い一等米比率を安定して維持している。	18	負担金補助及び交付金	4,660
					計	4,660

予算書ページ	202
--------	-----

重点施策	(6)	コード	010801200
		課・係等	農政課 生産振興担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	03	農業振興費		基本施策	農業の振興
	事業	0106080	畑作園芸振興事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	71,311	0	0	0	27,000	44,311
前年度	79,132	0	0	0	22,000	57,132
増減額	△ 7,821	0	0	0	5,000	△ 12,821

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	19	ふるさと寄附基金繰入金	27,000							

【目的・効果】

【目的】

- ・転作作物の推進に併せ、安曇野市の地味・気候に適し、作業効率、採算面を考慮し産地化の図れる作物の生産振興を図る。
- ・果樹共済では、共済加入農家掛金の33.3%を支援し、共済制度加入促進を図る。
- ・そ菜価格安定共助制度(各JA策定)への市負担金により、農家が安心してそ菜を生産できる環境を整える。
- ・市の主要農産物である果樹の新植と、土地利用型作物で米に代わる作物として振興を図る玉ねぎについて、助成をおこない面積拡大を図る。

【効果】

- ・安曇野市の主要農産物であるリンゴを中心とした果樹の生産拡大や、気象災害等による被害対策である共済加入促進を図り、経営安定につなげる。
- ・機械化一貫体系で栽培可能な玉ねぎを振興し、労力の軽減と農家所得の向上を図る。
- ・国が食料・農業・農村基本計画において位置付けている飼料用米の生産拡大を図り、水田のフル活用を推進する。これにより地下水涵養の効果も期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【主な事業】

- ・経営所得安定対策の実績を基に、3品目に対して補助金(15,000円/10a以内)を交付。併せて20a以上作付者に対して、生産面積拡大を促すため3,000円/10a以内から9,000円/10a以内の傾斜加算をする。
- ・新植による果樹の栽培面積の拡大に際し、果樹棚及び苗代の1/3を補助及び、未収益期間の支援として 年50,000円/10aを4年間補助する。
- ・機械化一貫体系による玉ねぎ栽培の拡大を図るため、機械化用苗代の1/3、作業機械の購入費の1/3を補助する。

【詳細事業内訳】

そ菜価格安定共助会負担金 3,300千円 市農業振興作物等推進事業 54,947千円 果樹生産農家支援事業 13,064千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
18	負担金補助及び交付金	71,311	農業振興作物等推進事業(玉ねぎ機械化体系支援含む)、果樹生産農家支援事業、そ菜価格安定共助会負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	市農業振興作物等推進事業	玉ねぎ等の市重点作物及び、麦・大豆・そば・飼料用米の作付けに対して支援を実施し、農業振興並びに産地化に向けた取組みを推進する。	18	負担金補助及び交付金	54,947
					計	54,947
2	ソフト	果樹生産農家支援事業	果樹栽培面積の拡大と産地の維持を図るため、果樹共済や果樹棚新設等への助成をおこない、生産者の経営安定を図る。	18	負担金補助及び交付金	13,064
					計	13,064

予算書ページ	202
--------	-----

重点施策	(6)	コード	010801400
		課・係等	農政課 マーケティング担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	04	消費拡大対策費		基本施策	農業の振興
	事業	0106100	消費拡大対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	87,265	1,500	74,100	0	0	11,665
前年度	13,394	2,375	0	0	0	11,019
増減額	73,871	△ 875	74,100	0	0	646

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	新型交付金	1,500							
16	6次産業化交付金	74,100								

【目的・効果】

【目的】

・海外輸出販路の開拓や都市部の消費者に向けたPR販売・情報発信を通じ、安曇野産農産物の販売促進を図る。

【効果】

・安曇野産農産物の消費拡大に伴う、地域農業振興の活性化。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・地方創生推進交付金を活用し、安曇野産農産物・特産品の海外輸出販路開拓に向けたプロモーション活動を継続する。
- ・農産物の消費拡大を推進するにあたり、県や友好都市のアンテナショップの活用、友好都市イベントへの出展を通じたPR販売を実施する。
- ・「玉ねぎ祭り」や「新そばと食の感謝祭・農林業まつり」の開催を通じ、「農と食」をPRし、安曇野の農産物ブランド、地域イメージを築き、農産物の消費拡大へ繋げる。
- ・6次産業化交付金(国庫補助)を活用し、わさび加工施設を整備する。

【詳細事業内訳】

海外輸出販路開拓事業 3,040千円 農産物等販路拡大事業 84,225千円

【一般財源増加理由】 産直センター業務委託料(農業総務費に計上していた非常勤職員1名分の賃金を当該事業の委託料に振り替えたため)

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	旅費	501	アンテナショップ、友好都市イベント、展示商談会出張旅費				
10	需用費	103	玉ねぎ祭り消耗品他				
11	役務費	99	展示商談会運搬料他				
12	委託料	6,224	産直センター業務委託料				
13	使用料及び賃借料	166	展示商談会資機材借上料				
18	負担金補助及び交付金	80,172	海外プロモーション協議会補助金、農業再生協議会交付金、6次産業化交付金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	海外輸出販路開拓事業	地方創生推進交付金を活用(H28～R2までの5年間)し、安曇野産農産物・特産品(ワサビ・日本酒等)の海外輸出に向けたプロモーション活動を行う。輸出による消費拡大に伴い、地域農業の振興につなげる。併せて安曇野ブランドの情報発信、並びに外国人旅行者誘致による地域産業の振興を目指す。	18	負担金補助及び交付金	3,040	
					計	3,040	
2	ソフト	農産物等販路拡大事業	玉ねぎ祭りや農林業まつりの開催による、地元農産物のPRや地産地消の推進。アンテナショップや友好都市イベントへの出展を契機とした地元農産物のPRや消費拡大に向けた取り組み。生産者による展示商談会への出展、販路開拓を支援する。	18	負担金補助及び交付金	77,132	
				12	委託料	6,224	
				08	旅費	501	
				13	使用料及び賃借料他	368	
					計	84,225	

重点施策	(6)	コード	010801400
		課・係等	農政課 マーケティング担当

予算書ページ	204
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	04	消費拡大対策費		基本施策	農業の振興
	事業	0106110	直売加工施設運営事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	23,923	0	0	0	7,842	16,081
前年度	27,419	0	0	0	7,599	19,820
増減額	△ 3,496	0	0	0	243	△ 3,739

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	堀金産地形成促進施設基金利子	12	21	三郷産地形成促進施設利用料	890				
19	堀金産地形成促進施設基金繰入金	1,320	21	豊科南部地区産地形成施設使用料	180					
21	堀金産地形成施設利用料	2,340	21	穂高農業活性化施設利用料	2,560					
21	三郷畜産活性化施設利用料	210	21	明科農産物加工交流施設利用料	330					

【目的・効果】

【目的】

・市内の直売加工施設に係る指定管理委託を行い、施設の維持管理・改修を行うことにより、地域活性化の拠点としての機能を維持する。

【効果】

・市内の直売加工施設の利用率向上、並びに地産地消の推進

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・市内各直売加工施設の指定管理委託、借地料支払い。
- ・Vif穂高:空調機器取替工事、渡り廊下雨樋設置工事、豆腐冷却水器買い替え
- ・堀金物産センター:ガス回転釜買い替え

【詳細事業内訳】

堀金物産センター及び農産物処理加工施設運営事業 8,352千円 豊科農産物加工交流センター運営事業 1,390千円 三郷産地形成促進施設運営事業 475千円 明科農産物加工交流施設運営事業 2,837千円 直売加工施設運営総務費 1,500千円 穂高農業活性化施設運営事業 9,369千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
10	需用費	1,500	直売加工施設修繕・物品修理				
12	委託料	11,422	指定管理委託料				
13	使用料及び賃借料	5,108	借地料				
14	工事請負費	1,969	空調機器取替、渡り廊下雨樋設置(Vif穂高)				
17	備品購入費	1,571	豆腐冷却水器(Vif穂高)ガス回転釜(堀金物産センター)				
24	積立金	2,353	基金積立金(堀金物産センター)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	穂高農業活性化施設運営事業	Vif穂高、こねこねハウス、穂高農産物加工所を指定管理委託し、併せて適切な施設整備を実施する。新鮮で安全な農産物等の提供、農産物の加工処理、特産品の開発研究を行うとともに、都市農村交流の場として活用することにより地域農業の振興・地産地消の推進を図る。	12	委託料	6,202
				14	工事請負費	1,969
				13	使用料及び賃借料	947
				17	備品購入費	251
					計	9,369
2	ソフト	堀金物産センター及び農産物処理加工施設運営事業	堀金物産センター及び堀金農産物処理加工施設を指定管理委託し、併せて適切な施設整備を実施する。新鮮で安全な農産物等の提供、農産物の加工処理、特産品の開発研究を行うとともに、都市農村交流の場として活用することにより地域農業の振興・地産地消の推進を図る。	13	使用料及び賃借料	3,445
				24	積立金	2,353
				17	備品購入費	1,320
				12	委託料	1,234
					計	8,352

重点施策	(6)
------	-----

コード	010801400
課・係等	農政課 マーケティング担当

予算書ページ	204
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	05	農業交流促進費		基本施策	農業の振興
	事業	0106115	市民農園事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	467	0	0	0	405	62
前年度	473	0	0	0	405	68
増減額	△ 6	0	0	0	0	△ 6

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	市民農園利用料		405						

【目的・効果】
【目的】
 市民農園の管理を行い、市民が農のある暮らしを享受するとともに農村での交流を図る。
【効果】
 非農業者が市民農園を利用することにより、農業への関心を高めると共に、生きがいづくりとして農業に親しむことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 市民農園(市内10か所)の管理、運営。その他、JAあづみ所有の市民農園を含めた農園の利用促進のための情報発信。

【詳細事業内訳】
 市民農園事業 467千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
10	需用費	47	市民農園管理用消耗品他								
13	使用料及び賃借料	417	借地料								
18	負担金補助及び交付金	3	土地改良区負担金								

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	市民農園事業	市内10か所の市民農園の管理・運営を行い、市民が農のある生活を享受できる場を提供する。自分で作物を作る喜びを感じることができると生きがいづくりとなり、農のある暮らしの充実が図られる。	13	使用料及び賃借料	417
				10	需用費	47
				18	負担金補助及び交付金	3
					計	467
2					計	0

予算書ページ	206
--------	-----

重点施策	(6)	コード	010801100・010801300・010801400
		課・係等	農政課 農業政策係・集落支援担当 マーケティング担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	05	農業交流促進費		基本施策	農業の振興
	事業	0106120	農村都市交流促進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	11,679	0	0	0	1,740	9,939
前年度	11,809	0	0	0	1,740	10,069
増減額	△ 130	0	0	0	0	△ 130

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	三郷やすらぎ空間施設利用料	1,740							

【目的・効果】

【目的】

- (農業政策係)
- ・農村都市交流施設の管理を行い、市民が農のある暮らしを享受するとともに農村での交流促進を図る。(集落支援担当)
- ・研修や講座の開催、健康づくりのための体育活動、農家の集いの場として活用するための施設。農村の活性化に寄与している。(マーケティング担当)
- ・農村都市交流(農家民宿事業)を推進することにより、市民や観光客が農ある暮らしを享受するとともに、農村での交流促進を図る。

【効果】

- (農業政策係)
- ・効果的で適正な施設管理
- ・安曇野の地域イメージの向上
- (集落支援担当)
- ・地域の多目的施設として活用し、農村の活性化に寄与している。
- (マーケティング担当)
- ・都市部から中高生を受け入れることで農村都市交流が図られ、併せて安曇野市の魅力を発信することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- (農業政策係)
- ・三郷やすらぎ空間施設の管理(H18建築、木造平屋建、指定管理者:株)王滝)
- ・三郷総合営農センターの管理(H10建築、鉄骨2階建、指定管理者:中萱区生産組合)
- ・穂高農村景観活用交流施設の管理(H5建築、木造平屋建、指定管理者:矢原区)
- (集落支援担当)
- ・小倉多目的研修集会施設の管理(S57建築、鉄骨2階建、指定管理者:JAあづみ)
- (マーケティング担当)
- ・農家民宿事業を推進するため地域おこし協力隊の活用。新規民宿開設者への補助。

【詳細事業内訳】

コミュニティー施設運営事業 1,175千円 小倉多目的研修施設管理事業 2,600千円 農家民宿推進事業 4,381千円 三郷やすらぎ空間運営事業 3,523千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	2,715	地域おこし協力隊報酬	18	負担金補助及び交付金	383	農家民宿開業助成事業補助金
03	職員手当等	535	地域おこし協力隊諸手当				
07	報償費	70	講演会等講師謝礼				
08	旅費	337	農家民宿先進地視察研修・商談会出張旅費				
10	需用費	417	施設小破修繕・消耗品				
12	委託料	4,022	指定管理委託料・車両運行業務委託				
13	使用料及び賃借料	3,200	施設用地借地料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	農家民宿推進事業	地域おこし協力隊による農家民宿事業の推進。農家・学校等との連絡調整、安全に受け入れるための説明会や研修会、新規受け入れ農家の開拓、新たな農作業体験メニューの発掘、滞在型観光への事業発展に向けた調整などを実施していく。一般客やインバウンドを誘致することで農家の新しい収入源として期待でき、観光業振興にもつなげることができる。	01	報酬	2,715
				03	職員手当等	535
				18	負担金補助及び交付金	383
				08	旅費他	748
					計	4,381
2					計	0

予算書ページ	206
--------	-----

重点施策	(6)	コード	010801100
		課・係等	農政課 農業政策係

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	05	農業交流促進費		基本施策	農業の振興
	事業	0106130	安曇野の里運営事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	25,347	0	0	0	7,620	17,727
前年度	23,629	0	0	0	5,303	18,326
増減額	1,718	0	0	0	2,317	△ 599

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	19	安曇野の里基金繰入金	2,830							
21	安曇野の里施設利用料	4,790								

【目的・効果】
【目的】
 ・安曇野市豊科安曇野の里自然活用村施設の管理を行い、都市と農村の交流促進を図る。
【効果】
 ・施設の適正な維持管理
 ・市内外の学童や市民に農業に親しむ機会を提供

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・施設の指定管理と実施計画に基づいた計画修繕の実施

【施設の概要】
 ・ビレッジ安曇野(S62・H5建築、鉄筋コンクリート、一部鉄骨造)、あづみ野ガラス工房(S60建築、鉄骨平屋建)、あづみ野第2ガラス工房(H4建築、鉄骨2階建)、プラザ安曇野(S63建築、木造2階建)、名水百選井戸、わさび田広場
 ・指定管理者:(一社)豊科開発公社(ビレッジ安曇野、あづみ野ガラス工房、あづみ野第2ガラス工房、プラザ安曇野(1階東・2階)、名水百選井戸、わさび田広場)
 ・指定管理者:選定中(プラザ安曇野1階西)

【詳細事業内訳】
 安曇野の里改修事業 6,527千円 安曇野の里運営事業 18,820千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
10	需用費	600	施設小破修繕								
12	委託料	14,835	指定管理委託料・絶縁抵抗値改修工事設計監理委託料								
13	使用料及び賃借料	3,625	施設用地借地料								
14	工事請負費	1,496	絶縁抵抗値改修工事								
24	積立金	4,791	納付金・利子の基金積立								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策	(6)	コード	010801100
		課・係等	農政課 農業政策係

予算書ページ	208
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	05	農業交流促進費		基本施策	農業の振興
	事業	0106140	ファインビュー室山運営事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	38,606	0	0	0	38,604	2
前年度	34,817	0	0	0	34,436	381
増減額	3,789	0	0	0	4,168	△ 379

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	三郷農林漁業体験実習館基金利子	72							
19	三郷農林漁業体験実習館基金繰入金	17,922								
21	農林漁業体験実習館利用料	20,610								

【目的・効果】
【目的】
 ・ファインビュー室山の管理を行い、都市と農村の交流促進の拠点施設としての活用を図る。
【効果】
 ・施設の適正な維持管理
 ・都市と農村の交流促進

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・指定管理と実施計画に基づいた計画修繕の実施

【施設の概要】
 ・ファインビュー室山(H10・H12建築、鉄筋コンクリート2階建)
 ・指定管理者:(株)ファインビュー室山

【詳細事業内訳】
 ファインビュー室山運営事業 1,095千円 ファインビュー室山改修事業 37,511千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
10	需用費	600	施設小破修繕				
12	委託料	3,164	株価算定業務委託・支障木伐採業務委託・照明、非常誘導灯改修工事及び火災報知器更新工事設計監理委託				
14	工事請負費	14,159	照明、非常誘導灯改修工事・火災報知器更新工事・露天風呂通路滑り止め工事				
24	積立金	20,683	納付金・利子の基金積立				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○	ファインビュー室山改修事業	施設譲渡の検討を進めるための基礎資料として、株価算定業務を行う。	24	積立金	20,683
					14	工事請負費	14,159
					12	委託料	2,669
						計	37,511
2					計	0	

重点施策	(6)
------	-----

コード	010801100
課・係等	農政課 農業政策係

予算書ページ	208
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	05	農業交流促進費		基本施策	農業の振興
	事業	0106150	ほりで一ゆ～運営事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	130,580	0	0	0	124,990	5,590
前年度	104,794	0	0	0	99,117	5,677
増減額	25,786	0	0	0	25,873	△ 87

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
19	堀金観光開発基金繰入金	68,001								
21	ほりで一ゆ～施設利用料	56,530								124,990

【目的・効果】
【目的】
 ・ほりで一ゆ～四季の郷ほか周辺施設の管理を行い、都市と農村の交流等を進める施設としての活用を図る。
【効果】
 ・施設の適正な維持管理
 ・都市と農村の交流促進

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・指定管理と実施計画に基づいた計画修繕の実施

【施設の概要】
 ・ほりで一ゆ～四季の郷(H7・H12建築、鉄筋コンクリート4階建)、コテージ四季の郷(H8建築、木造2階建6棟)、啼鳥山荘(S45建築、木造平屋建)、パター・マレットゴルフ場、キャンプ場
 ・指定管理者:(株)ほりで一ゆ～

【詳細事業内訳】
 ほりで一ゆ～運営事業 8,589千円 ほりで一ゆ～改修事業 121,991千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
10	需用費	3,000	施設小破修繕				
12	委託料	12,059	指定管理委託料・株価算定業務・空調改修工事、絶縁抵抗値、受電設備外設計監理委託料				
13	使用料及び賃借料	3,589	施設用地借地料				
14	工事請負費	54,942	空調改修、絶縁抵抗値、受電設備外更新工事				
24	積立金	56,990	納付金・利子の基金積立				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○	ほりで一ゆ～改修事業	施設譲渡の検討を進めるための基礎資料として、株価算定業務を行う。	24	積立金	56,990
					14	工事請負費	54,942
					12	委託料	10,059
						計	121,991
2							
						計	0

予算書ページ	210
--------	-----

重点施策	(6)	コード	010801300
		課・係等	農政課 集落支援担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	06	農村集落支援費		基本施策	農業の振興
	事業	0106160	担い手支援事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	27,040	0	11,354	0	40	15,646
前年度	41,283	0	20,400	0	180	20,703
増減額	△ 14,243	0	△ 9,046	0	△ 140	△ 5,057

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
16	農地利用集積事業補助金	1,050								
16	経営体育成支援事業補助金	10,000								
21	農業経営基盤強化資金利子補給金返還金	40								

【目的・効果】

【目的】

- ・地域農業を担う認定農業者や集落営農組織の育成と営農支援をすることにより、持続的で力強い農業経営基盤を確立する。
- ・人農地プランの推進により、地域の話合いを進め地域課題の共有、後継者の掘り起こし、農地の流動化を進める。

【効果】

- ・農業の担い手の所得確保や経営力アップ、農業・農村の活性化が進む。
- ・担い手への農地の集積・集約化により、効率的な農業の実施と、農地の保全維持・向上につながる。
- ・地域の中心的経営体が明確化される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

1担い手・集落支援事業

- (1)担い手が整備する農業機械・施設に対し、国及び市それぞれの制度を活用した補助金または交付金を交付する。(安曇野市集落営農組織機械等整備支援事業、担い手確保経営強化支援事業等(国庫)、安曇野市農業用施設取得補助金)
- (2)集落営農組織育成支援(経営面積、活動内容、ブロックローテーション取組により補助金を交付)

2制度資金給付事業

融資に対する利子補給 ①農業経営基盤強化資金利子補給金 ②農業近代化資金利子補給金

3安曇野市農業再生協議会集落支援事業

市再生協議会の集落支援事業に対して交付金を交付する(後継者対策事業、農作業サポート事業等)

4農地集積事業

農地中間管理機構を介した農地集積を行い、農家・集落等に交付金を交付する

【詳細事業内訳】

制度資金給付事業 750千円 担い手・集落支援事業 23,890千円 市農業再生協議会集落支援事業 1,350千円 農地集積事業 1,050千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	報償費	396	人農地プラン検討会等出席謝礼				
18	負担金補助及び交付金	26,644	農業用機械施設整備事業補助金、市農業再生協議会交付金他				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	担い手・集落支援事業	稼ぐ・守る農業を支える認定農家や集落営農組織を支援する。集落営農組織への取組支援、農業用機械・施設の導入支援等による基盤強化を図る。人農地プランの実践により地域の持続的な農業の推進を図る。	18	負担金補助及び交付金	23,494
				07	報償費	396
					計	23,890
2					計	0

予算書ページ	210
--------	-----

重点施策	(6)	コード	010801300
		課・係等	農政課 集落支援担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	06	農村集落支援費		基本施策	農業の振興
	事業	0106170	後継者対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	40,894	0	31,500	0	540	8,854
前年度	49,180	0	42,000	0	540	6,640
増減額	△ 8,286	0	△ 10,500	0	0	2,214

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	新規就農者住宅使用料	540							
16	農業次世代投資資金(経営開始型)	31,500								

【目的・効果】
【目的】
 ・新規就農者や農業後継者の確保・育成を図る。
【効果】
 ・農業の次世代の担い手や後継者が確保・育成されることにより、市の基幹産業である農業の振興が進み、農地・農村機能が維持される。
 ・各種支援策があることにより、就農者の増加と定着が見込まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・次世代を担う農業者を確保・育成し、新規就農者の経営が軌道に乗るまでの間を、国及び市の給付金制度により支援する。
 「農業次世代人材投資資金(国庫)」、「親元就農支援金(市単)」、「親元就農機械施設等補助金(市単)」、「新規就農者住宅支援金(市単)」、「就農希望者研修費助成(市単)」
 ・新規就農者住宅の維持管理事業
 ・就農相談会などにて、「農ある暮らし」をPRし後継者確保を図る。

【詳細事業内訳】
 後継者育成事業 40,894千円

【一般財源増加理由】 担い手・集落支援事業から親元就農機械施設等補助金を振り替えたことによる増額

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	旅費	68	就農相談等職員出張旅費				
10	需用費	100	新規就農者住宅施設等修繕費				
12	委託料	296	新規就農者住宅境界測量業務委託				
18	負担金補助及び交付金	40,430	農業次世代投資資金、親元就農支援金、松本地域営農リーダー塾負担金他				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	後継者育成事業	市の重要課題である後継者対策として、国及び市の給付金制度を活用し、新規就農者の確保・育成を図る。	18	負担金補助及び交付金	40,430
				12	委託料	296
				10	需用費	100
				08	旅費	68
					計	40,894
2						
					計	0

重点施策	(6)	コード	010801400	予算書ページ	210
		課・係等	農政課 マーケティング担当		

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	06	農村集落支援費		基本施策	農業の振興
	事業	0106175	職農教育推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	751	0	0	0	0	751
前年度	1,043	0	0	0	0	1,043
増減額	△ 292	0	0	0	0	△ 292

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・農業を魅力ある職業と捉える「職農教育」を推進し、農業後継者の確保・育成を推進する。
 ・農業者育成のために活動する団体を支援する。
【効果】
 ・農業の次世代の担い手や後継者が確保・育成されることにより、市の基幹産業である農業の振興が進み、農地・農村機能が維持される。
 ・農業高校等との連携事業で、就農に資する実習を経験することにより、将来の就農者の増加と定着が見込まれる。
 ・農業初心者に学習の場を与え、農ある暮らしの充実を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【主な事業】
 ・南安曇農業高校との連携事業。
 ・農業塾等就農者育成組織活動助成事業。

【詳細事業内訳】
 南農高校連携事業 301千円 農業塾等助成事業 450千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	旅費	12	南農高校による首都圏販売実習出張旅費						
10	需用費	57	南農高校による首都圏販売実習消耗品						
12	委託料	68	南農高校による首都圏販売実習消耗品車両運行業務委託						
15	原材料費	164	南農高校による商品開発試作用						
18	負担金補助及び交付金	450	農業塾等農業者育成活動支援事業補助金						

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	南農高校連携事業	安曇野市と南安曇農業高校との連携協定に基づき、都市部での販売実習や共同研究開発事業を行い、生徒の農業に対する意識高揚と実践的能力を養う。将来的な生徒の就農を支援・促進することで、安曇野市の農業・農村の振興を図る。	15	原材料費	164
				12	委託料	68
				10	需用費	57
				08	旅費	12
					計	301
2					計	0

重点施策	(6)	コード	010801300	予算書ページ	212
		課・係等	農政課 集落支援担当		

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	06	農村集落支援費		基本施策	農業の振興
	事業	0106180	荒廃農地対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,600	2,000	0	0	0	4,600
前年度	7,447	1,500	0	0	0	5,947
増減額	△ 847	500	0	0	0	△ 1,347

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
	15	新型交付金	2,000								2,000

【目的・効果】
【目的】市内の荒廃農地の解消に向けた取組みを推進し、荒廃面積を減少させる。
【効果】荒廃農地を減少することにより、健全な農地と景観維持、田園保全につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業概要】
 ・「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査要領(農林水産省農村振興局通知)」を受け、関係部署が協力し山林原野化した農地の見極め調査を行い、荒廃の状況等の情報を把握・共有する
 ・荒廃農地を再生・解消するため、「安曇野市荒廃農地解消補助金」を活用し、再生作業を行う個人および団体を支援する。
 ・荒廃したわさび田の復旧後にハウスを設置し、実証ほ場として検証を行うとともに、4年間の事業総括を行う。

【詳細事業内訳】
 荒廃農地解消事業 2,600千円 荒廃わさび田再生検証事業 4,000千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
18	負担金補助及び交付金	6,600	荒廃農地解消補助金、荒廃わさび田復旧事業補助金								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	荒廃わさび田再生検証事業	2ヶ所目の再生地へパイプハウスを設置し栽培状況を観察するとともに、荒廃化したわさび田の復旧・再生を進め、生産振興に繋げる。	18	負担金補助及び交付金	4,000	
					計	4,000	
2	ソフト	荒廃農地解消事業	農業委員と連携して荒廃農地の減少に努めるとともに、荒廃農地を再生する個人・団体を支援するために、補助金を交付し再生作業を支援し、全体面積の減少へ繋げ農地を保全する。	18	負担金補助及び交付金	2,600	
					計	2,600	

重点施策	(6)	コード	010801300		予算書ページ	212
		課・係等	農政課 集落支援担当			
予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	06	農村集落支援費		基本施策	農業の振興
	事業	0106190	中山間地域等支援事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18,144	0	10,163	0	0	7,981
前年度	17,455	0	10,163	0	0	7,292
増減額	689	0	0	0	0	689

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	中山間地域等直接支払交付金	10,143							
16	中山間地域等直接支払推進交付金	20								

【目的・効果】

【目的】農業生産条件の不利な中山間地域において、農用地を維持・管理していく。集落等を単位に取決めを締結し、農地・農村を守る。

【効果】営農意欲が生まれるとともに、農業・農村の持つ多面的な機能を確保する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

中山間地域等直接支払交付金
 ・国の中山間地域等直接支払交付金制度(国・県・市からの交付金)を活用し、農業生産条件の不利農地で農業生産活動に取り組む協定集落を支援する。(第5期対策協定集落:11集落予定)
 安曇野市中山間地域農業直接支払交付金
 ・国の制度の対象とならない同様の集落において、市単の制度(安曇野市中山間地域農業直接支払事業交付金)を活用し、支援する。(協定集落:4集落)

【詳細事業内訳】

中山間地域直払事業 18,144千円

【一般財源増加理由】 令和元年に協定面積の増加集落があったため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	報償費	53	中山間地域集落連絡会議出席謝礼				
10	需用費	25	事務用品他				
13	使用料及び賃借料	20	コピー使用料				
18	負担金補助及び交付金	18,046	中山間直接支払交付金、安曇野市中山間地域等農業直接支払交付金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	中山間地域直払事業	中山間地域において農業・農村の持つ多面的機能を確保するため、農地を守る協定を締結することにより、農業生産活動を継続できるとともに、農用地の保全に繋がる。	18	負担金補助及び交付金	18,046
				07	報償費	53
				10	需用費	25
				13	使用料及び賃借料	20
					計	18,144
2					計	0

重点施策	(6)	コード	010801300		予算書ページ	212
		課・係等	農政課 集落支援担当			
予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	06	農村集落支援費		基本施策	農業の振興
	事業	0106200	有害鳥獣等予防対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,957	0	0	0	0	4,957
前年度	7,843	0	0	0	0	7,843
増減額	△ 2,886	0	0	0	0	△ 2,886

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・有害鳥獣による農作物被害を未然に防止する。
【効果】
 ・農業者が丹精込めて栽培した農作物を守り、生産意欲の減退を防ぐとともに、農業生産活動を継続させ、生産量を保持する。
 ・荒廃農地の発生を防ぐことができるとともに、営農の再開も可能になる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業概要】
 ・有害獣による農作物への被害を未然に防止するため、侵入防止柵および防止装置等への資材・装置購入への支援を行う。
 ・西山山麓地域のニホンザル対策として実施しているモンキードッグ事業の支援、GPS等を活用した動態調査を実施し、地域一体となった対策を推進をする。

【詳細事業内訳】
 有害鳥獣防止対策事業 4,957千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	旅費	30	職員旅費						
10	需用費	1,387	野鼠駆除薬剤代、モンキードッグ消耗品等						
12	委託料	495	有害鳥獣対策業務委託(GPS調査等)						
15	原材料費	200	獣害防護柵材料費						
18	負担金補助及び交付金	2,845	松本広域鳥獣被害防止対策協議会負担金、市野生鳥獣被害防止対策補助金、モンキードッグ維持管理補助金						

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	有害鳥獣防止対策事業	広域獣害防護柵の設置検討や維持管理支援、個人で設置する侵入防止柵および防止装置への補助等を行うなど未然の防止対策を複合で組合せ対策を講じていくことにより、農作物被害の軽減を図ることができる。	18	負担金補助及び交付金	2,845
				10	需用費	1,387
				12	委託料	495
				15	原材料費外	230
					計	4,957
2					計	0

重点施策	(6)	コード	010801200	予算書ページ	214
		課・係等	農政課 生産振興担当		

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	07	畜産業費		基本施策	農業の振興
	事業	0106210	畜産振興事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,291	0	0	0	55	3,236
前年度	4,082	0	0	0	63	4,019
増減額	△ 791	0	0	0	△ 8	△ 783

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	家畜防疫事業収入	55							

【目的・効果】
【目的】
 ・畜産が起因となっている環境問題(悪臭等)に対し、平成27年10月から施行になった悪臭防止法の規制にあわせ有効な悪臭低減等の対策を実施し、持続可能な畜産経営をしていくためのバックアップを行う。
【効果】
 ・畜産農家周辺に住む市民の安心・安全な住環境づくり。
 ・畜産農家の経営の安定化。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・悪臭問題が懸案となっている地域での市民を交えた協議会の開催をし、悪臭対策の推進を図る。併せて、悪臭の原因を探るための臭気測定を実施する。
 ・農業共済に常駐している獣医師の人的費等の一部を中信地域の19市町村で負担し、家畜の疾病への対応を図る。
 ・平成27年10月から施行された悪臭防止法への対応として、畜産農家が購入する悪臭低減資材等に対して補助金を支出し、畜産農家自らが悪臭問題への取り組みを強化する意識を高める。
 ・各種の疾病に対する防疫措置を図るため、畜産農家自らが購入する消毒液や消石灰に対して補助する。併せて、周辺環境にも影響を与えるハエ等の害虫に対する駆除剤の購入に対しても補助をする。

【詳細事業内訳】
 畜産農家支援事業 3,291千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	報償費	168	畜産悪臭対策協議会 委員会議出席謝礼				
18	負担金補助及び交付金	3,123	家畜診療所負担金、畜産経営安定化事業補助金、予防注射接種事業補助金、畜産環境リース事業利子補助等補助金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	畜産農家支援事業	環境対策として、畜産農家が購入した資材に対して補助(1/2補助・上限あり)することにより、畜産経営に係る環境、運営面の対策強化を図る。	18	負担金補助及び交付金	3,123	
				07	報償費	168	
					計	3,291	
2					計		

重点施策	(6)
------	-----

コード	010801200
課・係等	農政課 生産振興担当

予算書ページ	214
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	07	畜産業費		基本施策	農業の振興
	事業	0106220	三郷堆肥センター運営事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	15,800	0	0	0	0	15,800
前年度	19,165	0	0	0	0	19,165
増減額	△ 3,365	0	0	0	0	△ 3,365

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
 ・市内の自然環境を保全し、市民の生活環境を保持するため、畜ふん尿等を原料とした優良な完熟堆肥を製造することにより、市の有機農業を発展させる。
【効果】
 ・施設の老朽化等により困難な面もあるが、良質な完熟堆肥を製造している。また、地道な営業努力により耕種農家からの評判も良い。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・良質で安定した堆肥製造に取組み、耕種農家への安定供給に取組む。
 ・H27年度から、経営の安定化を目指し、指定管理委託料を増額(+3,650千円)した。反面、修繕費については、指定管理者と市の負担(市の負担を1件当たり500千円以上から2,000千円以上の修繕へ)を見直し、H26年度以前に当初予算に計上していた修繕費(3,000千円)の計上を削除している。

【詳細事業内訳】
 三郷堆肥センター運営事業 15,800千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
12	委託料	14,000	三郷堆肥センター指定管理料							
13	使用料及び賃借料	1,800	三郷堆肥センター借地料							

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	三郷堆肥センター運営事業	市内の自然環境を保全し、市民の生活環境を保持するため、畜ふん尿等を原料とした優良な完熟堆肥を製造することにより、市の有機農業を恒久的に発展させる。	12	委託料	14,000
				13	使用料及び賃借料	1,800
					計	15,800
2					計	

重点施策	(6)	コード	010801200
		課・係等	農政課 生産振興担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	04	水産業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	水産業振興費		基本施策	水を活用した産業の振興
	事業	0106360	水産業振興事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	185	0	0	0	0	185
前年度	352	0	0	0	0	352
増減額	△ 167	0	0	0	0	△ 167

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
									0	

【目的・効果】
【目的】
 ・第5種共同漁業権(内水面において営む漁業)の対象魚種の増殖。
【効果】
 ・漁業法により、水産動植物の繁殖保護を図るために長野県内水面業場管理組合が定めた増殖指示量(稚魚650kg:5g/1匹)の確保につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・犀川漁業協同組合が取組む、漁業法による水産資源拡大事業に対し補助金を交付する。□
 □
 □
 □
 □
 □
 □

【詳細事業内訳】
 水産資源拡大補助事業 185千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
18	負担金補助及び交付金	185	水産資源拡大補助金								

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	水産資源拡大補助事業	犀川漁業協同組合が取組む、漁業法による水産資源拡大事業に対し補助金を交付し、長野県内水面漁場管理委員会が定めた増殖指示量の確保につなげる。	18	負担金補助及び交付金	185
					計	185
2					計	

重点施策	—		コード	010802200		予算書ページ	200
			課・係等	耕地林務課 林務担当			
予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち	
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち	
	目	02	農業総務費		基本施策	林業の振興	
	事業	0106050	有害鳥獣駆除対策				

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,451	0	1,646	0	12,805
前年度	14,156	0	1,774	0	12,382
増減額	295	0	△ 128	0	423

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	野生鳥獣総合管理対策事業補助金	1,646							

【目的・効果】

【目的】

野生鳥獣がもたらす農林水産業への被害の軽減及び人身被害の防止を図る。

【効果】

- ・野生動物の出没低減により、住民が安心して生活することができる。
- ・安定した農林水産業を営むことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・安曇野市猟友会に有害鳥獣捕獲業務を委託し、鳥獣被害対策実施隊が中心となり捕獲を実施する。
- ・林縁部に緩衝帯を整備し、周辺部からの視界を良くすることにより、野生獣が出没しにくい状況にする。
- ・公道等での野生小動物の死体回収を業者に委託する。
- ・新規銃猟者確保のため、免許取得経費の一部を補助する。

【詳細事業内訳】

有害鳥獣駆除対策事業 14,451千円

【一般財源増加理由】 豚コレラ対応のため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	357	鳥獣被害対策実施隊員報酬				
10	需用費	517	消耗品費、鳥獣捕獲檻修繕				
12	委託料	10,906	有害鳥獣捕獲業務委託、管招待整備、野生小動物死体回収				
13	使用料及び賃借料	24	捕獲檻設置用地賃借料				
17	備品購入費	126	鳥獣追払用電動銃				
18	負担金補助及び交付金	2,521	駆除従事者傷害保険、有害鳥獣捕獲者支援				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1		有害鳥獣駆除対策事業	猟友会に委託して定期的な有害鳥獣捕獲、クマ個体数調整、緊急対応を行うほか、錯誤捕獲については、信州大学にも併せて対応を委託することにより、計画的に駆除を進めることができる。	12	委託料	10,906
				18	負担金補助及び交付金	2,521
				10	需用費	517
				01	報酬	357
					計	14,301
2					計	0

重点施策	—		コード	010802200		予算書ページ	214
			課・係等	耕地林務課 林務担当			
予算	款	06	農林水産業費		基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち	
	項	02	林業費		基本方針	農林水産業を振興するまち	
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興	
	事業	0106230	林業振興事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	90,488	0	2,018	0	4,758	83,712
前年度	94,668	0	2,200	0	7,424	85,044
増減額	△ 4,180	0	△ 182	0	△ 2,666	△ 1,332

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	行政財産目的外使用料(旧山林組合関係)	17	17	市有土地貸付収入(旧山林組合関係)	50	19	旧穂高町外1ヶ町一ノ沢山林組合に関する基金繰入金	2,808	
16	信州産ペレット消費拡大事業補助金	1,125	17	分収造林事業基金利子	5					
16	木材関係事業補助金	375	17	旧穂高町外1ヶ町一ノ沢山林組合に関する基金利子	272					
16	森林づくり推進支援金	518	17	旧穂高町外1ヶ町浅川山林組合に関する基金利子	6					
										5,176

【目的・効果】

【目的】

森林の多面的機能の維持や森林体験施設を活用し、健全な森林づくりを図る。

【効果】

森林の保健保養的利用やみどりの少年団活動、学有林活動等を通じ、市民がさまざまな形で森林にふれあう機会を設けることにより、森林がもつ二酸化炭素の排出抑制や水源涵養等の森林の重要性を普及することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・里山再生計画を推進するため、計画の具体的な4つのプロジェクトを実施する。
- ・ペレットストーブ導入者に設備費用の一部を補助する。
- ・緑の募金の交付金を受けて、市内の公共施設(公民館・公園・学校等)に緑化木の苗木を頒布し緑化の推進を図る。
- ・長峰山森林体験交流センター施設運営【指定管理者】(株)穂高カントリー【期間】平成31年度～令和5年度
- ・森林法の林地台帳制度において整備した、林地台帳のデータの更新を行う。

【詳細事業内訳】

林業振興総務事業 64,271千円 里山再生計画推進事業 6,659千円 長峰山森林体験交流センター事業 13,613千円 林地台帳整備運用事業 2,420千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	1,524	里山再生計画推進業務パートタイム会計年度任用職員報酬	11	役務費	144	ペレットストーブ点検外
02	給料	30,909	一般職(9人)	12	委託料	17,052	長峰山森林体験交流センター指定管理委託料、林地台帳整備業務委託料
03	職員手当等	14,852	職員諸手当	15	原材料費	1,624	緑化推進苗木代
04	共済費	9,998	職員共済組合納付金	18	負担金補助及び交付金	10,003	林業関係団体負担金、ペレットストーブ導入補助、緑の少年団補助外
07	報償費	1,648	講師謝礼、出席謝礼、労務謝礼	24	積立金	355	一ノ沢山林組合外基金積立
08	旅費	296	職員旅費				
10	需用費	2,083	現場用消耗品、里山再生計画書印刷製本費外				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	里山再生計画推進事業	里山再生計画の推進を図るため、具体的な4プロジェクトを実施することで、多くの市民等が里山に関心を持ち、里山に入ることによって現在の里山の抱える課題を解消することができる。	01	報酬	1,524
				03	職員手当等	297
				07	報償費	872
				08	旅費	247
				10	需用費	1,211
				12	委託料	1,254
				15	原材料費	54
				18	負担金補助及び交付金	1,200
					計	6,659
2						
					計	0

予算書ページ	218
--------	-----

重点施策	—	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	02	林業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106240	松くい虫被害対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	160,785	0	89,042	0	1	71,742
前年度	180,206	0	85,459	0	1	94,746
増減額	△ 19,421	0	3,583	0	0	△ 23,004

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
16	森林づくり推進支援金	2,060								
21	更新伐事業雑入	1								

【目的・効果】
【目的】
 松くい虫による被害の拡大を防止し、森林資源の保護育成や健全な森林機能の保全を図る。
【効果】
 ・自然環境の保全や地域の里山の再生を図る。
 ・災害に強い森林としての減災効果を高める。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・森林における松くい虫被害木の伐倒駆除を実施する。
 ・守るべき松林における、予防対策の薬剤散布及び樹幹注入を実施する。
 ・更新伐事業に伴う搬出路の整備を実施する。
 ・庭園松等の所有者や管理者が実施する防除対策について、使用薬剤購入費や伐倒処理経費への補助を行う。
 ・被害木の有効活用を図る。

【詳細事業内訳】
 松くい虫防除対策事業市単補助事業 24,614千円 松くい虫防除対策事業 130,671千円 松くい虫被害対策更新伐事業 5,500千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
07	報償費	258	東山・西山被害対策協議会出席謝礼			18	負担金補助及び交付金	24,614	市単補助(伐倒駆除、薬剤散布、樹幹注入)		
08	旅費	56	職員旅費								
10	需用費	104	予防対策消耗品								
11	役務費	743	松くい虫被害材活用 被害材製材・乾燥手数料								
12	委託料	127,890	松枯損木伐倒処理、防除薬剤散布外								
14	工事請負費	4,057	搬出路整備								
15	原材料費	3,063	樹幹注入剤購入外								

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	松くい虫防除対策事業市単補助事業	個人庭園松や地域神社林等の所有者や管理者が実施する、薬剤散布、樹幹注入による予防対策費用など予防対策費用や松枯損木の処理経費に対して補助金を交付する。	18	負担金補助及び交付金	24,614
					計	24,614
2					計	0

予算書ページ	220
--------	-----

重点施策	—	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	02	林業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106250	市有林の造成及び管理			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	21,015	0	5,831	0	610	14,574
前年度	11,853	0	3,452	0	610	7,791
増減額	9,162	0	2,379	0	0	6,783

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	森林造成事業費補助金	5,831							
21	林業費雑入	10								
21	森林の里親促進事業支援金	600								

【目的・効果】

【目的・効果】

安曇野市森林整備計画に基づき造林事業を行い、健全な森林造りを図る。

【効果】

森林(もり)の里親促進事業の提携企業と協働により市有林の森林整備を図り、また、学有林活動による体験的森林施業など、多くの人がさまざまな方法で森林に触れ合う機会を設け、森林の重要性を普及する事ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・安曇野市森林整備計画及び森林経営計画に基づき、市有林の造林事業を行う。
- ・市有林の施業指針に基づき、搬出間伐等を計画的に実施する。
- ・森林(もり)の里親促進事業の推進をする。
- ・まゆみ池(堀金)周辺の整備 …… 富士電機メータ(株)
- ・学有林活動 …… 堀金中学校、穂高西中学校
- ・市有林の施業指針を作成し、市有林の管理をする。

【詳細事業内訳】

市有林森林整備事業 21,015千円

【一般財源増加理由】 新体育館建設に伴う間伐材搬出量等の増による。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	報償費	83	市有林調査点検				
11	役務費	5,180	間伐材活用、森林の里親事業、市有林管理(保育)、国営保険				
12	委託料	15,752	間伐等設計業務、間伐等森林整備事業				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	220
--------	-----

重点施策	—	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	02	林業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106260	間伐対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	15,303	0	0	0	0	15,303
前年度	20,529	0	0	0	6,212	14,317
増減額	△ 5,226	0	0	0	△ 6,212	986

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 森林環境を守り山林の立地特性に応じた森林造成にむけて、計画的に施業を行う。
【効果】
 計画的に森林施業を行うことにより、効率よく木材を生産するだけでなく、水源の涵養や土砂災害の防止といった森林の公益的機能をより高めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・林業事業者が行う森林整備事業の計画作成や造林事業に対して補助金を交付する。

【詳細事業内訳】
 森林造成事業(補助) 15,303千円

【一般財源増加理由】 民間等の森林整備事業要望増加に伴う増額。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
18	負担金補助及び交付金	15,303	森林造成事業嵩上げ補助				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010802200
課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	220
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	02	林業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106265	森林環境譲与税事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	19,407	0	0	0	1,823	17,584
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	19,407	0	0	0	1,823	17,584

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	19	森林環境譲与税基金繰入金	1,823							
								(森林環境譲与税)	(17,564)	

【目的・効果】
適切な森林の整備・保全により、森林の多面的機能が発揮され、地球温暖化防止や、山地災害防止・国土保全、水源涵養等により市民の安全で安心な暮らしを守ることにつなげていく。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・経営管理されていない森林所有者に対し、森林経営管理制度について地区を設定し地元説明会を開催し、森林の経営管理について意向調査を行う。
 ・集積計画(案)作成
 ・経営管理権 同意書の取得等

【詳細事業内訳】
森林経営管理等整備事業 19,407千円

【一般財源増加理由】 森林環境譲与税を活用した新規事業となるため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	役務費	151	通信運搬費				
17	備品購入費	1,672	現地調査用機材				
24	積立金	17,584	森林環境譲与税基金積立、同利子積立				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	220
--------	-----

重点施策	—	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	02	林業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106270	市単林道事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18,360	0	0	0	0	18,360
前年度	18,441	0	0	0	0	18,441
増減額	△ 81	0	0	0	0	△ 81

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

林道の草刈や路面整備等の維持管理を行い、安定した通行を確保する。

【効果】

林道及び作業道の排水施設維持整備、土砂排除、倒木除去等を適切に行うことにより、利用者が安全で安心して林道を通行することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
・既存林道51路線について、草刈り、排水施設維持、土砂排除、倒木除去等の維持管理を行う。

【詳細事業内訳】

市単林道維持事業 18,360千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
10	需用費	240	消耗品				
12	委託料	3,400	林道草刈、倒木除去外				
14	工事請負費	14,300	林道維持修繕工事				
15	原材料費	420	維持管理用原材料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010802200
課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	220
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	02	林業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106275	林道危険箇所重点整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20,315	0	8,415	0	0	11,900
前年度	29,573	0	13,239	0	0	16,334
増減額	△ 9,258	0	△ 4,824	0	0	△ 4,434

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	公共補助林道事業補助金	8,415							

【目的・効果】
【目的】
 交通量の多い観光道路として利用される幹線林道において、大規模な落石や倒木からの被害を未然に防ぐため、単年度に集中して危険箇所の重点的な整備を行い林道の安全性を確保する。
【効果】
 危険箇所を早急に改修することにより、法面崩落等の被害を未然に防ぎ、森林整備関係者のみならず観光来訪者や登山者が林道を安全に通行することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・大規模な被害を及ぼす可能性がある林道沿いの支障木について伐採を委託する。
 ・林道烏川線の改良工事を行う。

【詳細事業内訳】
 林道危険箇所重点整備事業 20,315千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
12	委託料	2,815	支障木伐採、改良工事実施設計、改良工事監督補助				
14	工事請負費	17,500	林道烏川線改良工事				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	林道危険箇所重点整備事業	補助事業を活用し、林道烏川線の改良工事を実施する。工事を実施し、土砂崩落等の危険箇所を改善することにより、利用者が安心して安全に林道を通行することができる。	14	工事請負費	17,500	
				12	委託料	2,815	
					計	20,315	
2					計	0	

予算書ページ	222
--------	-----

重点施策	—	コード	010802100
		課・係等	耕地林務課 耕地担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	耕地総務費		基本施策	農業の振興
	事業	0106280	耕地総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	112,423	0	9,459	0	1,170	101,794
前年度	107,030	0	8,313	0	1,170	97,547
増減額	5,393	0	1,146	0	0	4,247

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	農村環境改善センター維持管理分担金	1,050	21	高瀬川左岸水利運営調整費	120				
16	国営造成施設管理体制整備促進事業補助金	5,766								
16	地滑り防止施設管理委託金	193								
16	ため池事業補助金	3,500								

【目的・効果】

【目的】耕地事業全般にわたる経常的経費及び各種団体への負担金支出や土地改良事業に係る償還事務を行う。

【効果】耕地事業の推進

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・耕地林務課職務的経費(職員給料、公用車管理等)
- ・ほ場整備事業等に係る借入金償還事務(R5年度償還終了)
- ・土地改良区に係る県単土地改良事業負担金支出
- ・三郷農村環境改善センターに係る指定管理料、土地借地料
- ・田多井農村公園の複合遊具更新 1基

【詳細事業内訳】

土地改良事業農林漁業資金償還金 866千円 農業用水路維持管理負担金(国営造成) 9,631千円 耕地総務費 89,768千円 三郷農村環境改善センター施設管理事業 8,193千円 農村公園施設更新事業 3,965千円

【一般財源増加理由】 農村公園遊具更新工事費の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
02	給料	42,045	一般職(11人)	13	使用料及び賃借料	2,713	三郷農村環境改善センター借地料
03	職員手当等	18,625	職員諸手当	14	工事請負費	3,965	農村公園遊具更新工事費
04	共済費	11,547	職員共済組合納付金	18	負担金補助及び交付金	20,751	土地改良事業借入償還金、国営造成施設管理負担金・補助金、土地改良区年間通水負担金・補助金、県単事業建設負担金
08	旅費	100	職員旅費				
10	需用費	3,303	事務用消耗品、公用車燃料費、施設修繕費、光熱水費、物品修繕費				
11	役務費	91	公用車点検手数料、三郷資材センターホイストクレーン点検料				
12	委託料	9,283	三郷農村環境改善センター指定管理料、地すべり地区巡視委託料、休日農業用水路詰り作業委託料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—		コード	010802100		予算書ページ	222
			課・係等	耕地林務課 耕地担当			
予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち	
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち	
	目	01	耕地総務費		基本施策	農業の振興	
	事業	0106290	土地改良施設維持管理適正化事業				

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	12,363	0	0	6,600	5,763
前年度	5,389	0	0	0	5,389
増減額	6,974	0	0	6,600	374

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	土地改良事業地元分担金	1,200							
21	土地改良施設維持管理適正化事業交付金	5,400								

【目的・効果】

【目的】

土地改良施設維持管理適正化事業により、農業用排水路の健全化工事を行う。

【効果】

健全化工事を行うことで、土地改良施設の長寿命化が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

○市営事業

・青木花見駅西水路の改修 6,600千円

○拠出金

・青木花見駅西水路 360千円

○負担金

・矢原堰土地改良区 水路改修 1,100千円

・烏川土地改良区 田多井堰改修 680千円

・梓川土地改良区 水路改修 329千円

・第二拾ヶ堰土地改良区 揚水機改修 2,400千円

・矢原堰土地改良区 ゲート改修 820千円

・青木花見駅西水路 賦課金 74千円

【詳細事業内訳】

農業用水路改修工事(土地改良施設維持管理適正化) 12,363千円

【一般財源増加理由】 市営による青木花見水路改修工事の実施による。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
12	委託料	600	設計監理委託料				
14	工事請負費	6,000	水路改修工事費				
18	負担金補助及び交付金	5,763	建設負担金、事業負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	コード	010802100
		課・係等	耕地林務課 耕地担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	耕地総務費		基本施策	農業の振興
	事業	0106300	国営土地改良事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	94,156	0	0	0	0	94,156
前年度	94,272	0	0	0	0	94,272
増減額	△ 116	0	0	0	0	△ 116

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
 【目的】
 広域排水事業により造成された施設の維持管理を行う。
 【効果】
 施設の管理体制が整備されるとともに、適切な維持管理が行われている。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・安曇野・松本行政事務組合負担金 14,596千円
 ・国営広域排水事業に伴う借入金償還 78,549千円
 ・沈砂池土砂排除 1,011千円

【詳細事業内訳】
 国営広域排水事業負担金 94,156千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
14	工事請負費	1,011	広域排水路沈砂池土砂排除工事						
18	負担金補助及び交付金	93,145	国営事業負担金借入償還金、一部事務組合負担金						

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	224
--------	-----

重点施策	-	コード	010802100
		課・係等	耕地林務課 耕地担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	農村整備事業		基本施策	農業の振興
	事業	0106310	市単土地改良事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
39,761	55,170	△ 15,409	0	0	0	97
			0	0	0	100
			0	0	0	△ 3
						△ 15,406

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	ふるさと・水と土保全基金利子	97							

【目的・効果】

【目的】

市単事業により農業用排水路の小規模な補修、更新を行う。

【効果】

水路改修工事等を行うことにより、農家の維持管理費の削減や農業生産性の向上が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・農業用排水路等に係る小規模工事の実施
- ・水路管理者へ農業用排水路の漏水補修材の支給
- ・水路管理者が行う水路改修工事等に補助金交付

【詳細事業内訳】

農業施設維持工事(市単) 39,761千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	報償費	103	用排水路管理作業労務謝礼				
10	需用費	126	事務用消耗品				
12	委託料	4,690	用水路管理委託料、用排水路ゴミ処理業務委託料、設計監理委託料、				
13	使用料及び賃借料	829	重機借り上げ料、積算システム使用料				
14	工事請負費	23,933	市内用水路維持工事費				
15	原材料費	1,530	水路・農道補修用資材				
18	負担金補助及び交付金	8,550	水路改修事業等補助金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—		コード	010802100		予算書ページ	224
			課・係等	耕地林務課 耕地担当			
予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち	
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち	
	目	02	農村整備事業		基本施策	農業の振興	
	事業	0106320	県営土地改良事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18,671	0	0	16,700	0	1,971
前年度	11,273	0	0	10,100	0	1,173
増減額	7,398	0	0	6,600	0	798

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	22	県営かんがい排水事業	3,900							
22	県営農道整備事業	12,800								

【目的・効果】
【目的】
 県営事業により農道整備、畑地かんがい施設整備が行われるため、建設負担金を支出する。
【効果】
 県営事業の実施により、農業生産基盤の強化や農村環境が改善される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 市内では県営事業により農業基盤整備が進められており、市から建設負担金を支出し事業を推進している。令和2年度は安曇野地区は三郷地域の歩道整備が完成したため、同地域の車道の舗装を行う。中信平左岸地区は畑地かんがい施設の更新に着手する。
【事業概要】
 ・県営農道整備事業 安曇野地区
 路面改良工事 W=7.0m
 負担割合 国50%、県25%、市25%
 令和2年度負担金 14,250千円 賦課金29千円
 ・県営畑地帯総合土地改良事業 中信平左岸地区
 畑地かんがい施設整備 1式
 負担割合 国50%、県25%、市12.5%、土地改良区12.5%
 令和2年度負担金 4,375千円 賦課金17千円

【詳細事業内訳】
 県営土地改良負担金 18,671千円

【一般財源増加理由】 県営工事費の増による。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
18	負担金補助及び交付金	18,671	事業割賦課金、事業負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	226
--------	-----

重点施策	—	コード	010802100
		課・係等	耕地林務課 耕地担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	農村整備事業		基本施策	農業の振興
	事業	0106330	団体営土地改良事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,794	0	5,440	0	0	3,354
前年度	43,812	0	18,360	0	1,881	23,571
増減額	△ 35,018	0	△ 12,920	0	△ 1,881	△ 20,217

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	団体営土地改良事業補助金	5,440							

【目的・効果】
【目的】
 団体営事業(交付金)により農業用排水路の改修工事を行う。
【効果】
 水路改修工事を行うことにより、農家の維持管理費の削減や農業生産性の向上を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○農業水路等長寿命化・防災減災事業 北穂高地区
 工事費8,200千円 L= 95m

【詳細事業内訳】
 農業用排水路工事・農道舗装工事(団体営) 8,794千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
10	需用費	51	事務用消耗品						
12	委託料	500	設計業務委託料						
14	工事請負費	8,200	水路改修工事費						
18	負担金補助及び交付金	43	事業割賦課金						

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	226
--------	-----

重点施策	—	コード	010802100
		課・係等	耕地林務課 耕地担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	農村整備事業		基本施策	農業の振興
	事業	0106335	公共施設等適正管理推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	29,983	0	0	26,900	0	3,083
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	29,983	0	0	26,900	0	3,083

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	22	市単農道舗装事業	26,900							

【目的・効果】
【目的】
 公共施設等適正管理推進事業(起債)により農道の舗装工事を行う。
【効果】
 農道舗装を行うことにより、農道の通行の円滑化や老朽化による陥没個所の車両事故発生防止を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 公共施設等適正管理推進事業 上押野地区
 事業費 29,953千円
 農道舗装 L=1550m

【詳細事業内訳】
 農道舗装工事(公共施設等適正管理推進事業) 29,983千円

【一般財源増加理由】 新規取組による

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
10	需用費	30	事務用消耗品				
12	委託料	2,860	設計委託料				
14	工事請負費	27,093	農道舗装工事費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	226
--------	-----

重点施策	(6)	コード	010802100
		課・係等	耕地林務課 耕地担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	農村整備事業		基本施策	農業の振興
	事業	0106340	多面的機能支払交付金事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	267,390	0	200,387	0	0	67,003
前年度	264,503	0	198,000	0	0	66,503
増減額	2,887	0	2,387	0	0	500

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	多面的機能支払推進交付金	200,387							

【目的・効果】

【目的】農村地域の高齢化、人口減少等により、農村環境の保全や共同活動等に支障が生じつつあるため、地域で組織化された活動組織を支援する。

【効果】平成27年度に施行された「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づき、農業農村の多面的機能(草刈り作業、道水路やため池等の施設の維持補修、水路更新工事等)を発揮のため、地域活動等への支援をする事により、市内の田園風景や環境が適切に維持管理されている。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

令和2年度は、27組織(取組面積3,589ha)が地区の環境保全、共同活動、農業用水路等の長寿命化に取組む。また、事務の効率化や負担軽減のために活動組織の広域化を図る(堀金地域の広域化)。さらに広域組織による事務軽減を進める。

※令和2年3月末の広域化の状況

広域組織 … 豊科広域 1組織(14)、穂高広域 1組織(9)、三郷広域 1組織(4)、明科広域 1組織(4)、有明広域 1組織(4)、
 中信平左岸改良区 1組織 括弧内は地元活動組織数
 未広域組織 … 豊科 1組織、穂高 6組織、三郷 2組織、堀金 8組織、明科 3組織、

【詳細事業内訳】

農地保全活動交付金(多面的機能支払) 267,390千円

【一般財源増加理由】 取組面積の増による

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	旅費	34	職員旅費				
10	需用費	57	事務用消耗品				
12	委託料	495	GIS更新業務委託料				
13	使用料及び賃借料	945	交付金制度支援システム借り上げ料				
18	負担金補助及び交付金	265,859	活動組織支援補助金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	農地保全活動交付金(多面的機能支払)	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域の共同活動に係る支援を行う。また、これまでに組織された活動組織の広域化により、事務の軽減を行う。 これにより地域資源の適切な保全が図れる。	18	負担金補助及び交付金	265,859
				13	使用料及び賃借料	945
				12	委託料	495
				10	需用費外	91
					計	267,390
2					計	0

重点施策	—	コード	010802100	予算書ページ	226
		課・係等	耕地林務課 耕地担当		

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	農村整備事業		基本施策	農業の振興
	事業	0106350	経営体育成基盤整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,772	0	412	1,500	1,750	4,110
前年度	39,165	0	412	11,800	13,125	13,828
増減額	△ 31,393	0	0	△ 10,300	△ 11,375	△ 9,718

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	土地改良事業地元分担金	1,750							
16	団体営土地改良事業補助金	412								
22	県営ほ場整備事業	1,500								

【目的・効果】
【目的】
 県営ほ場整備事業により区画整理を行い営農の効率化を図る。
【効果】
 区画整理を行い点在していた農地を集約することにより、作業効率が向上し担い手への農地の集約化が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

R2年度 経営体育成基盤整備事業 烏川地区
 ○負担金事業
 ・事業費 3,513千円
 建設負担金 3,500千円 (事業費 20,000,000円×負担率17.5%)
 事業割負担金 13千円 (長土連事業割 県営事業 10,000円、団体営事業 2,500円÷3,000円)
 ○農業経営高度化支援事業 (補助金事業)
 ・事業費 703千円 (事業費703,000円のうち、補助対象事業費上限 500,000円)
 (補)報償費 20千円 (農地集積推進委員報酬 20,000円)
 (補)需用費 166千円 (農地集積等事務用品 166,000円)
 (補)委託料 517千円 (委託料1,012,000円のうち、農地集積状況図等編集業務委託517,000円)
 ※歳入補助金 412千円 (補助率82.5% 補助金 412,000円 事業費500,000円×82.5%÷412,000円)

【詳細事業内訳】
 ほ場整備負担金(経営体育成基盤整備) 7,772千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
07	報償費	20	農地集積推進委員報酬		18	負担金補助及び交付金	3,513	県営事業負担金等		
08	旅費	139	職員旅費							
10	需用費	166	農地集積等事務用品							
12	委託料	1,012	農地集積状況図等編集業務委託、地区外境界測量業務委託							
13	使用料及び賃借料	341	公用車リース料							
14	工事請負費	1,980	水路補修工事一式							
16	公有財産購入費	601	水路敷用地購入費							

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

予算書ページ	362
--------	-----

重点施策	(4)	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	11	災害復旧費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	02	農林水産施設災害復旧費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	林業施設災害復旧		基本施策	林業の振興
	事業	0111020	林道災害復旧事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	21,735	0	15,460	4,400	0	1,875
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	21,735	0	15,460	4,400	0	1,875

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
22	林道災害復旧事業	4,400								19,860

【目的・効果】
【目的】
 交通量の多い観光道路として利用される幹線林道において、災害復旧整備を行い林道の安全性を確保する。
【効果】
 災害箇所を早急に改修することにより、森林整備関係者のみならず観光来訪者や登山者が林道を安全に通行することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 林道舟ヶ沢線の災害復旧工事を行う。

【詳細事業内訳】
 林道災害復旧事業 21,735千円

【一般財源増加理由】	災害復旧工事を実施するため						
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
12	委託料	2,035	災害工事実施設計、工事監督補助				
14	工事請負費	19,700	林道舟ヶ沢線災害復旧工事				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

商工観光部

予算書ページ	194
--------	-----

重点施策	—	コード	010901100、010901200
		課・係等	商工労政課 商工労政係、産業立地支援係

予算	款	05	労働費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	労働費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	01	労働諸費		基本施策	労働・雇用対策の推進
	事業	0105010	勤労者福祉事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	85,626	0	0	27,000	50,000	8,626
前年度	59,070	0	0	0	50,000	9,070
増減額	26,556	0	0	27,000	0	△ 444

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	勤労者資金元金	50,000							
22	施設除却事業(勤労者集会施設)	27,000								

【目的・効果】
【目的】
 ○安心して働ける環境作りを目指すために、市内中小企業事業所の勤労者の福利厚生事業や共済事業を推進する。
【効果】
 働きやすい環境整備や福利厚生の上により生産性の向上につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・安曇野市勤労者互助会及び当該団体の福利厚生事業活動を支援する。
 ・勤労者の生活の安定を図り福祉の向上に資するため、勤労者資金融資あっせん(協調融資)や、勤労者住宅建設資金の融資に対する利子補給を行う。
 ・安曇野市穂高勤労者福祉センターの建物解体を行う。

【詳細事業内訳】
 安曇野市勤労者互助会運営事業 4,250千円 勤労者福祉センター管理事業 28,526千円 勤労者支援事業 52,850千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	委託料	2,522	穂高勤労者福祉センター解体工事設計監理						
14	工事請負費	26,004	穂高勤労者福祉センター解体工事						
18	負担金補助及び交付金	7,100	安曇野市勤労者互助会負担金、福利厚生事業補助金、勤労者住宅建設利子補助金						
20	貸付金	50,000	ろうきんへの預託金						

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	安曇野市勤労者互助会運営事業	安曇野市勤労者互助会の事業を支援することで、市内に事業所を有する中小の事業者及び従業員の環境整備や福利厚生の上による生産性の向上につながる。	18	負担金補助及び交付金	4,250	
					計	4,250	
2	ソフト	勤労者支援事業	住宅取得費用の利子補給、生活資金のあっせん及び勤労者福祉事業への補助を行うことで、勤労者の生活の安定と福祉の向上を図り安心して持続的に働ける環境をつくる。	20	貸付金	50,000	
				18	負担金補助及び交付金	2,850	
					計	52,850	

予算書ページ	194
--------	-----

重点施策	—	コード	010901100
		課・係等	商工労政課 商工労政係

予算	款	05	労働費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	労働費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	01	労働諸費		基本施策	労働・雇用対策の推進
	事業	0105020	労働雇用対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,381	0	0	0	0	3,381
前年度	2,544	0	0	0	0	2,544
増減額	837	0	0	0	0	837

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ○地域内の求職情報を提供し雇用促進を図るとともに、労働関係に起因する各種相談体制を整え、安心して働ける環境整備に努める。
【効果】
 就労環境の向上につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・松本公共職業安定所と共同で市内を中心とした就職希望者の相談業務を「ふるさとハローワーク」で行う。
 ・職場定着セミナー、労働相談会を開催する。

【詳細事業内訳】
 ふるさとハローワーク管理事業 3,150千円 雇用対策事業 231千円

【一般財源増加理由】 臨時職員の賃金見直しの増額による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	1,558	ふるさとハローワーク会計年度任用職員報酬	18	負担金補助及び交付金	748	長野県安曇野庁舎共益費、松本職業安定協会負担金
03	職員手当等	338	ふるさとハローワーク会計年度任用職員期末手当				
08	旅費	51	ふるさとハローワーク会計年度任用職員通勤手当				
10	需用費	14	ふるさとハローワーク施設管理用品				
11	役務費	291	ふるさとハローワーク電話料				
12	委託料	232	ふるさとハローワークコピー機保守点検委託料、労働相談会委託料、産業事情視察バス運転業務委託料				
17	備品購入費	149	ふるさとハローワーク事務用ノートパソコン				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—	コード	010901100	予算書ページ	230
		課・係等	商工労政課 商工労政係		

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	01	商工総務費		基本施策	商業の振興
	事業	0107010	商工総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	197,167	0	0	0	0	197,167
前年度	205,105	0	0	0	0	205,105
増減額	△ 7,938	0	0	0	0	△ 7,938

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ○地域経済の基幹をなす中小企業の経営基盤強化を図る。
 ○市内事業者の経営相談や経営改善を行う事業を支援する。
 ○事業承継等持続可能な事業展開に向け、商工会・金融機関等と協力し支援体制を整える。
【効果】
 中小・小規模事業者の経営の安定につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・安曇野市商工会経営支援員による市内事業者の経営相談や経営改善を行う事業を支援する。
 ・地域の活性化を担うイベントに対しその費用の一部を負担する。

【詳細事業内訳】
 商工総務費 138,518千円 地域総合振興事業 40,217千円 経営改善普及事業 18,432千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	1,763	商工振興審議会委員報酬、商工事業事務補助会計年度任用職員報酬			12	委託料	19	まつもと広域ものづくりフェア企業見学会バス運行業務委託料		
02	給料	75,668				13	使用料及び賃借料	4	出張時等有料駐車場使用料		
03	職員手当等	36,265				18	負担金補助及び交付金	59,463	経営改善普及事業補助金、地域総合振興事業補助金、各種団体負担金		
04	共済費	23,713									
08	旅費	158	職員旅費、会計年度任用職員通勤手当								
10	需用費	113	経済動向資料購入費他								
11	役務費	1	課所有の自転車保険料								

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	経営改善普及事業	安曇野市商工会の経営支援員による市内事業者の経営相談や経営改善を行う事業を支援することで、小規模事業者の経営の安定を図る。	18	負担金補助及び交付金	18,432
					計	18,432
2	ソフト	地域総合振興事業	市内事業者が取り組む地域の活性化を担う事業に対し、その費用の一部を補助することで、地域経済の活性化を図る。	18	負担金補助及び交付金	40,217
					計	40,217

予算書ページ	230
--------	-----

重点施策	—	コード	010901100
		課・係等	商工労政課 商工労政係

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	商工費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	商工総務費		基本施策	公共交通の充実
	事業	0107020	JR・高速乗合バス利用対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20,485	0	0	0	6,234	14,251
前年度	20,037	0	0	0	7,018	13,019
増減額	448	0	0	0	△ 784	1,232

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	市営駐車場使用料	3,198							
21	JR乗車券類等発売業務	3,036								

【目的・効果】
【目的】
 ○市民の交通手段の利便性の向上を図るため、市内JR営業線無人駅での乗車券類等の発売業務や駐車場・駐輪場等の維持管理を行う。
【効果】
 利用者の利便性の向上と、駅周辺や高速乗合バス駐車場周辺の環境美化につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・JR営業線無人駅での乗車券類等発売業務の廃止に向けた検証を進める。
 ・JR営業線駅の駐輪場等の管理を行う。
 ・安曇野インターチェンジ東駐車場等の管理を行う。

【詳細事業内訳】
 駅関連施設管理事業 17,287千円 市営駐車場管理業務 3,198千円

【一般財源増加理由】 歳入減見込み(乗車券類販売手数料)による一般財源の増額

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
10	需用費	1,122	簡易委託駅等光熱水費、安曇野インターチェンジ東駐車場消耗品、施設修繕費等				
11	役務費	364	簡易委託駅電話料、安曇野インターチェンジ東駐車場警備回線通信料				
12	委託料	18,332	簡易委託駅乗車券類発売業務委託料、駅駐輪場管理委託料、安曇野インターチェンジ東駐車場等管理委託料				
13	使用料及び賃借料	667	JR営業線駅前駐輪場用地借地料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	コード	010901100	予算書ページ	232
		課・係等	商工労政課 商工労政係		

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	02	商工振興費		基本施策	商業の振興
	事業	0107030	商業振興事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,946	0	0	0	217	1,729
前年度	5,506	0	0	0	507	4,999
増減額	△ 3,560	0	0	0	△ 290	△ 3,270

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	産業会館使用料	91							
14	まちづくり会館使用料	0								
21	産業会館光熱水費	126								

【目的・効果】
【目的】
 ○市内商業系事業者の経営基盤を安定させ、経済活動の活性化を図る。
 ○商業関連施設の維持管理を行う。
【効果】
 既存商店街の活力を促し経済活動を活発化させる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・商店街等が管理する街路灯の維持費用の一部を助成する。
 ・安曇野市明科産業会館の維持管理を行う。

【詳細事業内訳】
 商業関連施設管理事業 1,072千円 商業事業者支援事業874千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
10	需用費	478	明科産業会館維持管理用消耗品費・燃料費・光熱水費・修繕費				
12	委託料	314	明科産業会館管理委託料				
13	使用料及び賃借料	276	まちづくり会館駐車場用地借地料				
18	負担金補助及び交付金	878	街路灯維持管理事業				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	商業事業者支援事業	街路灯維持管理事業により、商業事業者の経営基盤を安定させ、経済活動の活性化を図る。	18	負担金補助及び交付金	874
					計	874
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010901100、010901200
課・係等	商工労政課 商工労政係、産業立地支援係

予算書ページ	232
--------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	02	商工振興費		基本施策	工業の振興
	事業	0107050	工業振興事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
223,882	241,679	△ 17,797	0	0	0	100,000
			0	0	0	100,000
			0	0	0	△ 17,797

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	19	ふるさと寄附基金繰入金	100,000							

【目的・効果】

【目的】

○製造業事業者の支援を継続的に実施するため「第2次安曇野市工業振興ビジョン」を策定し、その実現のため、一般社団法人あづみ野産業振興支援センターに中小企業等サポート事業を業務委託し、製造業事業者の事業活動をワンストップサービスで支援する。
 ○産業振興ポータルサイトを運営し、行政や専門機関の情報、企業情報、受発注・求人情報などを掲載し、販路開拓や人材確保など企業ネットワークの確立を図る。
 ○企業ニーズに応じた助成制度の見直し検討や周知を図り、市内企業の業績向上、雇用促進を図るとともに企業誘致を推進する。
 ○中小企業の先端設備等導入計画による設備投資を後押しし、労働生産性の年平均3%以上の向上を図る。

【効果】

企業を支援することで、地域経済の活性化や雇用確保につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

○中小企業等サポート事業として、市内事業者訪問による情報収集、ビジネスマッチング支援等、市等が助成する各種補助金に関する支援、経営強化に関する支援、関係機関・団体との連携強化によるビジネス創出支援、安曇野工業の発展促進化支援、人材及び技術者育成・創出支援を実施する。なお、当年度から委託先である一般社団法人あづみ野産業振興支援センターの活動が本格化することから、事業の内容を充実し、事業費が増加した。
 ○産業振興ポータルサイトを運営し、地域内の経済活動に役立つ最新情報の共有を図ると共に、ポータルサイトの利用促進や登録企業の増加に繋げ、活性化を図る。
 ○工場用地取得、工場等設置、生産設備取得、空き工場等の賃借料一部補助など11メニューの助成制度による企業支援に加え、生産性向上特別措置法に基づく先端設備等導入計画で措置された中小企業の設備投資を支援する。

【詳細事業内訳】

企業助成事業 206,646千円 企業サポート事業(工業系) 12,803千円 産業団地特別会計繰出金(その他) 474千円 産業団地特別会計繰出金(建設) 3,921千円 工業振興総務費 38千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	報償費	213	工業振興連携推進協議会出席謝礼				
08	旅費	60	工業振興連携推進協議会費用弁償、職員旅費				
10	需用費	493	工業振興ビジョン印刷製本費、事務用品				
12	委託料	12,089	中小企業等サポート事業業務、産業振興ポータルサイト保守管理業務				
13	使用料及び賃借料	25	自動車借上料				
18	負担金補助及び交付金	206,607	安曇野工業会負担金、工業系企業支援補助金				
27	繰出金	4,395	産業団地特別会計繰出金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	企業サポート事業(工業系)	市内事業者訪問による情報収集、ビジネスマッチング支援等、市等が助成する各種補助金に関する支援、経営強化に関する支援、関係機関・団体との連携強化によるビジネス創出支援、安曇野工業の発展促進化支援、人材及び技術者育成・創出支援を実施する。	12	委託料	12,089
				10	需用費	473
				07	報償費	183
				08	旅費外	58
					計	12,803
2	ソフト	企業助成事業	市商工業助成制度工業系11メニューの利用促進を行い、企業誘致の推進・市内企業の業績向上を図る。また、中小企業の先端設備等導入計画による設備投資を後押しし、年平均3%以上の労働生産性の向上を図る。	18	負担金補助及び交付金	206,607
				07	報償費	30
				08	旅費	9
					計	206,646

重点施策	—	コード	010901100	予算書ページ	234
		課・係等	商工労政課 商工労政係		

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	02	商工振興費		基本施策	商業の振興
	事業	0107060	市制度資金貸付事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	925,804	0	0	0	902,435	23,369
前年度	925,318	0	0	0	902,845	22,473
増減額	486	0	0	0	△ 410	896

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	市制度資金元金	900,000							
21	制度資金保証料補給金返還金	2,435								

【目的・効果】
【目的】
 ○市内企業等の経営の安定化を図るため、市内金融機関に資金を預託し、中小企業の運転・設備等の資金の貸し付けを行う。また、融資に伴う信用保証料や利子の一部について助成することで、企業経営を支援する。
【効果】
 市内中小企業の経営の安定と生産性の向上につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市内金融機関(八十二銀行、長野銀行、松本信用金庫、長野県信用組合)に斡旋資金を預託し、それを担保に市内企業の運転・設備に必要な資金の貸し付けを行う。
 ・その貸付に際し発生する保証料の一部を補給するとともに、貸付利率の1%(1%に満たない場合はその率)を補給する。

【詳細事業内訳】
 制度資金貸付事業 925,804千円

【一般財源増加理由】 特定財源の「制度資金保証料補給金返還金」が減少したため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
18	負担金補助及び交付金	25,804	制度資金保証料補給金、制度資金利子補給金				
20	貸付金	900,000	制度資金預託金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	制度資金貸付事業	上記の市内金融機関に斡旋資金を預託し、市内企業の運転・設備に必要な資金の貸し付けを行うことで、市内企業の経営の安定と生産性の向上を図る。	20	貸付金	900,000
				18	負担金補助及び交付金	25,804
					計	925,804
2					計	0

重点施策	(2)	コード	010901100
		課・係等	商工労政課 商工労政係

予算書ページ	234
--------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	ブランドの創出に取り組むまち
	目	02	商工振興費		基本施策	安曇野ブランド発信の強化
	事業	0107070	産業連携推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,344	0	0	0	0	7,344
前年度	11,011	0	0	0	0	11,011
増減額	△ 3,667	0	0	0	0	△ 3,667

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目標】
 地域資源(市内産の農林水産物)を最大限活用するとともに、既存のカテゴリーの枠を超えた事業者連携により、それぞれの有する経営資源を相互に有機的に発揮し、地域ビジネスとして安曇野ブランドの構築を図る。
【効果】
 異業種との連携・協同による商品開発や販路拡大、新たなサービスの形成などにより、付加価値の高い「ブランド」が発信され、併せて地域活性化に繋げる事業とする。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・産業支援コーディネーターの幅広い人脈を活用し、情報収集と情報の共有を図り、事業者間連携のマッチングとブランド化を進める。
 ・地域資源活用型連携推進事業を推進するため、事業公募を行い、新たな産業の具現化に向けた推進を図る。
 ・既存商品群も含め、国内の販路拡大だけでなく、事業者の意欲的な海外販路拡大に対し、企業収益の向上と新取引先の開拓に向けて支援をする。
 ・年度後半で産業支援コーディネーターが法人を立ち上げるので、総合的な支援事業を業務委託する。

【詳細事業内訳】
 地域資源活用型連携推進事業 2,577千円 企業サポート事業(食品流通系) 4,767千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	1,438	産業支援コーディネーター会計年度任用職員報酬	18	負担金補助及び交付金	3,050	地域資源活用型連携推進事業補助金、販路拡大展示会出展事業補助金
03	職員手当等	312	産業支援コーディネーター会計年度任用職員期末手当				
07	報償費	60	地域資源活用型連携推進事業検討委員謝礼				
08	旅費	594	コーディネーター販路拡大等関係旅費				
10	需用費	37	コーディネーター車燃料費				
12	委託料	1,656	企業経営支援事業業務委託料				
13	使用料及び賃借料	197	コーディネーター車リース代				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	企業サポート事業(食品流通系)	事業者のワンストップ機能として配置していた専門のコーディネーターが独立して法人を立ち上げるため、今までの連携に向けた事業支援と販路や経営アドバイスなど総合的な支援事業を業務委託する。	12	委託料	1,656
				01	報酬	1,438
				08	旅費	577
				10	需用費他	1,096
					計	4,767
2						
					計	0

予算書ページ	236
--------	-----

重点施策	—	コード	010901100
		課・係等	商工労政課 商工労政係

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	商工費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	02	商工振興費		基本施策	移住・定住の促進
	事業	0107130	しごと創出事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	32,867	4,100	3,000	0	22,000	3,767
前年度	38,791	5,605	0	0	13,000	20,186
増減額	△ 5,924	△ 1,505	3,000	0	9,000	△ 16,419

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	新型交付金	4,100							
16	UIJターン就業移住事業	3,000								
19	ふるさと寄附基金繰入金	22,000								

【目的・効果】
【目的】
 ○産業競争力強化法に基づく認定創業支援事業計画に位置づけられた特定創業支援事業である創業実現セミナーにより地域内の創業者・創業希望者の支援を行う。
 ○テレワークセンターを運営するにあたり、塩尻市振興公社に業務委託する。
【効果】
 空き店舗を活用することで、賑わいと活力あるまちづくりにつなげる。
 テレワークセンターを利用することで、ワークライフバランスを確保しながら働きたい女性等が安心して働くことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・特定創業支援事業を実施する者(安曇野市商工会)との共催により、創業実現セミナーを2期開催する。
 ・空き店舗等活用促進事業により安曇野市立地適正化計画に沿った集中的な投資を行う。
 ・地方創生推進交付金を活用し、テレワークセンターを運営する。

【詳細事業内訳】
 しごと創出事業 32,867千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
10	需用費	2,180	テレワークセンター事務用品、光熱水費、小破修繕				
11	役務費	89	テレワークセンター通話料金				
12	委託料	7,756	テレワークセンター運営業務、警備委託、消防用設備点検				
18	負担金補助及び交付金	22,842	空き店舗活用促進事業、若者及び女性起業支援事業、UIJターン就業・創業移住支援事業				

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	しごと創出事業 (テレワークセンター事業推進業務)	雇用施策のひとつとして、フルタイムでの就労が困難な人に就労環境を提供するため、地方創生推進交付金を活用し、テレワークセンターを運営を塩尻市振興公社に委託する。	12	委託料	6,960		
					計	6,960		
2								
					計	0		

重点施策	(2)	コード	010902100	予算書ページ	236
		課・係等	観光交流促進課 観光交流促進担当		

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	ブランドの創出に取り組むまち
	目	03	観光費		基本施策	戦略的な地域ブランドの創出
	事業	0107080	地域ブランド化構築事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,666	0	0	0	8	8,658
前年度	8,884	0	0	0	12	8,872
増減額	△ 218	0	0	0	△ 4	△ 214

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	天蚕振興基金利子		8						

【目的・効果】
【目的】
 市民との協働や異業種連携を通じ、安曇野ならではの地域資源の掘り起こしや磨き上げを行い、安曇野ブランドの創出を図る。また、各種地域資源を活用し、メディア掲出などの機会につなげることで、安曇野ブランドイメージの向上を図る。
【効果】
 観光地としての市の魅力向上や、市内産品の商品価値を高めることにより、地域振興につなげる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・安曇野の朝の魅力等を伝えるためVIを活用したイメージ統一を図るとともに、訴求力のある地域資源の磨き上げを行い、「安曇野ブランド情報発信事業」と連携しながら、全国に向けて市のブランドイメージ向上につなげる。
 ・安曇野市へのロケ誘致を図るため、専用HPでの市内のロケ候補地の情報発信、制作関係者への宿泊費等助成支援を行うとともに、撮影した映画・ドラマ等のメディア掲出により、市の認知度向上を図る。
 ・安曇野やさいスイーツフェアの開催や安曇野林檎ナポリタンのPRなど、安曇野の食の魅力を全国に向けて情報発信する取り組みを行う。
 ・全国的にも稀な天蚕のブランド化を図るとともに、天蚕に関する資料展示や機織作業が見学できる安曇野市天蚕センターの指定管理を行う。また、天蚕業が産業として確立できるよう、安曇野市天蚕振興会と連携した事業と、後継者育成等、同会へ必要な支援を行う。
 ・安曇野ブランドの創出に取り組んでいる市民団体の支援を行う。

【詳細事業内訳】
 天蚕センター維持管理事業 4,649千円 天蚕振興事業 1,523千円 安曇野ブランド創出事業 2,494千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	報償費	57	ご当地料理等検討協力謝礼等			24	積立金	9	天蚕振興基金利子
08	旅費	212	先進地視察外						
10	需用費	821	料理イベント材料費・ブランド調査書等						
11	役務費	10	プロジェクト活動ボランティア保険						
12	委託料	4,923	成人式配布用VI物品作成、天蚕商標登録更新、天蚕センター指定管理						
13	使用料及び賃借料	245	天蚕センター及び天蚕飼育林借地料						
18	負担金補助及び交付金	2,389	安曇野ブランド創出事業、天蚕振興補助金						

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	安曇野ブランド創出事業	安曇野の暮らしや食、風土など地域資源を活かした魅力創出と、観光プロモーション事業と連携し、WebやSNS等も活用した訴求力のある情報発信を行い、市のブランド力の向上を図る。	12	委託料	1,076
				18	負担金補助及び交付金	959
				08	旅費	212
				10	需用費 外	247
					計	2,494
2	ソフト	天蚕振興事業	前年度整備した織機等を活用し、継続的な後継者育成事業を行い天蚕糸・製品の生産拡大を図る。市民や来訪者向けに全国に誇る安曇野天蚕をPRするため、体験教室などの充実を図る。	18	負担金補助及び交付金	1,430
				12	委託料	74
				13	使用料及び賃借料	10
				24	積立金	9
					計	1,523

予算書ページ	238
--------	-----

重点施策	—	コード	010902100
		課・係等	観光交流促進課 観光交流促進担当

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107090	観光イベント事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	35,691	0	0	0	8,000	27,691
前年度	41,804	0	0	0	8,000	33,804
増減額	△ 6,113	0	0	0	0	△ 6,113

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】 魅力ある観光イベントの創出と実施を通じて集客力を高め、イベント来訪者の満足度及び再来訪意向の向上を図る。
【効果】 交流人口の拡大による地域経済の活性化。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・観光イベント事業の目的である魅力的なイベントの創出、また域外からの観光消費につなげるために、各イベントとも実行委員会組織として、関係するそれぞれの立場からの知恵を出し合い実施に取り組む。
 ・信州安曇野ハーフマラソンは安全面・救護体制を強化し実施。他の各イベントについても、安全面に十分配慮することで来訪者が安心して参加できるよう努める。
 ・2年目となる田んぼアート事業は、広告宣伝面に一層力を入れるとともに関係機関との連携により来訪者増加をめざす。
 ・各イベントとも参加者の声や実行委員等の意見を効果的に反映できるよう努める。

【詳細事業内訳】
 観光イベント事業 35,691千円

【一般財源増加理由】		主な内容		主な内容			
節	節名称	金額		節	節名称	金額	
08	旅費	127	県外での誘客促進等				
10	需用費	50	イベント事務消耗品				
18	負担金補助及び交付金	35,514	観光イベント事業補助				

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	観光イベント事業	信州安曇野ハーフマラソン、安曇野花火、信州安曇野田んぼアートなど、イベントの運営を通じて交流人口の拡大・地域経済の活性化をはかる。すべてのイベントにおいて安全面に十分配慮するとともに救護体制等を整え、来訪者が安心して参加できるよう努め満足度向上につなげる。	18	負担金補助及び交付金	35,514
				8	旅費	127
				10	需用費	50
					計	35,691
2					計	0

予算書ページ	238
--------	-----

重点施策	(6)	コード	010902100
		課・係等	観光交流促進課 観光交流促進担当

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107100	受入体制整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	68,845	4,900	0	0	2,650	61,295
前年度	62,915	5,250	0	0	2,750	54,915
増減額	5,930	△ 350	0	0	△ 100	6,380

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	新型交付金	4,900							
19	山岳環境整備基金繰入金	2,650								
							(入湯税)	(23,091)		

【目的・効果】

【目的】

訪日外国人旅行者も含め、安曇野市へ来訪する観光客が快適に滞在できるよう、観光案内や二次交通等を充実させ、受け入れ体制を整備する。市観光協会や市商工会などの団体との連携による受入体制の充実や、地域資源を活かした着地型商品開発などを支援し、観光産業の活性化を図る。

【効果】

観光誘客により観光産業のほか、他産業へも経済効果を波及させ、地域の活性化を促す。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・市の観光振興策を円滑に進めるため、観光振興ビジョン有識者会議による施策の評価・検証等を行う。
- ・地域おこし協力隊員を活用し、市観光協会と連携しながら来訪者の満足度向上につながる受入体制の充実や、観光商品の企画、情報発信を行う。
- ・観光地域づくりの視点に立ち、観光事業者等による観光推進組織の自主・自立運営に向けた取り組みを支援するとともに、変化の速い観光需要に対応するため、サイクルツーリズムやアドベンチャーツーリズムなど各種ツーリズムへの対応を図る。
- ・観光推進組織である安曇野市観光協会に対し、地域資源を活かした着地型商品の造成や、観光情報センターでの観光案内などの委託事業及び周遊バス、シェアサイクルなど二次交通整備と拡充に向けた運営支援を行う。
- ・インバウンド需要を取り込むため、地方創生推進交付金を活用し、観光事業者等の受入研修会の開催や、インバウンド商談会で誘客の対象となる国や地域への営業活動強化を支援する。
- ・山岳観光推進実行委員会によるイベント等の開催により、安全登山啓発や「北アルプスパノラマ銀座」の魅力を発信する。
- ・山岳など訴求力のある観光資源を活かし、受入体制整備を図る上で必要な財源確保の方法について検討する。

【詳細事業内訳】

来訪者受入環境整備事業 12,201千円 観光推進組織支援等事業 56,644千円

【一般財源増加理由】 地域おこし協力隊員等の報酬・手当等、観光推進組織委託料、運営補助金による増。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	4,065	地域おこし協力隊員等報酬	18	負担金補助及び交付金	51,608	観光推進組織補助金等
03	職員手当等	732	地域おこし協力隊員等期末手当				
07	報償費	171	観光振興ビジョン有識者会議出席謝礼				
08	旅費	329	地域おこし協力隊員等旅費				
11	役務費	694	観光Wi-Fiフレッツ光回線費用等				
12	委託料	11,166	観光案内・情報発信等業務委託等				
13	使用料及び賃借料	80	インターネット系プリンター使用料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	来訪者受入環境整備事業	観光振興ビジョンの各施策の定期的な進捗確認や地域おこし協力隊員を活用し、将来を見据えた振興策などの検討と受入体制の充実を図り、域内の観光需要の取り込みにつなげる。	18	負担金補助及び交付金	6,020
				01	報酬	4,065
				03	職員手当等	732
				11	役務費 外	1,384
					計	12,201
2	ソフト	外国人誘客事業 (観光推進組織支援等事業)	地方創生推進交付金を活用し、訪日外国人旅行者の需要を取り込むため、安曇野市観光協会と連携しながら主な誘客先となる国と地域を対象に誘客活動等を行う。また、東京五輪・パラ大会等により増加が見込まれる訪日外国人の市内への誘客を図ると共に受入体制を強化する。	18	負担金補助及び交付金	9,800
					計	9,800

重点施策	(2)	コード	010902100		予算書ページ	240
		課・係等	観光交流促進課 観光交流促進担当			
予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	ブランドの創出に取り組むまち
	目	03	観光費		基本施策	安曇野ブランド発信の強化
	事業	0107110	安曇野ブランド情報発信事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	37,116	9,000	0	0	0	28,116
前年度	36,951	9,975	0	0	0	26,976
増減額	165	△ 975	0	0	0	1,140

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
								(入湯税)	(11,151)	

【目的・効果】

【目的】

観光地として「安曇野」「AZUMINO」が選ばれるよう、関係する市町村・事業者等と連携するとともに、地域資源を組み合わせ複数の媒体を活用することにより、安曇野の魅力を経営的に情報発信する。

【効果】

安曇野市への来訪を促すことで交流人口の拡大等を図り、地域経済の活性化につなげる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・「地域ブランド構築事業」で選択した地域資源等を活用し、旅行雑誌・新聞等への広告掲載や、高速バス(新宿～白馬線)ラッピング広告、総合観光パンフレットの作成、松本山雅HPへの観光情報掲載のほか、WebやSNS、映像など複数媒体を組み合わせ、訴求力のあるプロモーション活動を展開することにより安曇野市の観光資源をPRする。
- ・銀座NAGANOなど首都圏等での施設を活用し、観光誘客を目的としたイベントを開催する。
- ・訪日外国人の需要を取り込むため、地方創生推進交付金を活用し、市観光協会、市商工会等と連携した海外プロモーション事業を実施する。
- ・県や、周辺市町村と連携した観光情報発信などに取り組み、来訪者の市内の回遊性を高め、観光需要の取り込みを図る。

【詳細事業内訳】

観光プロモーション事業 28,652千円 広域団体連携事業 8,464千円

【一般財源増加理由】 観光プロモーション委託料、広域観光推進組織負担金の増。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	報償費	627	観光PRイベント記念品等				
08	旅費	975	情報発信職員旅費等				
10	需用費	812	観光PRイベント用品、観光宣伝用手提げ袋作成等				
11	役務費	5,822	情報発信広告等				
12	委託料	4,289	観光プロモーション、観光総合パンフレット増刷等				
13	使用料及び賃借料	127	観光PRイベント時施設使用料等				
18	負担金補助及び交付金	24,464	海外プロモーション協議会補助金、広域観光団体等負担金等				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	観光プロモーション事業	発信力強化のため、公募型企画提案方式による情報発信を新たに導入するとともに、WebやSNSの積極的な活用を図る。増加する外国人旅行者の誘客を図るため、安曇野市海外プロモーション協議会を中心に、北アルプスなど外国人に訴求力のある地域資源などを活用したAZUMINOの情報発信を行う。	18	負担金補助及び交付金	16,000
				11	役務費	5,822
				12	委託料	4,289
				08	旅費 外	2,541
					計	28,652
2	ソフト	広域団体連携事業	県や周辺市町村等との連携により、県外でのPR活動や信州まつもと空港の利用促進、訪日外国人旅行者対応等の事業を広域的に取り組み、地域の枠を超えたより効果的な観光誘客を図る。	18	負担金補助及び交付金	8,464
					計	8,464

予算書ページ	240
--------	-----

重点施策	—	コード	010902300
		課・係等	観光交流促進課 拠点維持整備係

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107140	温泉活用施設事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,465	0	0	0	9,465	0
前年度	8,556	0	0	0	8,556	0
増減額	909	0	0	0	909	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	しゃくなげの湯外施設使用料	9,465							

【目的・効果】
【目的】・貴重な資源である天然温泉を多くの方が利用できるよう、温泉施設の維持管理を行い市民福祉の向上と交流人口の拡大により安曇野の魅力を高める。
【効果】・温泉施設の適正な維持管理により、利用者が温泉を享受できるよう受け入れ体制を整え、利用者の満足度を高める。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・安曇野しゃくなげ湯、湯多里山の神、八面大王足湯、温泉公園の適正な維持管理を行ない、来訪者の満足度向上を図る。
 ・安曇野しゃくなげの湯薪ボイラーへの薪供給を行う。
 ・指定管理者との連携を密にして施設の有効活用及び市民サービスの向上につとめる。

【詳細事業内訳】
 温泉施設経営管理等事業 9,465千円

【一般財源増加理由】		施設維持工事費の増									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	旅費	18	鉱山保安会議								
10	需用費	4,841	足湯清掃用品、しゃくなげの湯ボイラー用薪、指定管理施設修繕費、電気料、水道料								
12	委託料	2,386	足湯管理業務委託料、温泉公園清掃管理業務委託料								
13	使用料及び賃借料	160	温泉公園駐車場借地料								
14	工事請負費	1,870	指定管理施設維持工事								
18	負担金補助及び交付金	190	穂高山麓排水事業組合環境整備負担金								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	しゃくなげの湯ボイラー用薪供給	しゃくなげの湯の薪ボイラーに松くい虫被害木等薪材として供給し、被害木等の有効活用及び施設の適正な運営を図る。	10	需用費	3,619		
					計	3,619		
2								
					計	0		

予算書ページ	240
--------	-----

重点施策	—	コード	010902300
		課・係等	観光交流促進課 拠点維持整備係

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107150	潮沢廃線敷整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,153	0	0	0	0	3,153
前年度	3,602	0	0	0	0	3,602
増減額	△ 449	0	0	0	0	△ 449

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
								(入湯税)	(119)	

【目的・効果】
【目的】・安曇野の近代化を支えた篠ノ井線の当時の姿を楽しめるよう、維持管理を行い、情報発信に努め来訪者の増加を図る。
【効果】・歴史的遺産を、貴重な観光資源として活用し、来訪者の滞在時間の延長を図り満足度を高める。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・潮沢廃線敷の公衆便所等維持管理により、受け入れ環境を整え、来訪者の満足度の向上を図る。
 ・三五山トンネル、漆久保トンネルの安全・安心を高めるため、継続監視業務を行なう。
 ・施設の有効性についての検証を進める。

【詳細事業内訳】
 廃線敷施設維持点検管理事業 3,153千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	報償費	300	廃線敷遊歩道整備謝礼				
10	需用費	352	潮公衆トイレ他電気料、水道料、下水道料				
11	役務費	232	トイレ汲取り手数料				
12	委託料	1,910	三五山、漆久保トンネル継続監視業務委託料、トイレ清掃業務委託料等				
13	使用料及び賃借料	106	仮設トイレ借上料				
14	工事請負費	209	廃線敷水路整備工事				
15	原材料費	44	廃線敷整備用砂利				

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	三五山・漆久保トンネル継続監視業務	三五山・漆久保トンネル継続監視業務を行い、利用者の安全安心を確保する。	12	委託料	873		
					計	873		
2								
					計	0		

重点施策	(2)
------	-----

コード	010902300
課・係等	観光交流促進課 拠点維持整備係

予算書ページ	242
--------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107160	施設管理整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	84,311	919	0	31,300	16,680	35,412
前年度	46,403	0	0	0	2,606	43,797
増減額	37,908	919	0	31,300	14,074	△ 8,385

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	かじかの里キャンプ場使用料	200	21	「ふるさとほ美しく」モデル事業助成金	1,000				
15	自然環境整備交付金(国立公園整備事業)	919	21	観光施設駐車場負担金	697					
17	山岳環境整備基金利子	212	21	しゃくなげの湯外施設使用料	5,125					
19	山岳環境整備基金繰入金	9,446	22	旧合併特例事業債(かじかの里トイレ整備事業)	31,300		(入湯税)	(2,694)		

【目的・効果】

【目的】・来訪者が観光施設を快適に利用できるよう、施設整備及び維持管理を行なう。
 【効果】・整備管理された観光施設を利用いただくことにより、安曇野市のイメージアップを図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・登山道整備のための費用を、北アルプス登山道等維持連絡協議会に負担金として支出する。
- ・山岳観光の拠点施設として、宿泊施設有明荘の今後の在り方及び必要な整備を検討する。
- ・かじかの里公園等の公園施設(8施設)及び公衆便所(29ヶ所(仮設6ヶ所含む))の維持管理を行なう。
- ・燕岳テント場トイレの洋式化及び環境対策のため、現トイレの改築設計を行う。
- ・かじかの里公園の汲み取り式トイレの改築(水洗化、洋式化、バリアフリー化)を行う。

【詳細事業内訳】

燕岳テント場トイレ整備事業 1,840千円 かじかの里トイレ整備事業 33,011千円 観光施設公園管理事業 24,161千円 登山道等整備事業 25,299千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	報償費	1,845	登山道草刈謝礼、光城山清掃謝礼等	15	原材料費	157	駐車場、遊歩道等整備用砕石
08	旅費	44	登山者カウンター設置立会外	18	負担金補助及び交付金	8,263	北アルプス登山道等維持連絡協議会等
10	需用費	5,130	観光施設消耗品、施設小破修繕、光熱水費	24	積立金	213	山岳環境整備基金利子積立金
11	役務費	1,442	トイレ汲み取り手数料等	27	繰出金	4,081	有明荘特別会計繰出金
12	委託料	26,758	有明荘基本設計業務、燕岳テント場トイレ実施設計業務、公衆トイレ等施設清掃業務委託等				
13	使用料及び賃借料	3,966	白鳥湖トイレ借上料、観光施設用地借地料等				
14	工事請負費	32,412	山岳観光施設維持工事、道祖神公園整備工事、かじかの里キャンプ場トイレ改築工事				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ハード	○	燕岳テント場トイレ整備事業	パノラマ銀座、表銀座の玄関口として、また登山初心者が安全に登山できる山として人気の燕岳にある市の公衆便所について改築(洋式化、環境対策)を行う事により、外国人登山者やリピーター登山者の増加を図る事を目的とし、詳細な設計を行う。	12	委託料	1,840	
						計	1,840	
2	ハード	○	かじかの里トイレ整備事業	男女兼用の汲み取り式となっている「かじかの里」のトイレについて、改築(水洗化、洋式化、バリアフリー化)を行う事により、施設利用者の満足度を向上させ、県内外から訪れるキャンパーや親水を求めて訪れる市民等の来訪者増加を図る。	14	工事請負費	30,833	
					12	委託料	2,154	
					11	役務費	24	
						計	33,011	

予算書ページ	244
--------	-----

重点施策	—	コード	010902300
		課・係等	観光交流促進課 拠点維持整備係

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107170	自然交流センター			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,762	0	0	0	0	3,762
前年度	3,514	0	0	0	0	3,514
増減額	248	0	0	0	0	248

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】・豊かな水環境に触れ、自然体験ができるよう施設の管理運営を行なう。
【効果】・当施設の利用により、身近な自然に親しみ、親水空間とのふれあいの機会を提供し、地域コミュニティの形成また観光拠点として交流人口の拡大を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・指定管理者により自然体験交流センター「せせらぎ」の良好な管理運営を行なうとともに、施設の新たな有効活用方法について検討する。

【詳細事業内訳】
 自然交流センター「せせらぎ」の運営管理事業 3,762千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
10	需用費	500	せせらぎ橋橋台修繕							
12	委託料	3,262	指定管理料							

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	自然交流センター「せせらぎ」の運営管理事業	施設の適正な維持管理を行うと共に、有効活用を図り、雄大な安曇野の自然景観と水環境を楽しんでもらい来訪者の増加及び滞在時間の延長を図る。	12	委託料	3,262	
				10	需用費	500	
					計	3,762	
2					計	0	

予算書ページ	256
--------	-----

重点施策	—	コード	010902300
		課・係等	観光交流促進課 拠点維持整備係

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	河川費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	01	河川費		基本施策	観光の振興
	事業	0108170	水辺の楽校費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	964	0	0	0	0	964
前年度	1,264	0	0	0	0	1,264
増減額	△ 300	0	0	0	0	△ 300

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】・遊歩道の散策や貴重な資源である水に触れ、自然体験ができるよう施設の維持管理を行なう。
【効果】・恵まれた水と緑豊かな自然に包まれた環境を活かし、来訪者に自然とふれあう場を提供し、観光拠点として来訪者の市内での回遊性を高め、滞在時間の延長を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・御宝田水のふるさと公園の維持管理を行い、来訪者が自然に親しむ機会の提供を行う。

【詳細事業内訳】
 御宝田水のふるさと公園の管理事業 964千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
10	需用費	386	施設管理用品、燃料費、機械修繕費						
11	役務費	10	草刈ボランティア作業等保険料						
12	委託料	373	公園整備業務委託						
13	使用料及び賃借料	195	重機借上料						

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	御宝田水のふるさと公園の管理事業	御宝田遊水池の草刈整備業務委託等を行い施設の適正な管理により豊かな親水空間を創出し、水辺環境との触れ合いの場を提供する。	10	需用費	386
				12	委託料	373
				13	使用料及び賃借料	195
				11	役務費	10
					計	964
2					計	0

都市建設部

重点施策	—	コード	011001100	予算書ページ	246
		課・係等	監理課 庶務係		

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	土木管理費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	土木管理費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108010	土木総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	244,361	10,003	0	0	33,465	200,893
前年度	247,549	10,968	0	0	36,335	200,246
増減額	△ 3,188	△ 965	0	0	△ 2,870	647

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	道路占用料	27,685	14	市道占用料督促手数料	1	21	その他雑入(都市建設部)	1	
14	道路占用料滞納繰越分	1	14	公共物占用料督促手数料	1					
14	公共物占用料	3,300	15	国道19号明科駅前歩道整備事業用地事務委託	10,003					
14	公共物占用料滞納繰越分	1	21	有料道路割引回数通行券販売代	2,475					

【目的・効果】

【目的】

・社会資本ストックの的確な維持管理に努め、社会基盤の骨格となる幹線道路等の整備を推進する。

【効果】

・人、モノ、情報の交流が盛んになり、産業の振興、文化交流の促進、生活の利便性や災害時における安全性の向上が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・三才山トンネル等有料道路を利用する市民の負担軽減を図るため、割引通行券の販売を行う。
- ・市内建設業に係る技術者を育成し、経営と雇用の安定を図るため、資格取得費用補助を行う。
- ・所管する公用車の維持管理、事務消耗品管理を行う。

【詳細事業内訳】

土木総務費 240,091千円 建設技術者等資格取得費補助金交付事業 1,300千円 有料道路通行料金負担軽減事業 2,970千円

【一般財源増加理由】 都市建設部所管公用車にドライブレコーダー設置に伴う備品購入費の増

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
02	給料	130,209	一般職(35人)	18	負担金補助及び交付金	1,300	建設業技術者等資格取得補助金交付金
03	職員手当等	63,600	職員諸手当	26	公課費	51	公用車自動車重量税
04	共済費	41,458	職員共済組合給付金				
10	需用費	3,879	事務用品等、公用車修繕費及び燃料費				
11	役務費	570	公用車車検手数料、自賠責保険料				
13	使用料及び賃借料	2,970	有料道路割引回数券購入代				
17	備品購入費	324	車両用品備品				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	有料道路通行料金負担軽減事業	三才山トンネル等有料道路を利用する通勤・通学・通院者に対し、「時間帯割引券」を販売し、利用者の負担軽減を図る。	13	使用料及び賃借料	2,970
					計	2,970
2	ソフト	建設技術者等資格取得費補助金交付事業	建設業者が負担する資格取得費用の1/2以内の額(上限10万円)を補助する。従業員の資格取得で技術者が確保され公共事業の品質確保ができる。また、建設業者の負担軽減により雇用創出が期待できる。	18	負担金補助及び交付金	1,300
					計	1,300

予算書ページ	246
--------	-----

重点施策	—	コード	011001300
		課・係等	監理課 管理登記担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	土木管理費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	土木管理費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108020	地籍管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	26,055	0	0	0	360	25,695
前年度	26,293	0	0	0	360	25,933
増減額	△ 238	0	0	0	0	△ 238

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	公図写等発行手数料	360							

【目的・効果】
【目的】
 ・国土調査法第21条第2項の規定に基づき、国土調査の成果である土地台帳及び地籍複図(公図)を適正に管理する。
【効果】
 ・土地台帳、地籍複図(公図)については、平成27年度から地籍管理システムを運用して市民への閲覧を行っており、窓口対応の効率化が図られている。また、本事業により更新する地籍情報は、本市GISシステムの基礎として利用されている。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・法務局から送付される異動通知書を基に、地籍管理システムにより土地の分筆・合筆や所有権移転等のデータ更新を業務委託により行う。
 ・安曇野市が行う市道及び水路等の新設・改良事業により取得した公共用地の登記事務を行う。
 ・道水路の管理者として、申請者からの申請に基づき、官民境界の確認事務を行う。

【詳細事業内訳】
 公共取得用地登記事務 10,017千円 土地台帳、公図管理事務 16,038千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	3,854	嘱託登記職員(会計年度任用職員)給与								
03	職員手当等	835	嘱託登記職員期末手当								
08	旅費	200	職員研修旅費、嘱託登記職員通勤手当								
10	需用費	96	事務用品、参考図書等								
12	委託料	20,851	地籍管理システム土地異動更新業務委託、地図訂正等業務委託								
14	工事請負費	187	基準点補修工事								
18	負担金補助及び交付金	32	職員研修負担金								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	土地台帳、公図管理事務	法務局から送付される異動通知書により、地籍情報のデータ更新を業務委託により行う。地籍管理システムにより土地台帳・公図の閲覧を行い窓口対応の効率化が図られている。	12	委託料	15,851	
				14	工事請負費	187	
					計	16,038	
2					計	0	

重点施策	—	コード	011001100	予算書ページ	248
		課・係等	監理課 庶務係		

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	道路橋梁維持費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108040	道路橋梁総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,144	0	0	0	0	1,144
前年度	1,281	0	0	0	0	1,281
増減額	△ 137	0	0	0	0	△ 137

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・関係市町村と同盟会活動を行うことで、本市道路網の骨格をなす国県道の整備を図る。
【効果】
 ・国県道の整備促進が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・各種道路関係の同盟会負担金を納入し、同盟会要望活動により事業を推進する。

【詳細事業内訳】
 道路関係同盟会事業 1,144千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	旅費	553	道路関係同盟会要望活動等旅費								
10	需用費	5	食糧費(協議会等賄い)								
12	委託料	19	要望活動に伴うバス運行委託料								
13	使用料及び賃借料	5	ラウンドアバウトサミット駐車場代								
18	負担金補助及び交付金	562	道路関係同盟会等負担金								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

予算書ページ	248
--------	-----

重点施策	—	コード	011001300
		課・係等	監理課 管理登記担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	道路橋梁維持費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108050	道路橋梁管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	19,380	0	0	0	551	18,829
前年度	17,525	0	0	0	421	17,104
増減額	1,855	0	0	0	130	1,725

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	道路占用料	515							
21	地図等交付代	36								

【目的・効果】
【目的】
 ・道路法第28条により道路管理者は、道路台帳を調製、保管が規定されているため、同法による道路台帳について、過年度工事に関わる箇所等の台帳更新業務を行う。
【効果】
 ・整備した台帳のデータは、道路行政の基礎的資料とするほか、道路台帳は市のホームページにおいて閲覧を可能としている。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・道路台帳管理システムの図面データ及び調書の補正更新を業務委託により行う。
 ・道路・水路の適正な利用とともに機能や役割が効果的に図られるよう道路・水路の管理事務を行う。
 ・道路及び公共物に対する占用また自営工事等の申請について、その許認可事務と占用料金徴収事務を行う。

【詳細事業内訳】
 市道法定外公共物管理事務 515千円 道路台帳加除事業 18,865千円

【一般財源増加理由】	道路台帳加除事業について、市道の過去の告示情報のデータ化を図るうえで履歴情報の整備及び道路照明灯222ヶ所のLED化推進のための調査経費を計上したため。										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	旅費	30	職員研修旅費								
10	需用費	129	占用料納付関係用紙印刷								
11	役務費	290	市道維持管理手数料								
12	委託料	18,865	道路台帳補正業務委託								
13	使用料及び賃借料	34	道路用地借地料								
18	負担金補助及び交付金	32	職員研修負担金								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	道路台帳加除事業	道路台帳の適正な調製と保管を図るため、過年度の工事箇所等のデータ更新を業務委託する。台帳データは、道路行政の基礎的な資料とするほか、道路台帳はホームページ上で閲覧を可能としている。	12	委託料	18,865		
					計	18,865		
2								
					計	0		

予算書ページ	250
--------	-----

重点施策	—	コード	011001300
		課・係等	監理課 管理登記担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	道路橋梁維持費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108060	道の駅維持管理			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,270	0	0	0	0	3,270
前年度	3,270	0	0	0	0	3,270
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・道の駅利用者の利便性の向上を図り、快適な休憩空間を提供する。
【効果】
 ・指定管理委託することで、施設利用者の利便性の向上が図られると共に、職員の事務効率化が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・道の駅施設を隣接する、堀金物産センター・農産物加工施設の管理者である、「農事組合法人旬の味ほりがね物産センター組合」に指定管理委託を行う。

【詳細事業内訳】
 道の駅管理事務 3,270千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
		12	委託料	3,270	指定管理委託料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

予算書ページ	252
--------	-----

重点施策	—	コード	011001200
		課・係等	監理課 国県事業推進担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	災害に強いまち
	目	02	道路橋梁新設改良費		基本施策	治山・治水事業の推進
	事業	0108090	県営新設改良事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18,300	0	0	0	0	18,300
前年度	16,050	0	0	0	0	16,050
増減額	2,250	0	0	0	0	2,250

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・市内危険箇所の防災工事を県が実施することで、災害に強いまちづくりを進める。
- ・市内道路網の骨格をなす国県道の整備を図る。

【効果】

- ・県営事業に対して、当該事業に係る事業費の一部を市が負担することで、市内危険箇所の改善及び道路網の整備促進が図られる。
- ※地元負担金(長野県建設工事事務処理規程(昭和51年3月3日50監第590号)による。)

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 急傾斜地崩壊対策、兼用側溝整備、県単道路改良事業に対して、事業費の一部を規程に基づき負担する
- ・急傾斜地崩壊対策事業(5%、10%)
 - ・兼用側溝整備事業(50%)
 - ・県単道路改良事業(15%)

【詳細事業内訳】

県営新設改良事業負担金 18,300千円

【一般財源増加理由】 防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策により県の事業費が増額となったため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
18	負担金補助及び交付金	18,300	県営新設改良事業負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	(6)	コード	011001100			
		課・係等	監理課 庶務係			
予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	03	河川費		基本方針	災害に強いまち
	目	01	河川費		基本施策	治山・治水事業の推進
	事業	0108130	河川総務費			

予算書ページ	256
--------	-----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	25,098	0	0	0	91	25,007
前年度	13,085	0	0	0	80	13,005
増減額	12,013	0	0	0	11	12,002

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	取水占用料		91						

【目的・効果】
 監理課 庶務係
 【目的】・関係市町村と同盟会活動を行うことで、河川の整備促進を図る。
 【効果】・市内河川の整備促進が図られる。

監理課 国県事業推進担当(万水川内水対策)
 【目的】・万水川下流域の治水安全度向上を図る。
 【効果】・周辺住民の安全性向上が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 監理課 庶務係
 ・各種河川関係の同盟会負担金を納入し、同盟会要望活動により事業を推進する。

監理課 国県事業推進担当
 ・万水川内水対策に必要な測量設計業務を実施する。

【詳細事業内訳】
 内水対策事業 23,089千円 河川関係同盟会事業 2,009千円

【一般財源増加倍理由】 万水川内水対策のための測量設計業務委託費増のため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	旅費	245	河川関係同盟会要望活動等旅費				
12	委託料	23,089	万水川内水対策に伴う測量設計業務委託				
18	負担金補助及び交付金	1,764	河川関係同盟会負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	内水対策事業	万水川下流域の内水対策のハード対策を実施することにより、地域住民の安全安心な地域づくりが図られる。	12	委託料	23,089
					計	23,089
2						
					計	0

予算書ページ	256
--------	-----

重点施策	—	コード	011001300
		課・係等	監理課 管理登記担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	03	河川費		基本方針	災害に強いまち
	目	01	河川費		基本施策	治山・治水事業の推進
	事業	0108140	河川管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	515	0	0	0	515	0
前年度	515	0	0	0	515	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	取水占用料	515							

【目的・効果】
【目的】
 ・市内の準用河川等について地元区、河川愛護会の協力を得て、河川環境の保全を図る。
【効果】
 ・河川内の除草・清掃作業を通じて、地元住民の河川環境保全意識の高揚が期待される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・地元区及び河川愛護会の協力を得て、河川の除草・清掃作業を行い河川環境の保全に努めるほか、地域の河川愛護の意識の向上を図る。

【詳細事業内訳】
 河川管理事務 0千円 河川管理愛護事務 515千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	役務費	515	河川除草清掃等手数料						

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1					計	0	
2					計	0	

予算書ページ	252
--------	-----

重点施策	—	コード	011001200
		課・係等	監理課 国県事業推進担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	02	道路橋梁新設改良費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108230	国県事業推進費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	923	172	0	0	0	751
前年度	860	102	0	0	0	758
増減額	63	70	0	0	0	△7

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	国道19号明科駅前歩道整備事業用地事務委託	172							

【目的・効果】

【目的】(国道19号明科駅前歩道整備事業)
 ・国県事業の円滑な推進を図るため、国及び県と地元の調整、必要な調査等行う。

【効果】
 ・主要幹線道路である国県道の整備が進むことで、安全、安心な生活環境が確保される。

【目的】(地域特性に配慮した警戒避難体制づくり)
 ・地域特性(区)に配慮した警戒避難体制の構築を図る。

【効果】
 ・地域住民が主体となって、警戒避難体制を構築することにより、地域特性に応じた自主避難体制が構築される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・国道19号明科駅前歩道整備事業の促進を図るため、国との委託契約による用地事務を行う。また、事業促進のため国への要望活動を行う。
 ・地域特性に配慮した自主避難体制づくりの支援を行う。(リーフレットの作成)

【詳細事業内訳】

国県事業推進事業 923千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	旅費	641	国道19号明科駅前歩道整備事業要望及び、国県事業用地交渉旅費				
10	需用費	222	警戒避難体制マップ印刷				
11	役務費	50	郵送料				
13	使用料及び賃借料	10	要望活動事業費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	248
--------	-----

重点施策	—	コード	011002200
		課・係等	建設課 維持担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	土木管理費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	土木管理費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108030	建設機械管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,115	0	0	0	0	3,115
前年度	2,967	0	0	0	0	2,967
増減額	148	0	0	0	0	148

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・道路ストックの適切な維持を進めるための維持作業車や機械器具を良好な状態に保つため、点検・整備を行う。
【効果】
 ・安全な維持作業及び緊急時の円滑な対応により、市道の安全性の確保と利便性の向上が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・道路維持作業車(11台)の法定点検及び車両整備の実施と機械器具類の保守を行う。

【詳細事業内訳】
 道路維持作業車整備事業 3,115千円

【一般財源増加理由】 車検費用の増による。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
10	需用費	1,807	維持作業車タイヤ、燃料、点検時の修繕				
11	役務費	955	点検手数料、自賠責保険料				
26	公課費	353	自動車重量税				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	250
--------	-----

重点施策	—	コード	011002200
		課・係等	建設課 維持担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	道路橋梁維持費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108070	道路橋梁維持費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	290,343	0	0	36,000	230,000	24,343
前年度	297,864	0	0	36,000	230,000	31,864
増減額	△ 7,521	0	0	0	0	△ 7,521

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	道路復旧費原因者負担金	30,000							
19	公共施設整備基金繰入金	200,000								
22	道路橋梁維持事業(長寿命化)	36,000								

【目的・効果】
【目的】
 ・一般交通に支障を及ぼさないよう、安全・安心な道路環境を提供する。
【効果】
 ・道路利用者に安全・安心な道路環境が提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・道路パトロールの実施により、危険箇所の早期解消を進める。
 ・道路の路面、道路側溝等の傷んだ部分の維持修繕工事を行う。
 ・道路占用工事完了後の舗装本復旧工事を行う。
 ・市道の路面清掃、草刈り、街路樹管理、側溝清掃等の道路環境整備を行う。
 ・地区で行う道路整備活動に必要な原材料を支給する。

【詳細事業内訳】
 道路橋梁維持事業 281,900千円 道路維持総務費 8,443千円

【一般財源増加理由】		主な内容		主な内容			
節	節名称	金額		節	節名称	金額	
01	報酬	3,358	会計年度任用職員報酬	17	備品購入費	51	記録用デジタルカメラ
03	職員手当等	728	会計年度任用職員期末手当				
08	旅費	136	会計年度任用職員通勤費				
10	需用費	5,610	光熱水費、施設修繕、消耗品、燃料				
12	委託料	24,760	道路管理業務、測量業務、設計業務				
14	工事請負費	253,000	道路維持補修、占用路面復旧、公共施設等適正管理推進事業				
15	原材料費	2,700	道路補修資材、支給資材				

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	道路橋梁維持事業	一般交通に支障を及ぼさないよう、道路を常時良好な状態に保つための維持補修を行うことにより、道路利用者に安全で安心な道路環境が提供できる。	14	工事請負費	253,000
				12	委託料	24,700
				15	原材料費	2,700
				10	需用費	1,500
					計	281,900
2					計	0

予算書ページ	252
--------	-----

重点施策	—	コード	011002200
		課・係等	建設課 維持担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	道路橋梁維持費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108080	除雪対策費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	123,072	0	0	0	0	123,072
前年度	142,059	16,008	0	0	0	126,051
増減額	△ 18,987	△ 16,008	0	0	0	△ 2,979

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・除雪計画に基づき、通勤通学や物流に欠かせない主たる市道において、降雪・積雪による交通障害を防止するため除融雪作業を行い、安全・安心な道路環境を提供する。
【効果】
 ・降雪や積雪による交通障害を防止することにより、市内の産業、経済活動と市民生活の安定が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・除雪、排雪、融雪業務を委託する。
 ・除雪車両管理と法定点検、車両整備を行う。
 ・除雪業務で不足する除雪用タイヤドーザを借上げる。
 ・各区へ歩行型除雪機を貸与する。また、凍結防止剤の配布を行う。
 ・老朽化した車載式塩カル散布機の更新を行う。

【詳細事業内訳】
 除雪融雪事業 123,072千円

【一般財源増加理由】		主な内容		主な内容	
節	節名称	金額	節	節名称	金額
10	需用費	20,032			
11	役務費	3,170			
12	委託料	69,223			
13	使用料及び賃借料	25,414			
17	備品購入費	5,141			
26	公課費	92			

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	除雪融雪事業	市道1,689kmのうち、除雪路線874km、融雪剤散布路線105kmを指定し、除雪及び融雪を行うことにより、積雪、凍結による交通障害を防止し、道路利用者の安全性が確保できる。	12	委託料	69,223
				13	使用料及び賃借料	25,414
				10	需用費	20,032
				17	備品購入費外	8,403
					計	123,072
2						
					計	0

予算書ページ	252
--------	-----

重点施策	—	コード	011002100
		課・係等	建設課 建設担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	02	道路橋梁新設改良費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108100	市道新設改良事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	552,983	0	1	247,000	280,000	25,982
前年度	533,320	0	0	228,000	250,000	55,320
増減額	19,663	0	1	19,000	30,000	△ 29,338

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	市道新設改良事業費県負担金		1						
19	公共施設整備基金繰入金		250,000							
19	ふるさと寄附基金繰入金		30,000							
22	市道新設改良事業		247,000							

【目的・効果】

【目的】

・道路は、暮らしの向上や観光を含む産業の発展を支える上で、必要不可欠な社会基盤であることから、安全性の確保や利便性の向上に向けて道路整備を進める。

【効果】

・地域間を結ぶ重要路線の整備により、地域間の連携強化が図られる。
 ・生活道路の整備により、安全・安心な生活環境が構築される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・生活道路の整備(継続:12路線、新規10路線)を進める。
 ・幹線道路の整備(合併特例債事業2路線)を進める。

【詳細事業内訳】

市道新設改良事業(市単独) 290,030千円 道路改良総務費 2,953千円 市道新設改良事業(合併特例債) 260,000千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	旅費	99	用地交渉	18	負担金補助及び交付金	339	技術研修会負担金
10	需用費	792	測量関係消耗品、物品修繕費	21	補償補填及び賠償金	74,700	物件移転補償費
11	役務費	397	携帯電話料、測量機器検査、手数料等				
12	委託料	71,696	測量設計、用地測量、補償調査費、不動産鑑定料				
13	使用料及び賃借料	960	土木積算システム使用料				
14	工事請負費	380,000	道路改良工事費				
16	公有財産購入費	24,000	用地買収費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	市道新設改良事業(市単独)	生活道路を改良することにより、安全・安心な道路環境を構築する。	14	工事請負費	200,000
				12	委託料	64,330
				21	補償補填及び賠償金	17,700
				16	公有財産購入費	8,000
					計	290,030
2	ハード	市道新設改良事業(合併特例債)	幹線道路の整備をすることにより、安全・安心な道路環境を構築する。	14	工事請負費	180,000
				21	補償補填及び賠償金	57,000
				16	公有財産購入費	16,000
				12	委託料	7,000
					計	260,000

予算書ページ	254
--------	-----

重点施策	—	コード	011002100
		課・係等	建設課 建設担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	02	道路橋梁新設改良費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108110	社会資本整備総合交付金事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	457,500	国支出金	県支出金	市債	その他	21,875
前年度	441,000	233,150	0	192,400	0	24,850
増減額	16,500	10,075	0	9,400	0	△ 2,975

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	道路改良費補助金	243,225							
22	市道新設改良事業	192,400								

【目的・効果】

【目的】

・道路は、暮らしの向上や観光を含む産業の発展を支える上で、必要不可欠な社会基盤であり、安全性の確保や利便性の向上に向けて整備及び修繕を進める。

【効果】

・幹線道路の整備により、安全・安心・円滑なネットワークが形成される。
 ・橋梁及び舗装の修繕により、安全・安心な道路環境が構築される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

道路改良 穂高1級6号線(穂高)・豊科1345号線(新田)・豊科1級24号線(細萱)・豊科1級29号線(真々部他)
 法面对策 明科3009号線(光)
 橋梁修繕 橋梁定期点検、中央橋ほか4橋の補修設計、等々力大橋ほか4橋の補修工事
 舗装修繕 豊科1級23号線ほか1路線の舗装補修工事

【詳細事業内訳】

市道新設改良事業(交付金) 285,000千円 道路橋梁修繕事業(交付金) 172,500千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
12	委託料	61,000	測量設計、用地測量、補償調査費、橋梁定期点検、橋梁補修設計				
14	工事請負費	292,500	道路改良工事、法面对策工事、舗装補修工事、橋梁補修工事				
16	公有財産購入費	46,700	用地買収費				
21	補償補填及び賠償金	57,300	物件移転補償費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	市道新設改良事業(交付金)	道路整備推進計画に基づく幹線道路の整備により、安全・安心な道路環境が構築される。	14	工事請負費	166,000
				21	補償補填及び賠償金	57,300
				16	公有財産購入費	46,700
				12	委託料	15,000
					計	285,000
2	ハード	道路橋梁修繕事業(交付金)	法的義務の橋梁定期点検を進め状態を把握し、必要な補修を行うことにより、施設の長寿命化が図られ、安全性が確保される。	14	工事請負費	126,500
				12	委託料	46,000
					計	172,500

予算書ページ	254
--------	-----

重点施策	—	コード	011002200
		課・係等	建設課 維持担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	災害に強いまち
	目	03	交通安全施設費		基本施策	防災体制の充実
	事業	0108120	交通安全施設整備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	26,900	0	0	0	0	26,900
前年度	26,400	0	0	0	0	26,400
増減額	500	0	0	0	0	500

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・交通安全施設を適切に維持・設置し、交通上の安全確保を図り、安全・安心な道路環境を提供する。
【効果】
 ・安全で安心して利用できる道路環境が提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・交通安全施設の設置、維持補修
 ・施設損傷の小破修繕
 ・区画線等路面表示の整備

【詳細事業内訳】
 交通安全施設整備事業 26,900千円

【一般財源増加理由】 施設設置の増。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
10	需用費	1,500	施設の損傷による修繕				
14	工事請負費	25,400	交通安全施設の設置及び維持補修、区画線の整備				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	交通安全施設整備事業	交通安全施設の設置及び維持補修を行うことにより、安全・安心な道路環境を提供できる。	14	工事請負費	25,400
				10	需用費	1,500
					計	26,900
2					計	0

予算書ページ	256
--------	-----

重点施策	—	コード	011002100
		課・係等	建設課 建設担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	03	河川費		基本方針	災害に強いまち
	目	01	河川費		基本施策	治山・治水事業の推進
	事業	0108150	河川改修事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,000	0	0	0	0	1,000
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	1,000	0	0	0	0	1,000

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・豪雨や台風などによる準用河川や普通河川の氾濫を防ぐため、河川改修を進める。
【効果】
 ・浸水や溢水、護岸決壊などを防止することにより、市民の生命・財産を守ると共に、地域の生活環境の整備が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・勝手沢等の河川改修を進める。

【詳細事業内訳】
 河川改修事業 1,000千円

【一般財源増加理由】 河川改修が必要になったため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
14	工事請負費	1,000	河川改修工事費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	河川改修事業	河川改修工事を行い、河川の溢水を防止することで、流域住民の安全・安心が確保される。	14	工事請負費	1,000	
					計	1,000	
2							
					計	0	

予算書ページ	256
--------	-----

重点施策	—	コード	011002200
		課・係等	建設課 維持担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	03	河川費		基本方針	災害に強いまち
	目	01	河川費		基本施策	防災体制の充実
	事業	0108160	河川維持費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20,847	0	8,100	0	0	12,747
前年度	69,625	0	2,700	0	10,000	56,925
増減額	△ 48,778	0	5,400	0	△ 10,000	△ 44,178

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	県単河畔林整備補助金	8,100							

【目的・効果】
【目的】
 ・災害に強い河川環境を維持する。
 ・水防倉庫等の施設管理と水防資機材の充足を図る。
【効果】
 ・災害に強い河川環境が構築され、出水時など災害への迅速な対応が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・河川構造物の維持管理を行う。
 ・河川の流下能力が損なわれないよう、除草、支障木の除間伐、堆積土の排除を行う。
 ・水防倉庫等の施設管理及び水防資機材の備蓄を進める。

【詳細事業内訳】
 水防倉庫施設管理事業 1,553千円 河川維持事業 19,294千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
10	需用費	1,512	災害応急資材、水防倉庫・河川施設の光熱水費及び修繕						
12	委託料	14,277	河川管理委託、県単河畔林整備事業、水防倉庫・河川施設の定期点検						
14	工事請負費	5,000	小規模補修、河床整理						
15	原材料費	58	水防資材						

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	河川維持事業	河川の流下能力が損なわれないよう、除草、支障木伐採及び堆積土砂の排除を行う。	12	委託料	14,121	
				14	工事請負費	5,000	
				10	需用費	173	
					計	19,294	
2					計	0	

重点施策	—	コード	011002100
		課・係等	建設課 建設担当

予算	款	11	災害復旧費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	土木施設災害復旧費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	道路災害復旧費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0111010	道路災害復旧事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,500	0	0	0	0	1,500
前年度	1,500	0	0	0	0	1,500
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・市が管理している公共土木施設が、異常気象で被災した場合に施設機能の早期の復旧を進める。
【効果】
 ・公共土木施設を早期に機能回復する事により、市民の生命・財産を守ると共に、地域の生活環境が確保される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・異常気象により生じた災害について、早急に復旧工事を進める。

【詳細事業内訳】
 道路災害復旧事業 1,500千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
		12	委託料	500	測量設計、用地測量、補償調査費				
		14	工事請負費	1,000	災害復旧工事費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	道路災害復旧事業	災害復旧工事を行うことで、住民の安全・安心が確保される。	14	工事請負費	1,000
				12	委託料	500
					計	1,500
2						
					計	0

重点施策	—	コード	011003100	予算書ページ	258
		課・係等	都市計画課 計画係		

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	01	都市計画総務費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108180	都市計画総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	237,273	0	51,200	0	14,616	171,457
前年度	218,938	0	0	0	25,418	193,520
増減額	18,335	0	51,200	0	△ 10,802	△ 22,063

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	公営住宅使用料	14,586							
16	市町村合併特例交付金	51,200								
21	都市計画図等交付代	30								

【目的・効果】
【目的】
 ・秩序ある土地利用を推進し、生活基盤や経済基盤等の整備を図りつつ、市の均衡ある発展と計画的なまちづくりを推進する。
【効果】
 ・豊かな自然環境や景観、歴史・文化を守りつつ、暮らしやすさと産業発展のバランスが取れた田園産業都市づくりを推進することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・令和3年度の改正を目指し、土地利用条例の評価・検証を行う。
 ・令和3年度の施行を目指し、都市計画マスタープランの策定を進める。
 ・JR大糸線安曇追分駅、有明駅に屋根付駐輪場を整備する。
 ・主要な公共施設のサイン(案内板)を整備する。

【詳細事業内訳】
 都市計画総務費 216,392千円 情報案内板整備 37,140千円 土地利用制度 8,473千円 駅周辺整備事業(市単) 14,701千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	574	都市計画審議会委員報酬、土地利用審議会委員報酬	12	委託料	20,986	交通量調査業務委託、道路整備推進計画改定業務委託、土地利用制度適正化推進業務委託外
02	給料	87,817	一般職(25人)	13	使用料及び賃借料	498	会議室借上料、土木積算システム使用料
03	職員手当等	44,279	職員諸手当	14	工事請負費	51,841	駅前広場駐輪場屋根設置工事、情報案内板整備工事
04	共済費	29,659	職員共済組合納付金	18	負担金補助及び交付金	692	都市計画協会等負担金、都市計画実務研修負担金
07	報償費	120	制度評価委員会出席謝礼				
08	旅費	693	職員旅費、都市計画審議会等委員費用弁償				
10	需用費	114	法規等追録、事務用品外				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	○	駅周辺整備事業(市単)	未設置であった屋根付駐輪場を整備する事で、公共交通の利便性が良いまちづくりと、駅間の格差解消が図れる。	14	工事請負費	14,701
						計	14,701
2	ハード		情報案内板整備	統一したデザインによる分かりやすいサインを整備する事で、住民サービスの向上、市の一体感の醸成及び都市景観の向上が図れる。	14	工事請負費	37,140
						計	37,140

予算書ページ	262
--------	-----

重点施策	—	コード	011003200
		課・係等	都市計画課 都市整備係

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	02	街路事業費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108210	街路整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	127,200	68,200	0	53,000	0	6,000
前年度	108,702	58,411	0	43,000	0	7,291
増減額	18,498	9,789	0	10,000	0	△1,291

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	社会資本整備総合交付金(街路分)	68,200							
22	街路事業	53,000								

【目的・効果】
【目的】
 ・都市の骨格を形成し、安全で安心な市民生活と機能的な都市活動を確保するため、都市計画道路吉野線の整備を行う。
【効果】
 ・両側歩道を整備することにより豊科南小学校や県立豊科高校の通学路としての安全性が高まる。
 ・豊科地域の中心市街地の外郭道路が整備され、市街地および沿線街区からの交通の円滑化につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・これまでに、国道147号本吉町交差点から豊科高校体育館までの246mを施工した。令和2年度は、引続き105mの施工を予定している。また、未取得の用地交渉を進める。

【詳細事業内訳】
 街路整備事業(交付金) 127,200千円

【一般財源増加理由】 事業計画進行に伴う事業費増加の為。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
12	委託料	5,500	用地測量・補償調査・設計業務				
14	工事請負費	71,000	道路改良工事				
21	補償補填及び賠償金	50,700	物件補償費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	街路整備事業(交付金)	機能的な都市を形成するため、都市計画道路の整備を行う。通学路の安全対策と、中心市街地の円滑な交通が確保される。	12	委託料	5,500
				14	工事請負費	71,000
				21	補償補填及び賠償金	50,700
					計	127,200
2					計	0

重点施策	—	コード	011003200	予算書ページ	262
		課・係等	都市計画課 都市整備係		

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	02	街路事業費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108211	都市再生整備計画事業 (都市整備分)			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	398,934	国支出金	県支出金	市債	その他	22,014
前年度	388,081	179,520	0	197,400	0	21,345
増減額	10,853	174,636	0	192,100	0	2,669
		4,884	0	5,300	0	669

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	都市再生整備計画事業	179,520							
22	都市再生整備計画事業	197,400								

【目的・効果】
【目的】
 ・国道19号明科駅前歩道整備事業と合せた既存商店街の環境整備や自然環境を活用したまちづくりを推進するため、駅前広場整備、道路整備、街路灯整備、公園整備等を行う。
 ・本格的な人口減少社会を迎え、駅周辺の利便性が高いコンパクトなまちづくりを進める。
【効果】
 ・市街地道路の整備をはじめ、地域の特性を生かしたまちづくりや、商店街の活性化が図られる。また、市民の利便性が向上し、持続可能な都市が形成される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・関係者との事業調整及び交渉を行う。
 ・国道19号明科駅前歩道整備事業との調整を行い、明科駅前広場工事の一部に着手する。
 ・龍門淵公園・あやめ公園の園路及び池の整備を行う。

【詳細事業内訳】
 都市再生整備計画事業(明科駅周辺) 398,934千円

【一般財源増加理由】 事業計画進行に伴う事業費増加の為。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
12	委託料	16,594	測量設計業務				
13	使用料及び賃借料	275	明科駅前仮設トイレ借上料				
14	工事請負費	168,465	駅前広場工事、公園施設改修工事等				
16	公有財産購入費	24,700	周辺道路用地等買収費				
21	補償補填及び賠償金	188,900	周辺道路物件移転補償費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	都市再生整備計画事業 (明科駅周辺)	明科駅周辺地区整備により、「安曇野市の東の玄関口」として、活力あるまちづくりを推進する。	12	委託料	16,594
				13	使用料及び賃借料	275
				14	工事請負費	168,465
				16	公有財産購入費外	213,600
					計	398,934
2					計	0

予算書ページ	264
--------	-----

重点施策	(5)	コード	011003300
		課・係等	都市計画課 公園緑地係

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	03	公園事業費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0108220	都市公園等維持管理事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	216,549	22,800	0	53,500	5,661	134,588
前年度	247,504	20,000	0	18,000	17,831	191,673
増減額	△ 30,955	2,800	0	35,500	△ 12,170	△ 57,085

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
14	碌山公園使用料	1,800	15	シンポジウム助成金	2,800	21	講座参加料	55		
14	室山アグリパーク施設使用料	180	21	常念ふれあい公園太陽光発電電	5	22	都市公園事業(長寿命化)	34,500		
14	都市公園使用料	300	21	室山アグリパーク自販機電気料	20	22	都市公園事業	19,000		

【目的・効果】

【目的】

・安曇野市公園施設長寿命化計画に沿って公園施設の計画的な修繕及び更新を行う。また、日頃のパトロールや遊具点検等により不具合箇所を早期に把握し、市民の安全・安心な公園利用を図る。
 ・緑の基本計画に沿った施策を実施し、緑を活かして、緑の恵みを感じ、美しい緑を未来につなげる。
 ・第36回全国都市緑化信州フェアの開催により高まった、市民の緑化に対する機運を継続・発展させ、緑化の推進を図る。また、花とみどりのシンポジウムを開催し、花や緑に囲まれた、山岳及び田園風景と相まった安曇野らしい魅力を広く全国に発信する。

【効果】

・公園を良好に維持することにより、地域住民の憩い・交流・レクリエーションの場所となり、また景観・防災面における機能が向上する。
 ・市民の緑のまちづくりに向けた緑化意識の高揚による、緑の基本計画の推進、また、安曇野らしい魅力の発信ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・公園の清掃、除草、芝生管理等維持作業を地元団体、シルバー人材センター、専門業者に委託する。
 ・公園施設長寿命化対策支援事業、公共施設等適正管理推進事業債および市単独事業により、老朽化した公園施設の補修、更新、バリアフリー化を図る。
 ・花とみどりのシンポジウム等、緑の基本計画に沿った施策を実施する。

【詳細事業内訳】

公園施設長寿命化事業 133,942千円 その他公園管理事業 17,587千円 花のあるまちづくり推進事業 4,218千円 都市公園管理事業 60,433千円 公園総務費 369千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	報償費	810	緑のまちづくり推進委員会出席謝礼、シンポジウム講師等謝礼、自然観測会等講師謝礼	15	原材料費	381	龍門洲・あやめ公園客土、その他
08	旅費	205	職員研修旅費、シンポジウム講師等旅費	17	備品購入費	585	テニスコート防風ネット、その他
10	需用費	26,990	公園維持に関わる消耗品、施設修繕費、光熱水費等	18	負担金補助及び交付金	3,362	公園愛護会交付金、職員研修負担金、その他
11	役務費	392	豊科南部総合公園・碌山公園研成ホール電話料、水質検査手数料、その他	22	償還金、利子及び割引料	32	使用料還付金
12	委託料	83,661	公園管理委託料、設計監理委託料、その他				
13	使用料及び賃借料	7,638	公園敷地賃借料、機械借上料、その他				
14	工事請負費	92,493	長寿命化対策支援事業等工事費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	公園施設長寿命化事業	老朽化により不具合の生じている公園施設の補修・更新を行い、一般市民はもとより子供と子育て中の親の安心・安全、快適な公園利用を図る。	10	需用費	12,371
				12	委託料	29,078
				14	工事請負費	92,493
					計	133,942
2	ソフト	○ 花のあるまちづくり推進事業	第36回全国都市緑化信州フェアの開催により高まった、市民の緑化に対する機運を継続・発展させ、緑化の推進を図る。また、花とみどりのシンポジウムを開催し、安曇野らしい魅力の発信を行う。	07	報償費	718
				08	旅費	100
				10	需用費	1,138
				12	委託料	2,262
					計	4,218

予算書ページ	268
--------	-----

重点施策	—	コード	011003200
		課・係等	都市計画課 都市整備係

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	04	都市下水道事業費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0108240	都市下水道維持管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,167	0	0	0	0	2,167
前年度	2,222	0	0	0	0	2,222
増減額	△ 55	0	0	0	0	△ 55

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・都市施設である都市下水道及び潮雨水ポンプ場の維持管理を行う。
【効果】
 ・市街地において適切な排水機能が確保される。
 ・豪雨時にポンプ場が適切に機能する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・豊科地域の都市下水道については、草刈り、土砂排除等の維持管理を、地域の農事組合へ委託する。
 ・潮雨水ポンプ場は点検等のメンテナンスを業務委託する。

【詳細事業内訳】
 都市下水道維持管理費(市単独) 2,167千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
10	需用費	246	潮ポンプ場修繕費等、電気料外						
12	委託料	1,129	都市下水道管理委託、潮ポンプ場管理委託						
14	工事請負費	792	都市下水道維持工事						

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	都市下水道維持管理費(市単独)	都市下水道の排水機能を確保するため、維持管理を行う。適切な排水機能が確保される。	10	需用費	246	
				12	委託料	1,129	
				14	工事請負費	792	
					計	2,167	
2							
					計	0	

予算書ページ	268
--------	-----

重点施策	—	コード	011003200
		課・係等	都市計画課 都市整備係

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	04	都市下水道事業費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0108250	市街地排水路改修事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,205	0	0	0	0	8,205
前年度	8,949	0	0	0	0	8,949
増減額	△ 744	0	0	0	0	△ 744

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・拠点市街区域の水路改修や維持補修等を行うことで、住環境の維持を図る。
【効果】
 ・住環境整備が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・地元からの要望に対し、緊急度を加味して市街地排水路の改修及び漏水等の維持管理を行う。

【詳細事業内訳】
 市街地排水路改修事業(市単独) 8,205千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
		12	委託料	1,000	事務事業委託、測量設計業務委託				
		14	工事請負費	7,105	水路維持工事				
		15	原材料費	100	水路維持原材料支給				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	市街地排水路改修事業(市単独)	住環境整備のため、排水路の改修を行う。市街地排水路の排水機能が確保される。	12	委託料	1,000	
				14	工事請負費	7,105	
				15	原材料費	100	
					計	8,205	
2					計	0	

重点施策	—	コード	011004100	予算書ページ	260
		課・係等	建築住宅課 建築景観係		

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	01	都市計画総務費		基本施策	景観の保全と育成の推進
	事業	0108190	景観整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	13,501	0	0	0	453	13,048
前年度	14,411	0	0	0	635	13,776
増減額	△ 910	0	0	0	△ 182	△ 728

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	屋外広告物許可手数料	453							

【目的・効果】
【目的】
 ・景観条例、屋外広告物条例の適正な運用を図る。
 ・景観づくり住民協定の活動支援と住宅地の緑化推進を図る。
【効果】
 ・よい景観をつくることで、市民の暮らしの満足度や充実感を高めることが期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・景観及び屋外広告物の手続きに関し、窓口において適切な案内と指導を行うとともに、定期パトロールを実施する。
 ・「緑のまちづくり事業」として記念樹(苗木)の配布及び生垣設置、ブロック塀撤去に対する補助を行う。
 ・景観づくり住民協定に対する支援として、活動・運営の補助を行う。

【詳細事業内訳】
 景観育成団体支援事業 2,988千円 景観整備事業 3,748千円 緑のまちづくり事業 6,765千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	1,861	景観審議会委員報酬、会計年度任用職員報酬				
03	職員手当等	364	会計年度任用職員期末手当				
07	報償費	130	景観住民協定連絡会総会・役員会謝礼				
08	旅費	140	職員研修旅費、景観審議会委員旅費				
10	需用費	68	事務用品・参考図書				
12	委託料	1,213	環境フェアブース作製、景観計画改定業務				
18	負担金補助及び交付金	9,725	住民協定補助金、記念樹配布、生垣補助金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	緑のまちづくり事業	住宅地の緑化向上のため、住宅新築や誕生等の記念樹を配布する。また、生垣設置等を行う場合に補助金を交付する。緑化に対する意識の向上が期待できる。	18	負担金補助及び交付金	6,765
					計	6,765
2					計	0

重点施策	—	コード	011004200	予算書ページ	262
		課・係等	建築住宅課 開発調整係		

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	01	都市計画総務費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108200	土地利用調整事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	377	0	0	0	0	377
前年度	47,081	0	0	0	0	47,081
増減額	△ 46,704	0	0	0	0	△ 46,704

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・安曇野の豊かな自然環境や景観、歴史・文化を守り、暮らしやすさと産業発展のバランスが取れた田園産業都市づくりを進めるため、土地の適正かつ合理的な利用を推進する。
【効果】
 ・秩序ある発展を継続することにより、暮らしやすさと産業発展のバランスがとれた田園産業都市づくりが図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市民や開発事業者に対し、資料等を用いてより分かりやすく丁寧な説明をする。
 ・係内で情報を共有することにより、土地利用制度の適正な運用を図る。

【詳細事業内訳】
 土地利用調整事業 377千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	旅費	48	職員研修旅費				
10	需用費	83	事務用品・参考図書				
13	使用料及び賃借料	52	窓口案内用パソコン賃借料				
18	負担金補助及び交付金	194	職員研修負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	(5)	コード	011004200・011004300			
		課・係等	建築住宅課 開発調整係・住宅係			
予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	01	都市計画総務費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0108205	耐震化推進事業			

予算書ページ	262
--------	-----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	34,744	17,243	7,062	0	0	10,439
前年度	28,229	7,350	10,425	0	0	10,454
増減額	6,515	9,893	△ 3,363	0	0	△ 15

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	住宅・建築物安全ストック形成事業補助金	14,125							
15	宅地耐震化推進事業	3,118								
16	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金	7,062								

【目的・効果】
 建築住宅課 開発調整係
【目的】
 ・大規模な盛土を行った造成地は、大地震の際に滑動崩落等の恐れがあることから、平成30年度に調査(第一次スクリーニング)を実施し、市内9箇所を大規模盛土造成地と判定したため、当該地の滑動崩落の危険性等の調査を実施する。
【効果】
 ・大規模盛土造成地の変動予測調査により、住民の宅地被害に対する関心を高め、事前対策を促すことにより被害の防止・軽減が図られる。

建築住宅課 住宅係
【目的】
 ・市内の既存建築物の耐震性能を確保するため、昭和56年5月31日以前に建設された住宅・建築物の耐震診断の実施と、その結果に基づく耐震改修を促進する。
【効果】
 ・耐震性能の向上を図ることで今後予想される地震災害から市民の生命・財産が守られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 建築住宅課 開発調整係
 ・第一次スクリーニングの結果を基に、危険性等の調査を実施し、第二次スクリーニング実施に向けた計画を作成する。

建築住宅課 住宅係
 ・昭和56年5月31日以前に建設された木造戸建住宅所有者の申し出により、市が耐震診断士を無料で派遣する。また、木造戸建以外の住宅については、耐震診断・耐震設計を実施する所有者に対して補助を行う。
 ・耐震診断の結果、耐震性が低い住宅において一定の効果のある耐震補強工事に対する補助を行う。

【詳細事業内訳】
 住宅・建築物耐震改修促進事業 28,507千円 宅地耐震化推進事業 6,237千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	役務費	257	耐震改修フォローアップ、耐震診断促進等通知郵送料				
12	委託料	9,487	大規模盛土造成地変動予測調査業務 診断士による木造住宅等耐震診断業務				
18	負担金補助及び交付金	25,000	耐震補強工事補助金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	住宅・建築物耐震改修促進事業	耐震診断により地震災害に対する住宅の安全性を確認し、診断結果により実施する耐震補強工事に対して補助を行う。市内の住宅の耐震化を進めることで、市民の生命・財産が守られる。	18	負担金補助及び交付金	25,000
				12	委託料	3,250
				11	役務費	257
					計	28,507
2					計	0

重点施策	(5)	コード	011004300
		課・係等	建築住宅課 住宅係

予算書ページ	270
--------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	05	住宅費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	01	住宅管理費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0108290	住宅管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	50,598	6,922	0	0	43,676	0
前年度	39,820	5,953	0	0	33,867	0
増減額	10,778	969	0	0	9,809	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	公営住宅使用料	39,977	14	公営住宅滞納督促手数料	1	21	住宅防火施設整備補助金	300	
14	公営住宅駐車場使用料	3,160	15	公営住宅等ストック総合改善事業補助金	6,922					
14	公営住宅使用料滞納繰越分	1	21	太陽光発電売電等	235					
14	公営住宅駐車場使用料滞納繰越分	1	21	市営住宅等一時使用料	1					

【目的・効果】

【目的】

・安全で快適に暮らせる住環境を確保するため、市営住宅14か所、特定公共賃貸住宅2か所の維持管理を行う。

【効果】

・住宅に困窮する低額所得者に対し、市営住宅を低廉な家賃で賃貸することで、セーフティーネットの役割を持ち、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・入居の募集、入居決定、入退去の立会いを行う。
- ・入居者が快適に生活できるよう、建物、遊具、敷地内全般の維持管理・修繕を実施する。
- ・県営住宅アルプス団地協働建替え事業の5号棟へ、市営住宅アルプス団地から入居者の移転を行う。
- ・居住水準を満たさない住宅の計画的な改善及び効率的な維持管理をするために、「安曇野市公営住宅等長寿命化計画」に基づき事業を実施する。

【詳細事業内訳】

公営住宅等維持管理事業 16,690千円 公営住宅等長寿命化事業 28,248千円 公営住宅整備事業 5,660千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	旅費	46	職員研修旅費						
10	需用費	11,286	施設修繕費、参考図書、電気料						
11	役務費	709	遊具点検、施設点検等手数料、火災保険料						
12	委託料	4,621	追分団地改修工事設計監理業務、消防施設点検						
14	工事請負費	28,248	田沢団地外壁屋根改修、追分団地駐車場舗装等						
15	原材料費	28	市営住宅敷地用砕石						
21	補償補填及び賠償金	5,660	市営住宅アルプス団地移転補償料						

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	公営住宅等長寿命化事業	市営住宅等を安全で快適な住まいとして長きにわたり確保するため、安曇野市公営住宅等長寿命化計画に基づく修繕及び耐久性の向上等を図る改善を行うことで、更新コストの削減と事業量の平準化を図る。	14	工事請負費	24,794
				12	委託料	2,068
				10	需用費	1,386
					計	28,248
2	ソフト	公営住宅整備事業	新築された県営アルプス団地へ、市営アルプス団地入居者の移転を実施する。老朽化して募集停止している団地について、計画的に建替え、リノベーション、用途廃止を実施することで居住水準の改善を図る。	21	補償補填及び賠償金	5,660
					計	5,660

上下水道部

予算書ページ	192
--------	-----

重点施策	—	コード	011101100
		課・係等	経営管理課 庶務担当(上下水)

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	03	上水道費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	01	上水道施設費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営
	事業	0104300	水道事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	134,162	国支出金	県支出金	市債	その他	59,362
前年度	221,662	0	0	162,300	0	59,362
増減額	△ 87,500	0	0	△ 87,500	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	22	一般会計出資債(上水道分)	74,800							

【目的・効果】

- 1 18負担金補助及び交付金
【目的】旧豊科町で政策的に実施した水道事業の整備費用分を負担する。
【効果】原因者負担により地方公営企業である水道事業経営の安定化を図る。
- 2 23投資及び出資金
【目的】事業統合により実施する豊科・明科地域整備事業にかかる経費の2分の1を出資する。
【効果】上水道事業の経営基盤の強化及び資本費負担の軽減を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 1 18負担金補助及び交付金
下水道工事関連水道事業負担金 51,533,276円
光ニュータウン開発に伴う水道施設設置負担金 7,827,876円
- 2 23投資及び出資金 74,800,000円

【詳細事業内訳】

水道事業負担金 59,362千円 水道事業出資金 74,800千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
18	負担金補助及び交付金	59,362			下水道工事関連水道事業負担金、光ニュータウン開発に伴う水道施設設置負担金				
23	投資及び出資金	74,800			豊科・明科地域整備事業				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1		水道事業出資金	水道事業の統合により、明科地域から豊科地域への送水を行うことができるようになったため、災害時において豊科犀川右岸地域の水量確保のため進められている豊科・明科地域整備事業に出資する。	23	投資及び出資金	74,800
					計	74,800
2					計	0

予算書ページ	270
--------	-----

重点施策	—	コード	011101100
		課・係等	経営管理課 庶務担当(上下水)

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	05	下水道事業費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営
	事業	0108270	下水道事業			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,992,890	0	0	0	1,992,890
前年度	2,037,126	0	0	0	2,037,126
増減額	△ 44,236	0	0	0	△ 44,236

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】総務省で定める地方公営企業繰出金の基準内分及び、生活保護受給者の下水道使用料などの基準外分の繰出しを行う。

【効果】下水道処理施設・下水管路の整備と適切な維持管理を図り、公共用水域の水質保全を図る。
下水道接続の促進による下水道事業の経営の安定化に努め、快適な生活環境の持続を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・基準内で繰出すもの 下水道事業 1,991,084,000円
- ・基準外で繰出すもの 生活保護受給者に対する下水道使用料の基本料金分 1,805,760円

【詳細事業内訳】

下水道事業繰出金 1,992,890千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
27	繰出金	1,992,890	下水道事業繰出金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

会計課

重点施策	—	コード	011201100	予算書ページ	80
		課・係等	会計課 出納係		

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	04	会計管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102240	会計管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,258	0	0	0	1,301	6,957
前年度	7,866	0	0	0	1,301	6,565
増減額	392	0	0	0	0	392

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	財務会計処理実費徴収	1,300							
21	会計雑入	1								

【目的・効果】
【目的】
 ・市財務規則等にとり、適正に市会計事務全般を処理する。
【効果】
 ・適正な財政運営のための基本である、公金の適正な管理を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・現金及び物品等の出納事務
 ・伝票等の審査事務
 ・決算書の調製
 ・基金等の管理、運用

【詳細事業内訳】
 会計管理事務 8,258千円

【一般財源増加理由】	会計年度任用職員制度導入及び消費税率の改定に伴う増加										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	1,753	窓口対応会計年度任用職員 1,679、源泉徴収票送付事務会計年度任用職員 74			21	補償補填及び賠償金	10	欠損補填金		
03	職員手当等	364	窓口対応会計年度任用職員								
08	旅費	112	NOMA研修(名古屋)鉄道・宿泊・日当2回分 59、窓口対応会計年度任用職員通勤費 51、源泉徴収票送付事務会計年度任用職員通勤費 2								
10	需用費	3,314	消耗品費 300、印刷製本費 2,984、物品修繕費 30								
11	役務費	2,568	振込手数料等 368、派出派遣手数料 2,200								
13	使用料及び賃借料	73	データ伝送サービス								
18	負担金補助及び交付金	64	NOMA研修会負担金2回分								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

教育部(教育委員会)

重点施策	—	コード	011301100	予算書ページ	280
		課・係等	学校教育課 教育総務係		

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	01	教育委員会費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110010	教育委員会費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,741	0	0	0	0	5,741
前年度	5,673	0	0	0	0	5,673
増減額	68	0	0	0	0	68

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に定められた教育委員会の活動に必要な経費を支出する。

【効果】

・教育委員会の職務である学校等の教育機関を管理し、学校の組織編制、教育課程、教科書その他の教材の取扱い及び教職員の身分の取扱いに関する事務、並びに社会教育その他の教育、学術及び文化に関する事務を管理、執行する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・教育委員4人の報酬等の支出
- ・学校教職員初任者研修の実施
- ・全国都市教育長協議会定期総会、関東甲信越静市町村教育委員会研修会総会等への参加
- ・定例・臨時教育委員会、総合教育会議の開催
- ・教育関係者による活力ある小・中学校のあり方検討
- ・長野県市町村教育委員会連絡協議会等への負担金の支出
- ・学校給食センター説明会開催に伴う託児対応者への謝礼

【詳細事業内訳】

教育委員会費 5,741千円

【一般財源増加理由】 「学校給食センター説明会開催に伴う託児対応者への謝礼」を新規に計上したため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	3,322	教育委員4人報酬	18	負担金補助及び交付金	408	県市町村教育委員会連絡協議会、会議・研修等負担金
07	報償費	422	活力ある学校あり方検討会議有識者謝礼、教育委員会事務事業点検評価有識者謝礼、学校給食センター説明会託児謝礼				
08	旅費	327	教育委員、事務局職員研修会等旅費				
10	需用費	315	事務用品、教育長会議贈、教育要覧印刷代等				
11	役務費	18	元市内小・中学校長逝去に伴う弔電				
12	委託料	924	教育委員会会議、総合教育会議反訳委託料等				
13	使用料及び賃借料	5	研修会等駐車料金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	教育委員会費	少子化に対応した市内小・中学校の活力ある学校のあり方と今後の方向性について教育委員会で検討後、有識者で構成する検討委員会を設置する。統廃合だけでなく小・中一貫教育等を導入することで、地域に根差す活力ある学校づくりを行う。	01	報酬	3,322
				12	委託料	924
				07	報償費	422
				18	負担金補助及び交付金外	665
					計	5,741
2					計	0

予算書ページ	280
--------	-----

重点施策	—	コード	011301100・01130120・011301300・011301400
		課・係等	学校教育課 教育総務係・教育指導室・学校庶務担当・学校教育係

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110015	事務局費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
208,097	209,286	△ 1,189	40	0	0	9,962
			0	0	0	13,477
			40	0	0	△ 3,515
						2,286

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	地域自殺対策強化事業補助金	40	21	入学準備貸付金	3,116				
17	教員住宅貸付料	1,526	21	入学準備貸付金滞納繰越金	1					
17	入学準備金貸付基金利子	219								
19	入学準備金貸付基金繰入金	5,100								

【目的・効果】

- ・高校や大学等への入学に要する費用の支出が困難な家庭に対して入学準備金の貸し付けを無利子で行い、未来を担う人材の育成に寄与する。
- ・教育委員会事務局として活動を進めるための予算を計上し、学校教育の充実を図るとともに学校・家庭・地域と連携して特色ある学校づくりを目指す。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・広報やHPを使つての制度の周知を行い、利用者に対して制度説明を丁寧に行う。
- ・入学準備金貸付事業においては長期滞納者が出ないよう、早期のうちに状況把握し、対応する。
- ・事務局として必要な経費を計上する。
- ・市校長会等への負担金及び交付金を支出する。
- ・県大会以上の大会出場における補助及び私立高等学校への運営補助金を交付する。
- ・教育委員会へセンターサーバーを設置し、各学校の情報共有、セキュリティの確保、高速化を推進する。
- ・学校図書館システム等の共通管理システムと学校ネットワークの一元管理を推進する。
- ・児童・生徒の安全対策を図るため、熊よけ鈴の配布、学校安全マップの作成、学校安全連絡網メール配信システムの活用、安曇野市交通安全推進協議会通学路交通安全部会による通学路合同点検などによる安全確保を進める。

【詳細事業内訳】

事務局費総務 173,594千円 学校システム管理事業21,981千円 学校安全対策事業 4,085千円 入学準備金貸付事業 8,437千円

【一般財源増加理由】 会計年度任用職員の報酬単価・期末手当の増と学校事務のサポート(学校事務員)1名増による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	15,780	通学区審議(15人×2回)、パートタイム会計年度任用職員報酬(教育指導員4人、学校事務員2人、一般事務員2人)	12	委託料	5,206	入学通知作成、産業廃棄物処理/センターサーバ・図書館システム管理保守
02	給料	71,208	教育長給与、一般職給与	13	使用料及び賃借料	16,983	センターサーバ・図書館システムリース料、安全連絡網配信システム使用料
03	職員手当等	38,912	教育長諸手当、一般職諸手当、パートタイム会計年度任用職員諸手当(教育指導員4人、学校事務員2人、一般事務員2人)	14	工事請負費	770	通学路標識設置工事、緊急地震速報受信装置設置工事
04	共済費	22,827	教育長共済組合、一般職共済組合	17	備品購入費	275	緊急地震速報受信装置
07	報償費	3,170	講演会等講師謝礼、就学相談員・調査員謝礼等、委員会出席謝礼、通学路交通安全部会/通学路交通安全部会関連謝礼	18	負担金補助及び交付金	17,742	小中学校校長会等負担金、各種大会等出場補助金、私立高等学校運営補助金等
08	旅費	546	職員研修、講演会講師/パートタイム会計年度任用職員通勤費(教育指導員4人、学校事務員2人、一般事務員2人)	20	貸付金	5,100	高校、専門学校、短大、大学の入学準備金
10	需用費	2,875	事務用消耗品、公用車用消耗品、中学生議会用消耗品、就学相談用品、交通安全対策用消耗品、参考図書、通学路安全マップ、公用車修繕、無線通報システム修繕、交通安全標識修繕、安全マップ印刷、緊急無線通報システム修繕ほか	24	積立金	3,337	入学準備金貸付基金、貸付基金利子
11	役務費	3,296	電話料、公用車車検手数料、自賠責保険、害虫駆除/インターネット回線通信料、フレッツ光利用料、プロバイダ料金ほか	26	公課費	70	自動車重量税(公用車)

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	入学準備金貸付事業	高校や大学等への入学に要する費用の支出が困難な家庭に対して入学準備金の貸し付けを無利子で行い、未来を担う人材の育成に寄与する。	20	貸付金	5,100
				24	積立金	3,337
					計	8,437
2					計	0

重点施策	—	コード	011301200	予算書ページ	284
		課・係等	学校教育課 教育指導室		

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110020	学校支援員配置事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	175,778	1,148	0	0	0	174,630
前年度	146,040	607	0	0	0	145,433
増減額	29,738	541	0	0	0	29,197

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	小中学校看護師配置事業補助金	1,148							

【目的・効果】
【目的】
 ・障害者差別解消法の施行に加え、インクルーシブ教育の浸透によるよりきめ細やかな支援について保護者からの要望が高くなっている。加えて医療的ケアの必要な児童を受け入れている学校もある。そこで各学校に医療支援員を含む支援員を配置することにより、集団不応や心身障がい児等、配慮を要する児童・生徒への支援や教科指導を充実させる。また、スクールカウンセラー等を派遣し、教育相談の充実を図る。
【効果】
 ・教諭を補助的に支援することにより、指導内容が広がるとともに、少人数による行き届いた指導が可能となる。
 ・個々の児童・生徒に応じた指導や支援により、安全で適切な教育が実現する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・学校配置支援員(特別支援学級支援、障がい児支援、中間教室、学力向上支援、医療支援)については、市内17校の学校長ヒアリングを実施し、審議の上で配置(任務及び人数と時間数)を決定している。また支援員のスキルアップを図るために研修会を年3回実施。
 ・スクールカウンセラーについては、県からの派遣のみでは対応できない学校に市から派遣し、全学校に配置できるようにしている。
 ・小・中学校の実情や要望により障がい児等指導相談員を派遣し、教職員や保護者への支援・助言・相談を実施。
 ・放課後学習室は、全小・中学校で放課後に実施。校長会と連携し指導者を派遣。
 ・日本語学習支援事業は、外国籍等の理由から日本語支援の必要な児童生徒に対して、支援員を派遣。

【詳細事業内訳】
 学校支援員配置事業175,778千円

【一般財源増加理由】 会計年度任用職員の報酬単価・期末手当の増、コミュニティスクール事業から一部移管による謝礼の増による

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	137,808	学校配置支援員、スクールソーシャルワーカー、不登校支援コーディネーター賃金				
03	職員手当等	27,801	学校配置支援員、スクールソーシャルワーカー、不登校支援コーディネーター期末手当				
07	報償費	5,902	スクールカウンセラー、障がい児等指導相談員、放課後学習室支援員、日本語学習支援事業支援員、謝礼				
08	旅費	4,231	支援員等の職員通勤費、スクールカウンセラー等旅費				
10	需用費	36	放課後学習室用品				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	学校支援員配置事業	年々増加する発達障がいや医療支援員等の身体的な配慮を要する児童・生徒に、支援員による個別対応を行うことで、当該児童・生徒の安定した生活や周りの児童・生徒の落ち着いた環境を作り、学校全体の生活力・学力の向上を図る。	01	報酬	137,808
				03	職員手当等	27,801
				07	報償費	5,902
				08	旅費外	4,267
					計	175,778
2					計	0

予算書ページ	286
--------	-----

重点施策	(4)	コード	011301400
		課・係等	学校教育課 学校教育係

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110025	コミュニティスクール事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,105	0	0	0	4,000	4,105
前年度	15,272	0	4,704	0	0	10,568
増減額	△ 7,167	0	△ 4,704	0	4,000	△ 6,463

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	19	ふるさと寄附基金繰入金	4,000							

【目的・効果】
 学校・地域・家庭が一体となり、子どもを育てる連携体制の強化を図り、児童・生徒の育成環境の充実に向け、開かれた学校づくりを進め子ども達の「生きる力」を育む学校教育を推進する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・学校支援プログラムによるボランティア派遣の実施。
 [学習活動][子ども安全見守り][総合的な学習・読書活動][環境整備][課外活動・部活動][障がいのある児童・生徒支援][不登校の児童・生徒支援]
 ・実行委員会による学校支援の企画、事業評価の実施。
 ・地域教育協議会による学校運営の理解、参画、学校支援、学校関係者評価の実施。
 ・地域コーディネーター及びボランティア養成講座の開催。
 ・立志塾の開催支援。
 ・子どもと保護者を対象とした安全対策講習会の実施。

【詳細事業内訳】
 コミュニティスクール事業 8,105千円

【一般財源増加理由】		主な内容		主な内容	
節	節名称	金額	節	節名称	金額
07	報償費	7,015			
10	需用費	15			
11	役務費	315			
12	委託料	760			

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	コミュニティスクール事業	地域住民による学校応援隊と協力して、地域とともにある開かれた学校の実現を目指す。	07	報償費	7,015
				12	委託料	760
				11	役務費	315
				10	需用費	15
					計	8,105
2						
					計	0

予算書ページ	286
--------	-----

重点施策	—	コード	011301200
		課・係等	学校教育課 教育指導室

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110030	教育支援センター運営事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	11,543	国支出金	県支出金	市債	その他	11,543
前年度	10,891	0	0	0	0	10,891
増減額	652	0	0	0	0	652

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

平成28年4月より「教育支援センター」を開設し、「適応指導教室」と「教育相談室」を設置。
 ○適応指導教室
 【目的】学校に行けない不登校や不登校傾向の児童・生徒が通い、適応指導等をうけながら学校復帰を目指す。
 【効果】不登校児童・生徒の引きこもりを防止できる。活動の場、学習の場を保障できる。学校との連携により、登校を目指す意識が家庭(保護者、児童・生徒)に芽生え、登校できる児童・生徒が増える。
 ○教育相談室
 【目的】児童・生徒や保護者、教職員等の、子育てや学校生活、関わり方他の教育全般に関する相談を行なう。
 【効果】適応指導教室とも連携して学校不適応に対応できる。また、児童・生徒、保護者、教職員等からの幅広い相談に対応し、家庭・学校生活を充実したものとするための支援ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

教育支援センターの運営費用を支出する。
 ○適応指導教室
 指導員5名で、通室する児童・生徒の対応、保護者や在籍校、関係者との支援会議等に対応する。学校とも連携しながら児童・生徒と関わり、指導することで児童・生徒はエネルギーをため、学校復帰を目指すための準備、土台固めをする。開室は原則として学校の登校日とし、夏季休暇中は生活リズムを整えることを目的に、休暇の始まりと終わりに数日間特別開室する。
 ○教育相談室
 相談員3名で、電話相談・面接相談、児童・生徒の支援を検討するための検査を実施する。

【詳細事業内訳】

教育支援センター運営事業 11,543千円

【一般財源増加理由】 会計年度任用職員の報酬単価・期末手当の増による

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	8,168	指導員・相談員(常勤)6名賃金				
03	職員手当等	1,277	指導員・相談員(常勤)6名期末手当				
07	報償費	1,585	相談員2名謝礼、実習講師謝礼				
08	旅費	155	職員通勤費、研修会参加等での旅費				
10	需用費	210	消耗品(施設管理・実習、指導用教材)、施設小破修繕				
11	役務費	148	電話料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	教育支援センター運営事業	不登校、あるいは不登校傾向にある児童・生徒にとって学校との中間的な役割を果たすことで学校への復帰を促す。また、面談等によって未就学家庭も含め、子育てや学校生活他の教育に関わる相談を幅広く受け付け、内容に応じて学校・関係機関に繋ぐ等、必要な支援を行う。	01	報酬	8,168
				07	報償費	1,585
				03	職員手当等	1,277
				10	需用費外	513
					計	11,543
2						
					計	0

重点施策	—
------	---

コード	011301300
課・係等	学校教育課 学校庶務担当

予算書ページ	286
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110035	学校バス運行事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	96,675	0	0	0	0	96,675
前年度	95,203	0	0	0	0	95,203
増減額	1,472	0	0	0	0	1,472

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

スクールバス運行事業
 小学校において、通学距離が片道4km以上になる遠距離通学児童の交通手段を確保するため、スクールバスを運行する。

学校行事バス運行事業
 小・中学校の校外活動などの学校行事の際、児童・生徒の送迎を行い、保護者の負担軽減を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

スクールバス運行事業
 市バスと業者バスを併用してスクールバスを運行する。また、豊科大口沢地域においてはスクールタクシーを運行する。

学校行事バス運行事業
 1学年1行事分の児童・生徒の送迎を市が負担することとし、市が所有するバスや民間業者から借り上げたバスを使用する。運行業務料やバスの借り上げ料を計上する。

【詳細事業内訳】

学校行事バス運行事業 10,836千円 スクールバス運行事業 85,839千円

【一般財源増加理由】 市バスの台数減少により民間業者からの借り上げ台数が増えることが見込まれるため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
10	需用費	2,419	バス関連消耗品、燃料費、修繕費				
11	役務費	504	車検等点検手数料、自賠責保険料				
12	委託料	87,773	スクールバス運行業務委託				
13	使用料及び賃借料	5,850	行事バス借り上げ料				
26	公課費	129	自動車重量税				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—
------	---

コード	011301300
課・係等	学校教育課 学校庶務担当

予算書ページ	290
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	03	住宅管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110040	教職員住宅運営事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,272	0	0	0	4,272	0
前年度	3,970	0	0	0	3,970	0
増減額	302	0	0	0	302	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	教員住宅貸付料	4,260							
21	その他雑入(学校教育課)	12								

【目的・効果】
県内各地から安曇野市立学校に配属された教職員の赴任に要する住宅を整備することにより、教職員の勤務(居住)環境の充実を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
・住宅の保守・点検・修繕により居住環境を整える。
・老朽化して賃貸に不適となった住宅の所管換えを行い、管理戸数の適正化を図る。

【詳細事業内訳】
教職員住宅運営事業 4,272千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
10	需用費	2,284	管理用消耗品、住宅修繕、電気料							
11	役務費	206	点検・清掃作業							
12	委託料	440	排水設備清掃、消防設備等点検							
14	工事請負費	1,342	住宅営繕工事							

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策	—	コード	011301500	予算書ページ	290
		課・係等	学校教育課 学校給食担当		

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	04	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110045	給食センター総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	173,602	0	0	0	0	173,602
前年度	150,512	0	0	0	0	150,512
増減額	23,090	0	0	0	0	23,090

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・市内4か所の学校給食センターの運営を円滑に実施する。
【効果】
 ・人件費等学校給食の全体監理に係る事業費であり、職員への衛生管理・安全作業を徹底し安全安心でおいしい給食を提供する。
 ・学校給食費の口座振替を推進する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・学校給食センター運営委員会の運営
 ・安全な食材への取り組み(放射性物質検査)
 ・学校給食提供非常勤職員雇用管理
 ・学校給食栄養士の資質向上
 ・学校給食費の徴収
 ・会計年度任用職員制度による手当等の増により前年度予算を上回る。

【詳細事業内訳】
 学校給食費徴収事業 960千円 給食センター総務費 172,642千円

【一般財源増加理由】 会計年度任用職員制度の導入による諸手当等が増額になったため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	110,554	学校給食センター運営委員会、給食調理員外	12	委託料	555	給食費会計監査資料作成業務
02	給料	18,550	職員	13	使用料及び賃借料	106	ノートパソコン借上料
03	職員手当等	33,599	職員	18	負担金補助及び交付金	56	長野県学校栄養職員部会負担金外
04	共済費	5,707	職員				
08	旅費	3,515	職員				
10	需用費	205	督促状、再振通知書等印刷外				
11	役務費	755	システム回線通信料外				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—		コード	011301500		予算書ページ	292
			課・係等	学校教育課 学校給食担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち	
	目	04	給食センター費		基本施策	学校教育の充実	
	事業	0110050	北部給食センター費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	43,456	0	0	0	14	43,442
前年度	53,020	0	0	0	14	53,006
増減額	△ 9,564	0	0	0	0	△ 9,564

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	食用廃油売渡し収入	14							

【目的・効果】
【目的】
 ・管内の小・中学校へ学校給食を安定的に提供できるよう施設及び環境を整備する。
【効果】
 ・穂高南小学校・穂高北小学校・穂高西小学校・穂高東中学校・穂高西中学校へ、安全安心でおいしい給食を提供する。
 ・食育の推進、地産地消の推進等の継続充実を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 [北部学校給食センター]
 (1)対象校:穂高南・北・西小学校、穂高東・西中学校
 (2)用地:安曇野市穂高9747番地(5,991.02㎡)
 (3)概要:鉄骨造一部二階建て 延床面積2,091.65㎡
 (4)県築年:平成24年1月31日竣工(4月1日稼働)
 (5)規模等:最大3,500食(H30.4.1現在2,830食)
 オール電化施設

【詳細事業内訳】
 北部給食センター管理運営費 43,456千円

【一般財源増加理由】		主な内容		主な内容	
節	節名称	金額	節	節名称	金額
10	需用費	26,878			
11	役務費	1,596			
12	委託料	13,561			
13	使用料及び賃借料	209			
17	備品購入費	1,125			
26	公課費	87			

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	コード	011301500
		課・係等	学校教育課 学校給食担当

予算書ページ	292
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	04	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110055	堀金給食センター費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	26,255	0	0	0	2	26,253
前年度	22,330	0	0	0	2	22,328
増減額	3,925	0	0	0	0	3,925

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	食用廃油売渡し収入		2						

【目的・効果】

目的
 ・堀金学校給食センターが、管内の小・中学校へ安定的に学校給食を提供できるように施設及び調理環境を整備する。
 効果
 ・堀金小学校・堀金中学校へ安全安心でおいしい給食を提供する。
 ・食育の推進、地産地消の推進等を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ①対象校:堀金小学校・堀金中学校
- ②用 地:安曇野市堀金烏川3000番地
- ③施設概要:鉄骨造1階建て 延床面積752㎡
- ④建築年:平成17年3月23日(竣工)
- ⑤調理規模:最大1,100食 (H31.4月現在:870食、2校28クラス分)
- ⑥公用車等:配送コンテナ車:1台(配送業務は直営で実施)、軽貨物車:1台
- ⑦付帯設備:特になし
 ・学校給食提供に伴う施設及び物品等の整備による調理環境維持・ボイラー等の点検整備委託を行う。

【詳細事業内訳】

堀金給食センター管理運営費 26,255千円

【一般財源増加理由】	給食センター施設の老朽化や食缶等の備品劣化等に伴い、消耗品(エアコンフィルター:1,125千円)、燃料費(781千円)、光熱水費(597千円)物品修繕費(855千円)、備品購入費(360千円)の増加に加え、単価上昇による手数料等(223千円)が増加したため										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
10	需用費	18,766	調理・洗浄用消耗品、灯油等燃料費、食糧費、センター施設小破修繕費、電気料等光熱水費、厨房機器及び配送車等物品修繕費								
11	役務費	1,273	電話等通信運搬費、給食従事者保菌検査・食品検査・厨房清掃等手数料、配送車・軽貨物車車検代及び自賠責保険料								
12	委託料	5,121	機械設備保守点検業務・厨房機器保守点検業務等管理委託料、一般廃棄物収集運搬業務委託料								
13	使用料及び賃借料	180	コピー機等借上料及びコピー使用料								
17	備品購入費	869	検査室用冷凍冷蔵庫、保温食缶等備品購入費								
26	公課費	46	配送コンテナ車及び軽貨物車重量税								

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	294
--------	-----

重点施策	—	コード	011301500
		課・係等	学校教育課 学校給食担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	04	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110060	中部給食センター費			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	43,691	0	0	410	43,281
前年度	45,550	0	0	409	45,141
増減額	△ 1,859	0	0	1	△ 1,860

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	太陽光発電売電収入	400							
21	食用廃油売渡し収入	10								

【目的・効果】
【目的】
 ・所管する小・中学校へ安全安心でおいしい給食を提供できるように施設及び環境を整備する。
【効果】
 ・所管する小・中学校7校へ安全安心でおいしい給食の提供
 ・食育の推進、地産地消等

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ①対象校 豊科北小、豊科東小、明北小、明南小、豊科北中、豊科南中、明科中
 ②施設概要 鉄骨一部2階建て 延床面積1,951㎡
 ③建築年 平成19年8月1日(竣工)
 ④調理規模 1日約2,250食、7校75クラス
 ⑤公用車等 給食配送車3台、軽自動車1台
 ⑥付帯設備 太陽光発電システム90kw

【詳細事業内訳】
 中部給食センター管理運営費 43,691千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
10	需用費	26,813	調理器具、洗剤、燃料費、光熱水費外						
11	役務費	2,346	保菌検査、食費衛生物検査外						
12	委託料	14,263	施設設備保守点検業務、給食運搬車運転業務外						
13	使用料及び賃借料	188	コピー機借上料及び使用料外						
26	公課費	81	自動車重量税						

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	294
--------	-----

重点施策	—	コード	011301500
		課・係等	学校教育課 学校給食担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	04	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110065	南部給食センター費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	48,591	0	0	0	510	48,081
前年度	44,827	0	0	0	410	44,417
増減額	3,764	0	0	0	100	3,664

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	太陽光発電売電収入	500							
21	食用廃油売渡し収入	10								

【目的・効果】
【目的】
 管轄校(豊科南小学校・三郷小学校・三郷中学校)へ学校給食が安定的に供給できるように環境を整備する。
【効果】
 管轄内の小・中学校へ安全安心でおいしい給食の提供
 児童・生徒への食育の推進
 地産地消の推進

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ①対象校 豊科南小、三郷小、三郷中
 ②用地 三郷明盛84番地2
 ③施設概要 鉄骨造一部2階建
 ④竣工年月日 平成19年7月25日
 ⑤調理規模 最大3,000食(H31.4月現在2,300食、68クラス)
 ⑥公用車等 配送コンテナ車2台 軽貨物車1台
 ⑦付帯施設 太陽光システム 90kw

【詳細事業内訳】
 南部給食センター管理運営費 48,591千円

【一般財源増加理由】 施設の老朽化や器具保管庫等の備品補充に伴う、施設修繕費(1,895千円)、物品修繕費(1,381千円)、工事請負費(732千円)、備品購入費(1,867千円)の増加に加え、給食配送車2台の冬用タイヤ購入により消耗品費(4,237千円)が増加したため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
10	需用費	30,683	調理器具等洗浄関係消耗品、配送車冬用タイヤ、作業着、光熱水費、施設修繕、厨房機器等の修繕 外				
11	役務費	2,292	給食用麺・パン輸送費、職員保菌検査手数料 外				
12	委託料	12,758	施設設備、厨房機器の保守点検委託料 外				
13	使用料及び賃借料	209	コピー機等借上げ及び使用料 外				
14	工事請負費	732	荷受室仕切カーテン等設置及びエアコン設置工事 外				
17	備品購入費	1,867	サラダ室器具保管庫、調理室片袖運搬車				
26	公課費	50	自動車重量税				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—		コード	011301400		予算書ページ	288
			課・係等	学校教育課 学校教育係			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち	
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実	
	事業	0110070	学校保健事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	36,213	0	0	0	0	36,213
前年度	36,456	0	0	0	0	36,456
増減額	△ 243	0	0	0	0	△ 243

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

学校における児童・生徒の健康保持推進と疾病を予防するために学校保健安全法及び同法施行規則に基づき、毎年定期的に健康診断を実施する。教職員の健康診断及びカウンセリング事業を推進するほか、ストレスチェックを実施することにより心身の健康管理も進める。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童・生徒については、学校医による健康診断(内科、耳鼻科、歯科、眼科)を実施するほか、尿、心臓、血液の検査を実施する。
- ・教職員については、健康診断及びストレスチェックの推進を行うほか、必要に応じてカウンセリングも実施する。

【詳細事業内訳】

小学校保健指導事業費 19,858千円 教職員健康推進事業 5,622千円 中学校保健指導事業費 10,733千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	14,011	小学校学校医、中学校学校医	17	備品購入費	330	オージオメータ
07	報償費	4,098	学校管理医、就学時健康診断医師、歯科指導、養護教諭補助看護師ほか				
08	旅費	22	健康診断事務				
10	需用費	601	知能検査用紙、環境衛生用品、保健記録カード印刷、健診器具修繕ほか				
11	役務費	13,117	各種検査手数料、オージオメータ検査、水質検査ほか				
12	委託料	4,028	教職員カウンセリング・ストレスチェック事業、教職員健康診断、結核健康診断精密検査				
13	使用料及び賃借料	6	心臓検診送迎用タクシー				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—		コード	011301100・011301300・011301400		予算書ページ	296
			課・係等	学校教育課 教育総務係・学校庶務担当・学校教育係			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	02	小学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち	
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実	
	事業	0110075	小学校総務管理費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	370,580	0	0	0	62,095	308,485
前年度	290,707	0	0	0	95	290,612
増減額	79,873	0	0	0	62,000	17,873

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	公共施設目的外使用料(学校教育課)	80							
19	ふるさと寄附基金繰入金	62,000								
21	小学校公衆電話料	10								
21	その他雑入(学校教育課)	5								

【目的・効果】

学校運営に必要な経費のうち、小学校の総括した予算を計上することで児童が安全安心な学校生活を行える環境を整えらるとともに、各学校へ個別の予算を計上することで学校の実情に応じたきめ細やかな対応を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・会計年度任用職員(学校事務員、学校司書、庁務員)の報酬、手当、旅費費用弁償(通勤費)の支払い。
- ・学校教育や教員のスキルアップに必要な講演会等を行うための経費を計上。
- ・学校運営や施設維持のために必要な経費の計上。
- ・学校に必要な備品購入にかかわる経費を計上。
- ・教育用パソコンの更新等を行い、情報機器(ICT)を活用したわかりやすい授業の推進を図る。
- ・校務用パソコンや管理ソフトウェアの更新、維持を行い、学校教職員の事務処理に係る負担軽減を図る。
- ・普通教室に電子黒板他の機器を導入し、授業での活用を図る。

【詳細事業内訳】

堀金小学校総務管理費 14,316千円 豊科南小学校総務管理費 17,040千円 豊科東小学校総務管理費 10,251千円 小学校総務管理費 112,554千円 豊科北小学校総務管理費 15,304千円 明北小学校総務管理費 6,590千円 穂高南小学校総務管理費 17,017千円 穂高北小学校総務管理費 17,911千円 穂高西小学校総務管理費 14,604千円 明南小学校総務管理費 9,820千円 小学校情報教育推進事業 107,688千円 三郷小学校総務管理費 27,485千円

【一般財源増加理由】		令和元年度に整備した空調設備稼働に伴う電気料の増									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	53,035	パートタイム会計年度任用職員報酬(学校事務、学校司書、学校庁務員)			13	使用料及び賃借料	43,346	コピー機・学校用地・学校田・畑・行事用盆栽借上料、コピー・タクシー使用料、校用パソコンリース料		
03	職員手当等	11,277	パートタイム会計年度任用職員手当(学校事務、学校司書、学校庁務員)			17	備品購入費	82,869	電子黒板、管理備品(印刷機、コピー機、消火栓ホース、温風暖房機、机、椅子、テント、テーブル、プロジェクター、拡大機等		
07	報償費	2,796	講演会・講習会等講師謝礼、卒業記念品等			18	負担金補助及び交付金	9,347	防火管理者協議会・学校災害共済・図書館司書研修会・土地改良区負担金等		
08	旅費	2,387	市費非常勤職員、講演会等講師等、パートタイム会計年度任用職員旅費(費用弁償・通勤費)(学校事務・司書・学校庁務員)								
10	需用費	127,077	校用消耗品、燃料費、来客用食糧費、小破修繕費、光熱水費、印刷製本費、物品・情報機器等修繕費								
11	役務費	10,374	電話料、切手代、学校清掃、モップマット交換、楽器調整、クリーニング代、家電リサイクル料等								
12	委託料	28,072	学校警備、電気工作物保安管理、消防・防火設備点検、エレベーター保守、プール施設、温風暖房機保守、ごみ処理、樹木伐採・剪定、芝生管理、情報機器セキュリティ設定管理・ソフトウェア更新等								

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	小学校情報教育推進事業	パソコンやソフトウェア等の更新と時代に適した機器の導入を行い、ICT機器を活用した分かりやすい授業の推進と教職員の業務に係る負担軽減を図り、子どもたちに高度情報化の進んだ社会に適応できるよう教育環境を整備する。	17	備品購入費	62,587
				13	使用料及び賃借料	36,071
				18	負担金補助及び交付金	4,662
				12	委託料外	4,368
					計	107,688
2					計	0

重点施策	—		コード	011301200・011301300・011301400		予算書ページ	298
			課・係等	学校教育課 教育指導室・学校庶務担当・学校教育係			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	02	小学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち	
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実	
	事業	0110130	小学校教育振興費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	121,697	3,368	0	0	0	118,329
前年度	156,280	2,608	294	0	10,000	143,378
増減額	△ 34,583	760	△ 294	0	△ 10,000	△ 25,049

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	要保護児童生徒援助費補助金		11						
15	特別支援教育就学奨励費補助金		2,557							
15	理科教育設備整備費補助金		800							

【目的・効果】
 教育振興に関わる経費のうち、総括した予算を計上することで、教育活動の推進や設備の充実を図るとともに、各学校へ個別の予算を計上することで学校の実情に応じた教材や備品の整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・学力検査や体力テスト、ハイパーQU検査を行うための経費を計上。
 ・吹奏楽の楽器等の修理や購入費用を計上。
 ・各学校個別に必要とする教科用消耗品及び備品、図書購入費を計上。
 ・外国語指導講師を配置し、児童の外国語活動、国際理解教育を進める。
 ・要保護・準要保護児童への就学援助費の支給及び特別支援教育就学援助費の支給。(教育基本法第4条第3項並びに学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって就学が困難と認められる児童の保護者に対し、就学援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的として行う。)

【詳細事業内訳】
 豊科北小学校教育振興費 3,277千円 穂高北小学校教育振興費 3,764千円 小学校外国語指導講師配置事業 7,941千円 小学校教科用指導書等購入事業 7,941千円 豊科東小学校教育振興費 1,865千円 穂高西小学校教育振興費 2,773千円 三郷小学校教育振興費 4,594千円 堀金小学校教育振興費 3,050千円 豊科南小学校教育振興費 3,743千円 小学校教育振興費 7,648千円 穂高南小学校教育振興費 3,417千円 明南小学校教育振興費 2,098千円 小学校就学援助事業 47,329千円 明北小学校教育振興費 1,689千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	6,457	パートタイム会計年度任用職員(外国語教育コーディネーター)	18	負担金補助及び交付金	30	英語教育指導研修会参加負担金
03	職員手当等	1,381	パートタイム会計年度任用職員期末手当(外国語教育コーディネーター)	19	扶助費	47,329	要保護・準要保護就学援助費、特別支援教育就学奨励費
08	旅費	394	パートタイム会計年度任用職員通勤費、旅費(外国語教育コーディネーター)				
10	需用費	24,405	教材用資料、吹奏楽等楽器修繕費、英語指導教材、教師用教科書・指導書				
11	役務費	4,799	標準学力検査、ハイパーQU検査、体力テスト				
12	委託料	20,036	外国語指導助手派遣業務、外国語活動研修業務				
17	備品購入費	16,866	教科用備品、児童用図書、楽器				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	小学校外国語指導講師配置事業	新学習指導要領の実施に伴う英語教育の充実のため、外国語コーディネーター及び外国人外国語指導講師(ALT)を配置し、児童の国際的視野の育成とコミュニケーション能力の素地を養うと共に、英語教科化に対応した教職員の研修を実施する。	12	委託料	20,036
				01	報酬	6,457
				03	職員手当等	1,381
				08	旅費外	635
					計	28,509
2					計	0

重点施策	(4)	コード	011301200	予算書ページ	300
		課・係等	学校教育課 教育指導室		

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	02	小学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110185	通級指導教室事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	578	0	0	0	0	578
前年度	394	0	0	0	0	394
増減額	184	0	0	0	0	184

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・通級による指導は平成5年に制度化され、18年には学校教育法施行規則が改正され、対象の障がいも広がった。それを受け、本市でも小学校の通常学級に在籍していて、言語障がい・学習障がい等の障がいをもつ児童のうち、比較的軽度の障がいがある児童に対して、通級による取り出し指導を行なう。
【効果】
 ・言語障がい(ことばの教室)、学習障がい等(まなびの教室)の教室を運営し、個に応じた専門性の高い指導支援ができる。また、在籍校(学級)と家庭をつなぐ支援ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【施設概要 等】
 ・設置校:穂高北小学校(設置主体:県)
 ・ことばの教室職員体制:県教員1名
 ・まなびの教室職員体制:県教員2名、市費補助指導員2名
 ・指導・支援拡充のため、令和2年度から県教員1名が兼務による、まなびの教室のサテライト教室を三郷小学校に開設・運営する。
【事業概要】
 ・通級の可否を判定する運営委員会の開催。
 ・市費補助指導員への賃金の支払い。
 ・各教室運営のための教材等の整備。

【詳細事業内訳】
 小学校通級指導教室事業 578千円

【一般財源増加理由】 サテライト教室開設による教材等需用費の増、会計年度任用職員の報酬単価の増による

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	289	補助指導員賃金				
08	旅費	8	補助指導員通勤費				
10	需用費	267	教室運用消耗品(指導用教材等)				
17	備品購入費	14	指導用備品				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	小学校通級指導教室事業	県費加配担当教員に加えて市費補助指導員を配置し、個別対応やグループソーシャルスキルトレーニングを行うことで、コミュニケーションスキルを向上させるとともに、個々の障がいによる学びにくさの解消を図る。	01	報酬	289
				10	需用費	267
				17	備品購入費	14
				08	旅費	8
					計	578
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	011301300
課・係等	学校教育課 学校庶務担当

予算書ページ	302
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	02	小学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110190	小学校施設維持修繕事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	41,793	0	0	0	0	41,793
前年度	43,008	0	0	0	0	43,008
増減額	△ 1,215	0	0	0	0	△ 1,215

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
小学校10校の施設を修繕することにより、安全安心な学校生活ができる環境を提供できるとともに、施設の長寿命化を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
○小学校10校の施設の修繕・改修工事の実施
○安全点検の実施(遊具、他)

【詳細事業内訳】
小学校施設維持修繕事業 41,793千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
10	需用費	13,093	管理用消耗品、施設修繕						
11	役務費	555	施設点検・清掃作業、建築物定期検査						
12	委託料	6,283	除草等作業(シルバー人材)、施設台帳作成、排水管清掃、設計・監理業務、建築物定期検査						
13	使用料及び賃借料	110	作業用重機借上						
14	工事請負費	21,693	施設営繕工事						
15	原材料費	59	駐車場補修用砕石						

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	011301300
課・係等	学校教育課 学校庶務担当

予算書ページ	302
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	02	小学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110195	小学校施設改修事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	57,373	0	0	0	0	57,373
前年度	652,939	94,825	0	167,900	220,000	170,214
増減額	△ 595,566	△ 94,825	0	△ 167,900	△ 220,000	△ 112,841

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
 ・小学校施設について、国が示す耐震性能を確保することで、安全安心な施設環境を提供できる。
 ・老朽化した施設を改修することで、施設全体の長寿命化を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 【防災機能強化】
 コンクリートブロックの非構造部材の改修工事の実施
 ・設計: 豊科東小学校渡り廊下コンクリートブロック改修工事
 ・工事: 穂高西小学校渡り廊下コンクリートブロック改修工事
- 【長寿命化改良】
 老朽化した校舎の長寿命化対策と老朽化対策工事の実施
 ・設計: 豊科南小学校長寿命化改良工事
- 【その他の工事】
 校舎屋根裏に堆積したハトのフンの除去工事の実施
 ・工事: 穂高南小学校ハトフン除去工事

【詳細事業内訳】
 豊科東小学校施設改修事業 424千円 穂高南小学校施設改修事業 31,022千円 穂高西小学校施設改修事業 847千円 豊科南小学校施設改修事業 25,080千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
		12	委託料	26,243	工事設計、管理業務				
		14	工事請負費	31,130	コンクリートブロック改修工事、ハトフン除去工事				

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	防災機能強化(渡り廊下コンクリートブロック改修工事)	災害発生時に経路となる校内渡り廊下に使用されているコンクリートブロックの除去を行い、安全安心な施設環境を確保する。 (工事箇所: 豊科東小学校・穂高西小学校渡り廊下)	14	工事請負費	847
				12	委託料	424
					計	1,271
2	ハード	長寿命化改良	校舎の長寿命化対策(コンクリートの中性化対策等)の実施とともに老朽化対策を実施し、健全な施設環境を確保する (工事箇所: 豊科南小学校)	12	委託料	25,080
					計	25,080

重点施策	(4)	コード	01130100・011301300・011301400			
		課・係等	学校教育課 教育総務係・学校庶務担当・学校教育係			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	03	中学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110205	中学校総務管理費			

予算書ページ	302
--------	-----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	218,358	0	2,240	0	135	215,983
前年度	206,551	0	0	0	135	206,416
増減額	11,807	0	2,240	0	0	9,567

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	公共施設目的外使用料(学校教育課)	80	21	中学校公衆電話料	50				
16	中学校部活動指導員任用事業補助金	2,240								
21	その他雑入(学校教育課)	5								

【目的・効果】

学校運営に必要な経費のうち、中学校の総括した経費を計上することで、生徒が安全安心な学校生活を行える環境を整えるとともに、各学校へ個別の予算を計上することで学校の実情に応じたきめ細やかな対応を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・会計年度任用職員(学校事務員、学校司書、庁務員)の報酬、手当、旅費及び費用弁償(通勤費)の支払い。
- ・学校教育や教員のスキルアップに必要な講演会等を行うための経費を計上。
- ・学校運営や施設維持のために必要な経費の計上。
- ・学校に必要な備品購入にかかわる経費を計上。
- ・教育用パソコンの更新、維持や電子黒板等の情報機器(ICT)を活用した分かりやすい授業の推進を図る。
- ・校務用パソコンや管理ソフトウェアの更新、維持を行い、学校教職員の事務処理に係る負担軽減を図る。

【詳細事業内訳】

中学校情報教育推進事業 54,813千円 豊科南中学校総務管理費 10,198千円 穂高西中学校総務管理費 13,738千円 穂高東中学校総務管理費 15,260千円 堀金中学校総務管理費 10,190千円 三郷中学校総務管理費 17,250千円 中学校総務管理費 76,969千円 豊科北中学校総務管理費 11,242千円 明科中学校総務管理費 8,698千円

【一般財源増加理由】 会計年度任用職員の報酬単価・手当の増、デジタル教科書ライセンス更新費用の増											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	37,411	パートタイム会計年度任用職員報酬(学校事務、学校司書、学校庁務員、部活動指導員)			13	使用料及び賃借料	40,953	学校用地/学校パソコン・電子黒板リース料		
03	職員手当等	7,250	パートタイム会計年度任用職員手当(学校事務、学校司書、学校庁務員)			17	備品購入費	22,484	学校管理備品(机・椅子、草刈り機、コピー機、石油温風暖房機等)/情報機器等		
07	報償費	3,769	講演会・講習会等講師謝礼、学校登山付添謝礼、卒業記念品			18	負担金補助及び交付金	2,651	防火管理者、学校災害共済等		
08	旅費	1,784	市費非常勤講師、パートタイム会計年度任用職員旅費(費用弁償:通勤費)(学校事務、学校司書、学校庁務員、部活指導員)								
10	需用費	73,640	校用消耗品、燃料費、小破修繕、光熱水費、印刷製本費、物品修繕/情報機器修繕								
11	役務費	8,625	電話料、楽器調整、クリーニング、各種清掃、モップマット交換等								
12	委託料	19,791	ごみ処理、学校警備、消防・防火設備等点検、電気工作物保安管理、エレベーター保守等/学校サーバ保守管理、セキュリティ設定管理、ソフトウェア更新、電子黒板研修講師派遣								

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	中学校情報教育推進事業	パソコンやソフトウェア等の更新、時代に適した機器の導入を行う。電子黒板等のICT機器を活用した分かりやすい授業を推進し、校務支援システムを活用して教職員の業務に係る負担軽減を図る。	13	使用料及び賃借料	37,396
				17	備品購入費	14,130
				12	委託料	2,517
				10	需用費	770
					計	54,813
2					計	0

重点施策	—		コード	01130200・011301300・011301400		予算書ページ	308
			課・係等	学校教育課 教育指導室・学校庶務担当・学校教育係			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	03	中学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち	
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実	
	事業	0110245	中学校教育振興費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	148,722	3,080	0	0	18,100	127,542
前年度	130,247	2,508	662	0	14,100	112,977
増減額	18,475	572	△ 662	0	4,000	14,565

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	要保護児童生徒援助費補助金	90	21	海外ホームステイ参加者負担金	2,100				
15	特別支援教育就学奨励費補助金	2,190								
15	理科教育設備整備費補助金	800								
19	ふるさと寄附基金繰入金	16,000								

【目的・効果】

教育振興に関わる経費のうち、総括した予算を計上することで教育活動の推進や設備の充実を図るとともに、各学校へ個別の予算を計上することで学校の実情に応じた教材や備品の整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・学力検査や体力テスト、ハイパーQU検査を行うための経費を計上。
- ・吹奏楽の楽器等の修理や購入費用を計上。
- ・各学校個別に必要な教科用消耗品及び備品の購入費用、図書購入費用を計上。
- ・外国語指導講師を配置し、中学校における英語教育の充実と国際理解を進める。
- ・英会話能力向上のための課外授業の実施。
- ・海外での語学(英語)体験を通じて、国際社会に対応できる人材の育成を図るための海外ホームステイ交流派遣事業の実施。
- ・要保護・準要保護児童への就学援助費の支給及び特別支援教育就学援助費の支給。(教育基本法第4条第3項並びに学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって就学が困難と認められる生徒の保護者に対し、就学援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的として行う。)

【詳細事業内訳】

中学生海外ホームステイ交流派遣事業 8,735千円 豊科北中学校教育振興費 4,210千円 中学校外国語指導講師配置事業 35,556千円 穂高西中学校教育振興費 4,371千円 中学校教育振興費 7,635千円 豊科南中学校教育振興費 3,887千円 明科中学校教育振興費 2,907千円 中学校就学援助事業 44,119千円 三郷中学校教育振興費 5,246千円 堀金中学校教育振興費 3,668千円 穂高東中学校教育振興費 4,898千円 中学校教科用指導書等購入事業 23,490千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	報償費	81	海外ホームステイ贈呈用記念品				
08	旅費	64	海外ホームステイ引率者旅費・実費弁償				
10	需用費	36,199	教科用消耗品、楽器修繕、海外ホームステイ体験作文集印刷製本				
11	役務費	3,320	学力検査、ハイパーQU検査、体力テスト				
12	委託料	44,081	外国語指導助手派遣業務、英語課外授業委託業務、海外ホームステイ交流派遣業務				
17	備品購入費	20,858	教育振興備品、生徒用図書、楽器、英語指導用資料				
19	扶助費	44,119	要保護・準要保護就学援助費、特別支援教育就学奨励費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	中学校外国語指導講師配置事業	英語教育の充実のため、外国人外国語指導講師(ALT)を各校に配置・活用し、生徒の国際的視野の育成とコミュニケーション能力の素地を養う。英会話を中心とした英語課外授業を各校で実施する。	12	委託料	35,556
					計	35,556
2						
					計	0

予算書ページ	308
--------	-----

重点施策	—	コード	011301200
		課・係等	学校教育課 教育指導室

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	03	中学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110250	中学校通級指導教室事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	69	0	0	0	0	69
前年度	138	0	0	0	0	138
増減額	△ 69	0	0	0	0	△ 69

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・第2次長野県特別支援教育推進計画により、小学校だけに開設されていた通級指導教室が平成29年度から中学校にも設置されるようになった。本市でも中学校の通常学級に在籍し、学習障がい・発達障がいなどの障がいをもつ生徒のうち、比較的軽度の障がいがある生徒に対して、通級による取り出し指導を行なう。
【効果】
 ・LD(Learning Disabilities/学習障がい)等通級指導教室(まなびの教室)を運営し、個に応じた専門性の高い指導支援ができる。また、在籍校(学級)と家庭をつなぐ支援ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【施設概要 等】
 ・設置校:穂高東中学校(設置主体:県)
 ・まなびの教室職員体制 県教員1名
【事業概要】
 ・通級の可否を判定する運営委員会の開催。
 ・各教室運営のための教材等の整備。

【詳細事業内訳】
 中学校通級指導教室事業 69千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
10	需用費	69	教室運用消耗品(指導用教室等)								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	中学校通級指導教室事業	個別の対応やグループソーシャルスキルトレーニングを行うことで、コミュニケーションスキルを向上させるとともに、個別の障がいによる学びにくさの解消を図る。	10	需用費	69	
					計	69	
2							
					計	0	

重点施策	—	コード	011301300
		課・係等	学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	03	中学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110285	中学校施設維持修繕事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	29,028	0	0	0	0	29,028
前年度	29,928	0	0	0	0	29,928
増減額	△ 900	0	0	0	0	△ 900

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
 ・中学校7校の施設を修繕することにより、安全安心な学校生活ができる環境を提供できるとともに、施設の長寿命化を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・中学校7校の施設の修繕・改修工事の実施

【詳細事業内訳】
 中学校施設維持修繕事業 29,028千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
10	需用費	7,131	管理用消耗品、施設修繕						
11	役務費	71	トイレ詰まり対応						
12	委託料	5,091	除草作業等(シルバー人材)、排水管清掃、設計・監理、建築物定期報告調査						
13	使用料及び賃借料	73	作業用重機借上げ						
14	工事請負費	16,603	施設営繕工事						
15	原材料費	59	駐車場補修用碎石						

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	310
--------	-----

重点施策	—	コード	011301300
		課・係等	学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	03	中学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110290	中学校施設改修事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20,672	2,777	0	5,400	0	12,495
前年度	2,146	0	0	0	0	2,146
増減額	18,526	2,777	0	5,400	0	10,349

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	学校施設環境改善交付金	2,777							
22	学校施設改修事業(防災・減災、国土強靱化緊急対策事業)	5,400								

【目的・効果】

・国が示す耐震性能を確保することで、安全安心な施設環境を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【防災機能強化】

屋内運動場におけるガラス飛散防止工事の実施設計
工事個所:豊科北中学校体育館

【老朽化対策】

渡り廊下・北校舎特別棟外壁改修工事
工事個所:穂高東中学校校舎

【プール大規模改修】

プール槽、ろ過機等の改修工事
工事個所:堀金中学校プール

【詳細事業内訳】

堀金中学校施設改修事業 2,016千円 豊科北中学校施設改修事業 10,197千円 穂高東中学校施設改修事業 8,459千円

【一般財源増加理由】 老朽化対策工事が新たに必要になったため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
12	委託料	2,753	工事設計・監理				
14	工事請負費	17,919	体育館ガラス飛散防止工事、渡り廊下・北校舎特別棟外壁改修工事				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	体育館ガラス飛散防止対策工事	屋内運動場におけるガラス飛散防止工事を実施することで、災害時の避難場所となる体育館の安全を確保することができる。 工事個所:豊科北中学校	12	委託料	275
				14	工事請負費	9,922
					計	10,197
2	ハード	西渡り廊下・特別教室北棟西面改修工事	雨漏りによる躯体の劣化を防ぐために渡り廊下の屋根の改修及び北校舎特別棟の西面外壁の劣化が著しいため改修を行い、施設の長寿命化を図る。 工事個所:穂高東中学校	12	委託料	462
				14	工事請負費	7,997
					計	8,459

重点施策	—		コード	011302100		予算書ページ	146
			課・係等	生涯学習課 社会教育担当			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	02	児童福祉費		基本方針	子どもが健やかに育つまち	
	目	02	児童館費		基本施策	青少年の健全育成	
	事業	0103260	児童館運営費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	216,930	15,019	15,019	0	42,523	144,369
前年度	210,927	16,059	16,059	0	41,231	137,578
増減額	6,003	△ 1,040	△ 1,040	0	1,292	6,791

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	児童クラブ負担金	42,522							
13	児童クラブ負担金滞納繰越分	1								
15	子ども子育て支援交付金	15,019								
16	子ども子育て支援交付金	15,019								

【目的・効果】

【目的】

・児童館、児童クラブ事業により、子育て支援を進めるとともに放課後の児童の安全・安心な居場所を提供する。

【効果】

・児童館事業として子育て支援事業を広く展開することにより、子どもの健全な発達と子育て世代の交流や子育て不安の解消を図る。
 ・児童クラブの開設により、保護者が安心して働ける環境づくりを行う。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・市内9児童館、11児童クラブを指定管理制度による指定管理委託により運営する。
 ・児童クラブの6年生までの受入れ拡大や、入所要件緩和に向けた検討を進める。

【詳細事業内訳】

児童館運営事業(民間委託事業) 216,930千円

【一般財源増加理由】 指定管理委託料の増額のため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	1,679	会計年度任用職員報酬				
03	職員手当等	364	会計年度任用職員諸手当				
10	需用費	1,229	児童クラブ消耗品、修繕費				
12	委託料	213,035	児童館、児童クラブ指定管理委託料				
13	使用料及び賃借料	478	児童館用地借地料				
17	備品購入費	145	児童館備品購入費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	児童館運営事業(民間委託事業)	児童館での子育て支援事業により、子どもの健全な発達と子育て世代の交流を進め、子育て不安の解消を図る。児童クラブの開設により、児童に安全・安心な居場所の提供を行い、保護者が安心して働くことができる環境づくりができる。	01	報酬	1,679
				10	需用費	1,229
				12	委託料	213,035
				13	使用料及び賃借料外	987
					計	216,930
2						
					計	0

重点施策	—	コード	011302100
		課・係等	生涯学習課 社会教育担当

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	児童館費		基本施策	青少年の健全育成
	事業	0103270	児童館整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	35,852	0	0	33,900	0	1,952
前年度	583	0	0	0	0	583
増減額	35,269	0	0	33,900	0	1,369

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	22	児童館建設事業(特例債)	33,900							

【目的・効果】
【目的】
 ・子育て支援の充実を図るため、老朽化した穂高北部児童館の建替えによる環境整備を行う。
【効果】
 ・新たな児童館の建設に際し、これまでなかった園庭やプレールーム等の施設を整備することで、より充実した環境での子育て支援が可能になる。
 ・現在の穂高北部児童館は有明会館2階にあるが、新たに建設することで階段の上り下りの不便解消やバリアフリー化を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・建設用地の交渉を進め、用地を確保する。
 ・造成設計により、造成計画を立てるとともに、実施設計を行う。

【詳細事業内訳】
 穂高北部児童館整備事業 35,852千円

【一般財源増加理由】 地質調査、造成設計、用地取得費の新規増額のため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	役務費	77	印紙代 建築確認申請手数料				
12	委託料	29,375	地質調査、造成設計、実施設計				
16	公有財産購入費	6,400	用地取得費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	穂高北部児童館整備事業	老朽化した穂高北部児童館について、新たに用地を取得して新児童館を建設することで、子育て支援の充実と児童クラブの受入れの拡大を図る。	11	役務費	77
				12	委託料	29,375
				13	公有財産購入費	6,400
					計	35,852
2					計	0

重点施策	—		コード	011302100		予算書ページ	314
			課・係等	生涯学習課 社会教育担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち	
	目	01	社会教育総務費		基本施策	生涯学習の推進	
	事業	0110305	社会教育総務費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	305,899	0	0	0	0	305,899
前年度	311,012	0	0	0	0	311,012
増減額	△ 5,113	0	0	0	0	△ 5,113

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

○第2次総合計画の基本方針「学び合い人と文化を育むまち」を図るため、安曇野市教育大綱(安曇野市の教育)並びに第2次安曇野市生涯学習推進計画などの個別計画に基づく施策を進める体制などを統括する。
○施設長寿命化計画を策定し、各施設の維持保全の方向性を検討する。

【効果】

○市民や各種団体との連携・協力により生涯学習の推進体制を構築し、組織の充実・強化が図られる。
○第2次安曇野市生涯学習推進計画に基づく、生涯学習活動の展開が図られる。
○施設長寿命化計画策定により各施設の長寿命化が図られ、コスト縮減が期待される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

○社会教育に係る統括的総務事務を行う。
○社会教育に関する諸計画について、社会教育委員が審議する。
○第2次生涯学習推進計画(平成30年度～平成39年度)を生涯学習推進本部及び生涯学習推進市民会議とともに進捗管理、各種施策の検討等を行う。
○施設長寿命化計画策定予備調査で10力年の対応優先施設を絞り込み、改修・補修の計画立案を行う。

【詳細事業内訳】

社会教育総務事業 305,899千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	12,214	社会教育指導員、社会教育委員報酬	12	委託料	8,477	施設長寿命化計画策定予備調査業務、施設長寿命化計画作成業務、バス運転業務
02	給料	160,056		13	使用料及び賃借料	10	駐車場代、有料道路代
03	職員手当等	74,982		18	負担金補助及び交付金	32	社会教育委員連絡協議会負担金、関東甲信越静社会教育研究大会負担金
04	共済費	49,512					
07	報償費	91	生涯学習推進市民会議出席謝礼外				
08	旅費	363	社会教育指導員通勤費、関東甲信越静社会教育研究大会旅費外				
10	需用費	162	事務消耗品、参考図書				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	316
--------	-----

重点施策	—	コード	011302100
		課・係等	生涯学習課 社会教育担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110308	生涯学習推進費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,300	0	0	0	0	3,300
前年度	3,293	0	0	0	0	3,293
増減額	7	0	0	0	0	7

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ○第2次安曇野市生涯学習推進計画に掲げる基本理念「ふるさと安曇野をまるごと学びの場にして生きる」の実現に向けて施策を展開する。
【効果】
 ○市民の学習要望に応じて学習機会の充実が図れる。
 ○学習成果を活かし、支え合い認め合う協働のまちづくりが推進できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○安曇野アカデミーを開催し、安曇野市の歴史や文化・伝統を学ぶことで郷土愛を育む。
 ○市民大学講座、学校開放講座を開催し市民の学習機会を充実する。
 ○日本語教室を運営し、外国人住民への学習支援と日本語指導ボランティア講習会によりボランティアを育成する。
 ○芸術文化協会への補助金交付により運営を支援する。
 ○囲碁将棋大会実行委員会への補助金交付により大会を充実させる。
 ○安曇野市太鼓連盟外への補助金交付により生涯学習団体を育成する。

【詳細事業内訳】
 生涯学習講座実施事業 1,935千円 社会教育団体支援事業 1,365千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
07	報償費	583	各種講座講師謝礼外							
10	需用費	233	各種講座教材、ポスター・チラシ印刷							
11	役務費	629	市民大学講座特別編(時勢)講演料、手話通訳							
12	委託料	476	日本語教室運営業務、講座現地学習バス運行業務、市民大学講座特別編雑踏警備外							
13	使用料及び賃借料	14	市民大学講座特別編無線機借上げ							
18	負担金補助及び交付金	1,365	社会教育団体補助金(芸術文化協会、太鼓連盟、囲碁将棋大会外)							

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	安曇野アカデミー(生涯学習講座実施事業)	安曇野市の歴史や文化、伝統等について学ぶ機会を設けることで、安曇野の風土を見つめ、郷土愛を育む。また、得た知識を活用して安曇野の魅力を広く発信していけるよう「学習機会の充実」と「学びの成果を活かす」ことを目的として実施する。	07	報償費	80	
				10	需用費	49	
				12	委託料	73	
					計	202	
2					計	0	

重点施策	—	コード	011302100	予算書ページ	334
		課・係等	生涯学習課 社会教育担当		

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	05	社会教育費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	03	人権教育推進費		基本施策	人権の尊重
	事業	0110365	人権教育推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,849	0	85	0	0	4,764
前年度	7,124	0	85	0	0	7,039
増減額	△ 2,275	0	0	0	0	△ 2,275

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	人権教育促進事業補助金	85							

【目的・効果】
【目的】
 ○安曇野市人権教育・啓発推進計画の基本目標「人権を尊重し差別のない明るい住みよい安曇野市の実現」のため、人権教育・啓発を推進する。
 ○公共施設再配置計画に基づき人権教育集会所の譲渡又は廃止に向けて整備を行う。
【効果】
 ○地域に即した人権教育ができる。
 ○人権への市民意識の醸成を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○人権教育推進委員、人権教育指導員の設置により人権教育の推進・振興に努める。
 ○人権教育講演会及び講座を開催し、人権意識の醸成を図る。
 ○大会及び研修会に参加し、人権問題への理解を深める。
 ○企業人権教育推進協議会を運営し、指導者の育成と情報提供を行う。
 ○市内3カ所の人権教育集会所の譲渡又は廃止に向けて調整を行う。

【詳細事業内訳】
 人権教育推進事業 4,849千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	報償費	2,525	人権教育推進協議会等出席謝礼、人権教育講演会・研修会講師謝礼、人権尊重作文入選者記念品外				
08	旅費	6	全国人権・同和教育研究大会旅費				
10	需用費	465	人権尊重作文集印刷、大会資料代、人権教育集会所光熱水費外				
11	役務費	962	人権・平和特別授業演劇料、手話通訳外				
12	委託料	244	人権教育集会所消防設備点検、人権・平和特別授業バス運行業務				
13	使用料及び賃借料	635	人権・平和特別授業バス借上料、無線機借上料				
18	負担金補助及び交付金	12	全国人権・同和教育研究大会参加負担金外				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	人権教育推進委員及び人権教育指導員合同会議及び研修会(人権教育推進事業)	人権教育推進委員及び人権教育指導員合同会議や各地域人権教育推進協議会において、各種事業を協議し事業内容の充実を図るとともに、合わせて研修会を開催し、人権問題に対する理解を深める機会を設けることで、地域における人権教育の推進を図る。	07	報償費	2,447
					計	2,447
2					計	0

重点施策	—	コード	011302100	予算書ページ	336
		課・係等	生涯学習課 社会教育担当		

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	04	青少年健全育成費		基本施策	青少年の健全育成
	事業	0110370	青少年健全育成費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	17,760	0	0	0	1	17,759
前年度	25,396	0	0	0	9	25,387
増減額	△ 7,636	0	0	0	△ 8	△ 7,628

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	青少年育成基金利子		1						

【目的・効果】

【目的】

・地域ぐるみで青少年の健全な育成に取り組み、人間性豊かな子どもを育てていく。

【効果】

・様々な体験学習を通し、集団での活動や世代間交流を進めることで、多様な考え方に触れ、互いの価値観を認め合うことができる。
 ・地域の人々とふれあう中で、人との接し方や人間関係を学んでいくことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・青少年健全育成の取り組みを行うため、街頭巡回や啓発などの青少年センター事業を実施する。
 ・子どもたちの創造性の発揮、コミュニケーション能力の向上、共同作業の楽しさを知ること、自分自身の新たな発見をすることを目的に体験型の講座を開催する。
 ・市内の子ども達が一堂に会し、日頃行っている活動を自由な発想で発表、展示する機会として子ども文化祭を開催する。
 ・地区子ども会育成会と連携し、地域で行われる行事についての手法・技術の講習会を行うことにより、地域を担う核となる、人間性豊かな子どもやリーダーの育成を図る。
 ・地区子ども会育成会の活発な活動を支援するため、補助金を交付する。

【詳細事業内訳】

青少年育成環境整備事務 1,358千円 青少年体験事業 800千円 成人式実施事業 3,820千円 子ども会育成会支援事務 11,782千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	1,714	青少年健全育成審議会委員報酬、会計年度任用職員報酬			18	負担金補助及び交付金	8,759	青少年育成諸団体補助金、子ども会育成会補助金		
03	職員手当等	364	会計年度任用職員諸手当			24	積立金	1	青少年育成基金利子		
07	報償費	3,603	成人式記念品、青少年センター運営委員出席謝礼、体験活動講師謝礼、子ども会育成会連合会委員出席謝礼								
10	需用費	1,500	成人式贈り物、青少年センター消耗品、体験活動消耗品、子ども会育成会便り印刷								
11	役務費	71	青少年センター巡回活動保険料、体験活動保険料								
12	委託料	1,539	成人式会場設営委託、黒沢洞合公園管理委託、子ども体験講座委託								
13	使用料及び賃借料	209	成人式テント、無線機借上								

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	子ども会育成会支援事務	地区育成会の活動の活発化のために補助金を交付し、異世代交流や地域の伝統文化の継承を促進させ、人間性豊かな子どもの育成を図る。	01	報酬	1,679
				07	報償費	868
				10	需用費	599
				18	負担金補助金及び交付金外	8,636
					計	11,782
2					計	0

予算書ページ	338
--------	-----

重点施策	—	コード	011302100
		課・係等	生涯学習課 社会教育担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	04	青少年健全育成費		基本施策	青少年の健全育成
	事業	0110375	放課後・家庭教育推進費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,628	0	1,634	0	0	5,994
前年度	8,338	0	1,864	0	0	6,474
増減額	△ 710	0	△ 230	0	0	△ 480

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	放課後子どもプラン補助金	1,634							

【目的・効果】
【目的】
 ・地域ぐるみで青少年の健全な育成に取り組み、人間性豊かな子どもを育てていく。
【効果】
 ・学校施設を活用することで、放課後の子どもたちの安全・安心で健やかな遊び場や居場所を提供できる。
 ・異年齢間での遊びや活動、地域住民との交流を図ることで、心豊かなたくましい子どもを育てていく。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市内の小学生を対象として、放課後の安全・安心な居場所づくりと異世代・異年齢の交流による様々な体験や集団遊びの場を提供し、心豊かなたくましい子どもを育てるために、放課後子ども教室を開催する。

【詳細事業内訳】
 放課後子ども教室実施事業 7,628千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	報償費	6,210	放課後子ども教室スタッフ謝礼				
10	需用費	510	放課後子ども教室消耗品				
11	役務費	865	放課後子ども教室保険料				
17	備品購入費	43	放課後子ども教室備品購入				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	放課後子ども教室実施事業	市内全小学校で放課後の児童の安全・安心な居場所づくりと異世代・異年齢間の交流により、様々な体験や集団遊びの場を提供し、心豊かなたくましい子どもを育てる。	07	報償費	6,210	
				10	需用費	510	
				11	役務費	865	
				17	備品購入費	43	
					計	7,628	
2					計	0	

予算書ページ	346
--------	-----

重点施策	—	コード	011302100
		課・係等	生涯学習課 社会教育担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110380	中央公民館事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	37,770	0	0	0	30,000	7,770
前年度	53,840	0	0	0	30,825	23,015
増減額	△ 16,070	0	0	0	△ 825	△ 15,245

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	19	地域振興基金繰入金	30,000							

【目的・効果】
【目的】
 ○「安曇野市公民館の理念」の下、地域住民の交流と学習の場として時代に即した公民館運営を行い、市民の生活文化の振興と社会福祉の増進に寄与する。
【効果】
 ○各種講座を開設し、市民の学習要望に応じることで、市民一人ひとりが生き生きと活動することができる。
 ○市民に最も身近な地区公民館を支援し、地域コミュニティの充実に寄与できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○公民館事業の企画実施について、公民館運営審議会が調査審議する。
 ○安曇野市公民館大会を開催し、公民館活動の発展を推進する。
 ○安曇野市公民館報を発行し、公民館活動を広く市民に周知する。
 ○全市的事業として安曇野市総合芸術展を開催し、芸術文化の推進を図る。
 ○県、中信地区公民館運営協議会事業に参加し、公民館職員の資質向上に努める。
 ○公民館活動推進功労者・地区公民館報の表彰を実施し、その功績を称える。
 ○地区公民館の活動と建設に対し補助金を交付し、地区公民館を支援する。
 ○生涯学習情報～Link～を発行し、市民が生涯学習に関する情報を一括して入手できるようにすることで生涯学習への取り組みを喚起する。

【詳細事業内訳】
 中央公民館事業 37,770千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	158	公民館運営審議会委員報酬				
07	報償費	2,281	公民館講座講師謝礼、館報編集委員謝礼、総合芸術展実行委員会出席謝礼、総合芸術展出展者記念品外				
08	旅費	93	関東甲信越静公民館研究大会旅費				
10	需用費	1,789	公民館報印刷、ポスター・チラシ印刷、総合芸術展事務用品外				
11	役務費	27	表彰状筆耕				
13	使用料及び賃借料	8	公民館大会無線機借上げ				
18	負担金補助及び交付金	33,414	地区公民館活動補助金、地区公民館建設補助金、市民運動会交付金、県公民館運営協議会分担金外				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	安曇野市総合芸術展(中央公民館事業)	各地域文化祭の出展作品の中から選出された絵画や書道、工芸など様々なジャンルの作品約100点を一堂に集めて展示することで、地域を越えた一体感の醸成と芸術・文化の推進を図る。	07	報償費	342
				10	需用費	96
					計	438
2						
					計	0

予算書ページ	348
--------	-----

重点施策	—	コード	011302100
		課・係等	生涯学習課 社会教育担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110385	豊科公民館管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18,169	0	0	0	2,548	15,621
前年度	23,342	0	0	0	2,548	20,794
増減額	△ 5,173	0	0	0	0	△ 5,173

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	豊科公民館使用料	2,500							
21	豊科公民館雑入	48								

【目的・効果】
【目的】
 ・生涯学習に触れる機会、学ぶ拠点として公民館が安全かつ快適に利用できるよう施設の維持管理を図るため。
【効果】
 ・学びや交流の場として公民館の環境整備を図ることで、より活力あるまちづくりとともに誰もが住みたいまちづくりの建設の推進に寄与する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・ホールの稼働率が高まる中で、設備の延命化を図り、幅広い利用形態や用途に対応するため、ホールの保安・管理の充実化とともにホール利用者が快適かつ安全に過ごせるよう施設・設備について法制度の規範に応える事業委託を推進する。

【詳細事業内訳】
 豊科公民館施設管理運営事業費 18,169千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
07	報償費	378	ホール貸館業務謝礼		26	公課費	9	公用車(スバル5967)車検		
10	需用費	4,575	消耗品、灯油、電気代、施設備品修繕							
11	役務費	571	電話料、ピアノ調律・保守点検							
12	委託料	10,995	機械警備保障、エレベーター保守点検、消防用設備点検、ホール冷暖切替保守点検、シルバー人材委託外							
13	使用料及び賃借料	1,518	コピー使用料、駐車場借地料							
17	備品購入費	119	展示用パネル・ボール購入							
18	負担金補助及び交付金	4	防火管理者協議会負担金							

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策	(4)	コード	011302100			予算書ページ	350
		課・係等	生涯学習課 社会教育担当				
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち	
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進	
	事業	0110390	豊科公民館事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,683	0	0	0	60	5,623
前年度	5,362	0	0	0	12	5,350
増減額	321	0	0	0	48	273

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	豊科公民館雑入	60							

【目的・効果】
【目的】
 ・文化活動やスポーツ事業を通じ、生きがいや健康増進及び様々な交流や連携の推進を図るため。
【効果】
 ・多くの市民が公民館事業に参加することで地域のつながりが深まり、地域間交流にも寄与する。
 ・文化祭・芸能発表会等、学びの成果の発表の場を提供することで生きがいとともに更なる学習意欲が生まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・ホール利用のPR及び催事の誘致
 ・文化祭出展を目指して大輪菊づくりを学ぶ菊作り講座
 ・幅広い世代の参加を促すため、競技種目やルールに配慮した2回の球技大会と市民運動会の開催
 ・気軽に参加できる親子ふれあい塾、自身の体験談や趣味にスポットを当てた講座の開講など

【詳細事業内訳】
 豊科公民館事業 5,683千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	2,260	豊科公民館長報酬	13	使用料及び賃借料	462	体育大会・文化祭パイプtent、競技用具運搬車両借上げ
03	職員手当等	479	豊科公民館長期末手当				
07	報償費	1,535	公民館役員研修会講師謝礼、文化祭・体育大会等協力者謝礼、体育大会参加賞外				
08	旅費	51	豊科公民館長通勤費				
10	需用費	424	消耗品、体育大会競技用品、文化祭プログラム外				
11	役務費	216	レンタルトイレ汲み取り料、公民館総合補償掛金				
12	委託料	256	文化祭会場設営委託、バス運転業務				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	○ 豊科公民館ピアノリレーマラソン (豊科公民館事業)	ピアノ愛好家の皆さんを対象に募集をかけ、独奏はもちろん連弾や、他の楽器との合奏、ピアノ伴奏による合唱などピアノを使用したものであれば、どのような形態でもよく、リレー形式で演奏を繋いでいくイベントになります。音響反射板や照明を活用し、音の響きや生演奏の魅力を感じていただくことにより、ホールの利用者増につながっていくことが見込まれ、結果として生涯学習の推進にも結び付いていくものである。		計	0
2					計	0

予算書ページ	354
--------	-----

重点施策	(4)	コード	011302200
		課・係等	生涯学習課 スポーツ推進担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	06	保健体育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	01	保健体育総務費		基本施策	スポーツ活動の充実
	事業	0110440	社会体育総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	22,634	0	0	0	0	22,634
前年度	16,162	0	0	0	0	16,162
増減額	6,472	0	0	0	0	6,472

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

健康志向の高まりなどに伴い、スポーツ活動に対する市民の関心とニーズは一段と高まる中、市民がスポーツを自主的・主体的にスポーツ活動を展開するための仕組みを構築し、市民スポーツの活性化と市のスポーツ活動の発展に寄与する。
また、第2次安曇野市スポーツ推進計画実現に向けた施策を展開する。

【効果】

生涯スポーツの推進、健康体づくり、競技力の向上が図られ、スポーツを通じたコミュニティの活性化と健全な精神の高揚が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ①スポーツ推進委員が生涯学習課及び公民館事業(スポーツ教室・運動会等)の企画、指導、協力を行う。
- ②スポーツ審議会を開催し、スポーツ振興に関する計画等重要事項を審議する。
- ③全国大会、国際大会の各種競技会等へ出場する選手に対し、激励金を交付する。
- ④市体育協会及びスポーツ少年団の組織強化・スポーツ振興に対する支援や助言を行う。
- ⑤聖火リレー実施に向けた運営体制の構築、市民参加への周知を行う。

【詳細事業内訳】

聖火リレー実施運営事業費 5,959千円 社会体育総務費 5,465千円 体育団体等支援事業 11,210千円

【一般財源増加理由】 新規事業である聖火リレー運営事業が追加になったため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	4,406	スポーツ推進委員会、スポーツ推進審議会、パートタイム職員	13	使用料及び賃借料	60	駐車場使用料、聖火リレー無線機借上げ
03	職員手当等	364	パートタイム職員諸手当	18	負担金補助及び交付金	10,210	体育協会、スポーツ少年団補助金、各種協議会負担金
07	報償費	1,343	大会出場激励金、聖火リレー学生ボランティア警備員報奨品				
08	旅費	245	研修会、説明会、パートタイム職員通勤手当				
10	需用費	154	事務用品、賞状印刷				
11	役務費	56	スポーツ保険(スポーツ推進委員)				
12	委託料	5,796	バス運転業務、聖火リレー運営業務委託				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	○	聖火リレー実施運営事業費 2020年4月3日、安曇野市を通過する聖火リレー実施に向け、沿道で多くの人々が応援できる体制を整え盛り上げるとともに、地域の一体感及びスポーツ振興、共生社会の実現を目指す。	07	報償費	133
				12	委託料	5,771
				13	使用料及び賃借料	55
					計	5,959
2					計	0

予算書ページ	356
--------	-----

重点施策	(4)	コード	011302200
		課・係等	生涯学習課 スポーツ推進担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	06	保健体育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	01	保健体育総務費		基本施策	スポーツ活動の充実
	事業	0110445	スポーツ推進事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,665	0	115	0	1,202	8,348
前年度	10,815	0	160	0	2,447	8,208
増減額	△ 1,150	0	△ 45	0	△ 1,245	140

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	元気づくり支援金	115							
21	スポーツ教室参加料	1,202								

【目的・効果】

【目的】

市民ニーズやライフステージに応じたスポーツ教室を実施し、生涯スポーツの推進、スポーツを通じたコミュニティづくり等を図る。また、第2次安曇野市スポーツ推進計画や市の重点的なスポーツ施策に応じた事業の展開を図る。

【効果】

スポーツにかかわることができる環境を整えることで、スポーツをする楽しさや喜びの中や仲間との連帯感を深め、心身の健康と活力をもたらす。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ①市民ニーズやライフステージに応じたスポーツ教室を開催する。
- ②「プレイボエヌプラス中学生バレーボール選手育成教室」を開催し、中学生の選手育成や競技の活性化を図る。
- ③オリンピック・パラリンピックから学ぶ「有森裕子スポーツ大使アスリート体験事業」を開催する。
- ④「自転車を活用したまちづくり」の取り組みとして、MTB親子教室を開催する。
- ⑤幼児期・児童期の運動能力を身につけるコーディネーショントレーニングの促進を図る。
- ⑥市町村対抗駅伝、県縦断駅伝大会の支援を行う。
- ⑦実行委員会を編成し、市民スポーツ祭を開催する。

【詳細事業内訳】

スポーツ教室等開催事業 9,665千円

【一般財源増加理由】 教室託児の看護師の増員

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	報償費	3,336	スポーツ教室講師謝礼、医務等労務謝礼				
10	需用費	142	スポーツ教室開催等に係る消耗品				
11	役務費	405	スポーツ参加者傷害保険				
12	委託料	3,232	スポーツ教室業務委託				
18	負担金補助及び交付金	2,550	駅伝大会(市町村対抗・県縦断)、市民スポーツ祭				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	○	プレイボエヌプラス中学生バレーボール選手育成教室(スポーツ教室等開催事業)	バレーボールの国内トッププレイヤーから、選手として必要な「心技体」を学ぶことにより、選手の育成強化やスポーツ競技の活性化を図り、競技スポーツに対する機運を醸成する。	12	委託料	900	
						計	900	
2	ソフト	○	有森裕子スポーツ大使アスリート体験授業(スポーツ教室等開催事業)	東京オリンピック・パラリンピック開催年にあたり、元オリンピックメダリストが中学校(1校)を対象に、オリンピック等教育を通じた夢や希望、フェアプレイ精神等を学び、人間形成とスポーツ選手育成に繋げる。	12	委託料	1,045	
						計	1,045	

重点施策	—	コード	011302200	予算書ページ	358
		課・係等	生涯学習課 スポーツ推進担当		

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	06	保健体育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	02	保健体育施設費		基本施策	スポーツ活動の充実
	事業	0110450	社会体育施設管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	97,224	0	0	0	21,322	75,902
前年度	97,245	0	0	0	20,750	76,495
増減額	△ 21	0	0	0	572	△ 593

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	文化公園施設使用料	1,120	21	社会体育施設自動販売機電気料	300				
14	学校施設使用料	4,700	21	社会体育施設公衆電話料	1					
14	社会体育施設使用料	15,200								
21	文化公園公衆電話料	1								

【目的・効果】

【目的】

- ・利用者が安全で快適にスポーツが行える環境を整備する。
- ・市内の体育施設の維持管理を行う。

【効果】

- ・体育施設の環境を整備することにより、市民が屋内外の各種スポーツ施設を積極的に利用し、健康増進やスポーツ活動の活発化が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

■市内社会体育施設の維持管理及び施設修繕

- ・破損箇所や危険箇所を把握し、利用者の安全確保のため必要な修繕
- ・管理人配置及び施設管理委託(施設予約受付・許可、使用料徴収、清掃、鍵受け渡し等の管理)
- ・公共施設予約システムの管理
- ・マレットゴルフ場の指定管理委託
- ・学校開放施設の適切な修繕

●市内社会体育施設

豊科南社会体育館、豊科勤労者総合スポーツ施設、豊科武道館、豊科弓道場、県民豊科運動広場、高家スポーツ広場、豊科屋内ゲートボール場、梓橋運動広場、穂高総合体育館、西穂高運動場、有明運動場、北穂高運動場、牧運動場、三郷文化公園体育館、三郷体育館、三郷競技場、堀金総合体育館、常念ドーム、明科体育館、龍門淵公園運動広場、明科農村広場、各マレットゴルフ場 等

【詳細事業内訳】

社会体育施設管理費 97,224千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	2,518	管理人報酬(堀金総合体育館)	17	備品購入費	211	体育施設備品購入費
03	職員手当等	909	管理人期末手当(堀金総合体育館)	18	負担金補助及び交付金	8	防火管理者協議会負担金
10	需用費	34,557	施設消耗品、施設修繕費、施設光熱水費、物品修繕費	21	補償補填及び賠償金	10	補償費
11	役務費	1,370	施設電話料、モップ交換代、汲取手数料	22	償還金、利子及び割引料	10	施設使用料還付金
12	委託料	45,959	施設管理業務、施設整備委託、指定管理委託	26	公課費	18	自動車重量税
13	使用料及び賃借料	10,356	コピー機、重機借上料、公共施設予約システムリース料、体育施設借地料				
14	工事請負費	1,298	体育施設整備工事費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	体育施設修繕 (社会体育施設管理費)	・利用者が安全で快適にスポーツが行える環境を整備するため、施設修繕を行う。主な修繕は、穂高総合体育館防火シャッター修繕、堀金総合体育館避難口誘導灯修繕、県民豊科運動広場遮光ネット修繕、明科体育館駐車区画線修繕である。	10	需用費(施設修繕費)	6,030
				14	工事請負費	1,298
					計	7,328
2					計	0

予算書ページ	360
--------	-----

重点施策	—	コード	011302200
		課・係等	生涯学習課 スポーツ推進担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	06	保健体育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	02	保健体育施設費		基本施策	スポーツ活動の充実
	事業	0110455	市民プール管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	31,107	0	0	8,700	0	22,407
前年度	21,903	0	0	0	0	21,903
増減額	9,204	0	0	8,700	0	504

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	22	施設除却事業(体育施設)	8,700							

【目的・効果】
【目的】
 ・市内唯一の公共プールを維持管理及び運営する。
【効果】
 ・夏場の市民の娯楽や体力向上、健康増進を促進することができる。
 ・夏休み時の子どもたちに楽しみの場・憩いの場として提供でき、子どもの「居場所づくり」にも寄与できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・営業を3シーズン延長した、2シーズン目の運営(3シーズン営業後に廃止)
 ・基本的に施設修繕は行わない(安全面に考慮した修繕は検討)
 ・ウォータースライダーの運営は行わない
 ・指定管理委託
 ・解体設計業務委託
 ・跡地造成に伴う予備調査業務委託
 ・プール用地の借地料支払い
 ●施設概要
 ちびっこプール、子供プール、25Mプール、流水プール、売店 等

【詳細事業内訳】
 穂高プール解体工事 9,954千円 市民プール管理費 21,153千円

【一般財源増加理由】 令和3年9月の穂高プール廃止後の解体設計業務及び跡地造成に伴う予備調査業務実施のための増額

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
12	委託料	22,384	指定管理委託、解体設計業務委託、跡地造成に伴う予備調査業務委託				
13	使用料及び賃借料	8,723	借地料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	指定管理者委託 (市民プール管理費)	穂高プールの管理運営を体育施設運営のノウハウを持つ、株式会社フクシ・エンタープライズに指定管理委託することにより、施設の安全・安心な運営、住民サービスの向上と経費削減を図る。	12	委託料	12,430
					計	12,430
2	ハード	解体工事設計及び跡地造成に伴う予備調査 (穂高プール解体工事)	穂高プールを解体するための設計及び跡地造成に伴う予備調査業務を行う。本年度に解体設計を行うことにより令和3年9月の廃止後、早急に解体工事に入ることができる。	12	委託料	9,954
					計	9,954

予算書ページ	360
--------	-----

重点施策	—	コード	011302200
		課・係等	生涯学習課 スポーツ推進担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	06	保健体育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	02	保健体育施設費		基本施策	スポーツ活動の充実
	事業	0110457	社会体育施設整備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	703	0	0	0	702	1
前年度	484	0	0	0	483	1
増減額	219	0	0	0	219	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	公式スポーツ施設整備基金利子	702							

【目的・効果】
【目的】
 ○安曇野市公式スポーツ施設整備計画に掲げる施設の整備のため設置された「安曇野市公式スポーツ施設整備基金」への積立を行う。
【効果】
 ○安曇野市公式スポーツ施設整備計画に掲げる施設が整備されることにより、その施設を使用し、スポーツに親しむことで、体力の向上、ストレス解消、生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の維持、増進に大きな効果を得ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 公式スポーツ施設整備計画に掲げた施設の整備に向け、本年度は基金利子分のみを積み立てる。

【詳細事業内訳】
 公式スポーツ施設整備基金積立金 703千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
24	積立金	703	公式スポーツ施設整備基金利子								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	(4)	コード	011303100			予算書ページ	316
		課・係等	文化課 文化振興担当				
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	05	社会教育費		基本方針	文化を創り育むまち	
	目	01	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の推進	
	事業	0110310	文化振興費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	123,246	0	0	0	11,042	112,204
前年度	117,168	0	0	0	2,446	114,722
増減額	6,078	0	0	0	8,596	△ 2,518

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	博物館等における美術品取得及び特別企画展開催基金利子	41	19	博物館等における美術品取得及び特別企画展開催基金繰入金	6,000	21	その他教育費雑入(文化課)	50	
17	名誉市民田淵行男顕彰基金利子	3	21	美術館グッズ等販売	80	21	コミュニティ助成金(地域づくり)	2,000		
17	ちくに生きものみらい基金利子	129	21	交流学习センター講座受講料	340					
19	ちくに生きものみらい基金繰入金	544	21	高橋節郎記念美術館電気料	1,855					

【目的・効果】

【目的】

- ・諸団体への補助、協働による事業実施などを通じて、市民が多様な文化芸術に親しむ機会を創出する。
- ・指定管理者との連携により美術館活動の活性化を図る。

【効果】

- ・心豊かで潤いある市民生活を実現することができる。
- ・安曇野市の活力と魅力を高めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・諸団体と協働で音楽祭、能公演などを行う。また、文化芸術を振興する事業に対し補助金を交付する。
- ・東京藝術大学音楽学部との連携による中学生への演奏指導を実施し、演奏技術の向上を図る。
- ・安曇野市内の美術館・博物館が連携する取り組みをおこない、各施設の学芸員の資質の向上をはかり、単独の施設では担いきれない鑑賞の機会を創出する。ちくに生きものみらい基金を活用した小中学校のクラス単位の自然観察会の開催補助と美術館・博物館の利用促進。
- ・美術館・記念館等の指定管理(指定管理期間:平成31年4月1日～令和6年3月31日)
豊科近代美術館・田淵行男記念館・飯沼飛行士記念館・穂高陶芸会館・高橋節郎記念美術館:公益財団法人安曇野文化財団
- ・長野県と東京藝術大学の連携協定に基づき、安曇野市内で東京藝大の学生等が滞り創作等を行い、併せて市民との交流の機会を創出する事業の支援を行う。
- ・(一財)長野県文化振興事業団の芸術監督団事業(シンビズム4・オーガニックAIR)、(一財)地域創造のアウトリーチ・フォーラム、(公財)三井住友海上文化財団の「地域住民のためのコンサート」を招致する。

【詳細事業内訳】

田淵行男記念館管理運営事業 13,800千円 穂高陶芸会館管理運営事業 7,250千円 文化芸術施設整備事業 2,123千円 豊科近代美術館管理運営事業 38,746千円 文化団体補助事業 27,218千円 安曇野高橋節郎記念美術館管理運営事業 22,855千円 美術館・博物館連携事業 840千円 飯沼飛行士記念館管理運営事業 2,215千円 文化振興総務費 2,437千円 芸術教育普及事業 5,762千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	155	博物館協議会、美術資料等選定委員会等の会議出席報酬	17	備品購入費	1,000	美術資料等購入費用
07	報償費	2,310	東京藝術大学交流事業講師、能楽教室講師等謝礼	18	負担金補助及び交付金	26,967	信州安曇野薪能事業補助金・安曇野文化財団運営補助金など
08	旅費	204	東京藝術大学交流事業・能楽教室等職員及び講師の旅費など	24	積立金	170	ちくに生きものみらい基金利子など
10	需用費	4,309	文化施設修繕費など				
11	役務費	110	藝大連携事業の楽器運搬費用など				
12	委託料	86,531	豊科近代美術館・田淵行男記念館などの指定管理委託料				
13	使用料及び賃借料	1,490	東京藝術大学交流事業及び能楽教室の講師などの宿泊施設使用料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	芸術教育普及事業	(一財)地域創造のアウトリーチ・フォーラム、(公財)三井住友海上文化財団の「地域住民のためのコンサート」、長野県文化振興事業団の芸術監督団事業等を招致する。長野県と東京藝術大学の連携協定に基づいた事業の市内実施の支援を行う。市民が芸術に触れるとともに、芸術家と交流する機会を創出する。	07	報償費	1,998
				12	委託料	1,353
				17	備品購入費	1,000
				13	使用料及び賃借料	946
				08	旅費	133
				10	需用費	272
				11	役務費	60
	計	5,762				
2	ソフト	文化団体補助事業	日展安曇野展の共催・薪能事業、田淵行男賞写真作品公募事業への補助など	13	使用料及び賃借料	251
				18	負担金補助及び交付金	26,967
				計	27,218	

予算書ページ	318
--------	-----

重点施策	—	コード	011303300
		課・係等	文化課 博物館係

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の推進
	事業	0110320	郷土博物館費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	30,014	0	0	0	543	29,471
前年度	25,732	0	0	0	715	25,017
増減額	4,282	0	0	0	△ 172	4,454

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	郷土博物館等使用料	230							
19	ちくに生きものみらい基金繰入金	243								
21	郷土博物館刊行物等頒布代	30								
21	郷土博物館雑入	40								

【目的・効果】
【目的】郷土の自然、歴史、民俗及び文化に関する知識の向上と文化の発展に寄与するため、資料の展示並びに収集及び保管を行う。所在地:豊科4289番地8 開館年:昭和54年。『安曇野市新市立博物館構想』に基づき、学芸体制の整備、コンパクト展示等を実施する。
【効果】安曇野市の魅力を市内外に発信し、郷土に対する市民の関心を高めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 年3回企画展(夏季、秋季、春季)を開催する。
 昔のくらし体験教室等各種講座を開催する。
 博物館紀要等の刊行物を発行する。
 『新市立博物館構想』に基づき、新市立博物館整備に向けた検討、出前(コンパクト)展示等を展開する。

【詳細事業内訳】
 新市立博物館整備事業 221千円 豊科郷土博物館等施設運営管理事業 26,095千円 豊科郷土博物館教育普及事業 3,698千円

【一般財源増加理由】 会計年度任用職員制度導入、消費税率変更による増。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	12,128	パートタイム会計年度任用職員報酬	13	使用料及び賃借料	1,642	コピー機借上料・使用料、借地料等
03	職員手当等	2,628	パートタイム会計年度任用職員諸手当	18	負担金補助及び交付金	62	防火管理者協会、安曇野市観光協会、日本博物館協会等会費
07	報償費	969	講師謝礼等	26	公課費	38	公用車自動車重量税
08	旅費	736	パートタイム会計年度任用職員通勤費等				
10	需用費	4,664	施設管理用・資料整理用・教育普及用消耗品等				
11	役務費	933	通信運搬料等				
12	委託料	6,214	清掃等施設管理委託料・印刷物作成等業務委託料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	豊科郷土博物館教育普及事業	安曇野市の自然、歴史、民俗及び文化に触れてもらうため、展示や各種講座を開催する。	7	報償費	866	講師謝礼等
				10	需用費	511	展示用消耗品
				12	委託料	2,087	印刷物作成等
					旅費外	234	出張旅費等
					計	3,698	
2	ソフト	新市立博物館整備事業	新市立博物館整備についての検討を行い、出前(コンパクト展示)等を開催する。	7	報償費	3	視察時手土産
				8	旅費	18	視察旅費
				10	需用費	200	展示用消耗品
					計	221	

予算書ページ	320
--------	-----

重点施策	—	コード	011303200
		課・係等	文化課 文化財保護係

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の推進
	事業	0110325	文化財資料センター費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,821	0	0	0	0	4,821
前年度	4,144	0	0	0	0	4,144
増減額	677	0	0	0	0	677

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

文化財保護係の所管する埋蔵文化財関連資料の整理作業を実施する。また博物館係所管の博物館等施設に展示及び保存する資料の収集、整理等を行う。豊科郷土博物館と連携して学芸活動を補完する役割を果たす。所在地:安曇野市穂高5836番地 開館年:平成25年

【効果】

出土遺物や収蔵資料の整理等は地道な作業であるが、適切な保存と活用に向けて資料の収集、整理を進めている。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

埋蔵文化財調査に伴う遺物整理作業を行う。
博物館等施設の資料整理を行う。

文化財資料センター施設運営管理事業 4,821千円

【一般財源増加理由】 会計年度任用職員制度導入、消費税率変更による増。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
1	報酬	2,021	パートタイム会計年度任用職員(資料整理)	17	備品購入費	94	冷蔵庫(出土遺物資料保管用)
3	職員手当等	390	パートタイム会計年度任用職員諸手当				
8	旅費	59	パートタイム会計年度任用職員通勤費				
10	需用費	1,206	事務用品 管理用品 燃料費 施設修繕費 光熱水費 物品修繕費				
11	役務費	198	電話料ほか				
12	委託料	314	施設管理(警備 消防設備点検 剪定) 廃棄物処理(粗大ごみ等)				
13	使用料及び賃借料	539	複合機等リース 回線使用料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	文化財資料センター施設 運営管理事業	発掘調査により、得られた資料の保存活用 が図れるよう整理作業を行う。	1	報酬	2,021
				10	需用費	1,206
				13	使用料及び賃借料	539
				3	職員手当等外	1,055
					計	4,821
2					計	0

重点施策	—		コード	011303300		予算書ページ	320
			課・係等	文化課 博物館係			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	05	社会教育費		基本方針	文化を創り育むまち	
	目	01	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の推進	
	事業	0110335	貞享義民記念館事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,963	0	0	0	335	14,628
前年度	14,500	0	0	0	335	14,165
増減額	463	0	0	0	0	463

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	貞享義民記念館使用料	250							
21	義民館刊行物等頒布代	70								
21	義民館雑入	15								

【目的・効果】
【目的】貞享義民の業績にかかわる資料の収集、保存、展示及び調査研究を通じて、郷土の歴史や義民の顕彰、人権尊重の精神を広く啓発し、講座及び学習会などの教育普及活動を行う。
【効果】義民の精神を伝え、市民の人権学習の場となる。安曇野市南部における文化拠点の一つとして、市民に発表の機会と多様な芸術文化に接する機会を提供する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 貞享義民の業績にかかわる資料及び人権学習に関する展示等を行う。
 市民の発表の機会と多様な芸術文化に接する機会として企画展を開催する。
 義民に関する講座及び古文書の学習会を開催する。

【詳細事業内訳】
 貞享義民記念館教育普及事業 412千円 貞享義民記念館施設運営管理事業 14,551千円

【一般財源増加理由】 会計年度任用職員制度導入、消費税率変更による増。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	5,349	パートタイム会計年度任用職員報酬	13	使用料及び賃借料	1,722	コピー機借上料、使用料等
03	職員手当等	1,159	パートタイム会計年度任用職員諸手当	15	原材料費	20	苗木外
07	報償費	157	講師謝礼等	18	負担金補助及び交付金	35	日本博物館協会、安曇野市観光協会会費等
08	旅費	196	パートタイム会計年度任用職員通勤費等				
10	需用費	2,516	光熱水費、施設管理用消耗品等				
11	役務費	204	通信運搬料、広告料等				
12	委託料	3,605	施設管理委託料等				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	貞享義民記念館教育普及事業	貞享義民の業績にかかわる資料及び人権学習に関する展示等を行う。市民の発表の機会と多様な芸術文化に接する機会として公募企画展を開催する。義民に関する講座及び古文書の学習会を開催する。	7	報償費	157	講師謝礼等
				10	需用費	170	印刷製本費等
				11	役務費	61	広告費等
				12	委託料	24	バス運転委託
					計	412	
2					計	0	

重点施策	—	コード	011303100	予算書ページ	326
		課・係等	文化課 文化振興担当		

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110340	交流学习センター等管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	88,662	0	0	0	13,077	75,585
前年度	79,531	0	0	0	13,199	66,332
増減額	9,131	0	0	0	△122	9,253

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	豊科交流学习センター使用料	2,280	21	その他教育費雑入(交流学习センター等)	170	
14	穂高交流学习センター使用料	3,180	21	明科子どもと大人の交流学习施設利用料	1,189		
14	三郷交流学习センター使用料	288	21	豊科交流学习センター施設利用料	5,586		
14	学習館使用料	384					

【目的・効果】
【目的】
 市民の「交流の場」「学習の場」、さらには地域交流の拠点として、市民が参加し活発に利用されるよう、図書館を核とした複合施設である、安曇野市穂高交流学习センター、安曇野市豊科交流学习センター、安曇野市明科子どもと大人の交流学习施設、安曇野市三郷交流学习センターの4施設の適正かつ円滑な管理運営(施設管理、貸館事業他)を行う。
【効果】
 展示会やコンサート等、個人や団体による文化芸術活動を支援、有償ボランティアである音響照明スタッフやレセプションを配置し、市民主導で、文化芸術の企画、運営が行える体制づくりを進め、市民の文化芸術活動が、文化芸術を受容、鑑賞するだけでなく、創作や発表へと発展することで、利用者相互の交流を深め、自己実現を図ることが出来る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・施設及び備品等の点検を行い、市民が安心して利用できる環境整備を図る。
 ・利用者の意向・要望に添えるよう情報提供を行う。
 ・館内清掃を業務委託し、施設を常に清潔な環境に保つ。
 ・夜間、職員休暇等の貸館事務等の業務委託
 ・穂高、豊科交流学习センターの非常灯設備更新工事を行い環境整備を図る。

【詳細事業内訳】
 交流学习センター等管理費 88,662千円

【一般財源増加理由】	会計年度任用職員制度導入、消費税率の改定、穂高・豊科交流学习センター非常灯設備更新(設計・監理業務含む)等による増加						
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	7,225	会計年度任用職員 4施設4人分	13	使用料及び賃借料	2,557	複合機・印刷機使用料
03	職員手当等	1,559	会計年度任用職員 4施設4人分期末手当	14	工事請負費	5,588	非常灯設備更新工事(穂高118台・豊科56台)
07	報償費	1,776	音響照明、レセプション謝礼	17	備品購入費	51	穂高交流学习センターホール マイク(貸出備品)
08	旅費	272	会計年度任用職員 4施設4人分通勤手当	18	負担金補助及び交付金	16	防火管理者協会費4施設
10	需用費	33,932	管理用品、公用車等燃料費、施設修繕費、光熱水費等	26	公課費	9	公用車重量税
11	役務費	3,155	電話料、インターネット回線使用料、マット交換、ピアノ調律等				
12	委託料	32,522	施設管理保守業務、夜間・休日管理業務、除雪費用、工事設計・監理業務委託等				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策	(3)	コード	011303200
		課・係等	文化課 文化財保護係

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	02	文化財保護費		基本施策	芸術文化活動の推進
	事業	0110355	文化財保護費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,301	0	0	0	0	7,301
前年度	9,018	1,216	0	0	0	7,802
増減額	△ 1,717	△ 1,216	0	0	0	△ 501

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

安曇野市内にある文化財の保全を図り、公開へ向けた周辺整備と市民へ向けた啓発活動を推進する。
また、地域史の解明と文化財の保全を図るため、文化財の調査、記録保存を進め保存・活用を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ◎文化財保全事業
 - ・文化財防災設備等保全、管理に係る補助事業
 - 市指定有形文化財保存修理及び保存管理事業
 - 市指定無形民俗文化財保存伝承事業
 - ・「いわれの地」等文化財標柱、説明板等の整備
- ◎地域史研究と文化財保存・活用
 - ・安曇平のお船祭り報告書を増刷し、保存継承に活用
 - ・建造物等文化財調査(信州大学工学部連係)

【詳細事業内訳】

文化財保護事業事務 3,065千円 文化財保全事業 2,738千円 地域史研究と文化財保存・活用 1,498千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	1,852	文化財保護審議会 パートタイム会計年度任用職員	14	工事請負費	356	文化財標柱・説明板等整備
3	職員手当	390	パートタイム会計年度任用職員手当	17	備品購入費	174	文化財データ保存のためのステーション更新
7	報償費	619	文化財専門家相談 文化財調査員 指定文化財公開 謝礼 文化財調査 調査報告書執筆ほか	18	負担金補助 及び交付金	1,784	無形民俗文化財保存伝承 文化財防災設備設置 文化財防災設備保守点検及び管理運用ほか
8	旅費	367	文化財保護審議会委員 文化庁調査官 職員旅費ほか	26	公課費	9	公用車重量税
10	需用費	608	文化財管理用品 調査用消耗品 調査報告書増刷 事務用品 燃料費 物品修繕ほか				
11	役務費	69	公用車の点検及び保険				
12	委託料	1,073	市所有地内にある文化財周辺管理(除草ほか) 建造物等文化財調査 文化財調査に伴う測量				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	文化財保全事業	安曇野市内にある文化財の保全を図るため、文化財の指定等に関する事務手続きを行う。 また指定文化財の保存管理のための助言及び財政支援を行う。	7	報償費	425
				14	工事請負費	356
				18	負担金補助及び交付金	1,784
				1	報酬費外	173
					計	2,738
2	ソフト	地域史研究と文化財保存活用	地域史解明と、文化財の保全を図るための記録保存・調査を進め保存活用を図る。 また、文化財指定等に向けた調査を行う。	7	報償費	150
				8	旅費	95
				10	需用費	258
				12	委託料	995
					計	1,498

予算書ページ	330
--------	-----

重点施策	(4)	コード	11303300
		課・係等	文化課 博物館係

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	02	文化財保護費		基本施策	芸術文化活動の推進
	事業	0110356	文書館費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	21,987	0	0	0	40	21,947
前年度	21,377	0	0	0	40	21,337
増減額	610	0	0	0	0	610

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	文書館刊行物等頒布代	30							
21	文書館雑入	10								

【目的・効果】

重要文書等を適切に保存し、公開することにより、市や市民の諸活動や歴史的事実を現在および将来の市民に対して説明する責任を果たすことが出来る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

歴史的若しくは文化的価値を有する公文書等の移管を受け、地域資料などを収集する。
資料の分類、整理、撮影、データベース化を行う。
資料の閲覧、複写サービスを行う。
企画展示、講演会等を開催する。
市史の編さんについての具体的な検討を行う。また民俗編刊行のための調査を開始する。
臼井吉見文学館の管理運営を行う。

【詳細事業内訳】

文書館施設運営管理事業 16,484千円 臼井吉見文学館管理運営事業 680千円 市史編纂事業 968千円 文書館教育普及事業 3,855千円

【一般財源増加理由】 会計年度任用職員制度導入、市史編纂事業開始

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	7,518	パートタイム会計年度任用職員報酬等	13	使用料及び賃借料	1,138	コピー機借上料、使用料等
03	職員手当等	1,622	パートタイム会計年度任用職員諸手当	17	備品購入費	300	図書・資料購入費
07	報償費	2,778	調査員謝礼等	18	負担金補助及び交付金	72	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会会費等
08	旅費	940	パートタイム会計年度任用職員通勤費				
10	需用費	3,400	光熱水費、施設管理・資料保存用消耗品等				
11	役務費	267	通信運搬費等				
12	委託料	3,952	施設管理委託料、資料燻蒸等業務委託料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	市史編纂事業	郷土に対する理解、関心、魅力を深め、今後の魅力あるまちづくりに資する『安曇野市史(仮称)』の編さん事業を開始する。収集した資料や情報を将来に向けて市民に広く公開し、まちづくりや生涯学習、学校教育などへの活用を図る(web用のコンテンツ作成、ボランティアの活用等)。	07	報償費	698	委員会出席謝
				08	旅費	265	委員旅費等
				10	需用費	5	事務用品等
					計	968	
2	ソフト	文書館教育普及事業	収集・保存している市にとって重要な歴史的もしくは文化的価値を有する公文書や古文書等を活用して展示や講座等を開催する。	7	報償費	2,020	講師謝礼等
				10	需用費	550	展示用消耗品
				12	委託料	831	刊行物作成等
					旅費外	454	研修旅費等
			計	3,855			

重点施策	—	コード	011303200	予算書ページ	330
		課・係等	文化課 文化財保護係		

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	02	文化財保護費		基本施策	芸術文化活動の推進
	事業	0110360	埋蔵文化財発掘調査事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18,392	1,458	0	0	1	16,933
前年度	14,402	1,672	0	0	1	12,729
増減額	3,990	△ 214	0	0	0	4,204

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	市内遺跡補助金	1,458							
21	埋蔵文化財発掘調査委託料	1								

【目的・効果】

文化財保護法に基づき埋蔵文化財包蔵地内における土木工事等に対して保護措置(発掘調査、試掘、確認調査、工事立会等)を行う。文化財保護法に基づき過年度の発掘調査記録(図面、遺物)を整理し、報告書を作成する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・市内遺跡の発掘・試掘(個人住宅等)、及び平成30年度発掘の明科廃寺出土遺物整理作業を行う。
- ・安曇野市が実施する工事に際して、発掘調査を行う。(明科遺跡群栄町遺跡ほか)

【詳細事業内訳】

埋蔵文化財保護事業 18,392千円

【一般財源増加理由】埋蔵文化財包蔵地内での開発行為があり、事前の記録保存調査(発掘)を実施するため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	9,146	遺跡調査整理学芸員 遺跡発掘調査・整理作業作業員	13	使用料及び賃借料	1,129	発掘調査用機材・試掘調査用重機借上げ
3	職員手当等	1,177	パートタイム会計年度職員手当(発掘・整理作業学芸員・作業員)	14	工事請負費	1,465	発掘調査時の安全対策のための電気設備工事 発掘調査終了後の埋戻し工事
7	報償費	10	専門者相談	15	原材料費	42	埋戻し用碎石
8	旅費	433	パートタイム会計年度職員通勤費 発掘調査作業員通勤費	17	備品購入費	165	発掘整理作業用備品
10	需用費	1,186	発掘調査及び整理作業用品 燃料費 光熱水費 報告書作成 物品修繕費				
11	役務費	114	測量等機材修理用点検 発掘調査し尿汲み取り 発掘調査労働保険 備品保険				
12	委託料	3,525	発掘調査測量 発掘調査掘削・埋戻し作業 出土遺物保存処理・分析				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	埋蔵文化財保護事業	埋蔵文化財包蔵地内の開発行為について、文化財保護法に基づき保護対策を進める。また記録保存(発掘調査)により得られた資料についての保存活用を図る。	1	報酬	9,146
				10	需用費	1,186
				12	委託料	3,525
				3	職員手当外	4,535
					計	18,392
2						
					計	0

重点施策	—	コード	011303400
		課・係等	文化課 図書館係

予算書ページ	352
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	06	図書館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110435	図書館費			

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	164,223	0	0	0	28,670	135,553
前年度	159,232	0	0	0	26,940	132,292
増減額	4,991	0	0	0	1,730	3,261

特定財源の内訳	款	21	市町村振興協会交付金	金額	28,500	合計金額
		21	図書カード再発行手数料	金額	20	
		21	図書館コピー使用料等	金額	150	
					28,670	

【目的・効果】
【目的】
 多様化する市民の「学び」に応え、「本と人、人と人の出会いの広場」となる図書館を目指す。
【効果】
 市民へ新鮮な資料や最新の情報を提供し、さまざまな「学び」の場としての図書館サービスの充実等により、自ら学び挑戦する心を育み、学んだ知識や技術が地域社会に活かされる環境づくりに寄与する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業概要】
 ・図書館長及び図書館司書の会計年度任用職員への移行に伴う、一般財源の増加。
 ・市図書館資料収集要綱により、市民の「学び」に幅広く役立つ図書資料の収集を行う。
 ・市民のさまざまな「学び」の場になるよう読書活動推進のための研修会、読書月間(週間)、講演会、講座、おはなし会等を開催する。
 ・図書館利用に障がいのある方々へのサービスの推進。
 ・市民の調査・研究を支援するレファレンス(相談・調査)サービスのため、職員の専門知識や新しい技術の習得に努める。
 ・ホームページや市広報、ツイッターによる情報発信に努め、図書館活動の周知を図る。
 ・市内認定子ども園、保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校との連携を図り、子どもの読書に関わる活動、学習支援を行う。
 ・図書館フェスタをはじめとする全館統一事業を開催する。
 ・長野県図書館大会の開催地として、企画運営を行う。
 ・豊科図書館開館10周年記念講演会を開催する。

【詳細事業内訳】
 図書館サービス事業 4,451千円 図書館総務費 155千円 図書館管理運営費 131,726千円 図書館資料収集事業 27,891千円

【一般財源増加理由】		会計年度任用職員への移行に伴う増加							
節	節名称	金額	主要内容		節	節名称	金額	主要内容	
01	報酬	77,389	パートタイム会計年度任用職員(館長・司書等)		13	使用料及び賃借料	21,178	図書館システムリース料、書誌データ使用料、有料データベース使用料	
03	職員手当等	16,713	パートタイム会計年度任用職員諸手当		17	備品購入費	22,991	通常図書、三郷図書館資料計画購入、学校調べ学習用図書	
07	報償費	2,942	講演会講師謝礼、障がい者対面朗読謝礼、ブックスタート等		18	負担金補助及び交付金	109	県図書館協会、講座受講	
08	旅費	2,575	パートタイム会計年度任用職員通勤費等						
10	需用費	10,983	図書館整備用品・講座用消耗品、イベントチラシ等印刷、ICタグ、新聞・雑誌購入						
11	役務費	1,354	電話料、クリーニング、配達料						
12	委託料	7,989	エレベーター保守、図書館システム保守、配本車運転、図書抽出マーク						

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	図書館資料収集事業	1 新聞・雑誌購入 2 通常図書購入 3 三郷図書館計画購入図書 4 学校調べ学習用図書 など	17	備品購入費	22,755	
				10	需用費	5,037	
				12	委託料	99	
					計	27,891	
2					計	0	

監査委員事務局

重点施策	—	コード	011500000
		課・係等	監査委員事務局

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	06	監査委員費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	監査委員費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102640	監査委員事務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	29,259	0	0	0	0	29,259
前年度	29,054	0	0	0	0	29,054
増減額	205	0	0	0	0	205

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 行財政運営の健全性と透明性の確保に寄与し、もって住民の福祉の増進と市政への信頼確保に資する。
【効果】
 監査を実施することにより、市の行財政運営が公正で合理的かつ効果的に実施されているか、また予算の執行・事業の経営が適正に効果的で効率的かつ経済的に行われているかを検証できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・年間の監査計画を策定し、その後各監査の実施計画の作成を行い監査を実施する。
 ・全国都市監査委員会総会・研修会等に参加し、知識の取得と意識向上を図る。

【詳細事業内訳】
 監査委員事務費 29,259千円

【一般財源増加理由】	全国都市監査委員会総会等の開催場所によって旅費が増減する。(前年度は全国都市監査委員会総会開催都市が長野市だったため予算計上していないが本年度は広島市のため増となった)										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	2,956	監査委員報酬								
02	給料	13,691	職員給料								
03	職員手当等	7,574	職員手当等								
04	共済費	4,423	職員共済費等								
08	旅費	476	全国都市監査委員会総会、東海地区都市監査委員会総会、三地区共催都市監査事務研修会、日本経営協会研修								
10	需用費	68	参考図書(地方財務)、エイナーファイル、インデックスラベル他								
18	負担金補助及び交付金	71	全国都市監査委員会負担金、東海地区都市監査委員会負担金、監査委員研修会負担金等								

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

選挙管理委員会事務局

重点施策	—	コード	011600000
		課・係等	選挙管理委員会事務局

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	04	選挙費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	選挙管理委員会費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102500	選挙管理委員会事務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	16,859	0	1	0	0	16,858
前年度	15,791	0	1	0	0	15,790
増減額	1,068	0	0	0	0	1,068

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16		在外選挙人名簿登録事務委託費	1						

【目的・効果】
【目的】
 公正、公平、中立な選挙執行を確保するため、選挙管理委員会事務、各種選挙人名簿の調製等を行う。
【効果】
 各種選挙の執行にあたり、正確な事務執行を行うことができる。また、委員及び職員が研修会へ参加することにより、選挙制度の情勢などについて新たな見識を得ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 1 選挙管理委員会事務
 選挙管理委員会定例会(月1回)及び臨時会(必要に応じ)の開催
 2 選挙人名簿の調製
 選挙人名簿(定時登録年4回・選挙時登録)及び在外選挙人名簿の調製
 3 総会、研修会への参加
 全国選挙管理委員会連合会北信越支部・長野県選挙管理委員会連合会・長野県19市選挙管理委員会連合会・中信四市選挙管理委員会が開催する総会、研修会への参加

【詳細事業内訳】
 選挙管理委員会事務費 16,859千円

【一般財源増加理由】 全国選挙管理委員会連合会北信越支部総会開催地が遠方となるため旅費の増加

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	2,016	選挙管理委員報酬				
02	給料	7,410					
03	職員手当等	4,128					
04	共済費	2,876					
08	旅費	123	職員旅費・委員費用弁償				
10	需用費	61	参考図書・事務消耗品				
18	負担金補助及び交付金	245	選挙管理委員会連合会ほか負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	112
--------	-----

重点施策	—	コード	011600000
		課・係等	選挙管理委員会事務局

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	04	選挙費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	明るい選挙推進費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102510	明るい選挙推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	659	0	0	0	0	659
前年度	664	0	0	0	0	664
増減額	△5	0	0	0	0	△5

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
									0	

【目的・効果】

【目的】

有権者が主権者としての自覚を持ち、自ら進んで投票に参加するよう主権者教育・常時啓発を行う。

【効果】

主権者教育・啓発活動を通じ、政治や選挙、候補者に関心を持ってもらうことにより政治意識の向上、投票率の向上を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 啓発活動を推進するため、市明るい選挙推進協議会の開催、県主催の明るい選挙推進県大会等へ参加する。
- 選挙に関心を持ってもらう主権者教育の一環として、明るい選挙啓発ポスターを小・中学校、高等学校、より募集し、市選考を経て県審査、中央(全国)審査へ出品する。併せて優秀作品の展示、ホームページへの掲出を行う。
- 中信四市合同で新有権者に向けた啓発活動を行う。

【詳細事業内訳】

明るい選挙推進事業 659千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	報償費	604	中信四市(松本・塩尻・大町・安曇野市)合同啓発事業記念品、啓発ポスター参加賞、啓発活動出席謝礼				
10	需用費	55	新有権者・成人式用啓発パンフ				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

農業委員会事務局

重点施策	—		コード	011700000		予算書ページ	196
			課・係等	農業委員会事務局			
予算	款	06	農林水産業費		総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費			基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	農業委員会費			基本施策	農業の振興
	事業	0106010	農業委員会費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	91,444	12	12,592	0	1,645	77,195
前年度	80,251	12	8,953	0	1,372	69,914
増減額	11,193	0	3,639	0	273	7,281

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	国有農地管理事務委託金	12	21	農業者年金事務費	320	21	農業投資価格評定謝金	8	
16	農業費負担金	8,737	21	県農業開発公社業務委託金	78	21	農業新聞購読料等	1,196		
16	機構集積支援事業費補助金	183	21	農業者年金新規加入奨励金	42					
16	農地利用最適化交付金	3,672	21	農地転用許可表示板	1					

【目的・効果】

【目的】

- ・優良農地の確保や効率的利用の実現に向け、農地の保全と有効利用の促進を図る。
- ・農地法その他の法令により、農地利用関係の調整を通じて、農地の円滑化、適正化を図る。
- ・農業者年金への加入促進により、農業者の生涯所得の充実を図り、農業を職業として選択しうる魅力あるものとする。

【効果】

- ・農地の流動化による担い手への農地集積や遊休農地の解消等を進めることにより、限りある農地の保全と有効活用が図られる。
- ・農業者年金へ加入することにより「老後生活の安心と安定」が確保され、長期にわたり農業生産活動に従事することが可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・農地法に基づく業務の適正な運用(農地法第3条・第4条・第5条等の申請書類の受付・審査、農業委員会定例総会(毎月1回)による審議、県への進達及び許可事務)
- ・農地台帳整備、標準作業料金決定、賃借料情報の提供
- ・農地流動化促進のため、農地の有効利用と中核担い手農家への農地集積を支援
- ・農地/パトロールによる遊休・荒廃農地の解消指導
- ・人・農地プランと農地中間管理事業を活用した農地の集積・集約化の促進
- ・農業者年金の加入促進

農業委員会事業 91,444千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	34,140	農業委員・農地利用最適化推進委員報酬			11	役務費	437	郵便料金		
02	給料	26,884	職員給料			12	委託料	3,524	農地台帳更新データ作成業務委託外		
03	職員手当等	12,482	職員諸手当			13	使用料及び賃借料	52	窓口用パソコンリース		
04	共済費	8,097	職員共済組合納付金			18	負担金補助及び交付金	2,670	県農業会議、松塩筑安曇農業員会協議会負担金外		
07	報償費	303	農作業労賃・機械作業料金改定会議出席謝礼外			26	公課費	9	自動車重量税		
08	旅費	158	研修会出席職員旅費								
10	需用費	2,688	農業委員会だより印刷、事務用品外								

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

公平委員会事務局

重点施策	—	コード	011800000
		課・係等	公平委員会事務局

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	07	公平委員会費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	公平委員会費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102650	公平委員会事務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	533	0	0	0	0	533
前年度	404	0	0	0	0	404
増減額	129	0	0	0	0	129

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
									0	

【目的・効果】
【目的】
 ・地方公務員法第7条第4項の規定に基づき設置された公平委員会を運営するため
【効果】
 ・不利益処分に関する審査請求制度の実効性の確保
 ・措置要求制度の実効性の確保
 ・職員の苦情処理の実効性の確保

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・年2回の委員会開催
 ・各種研修会、総会へ参加し、他自治体における審査請求、措置要求に関する取り扱い事例の情報収集やその対応策等について研究するとともに、事例の検討を行う
 ・令和元年度北信越支部総会・研究会は長野市で開催されたため、日帰りで出席したが、令和2年度は富山県射水市で開催されるため、1泊2日で出席となり委員報酬と旅費で101,700円の増額。

【詳細事業内訳】
 公平委員会事務費 533千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	209	公平委員報酬				
08	旅費	240	委員研修旅費、随員職員旅費				
10	需用費	5	消耗品費				
11	役務費	2	弔電等電報代				
18	負担金補助及び交付金	77	全公連負担金、研究会出席負担金 北信越支部総会・研究会出席負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	公平委員会事務費	他自治体における審査請求、措置要求に関する取り扱い事例の情報収集やその対応策等について研究するとともに、事例の検討を行う。	01	報酬	209	
				08	旅費	240	
				18	負担金補助及び交付金	77	
					計	526	
2							
					計	0	

特別会計

国民健康保険特別会計

重点施策	—	コード	010703100	予算書ページ	18
		課・係等	国保年金課 国保年金担当		

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	総務管理費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	一般管理費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100010	一般管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	33,000	4,092	1,446	0	27,462	0
前年度	27,396	0	0	0	27,396	0
増減額	5,604	4,092	1,446	0	66	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	社会保険・税番号制度システム整備費補助金	4,092							
04	特別調整交付金分	1,446								
06	事務費分	27,462								

【目的・効果】
【目的】
 ・後期高齢者医療保険事務事業の経費として必要である。
【効果】
 ・事務経費が確保されていることにより、事務事業が円滑に執行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上必要な経費を随時執行する。

【詳細事業内訳】
 一般管理費 33,000千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	10,254	会計年度任用職員 6人分	10,254千円		17	備品購入費	66	事務用備品66千円
03	職員手当等	2,183	会計年度任用職員期末手当 6人分	2,183千円					
08	旅費	559	会計年度任用職員通勤費 6人分 459千円、職員出張旅費 100千円						
10	需用費	719	事務執行に伴う消耗品類購入500千円 保険証等の発送に伴う封筒印刷等219千円						
11	役務費	10,129	電算共同処理手数料(国保連合会)6,749千円、国保情報集約システム運用手数料等(国保連合会)3,380千円						
12	委託料	9,061	保険証等封入封緘業務委託2,150千円 制度改正に伴うシステム改修業務委託6,609千円 療養費の支給に係る調査業務委託302千円						
13	使用料及び賃借料	29	有料道路使用料等29千円						

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	18
--------	----

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	総務管理費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	02	連合会負担金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100020	連合会負担金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,731	0	0	0	3,731	0
前年度	4,155	0	0	0	4,155	0
増減額	△ 424	0	0	0	△ 424	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
	06	事務費分	3,731								3,731

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業の安定的な運営。

【効果】

・負担金支払により、事務事業が円滑に執行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・事業運営上求められる負担金額を予算執行する。

【詳細事業内訳】

連合会負担金 3,731千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
18	負担金補助及び交付金	3,731	国保連合会負担金3,731千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	賦課徴収費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	賦課徴収費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100040	賦課徴収費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,942	0	0	0	8,942	0
前年度	9,916	0	709	0	9,207	0
増減額	△ 974	0	△ 709	0	△ 265	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	02	督促手数料	700							
06	事務費分	8,242								

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業の賦課業務を安定的に運営するための事務経費。
【効果】
 ・運営経費があることにより、事務事業が円滑に執行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事務運営上必要な経費を随時執行する。

【詳細事業内訳】
 賦課徴収費 8,942千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	旅費	57			徴収事務等研修会57千円				
10	需用費	1,338			賦課徴収事務用品220千円、公用車燃料費65千円、納税通知書等発送用封筒印刷954千円、公用車修繕99千円				
11	役務費	83			公用車定期点検52千円、預金照会手数料5千円、公用車自賠責保険料26千円				
12	委託料	7,286			電算システム業務委託7,286千円				
13	使用料及び賃借料	105			有料道路使用料6千円、コンビニ収納システム使用料99千円				
18	負担金補助及び交付金	64			徴収事務等研修会参加負担金64千円				
26	公課費	9			公用車自動車重量税9千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	20
--------	----

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	03	運営協議会費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	運営協議会費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100050	運営協議会費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	363	0	0	0	363	0
前年度	363	0	0	0	363	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険法及び市国保条例により義務付けられている国保運営協議会を運営するための事務経費
【効果】
 ・国保事業を審議する会であり、国保事業の推進ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上求められる諸費用を予算執行する。

【詳細事業内訳】
 運営協議会費 363千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	276	運営協議会、委員研修会出席報酬276千円								
10	需用費	82	国保新聞購読料 82千円								
13	使用料及び賃借料	5	有料道路使用料5千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

予算書ページ	20
--------	----

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	04	趣旨普及費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	趣旨普及費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100060	趣旨普及費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	713	0	0	0	713	0
前年度	1,014	0	0	0	1,014	0
増減額	△ 301	0	0	0	△ 301	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	06	事務費分		713						

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業の啓発用事務経費。
【効果】
 ・制度説明用パンフレットがあることにより、国保制度の説明や案内が市民に対して簡潔にできる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・保険証や高齢受給者証の一斉更新時及び窓口での説明に必要なパンフレット等の整備。

【詳細事業内訳】
 趣旨普及費 713千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
10	需用費	713	制度案内パンフレット等購入713千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

予算書ページ	22
--------	----

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	療養諸費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	一般被保険者療養給付費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100071	一般被保険者療養給付費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,924,900	0	5,924,900	0	0	0
前年度	6,173,890	0	6,173,890	0	0	0
増減額	△ 248,990	0	△ 248,990	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を経由して医療費の支払を滞ることなくできる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・毎月、国保連合会から請求される医療費について、遅滞なく支払を行う。

【詳細事業内訳】
 一般被保険者療養給付費 5,924,900千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
18	負担金補助及び交付金	5,924,900	一般被保険者療養給付費 5,924,900千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	療養諸費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	02	退職被保険者等療養給付費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100081	退職被保険者等療養給付費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,000	0	2,000	0	0	0
前年度	8,050	0	8,050	0	0	0
増減額	△ 6,050	0	△ 6,050	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・被保険者等が受診した医療機関等へ国保連合会を経由して医療費の支払が滞ることなくできる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・毎月、国保連合会から請求される医療費について、遅滞なく支払を行う。

【詳細事業内訳】
 退職被保険者等療養給付費 2,000千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
18	負担金補助及び交付金	2,000	退職被保険者等療養給付費 2,000千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策	—
------	---

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	22
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	療養諸費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	03	一般被保険者療養費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100091	一般被保険者療養費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	64,000	0	64,000	0	0	0
前年度	71,000	0	71,000	0	0	0
増減額	△ 7,000	0	△ 7,000	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を経由して医療費の支払が滞りなくできる。
 ・被保険者が医療機関等へ直接10割分を支払った場合において、診査ののち被保険者へ自己負担相当額を除いた金額の支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・毎月、国保連合会から請求される医療費及び国保連合会で審査され支給決定を受けた療養費について、遅滞なく支払を行う。

【詳細事業内訳】
 一般被保険者療養費 64,000千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
18	負担金補助及び交付金	64,000	一般被保険者療養費 64,000千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

予算書ページ	22
--------	----

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	療養諸費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	04	退職被保険者等療養費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100101	退職被保険者等療養費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	200	0	200	0	0	0
前年度	400	0	400	0	0	0
増減額	△ 200	0	△ 200	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	04	普通交付金	200							

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。

【効果】

・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を経由して医療費の支払が滞りなくできる。
 ・被保険者が医療機関等へ直接10割分を支払った場合において、診査ののち被保険者へ自己負担相当額を除いた金額の支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・毎月、国保連合会から請求される医療費及び国保連合会で審査され支給決定を受けた療養費について、遅滞なく支払を行う。

【詳細事業内訳】

退職被保険者等療養費 200千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
18	負担金補助及び交付金	200	退職被保険者等療養費 200千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	療養諸費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	05	審査支払手数料		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100111	審査支払手数料			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	21,000	0	21,000	0	0	0
前年度	19,400	0	19,400	0	0	0
増減額	1,600	0	1,600	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	04	普通交付金	21,000							

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・国保連合会で審査を行うことにより、医療費請求審査が円滑にできる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上必要な経費を随時執行する。

【詳細事業内訳】
 審査支払手数料 21,000千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
11	役務費	21,000	審査支払手数料 21,000千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	高額療養費		基本方針	健康を大切にすするまち
	目	01	一般被保険者高額療養費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100121	一般被保険者高額療養費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	980,000	0	980,000	0	0	0
前年度	1,020,000	0	1,020,000	0	0	0
増減額	△ 40,000	0	△ 40,000	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的運営。
【効果】
 ・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を経由して医療費の支払が滞ることなくできる。
 ・被保険者からの申請により、高額療養費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・毎月、国保連合会から請求される医療費について、遅滞なく支払を行う。
 ・毎月、被保険者から申請のあった高額療養費の支給申請について、遅滞なく支払を行う。

【詳細事業内訳】
 一般被保険者高額療養費 980,000千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
18	負担金補助及び交付金	980,000	一般被保険者高額療養費 980,000千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

予算書ページ	24
--------	----

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	高額療養費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	02	退職被保険者等高額療養費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100131	退職被保険者等高額療養費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	600	0	600	0	0	0
前年度	1,200	0	1,200	0	0	0
増減額	△ 600	0	△ 600	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的運営。
【効果】
 ・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を経由して医療費の支払が滞ることなくできる。
 ・被保険者からの申請により、高額療養費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・毎月、国保連合会から請求される医療費について、遅滞なく支払を行う。
 ・毎月、被保険者から申請のあった高額療養費の支給申請について、遅滞なく支払を行う。

【詳細事業内訳】
 退職被保険者等高額療養費 600千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
18	負担金補助及び交付金	600	退職被保険者等高額療養費 600千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—
------	---

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	24
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	高額療養費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	03	一般被保険者高額介護合算療養費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100135	一般被保険者高額介護合算療養費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,000	0	1,000	0	0	0
前年度	1,000	0	1,000	0	0	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	04	普通交付金	1,000							

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・被保険者からの申請により高額介護合算療養費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・毎月、被保険者から申請のあった高額介護合算療養費の支給申請について、遅滞なく支払を行う。

【詳細事業内訳】
 一般被保険者高額介護合算療養費 1,000千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
18	負担金補助及び交付金	1,000	一般被保険者高額介護合算療養費1,000千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—
------	---

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	24
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	高額療養費		基本方針	健康を大切にすま
	目	04	退職被保険者等高額介護合算療養費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100136	退職被保険者等高額介護合算療養費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	100	0	100	0	0	0
前年度	100	0	100	0	0	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・被保険者からの申請により高額介護合算療養費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・毎月、被保険者から申請のあった高額介護合算療養費の支給申請について、遅滞なく支払を行う。

【詳細事業内訳】
 退職被保険者等高額介護合算療養費 100千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
18	負担金補助及び交付金	100	退職被保険者等高額介護合算療養費 100千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

予算書ページ	24
--------	----

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	03	移送費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	一般被保険者移送費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100141	一般被保険者移送費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	250	0	250	0	0	0
前年度	250	0	250	0	0	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	04	普通交付金	250							

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・被保険者からの申請により移送費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・被保険者からの支給申請について、遅滞なく支払を行う。

【詳細事業内訳】
 一般被保険者移送費 250千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
18	負担金補助及び交付金	250	一般被保険者移送費 250千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	03	移送費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	02	退職被保険者移送費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100151	退職被保険者移送費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	250	0	250	0	0	0
前年度	250	0	250	0	0	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	04	普通交付金	250							

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・被保険者からの申請により移送費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・被保険者からの支給申請について、遅滞なく支払を行う。

【詳細事業内訳】
 退職被保険者移送費 250千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
18	負担金補助及び交付金	250	一般被保険者移送費 250千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	04	出産育児諸費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	出産育児一時金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100161	出産育児一時金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	25,200	0	0	0	16,800	8,400
前年度	18,900	0	0	0	12,600	6,300
増減額	6,300	0	0	0	4,200	2,100

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	06	出産育児一時金等	16,800							

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業の出産給付における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・国保被保険者の出産費用の軽減が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・国保連合会からの請求や被保険者からの請求により随時支給を行う。

【詳細事業内訳】
 出産育児一時金 25,200千円

【一般財源増加理由】 支給対象件数の増加が見込まれるため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
18	負担金補助及び交付金	25,200	出産育児一時金25,200千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	26
--------	----

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	04	出産育児諸費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	02	審査支払手数料		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100162	審査支払手数料			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	13	0	0	0	0	13
前年度	10	0	0	0	0	10
増減額	3	0	0	0	0	3

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・国保連合会経由で処理を行うことにより、円滑な支払いができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上必要な経費を随時執行する。

【詳細事業内訳】
 審査支払手数料 13千円

【一般財源増加理由】 支給対象件数の増加が見込まれるため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	役務費	13	審査支払手数料13千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	05	葬祭諸費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	葬祭費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100171	葬祭費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,400	0	0	0	0	5,400
前年度	5,400	0	0	0	0	5,400
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業の葬祭給付における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・葬祭費用の一部として給付するため、葬祭執行者が負担する葬祭費用の軽減が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・葬祭執行者からの請求により随時支給を行う。

【詳細事業内訳】
 葬祭費 5,400千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
18	負担金補助及び交付金	5,400	葬祭費5,400千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	06	精神諸費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	精神給付金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100181	精神給付金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	21,000	0	0	0	21,000	0
前年度	20,000	0	0	0	20,000	0
増減額	1,000	0	0	0	1,000	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	06	精神給付金	21,000							

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・精神通院医療に該当する国保被保険者の通院費用の軽減が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・国保連合会からの請求により随時支給を行う。

【詳細事業内訳】
 精神給付金 21,000千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
18	負担金補助及び交付金	21,000	精神給付金21,000千円						

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1					計	0	
2					計	0	

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	03	国民健康保険事業費納付金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	医療給付費分		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	一般被保険者医療給付費分		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100371	一般被保険者医療給付費分			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,652,015	0	49,947	0	394,866	1,207,202
前年度	1,988,451	0	57,040	0	690,028	1,241,383
増減額	△ 336,436	0	△ 7,093	0	△ 295,162	△ 34,181

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	04	保険者努力支援分	37,833	06	保険基盤安定事業(保険税軽減分)	199,803	06	地単事業減額調整分補填金	1,391	
04	特別調整交付金分	8,495	06	保険基盤安定事業(保険者支援分)	118,203	08	軽減特例措置	1		
04	県繰入金(2号分)	3,618	06	財政安定化支援事業	58,401					
04	財政安定化基金交付金	1	06	基金繰入金	17,067					

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・長野県により決められた事業費納付金を納入することにより、国民健康保険財政運営が円滑に行われる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
県からの請求により支払いを行う。

【詳細事業内訳】

一般被保険者医療給付費分 1,652,015千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
18	負担金補助及び交付金	1,652,015	一般被保険者医療給付費分 1,652,015千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	03	国民健康保険事業費納付金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	医療給付費分		基本方針	健康を大切にするまち
	目	02	退職被保険者等医療給付費分		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100381	退職被保険者等医療給付費分			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	200	0	0	0	0	200
前年度	1,670	0	0	0	0	1,670
増減額	△ 1,470	0	0	0	0	△ 1,470

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・長野県により決められた事業費納付金を納入することにより、国民健康保険財政運営が円滑に行われる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
県からの請求により支払いを行う。

【詳細事業内訳】

退職被保険者等医療給付費分 200千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
18	負担金補助及び交付金	200	退職被保険者等医療給付費分 200千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	28
--------	----

予算	款	03	国民健康保険事業費納付金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	後期高齢者支援金等分		基本方針	健康を大切にすするまち
	目	01	一般被保険者後期高齢者支援金等分		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100391	一般被保険者後期高齢者支援金等分			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	597,475	0	0	0	143,841	453,634
前年度	642,451	0	0	0	145,800	496,651
増減額	△ 44,976	0	0	0	△ 1,959	△ 43,017

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
06	保険基盤安定事業(保険者支援分)	49,816								

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・長野県により決められた事業費納付金を納入することにより、国民健康保険財政運営が円滑に行われる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する県からの請求により支払いを行う。

【詳細事業内訳】
 一般被保険者後期高齢者支援金等分 597,475千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
18	負担金補助及び交付金	597,475	一般被保険者後期高齢者支援金等分 597,475千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策	—
------	---

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	28
--------	----

予算	款	03	国民健康保険事業費納付金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	後期高齢者支援金等分		基本方針	健康を大切にするまち
	目	02	退職被保険者等後期高齢者支援金等分		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100401	退職被保険者等後期高齢者支援金等分			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	70	0	0	0	0	70
前年度	546	0	0	0	0	546
増減額	△ 476	0	0	0	0	△ 476

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・長野県により決められた事業費納付金を納入することにより、国民健康保険財政運営が円滑に行われる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 県からの請求により支払いを行う。

【詳細事業内訳】
 退職被保険者等後期高齢者支援金等分 70千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
18	負担金補助及び交付金	70	退職被保険者等後期高齢者支援金等分	70千円					

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	03	国民健康保険事業費納付金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	03	介護納付金分		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	介護納付金分		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100411	介護納付金分			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	221,562	0	0	0	64,421	157,141
前年度	224,135	0	0	0	60,635	163,500
増減額	△ 2,573	0	0	0	3,786	△ 6,359

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
06	保険基盤安定事業(保険者支援分)	13,315								
06	基金繰入金	27,933								

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・長野県により決められた事業費納付金を納入することにより、国民健康保険財政運営が円滑に行われる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する県からの請求により支払いを行う。

【詳細事業内訳】
 介護納付金分 221,562千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
18	負担金補助及び交付金	221,562	介護納付金分 221,562千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策	(1)	コード	010703100		予算書ページ	30
		課・係等	国保年金課 国保年金担当			
予算	款	04	保健事業費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健事業費		基本方針	健康を大切にすま
	目	01	保健事業費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100250	保健事業費			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	16,212	0	7,251	0	8,961
前年度	16,103	0	7,330	0	6,767
増減額	109	0	△ 79	0	2,194

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	04	保険者努力支援分	3,663	08	高額療養費貸付金収入(過年度分)	10				
04	県繰入金(2号分)	3,588								
06	事務費分	6,961								
08	高額療養費貸付金収入(現年度分)	1,990								

【目的・効果】

【目的】

・健康の保持増進や医療費適正化に取り組むことで健康長寿と医療保険制度の安定運営を図る。

【効果】

・健康意識の高まりにより、楽しみながら健康づくりを行える健康ポイント制度を導入。ポイント付与によって、健康維持や疾病予防により健康意識が変わり、国保財政運営の健全化に結びつくことが期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・医療費通知、ジェネリック医薬品の差額通知の発送を行う。
- ・医療機関等への重複・頻回受診者に対し、保健師が訪問し、療養方法等必要な保健指導を行う。
- ・市の各種健診等を受診した国保加入者に健康ポイントを付与し、保健センターで行う検診、農産物直売所で割引券として利用する。

【詳細事業内訳】

健康ポイント事業 3,663千円 保健事業費 12,549千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	2,812	保健事業関係事務職員、多受診・頻回受診訪問保健師等報酬費	27	繰出金	500	健診料金補助
03	職員手当等	610	保健事業関係事務職員、多受診・頻回受診訪問保健師等手当				
08	旅費	89					
10	需用費	533	健康づくり事業事務用品・糖尿病連携手帳・活動量計370千円、健康ポイント広報パンフレット・ポイント補助券163千円				
11	役務費	6,668	医療費通知・ジェネリック医薬品差額通知事務3,588千円、レセプト点検支援事務3,080千円				
18	負担金補助及び交付金	3,000	健康ポイント割引券補助				
20	貸付金	2,000	高額療養費貸付金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	健康ポイント事業	保険者努力支援制度の評価指標の一つである「個人へのインセンティブの提供」を実施するため、20歳以上の国保加入者に対し、市が実施する各種検診等を受診した場合に健康ポイントを付与する。 その年度に貯まったポイント500ポイントごとに500円の健康ポイント割引券を次年度に交付し、各種検診等の自己負担金又は農産物直売所での買い物時に引きを行う。 ポイントを特典に交換することで、健康への意識を高め健診等への受診率向上を図る。	18	負担金補助及び交付金	3,000
				27	繰出金	500
				10	需用費	163
					計	3,663
2					計	0

予算書ページ	32
--------	----

重点施策	(1)	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	04	保健事業費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	特定健康診査等事業費		基本方針	健康を大切にすま
	目	01	特定健康診査等事業費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100249	特定健康診査等事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	215,532	0	36,518	0	48,848	130,166
前年度	205,715	0	36,679	0	45,685	123,351
増減額	9,817	0	△ 161	0	3,163	6,815

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	04	特定健康診査等負担金	31,062	08	特定健康診査等受託料	15,850				
04	特別調整交付金分	5,456	08	特定健診等個人負担金	5,250					
06	事務費分	18,845								
06	後期高齢者健診繰入金	8,903								

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険特定健康診査等実施計画により、40歳から74歳までの国保被保険者を対象に、生活習慣病予防に着目した特定健康診査及び特定保健指導を行う。
【効果】
 ・特定健康診査及び特定保健指導を実施することにより、高血圧・高脂血・糖尿病等の生活習慣病の早期発見・早期治療、健康保持され、その結果国保医療費の負担軽減に繋がる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・特定健康診査を医療機関等と連携を図り実施する。(集団健診・個別健診・人間ドック・通院治療者受診結果受領票)
 ・検査項目にアルブミン検査を加え、若年者の健康指導者を明確にし、後期高齢者へつなぐ指導をする。
 ・保健師・管理栄養士による個別での特定保健指導を行う。
 ・特定健診受診結果によるハイリスク対象者を把握し、二次健診(動脈硬化検査、微量アルブミン検査)を実施する。

【詳細事業内訳】
 特定健康診査等事業費 215,532千円

【一般財源増加理由】	人間ドックの受診者が増加見込										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	2,786	集団検診受付事務及び特定健診保健指導保健師の報酬			18	負担金補助及び交付金	3,400	人間ドック受診補助		
03	職員手当等	528	集団検診受付事務及び特定健診保健指導保健師の手当								
08	旅費	109									
10	需用費	1,944	特定健診啓発用パンフレット及びポスター購入1,020千円、アルブミン検査用紙ほか240千円、通知用封筒印刷684千円								
11	役務費	765	受診啓発広告費								
12	委託料	205,648	集団・個別健診事業委託17,817千円、特定健診等医務委託187,831千円								
17	備品購入費	352	マルチマーカーパーソナル版バージョンアップ								

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	特定健康診査等事業	・特定健康診査等実施計画により、40歳から74歳までの被保険者を対象に、生活習慣病予防に着目した特定健康診査及び特定保健指導を行う。 ・特定健診及び特定保健指導を実施することにより、高血圧・高脂血・糖尿病等の生活習慣病の早期発見・早期治療、健康保持され、その結果国保医療費の負担軽減に繋がる。	1	報酬	2,786
				10	需用費	1,944
				12	委託料	205,648
					役務費外	5,154
					計	215,532
2					計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	05	積立金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	積立金		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	基金積立金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100261	基金積立金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,000	0	0	0	0	2,000
前年度	35,000	0	0	0	0	35,000
増減額	△ 33,000	0	0	0	0	△ 33,000

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

0

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・基金への積立てを行うことにより、急に資金が必要となった場合に、取崩しての運営が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・事業運営上必要な額を積立てる。

【詳細事業内訳】

基金積立金 2,000千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
24	積立金	2,000	基金積立金 2,000千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	05	積立金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	積立金		基本方針	健康を大切にするまち
	目	02	基金積立金利子		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100266	基金積立金利子			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,360	0	0	0	1,359	1
前年度	2,052	0	0	0	2,051	1
増減額	△ 692	0	0	0	△ 692	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
	05	基金積立金利子	1,359								1,359

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・基金への積立てを行うことにより、急に資金が必要となった場合に取崩しての運営が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・会計課から示された額を積立てる。

【詳細事業内訳】

基金積立金利子 1,360千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
24	積立金	1,360	基金積立金利子1,360千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	06	公債費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	公債費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	一時借入金利子		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100275	一時借入金利子			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1	0	0	0	0	1
前年度	1	0	0	0	0	1
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
	細節名称		細節名称		細節名称		
						0	

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・一時借入があった場合、円滑に支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・支払が必要となった場合、随時支払をする。

【詳細事業内訳】
 一時借入金利子 1千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
22	償還金、利子及び割引料	1	一時借入金利子1千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金利子及び還付加算金		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	一般被保険者保険税還付金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100281	一般被保険者保険税還付金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,000	0	0	0	0	6,000
前年度	6,000	0	0	0	0	6,000
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全な運営の遂行。
【効果】
 ・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・納入された国保税について過誤納となった場合に、随時還付処理により執行する。

【詳細事業内訳】
 一般被保険者保険税還付金 6,000千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
22	償還金、利子及び割引料	6,000	還付金 6,000千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金利子及び還付加算金		基本方針	健康を大切にすまち
	目	02	退職被保険者等保険税還付金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100291	退職被保険者等保険税還付金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	40	0	0	0	0	40
前年度	150	0	0	0	0	150
増減額	△ 110	0	0	0	0	△ 110

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全な運営の遂行。
【効果】
 ・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・納入された国保税について過誤納となった場合に、随時還付処理により執行する。

【詳細事業内訳】
 退職被保険者等保険税還付金 40千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
22	償還金、利子及び割引料	40	還付金 40千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金利子及び還付加算金		基本方針	健康を大切にするまち
	目	03	一般被保険者還付加算金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100301	一般被保険者還付加算金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	100	0	0	0	0	100
前年度	100	0	0	0	0	100
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全な運営の遂行。
【効果】
 ・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・還付加算金シートにより計算を行い、国保税の還付口座へ国保税還付金とともに支払う。

【詳細事業内訳】
 一般被保険者還付加算金 100千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
22	償還金、利子及び割引料	100	還付加算金 100千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—
------	---

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	34
--------	----

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金利子及び還付加算金		基本方針	健康を大切にすするまち
	目	04	退職被保険者等還付加算金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100311	退職被保険者等還付加算金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3	0	0	0	0	3
前年度	10	0	0	0	0	10
増減額	△ 7	0	0	0	0	△ 7

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全な運営の遂行。

【効果】

・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・還付加算金シートにより計算を行い、国保税の還付口座へ国保税還付金とともに支払う。

【詳細事業内訳】

退職被保険者等還付加算金 3千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
22	償還金、利子及び割引料	3	還付加算金 3千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金利子及び還付加算金		基本方針	健康を大切にするまち
	目	05	保険給付費等交付金償還金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100315	保険給付費等交付金償還金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,551	0	0	0	1	5,550
前年度	1	0	0	0	1	0
増減額	5,550	0	0	0	0	5,550

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	08	療養給付費等返還金	1							

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営
【効果】
 ・前年度交付金が超過していた場合に、速やかに返還対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 前年度の精算により超過交付となった場合、随時執行できる。

【詳細事業内訳】
 保険給付費等交付金償還金 5,551千円

【一般財源増加理由】 昨年度は返還額が当初予算編成時に示されなかったが、本年度は返還額の一部が既に示されているため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
22	償還金、利子及び割引料	5,551	保険給付費等交付金償還金 5,551千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金利子及び還付加算金		基本方針	健康を大切にすまち
	目	06	一般被保険者返納金還付金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100361	一般被保険者返納金還付金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	35	0	0	0	0	35
前年度	35	0	0	0	0	35
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・被保険者から返還請求があった場合に随時執行する。

【詳細事業内訳】
 一般被保険者返納金還付金 35千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
22	償還金、利子及び割引料	35	一般被保険者返納金還付金 35千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金利子及び還付加算金		基本方針	健康を大切にするまち
	目	07	軽減特例措置償還金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100365	軽減特例措置償還金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	100	0	0	0	0	100
前年度	100	0	0	0	0	100
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営【効果】
 ・償還が生じた場合に速やかに償還できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 軽減特例措置の償還が生じた場合に即時執行できる。

【詳細事業内訳】
 軽減特例措置償還金 100千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
22	償還金、利子及び割引料	100	軽減特例措置償還金100千円						

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1					計	0	
2					計	0	

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	08	予備費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	予備費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	予備費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100340	予備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,365	0	0	0	0	4,365
前年度	2,312	0	0	0	0	2,312
増減額	2,053	0	0	0	0	2,053

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
									0	

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・急な支払増に対応できるため支払業務が円滑に執行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上必要が生じた場合は随時執行する。

【詳細事業内訳】
 予備費 4,365千円

【一般財源増加理由】 予備費額が増加したため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
29	予備費	4,365	予備費 4,365千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

後期高齢者医療特別会計

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	総務管理費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	一般管理費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	2600010	一般管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	50	0	0	0	50	0
前年度	48	0	0	0	48	0
増減額	2	0	0	0	2	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	04	事務費繰入金	50							

【目的・効果】
【目的】
 ・後期高齢者医療保険事務事業の経費として必要である。
【効果】
 ・事務費を確保することにより、事務事業が円滑に執行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事務事業を執行する上で、必要な経費を随時執行する。

【詳細事業内訳】
 一般管理費 50千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
10	需用費	50	事務執行に伴う消耗品の購入及び予算書・決算書の印刷								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—	コード	010703100	予算書ページ	14
		課・係等	国保年金課 国保年金担当		

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	徴収費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	徴収費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	2600030	徴収費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
8,814	4,603	4,211	3,858	0	0	4,955
			0	0	0	4,603
			0	0	0	352

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	02	督促手数料	60							
03	高齢者医療制度円滑運営事業費補助金	3,858								
04	事務費繰入金	4,895								

【目的・効果】
【目的】
 ・後期高齢者医療保険料収納事務として必要な経費を計上するため。
【効果】
 ・収納事務の円滑な執行が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事務運営上必要な経費を随時執行する。
 ・保険料納付の利便性を向上させるためのコンビニ収納を開始した。

【詳細事業内訳】
 徴収費 8,814千円

【一般財源増加理由】 事務費の増額による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
10	需用費	185	事務執行に伴う消耗品及び通知書用封筒印刷				
12	委託料	8,246	納付書等封入等事務委託 税制改正に伴うシステム業務委託				
13	使用料及び賃借料	383	電算処理システム・コンビニ収納システム使用料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	コード	010703100	予算書ページ	14
		課・係等	国保年金課 国保年金担当		

予算	款	02	後期高齢者医療広域連合納付金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	後期高齢者医療広域連合納付金		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	後期高齢者医療広域連合納付金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	2600070	広域連合納付金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,337,504	0	0	0	309,358	1,028,146
前年度	1,161,716	0	0	0	268,443	893,273
増減額	175,788	0	0	0	40,915	134,873

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	04	事務費繰入金	39,464							
04	保険基盤安定繰入金	269,894								

【目的・効果】
【目的】
 ・保険者である長野県後期高齢者医療広域連合へ、法令に基づく負担金を支払うため。
【効果】
 ・後期高齢者医療保険の健全な運営が保たれ、制度も持続可能な保険制度として維持されていく。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 財源を確保し、請求に基づき市町村負担金を広域連合納付金として、保険者へ支払う。
 ・保険料納付金: 毎月の保険料徴収額を長野県後期高齢者医療広域連合へ支払う。
 ・保険基盤安定納付金: 長野県後期高齢者医療広域連合からの請求に基づき支払う。(年6回: 5月・7月・9月・11月・1月・3月)
 ・事務費負担金: 長野県後期高齢者医療広域連合からの請求に基づき支払う。(年4回: 5月・8月・12月・3月)
 被保険者増加による保険料収入の増及びシステム改修に伴う事務費負担金の増に伴う広域連合納付金が増加。

【詳細事業内訳】
 広域連合納付金 1,337,504千円

【一般財源増加理由】	広域連合納付金の増加										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
18	負担金補助及び交付金	1,337,504	事務費負担金 39,404千円、保険料基盤安定負担金 269,894千円、保険料負担金 1,028,206円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	03	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金及び還付加算金		基本方針	健康を大切にすまち
	目	01	保険料還付金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	2600080	保険料還付金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	700	0	0	0	0	700
前年度	780	0	0	0	0	780
増減額	△ 80	0	0	0	0	△ 80

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

- 【目的】
 ・過年度に遡及されて過誤納となった保険料の還付事務に対応するため。
 【効果】
 ・過年度に遡及されて過誤納となった保険料の還付事務が速やかに遂行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・納入された後期高齢者医療保険料について、過誤納となった場合に速やかに還付していく。
 ・死亡による減額更正で過誤納金が発生した場合は、長野県後期高齢者医療広域連合の定められた様式を遺族へ窓口で渡し、相続人及び還付する口座を指定してもらう。

【詳細事業内訳】

保険料還付金 700千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
22	償還金、利子及び割引料	700	過年度保険料還付の支払い				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	03	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金及び還付加算金		基本方針	健康を大切にするまち
	目	02	還付加算金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	2600085	還付加算金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	50	0	0	0	0	50
前年度	70	0	0	0	0	70
増減額	△ 20	0	0	0	0	△ 20

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・過誤納となった保険料について、還付加算金が発生した場合に支出をする。
【効果】
 ・過誤納となった保険料の還付金と併せて還付加算金の支払いも可能となり、迅速な対応ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・還付加算金計算シートにより計算を行い、保険料の還付口座へ保険料とともに支払う。

【詳細事業内訳】
 還付加算金 50千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
22	償還金、利子及び割引料	50	保険料還付加算金の支払い								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

予算書ページ	16
--------	----

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	04	予備費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	予備費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	予備費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	2600150	予備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	103	0	0	0	0	103
前年度	100	0	0	0	0	100
増減額	3	0	0	0	0	3

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・後期高齢者医療における安定的な運営のため。

【効果】

・緊急に対応しなければならない事項について、迅速な対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・予算額を上回る支払いを緊急的に行う必要が生じたときに、対応が可能となる。

【詳細事業内訳】

予備費 103千円

【一般財源増加理由】 予備費の増額による

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
29	予備費	103	緊急的な事項への対応				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

介護保険特別会計

予算書ページ	18
--------	----

重点施策	—	コード	010702100
		課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	総務管理費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	一般管理費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100010	一般管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	13,044	1	0	0	13,043	0
前年度	12,627	1	0	0	12,626	0
増減額	417	0	0	0	417	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	介護保険審査支払等システム改修経費補助金	1							
08	事務費繰入金	13,043								

【目的・効果】
【目的】
 ・介護保険運営のための総務一般管理費。(介護保険等運営協議会委員報酬等、賦課徴収以外の経費)
【効果】
 ・介護保険事業の円滑な運営をはかる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・安曇野市老人福祉計画及び第7期介護保険事業計画の推進。(地域包括ケアシステムの深化と推進)
 ・介護保険制度改正に伴う事務対応。
 ・第8期介護保険事業計画の策定。

【詳細事業内訳】
 介護保険事業計画策定業務 2,167千円 介護保険課総務費(特別会計によるもの) 10,877千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	329	介護保険等運営協議会委員報酬(介護保険等事業所選考会報酬含む)						
08	旅費	154	出張研修職員旅費						
10	需用費	1,436	介護保険事業計画書印刷、事務用品、予算書印刷代、介護保険パンフレット印刷、給付通知発送用封筒作成等						
11	役務費	8,678	介護保険証、高額介護通知、介護保険料算定通知等郵送料						
12	委託料	1,955	システム改修委託、高齢者実態調査分析事務委託等						
13	使用料及び賃借料	396	介護事業所台帳管理システム利用料、他						
18	負担金補助及び交付金	96	職員研修参加負担金						

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	介護保険事業計画策定業務	・第8期介護保険事業計画(令和3年度～令和5年度)を策定。 ・介護保険事業の安定的な運営と地域包括ケアシステムの深化・推進。	01	報酬	245	
				08	旅費	68	
				10	需用費	935	
				12	委託料	919	
					計	2,167	
2							
					計	0	

重点施策	—	コード	010702100
		課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	徴収費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	賦課徴収費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100020	賦課徴収事務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,601	0	0	0	4,601	0
前年度	6,065	0	0	0	6,065	0
増減額	△ 1,464	0	0	0	△ 1,464	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	02	督促手数料	228							
08	事務費繰入金	4,371								
09	事務費繰越金	1								
10	延滞金	1								

【目的・効果】

・介護保険事業の運営財源として、介護保険第1号被保険者(65歳以上)から介護保険料を徴収する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・介護保険第1号被保険者へ納入通知書(納付書)等を発送する。
- ・適正な事務処理を学ぶため、徴収、相続(納付義務承継)等の研修へ参加する。

【詳細事業内訳】

賦課徴収事務 4,601千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	旅費	29	研修参加旅費				
10	需用費	90	事務用品、封筒印刷				
12	委託料	4,200	介護保険料業務委託				
13	使用料及び賃借料	33	コンビニ収納システム使用料				
18	負担金補助及び交付金	249	特別徴収情報經由事務負担金、研修参加負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—		コード	010702200		予算書ページ	20
			課・係等	介護保険課 認定調査係			
予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち	
	項	03	介護認定審査会費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち	
	目	01	認定調査費等		基本施策	高齢者福祉の充実	
	事業	3100030	認定調査費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	86,220	0	0	0	86,220	0
前年度	87,846	0	0	0	87,846	0
増減額	△ 1,626	0	0	0	△ 1,626	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	08	事務費繰入金	86,219							
10	雑入	1								

【目的・効果】
 要支援・要介護状態の者が、住み慣れた地域で自分らしく暮らせるよう、必要な時に必要なサービスを受けることができるようにする。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・介護保険法及び厚生労働省令で定められた事項について、申請者を訪問して調査を行い、調査結果を介護認定審査会へ諮る。
 ・更新認定者の一部を外部委託をして訪問調査を行う。

【詳細事業内訳】
 介護認定調査事務 86,220千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	28,647	会計年度任用職員 認定調査員(12名)、一般事務(2名)		18	負担金補助及び交付金	17,452	松本広域連合介護認定費負担金		
03	職員手当等	6,098	会計年度任用職員の諸手当							
08	旅費	1,193	会計年度任用職員の通勤費							
10	需用費	1,265	消耗品、公用車燃料代、封筒作成、リーフレット作成							
11	役務費	25,300	主治医意見書作成手数料							
12	委託料	4,955	認定調査委託費							
13	使用料及び賃借料	1,310	公用車リース料、有料道路使用料							

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1					計	0	
2					計	0	

重点施策	—
------	---

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	22
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	介護サービス等諸費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	介護サービス等諸費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100070	介護サービス等諸費			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源	
	国支出金	県支出金	市債	その他		
本年度	8,430,307	2,021,574	1,278,447	0	3,721,201	1,409,085
前年度	8,319,914	1,998,627	1,257,187	0	3,653,052	1,411,048
増減額	110,393	22,947	21,260	0	68,149	△1,963

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
03	介護給付費負担金過年度分	1	05	介護給付費負担金現年度分	1,278,446	08	介護保険支払準備基金繰入金	130,497		
03	現年度分調整交付金	409,166	05	介護給付費負担金 過年度分	1	10	第3者納付金	1		
04	介護給付費交付金現年度分	2,401,632	08	介護給付費繰入金	1,111,866	10	返納金	1		

【目的・効果】

【目的】

・介護サービス給付費の支払い。

【効果】

・介護保険サービスの実施。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・概ね3年に一度の介護報酬改定が実施され、プラス改定となった。介護保険施設としては、令和2年度に、グループホームと特養で増床があり、給付費の若干の増加が見込まれる。

【詳細事業内訳】

介護サービス等諸費 8,430,307千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
18	負担金補助及び交付金	8,430,307	居宅サービス、施設サービス、地域密着型サービス他				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	22
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	その他諸費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	審査支払手数料		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100080	審査支払手数料			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,465	0	0	0	0	8,465
前年度	8,801	0	0	0	0	8,801
増減額	△ 336	0	0	0	0	△ 336

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・介護保険給付費等の適正な審査支払いを実施するために国保連合会を介した給付費の支払いを行う。
【効果】
 ・給付費支払の事務が煩雑になることを防止し、適正な給付事務が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・介護保険給付費等の適正な支払いを実施するために国保連合会の審査を受ける。

【詳細事業内訳】
 審査支払手数料 8,465千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
11	役務費	8,465	審査支払手数料								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—	コード	010702300
		課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	04	その他諸費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	審査支払手数料等		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100082	高額介護予防サービス費相当事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,298	318	162	0	512	306
前年度	600	150	75	0	237	138
増減額	698	168	87	0	275	168

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	総合事業現年度分調整交付金	58	08	地域支援事業繰入金(新総合事業)	162				
03	地域支援交付金(新総合事業)	260								
04	支払基金支援交付金現年度分	350								
05	地域支援県交付金(新総合事業)	162								

【目的・効果】

【目的】

・総合事業サービス利用者の所得に応じて、1割、2割、3割の自己負担額が1カ月で一定額(15,000円、24,600円、44,400円)を超えた場合に、超過分を払い戻す。

【効果】

・総合事業サービス利用料が高額になることでサービス利用が困難になることを防止する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 高額介護予防サービス費相当事業の月額上限額超過分を利用者申請に基づき返還する。

【詳細事業内訳】

高額介護予防サービス費相当事業 1,298千円

【一般財源増加倍理由】 高齢化の進行により総合事業利用者が増加しているため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
18	負担金補助及び交付金	1,298	高額介護予防サービス費相当事業・高額合算相当事業				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	22
--------	----

重点施策	—	コード	010702100
		課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	03	高額介護サービス等費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	高額介護・予防サービス費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100090	高額介護・予防サービス費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	168,941	0	0	0	0	168,941
前年度	162,333	0	0	0	0	162,333
増減額	6,608	0	0	0	0	6,608

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・介護保険サービス利用者の所得に応じて、1割、2割、3割の自己負担額が1カ月で一定額(15,000円、24,600円、44,400円)を超えた場合に、超過分を払い戻す。
【効果】
 ・介護費用が高額になることでサービス利用が困難になることを防止する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・介護保険サービス利用者の所得に応じての月額上限額超過分を利用者申請に基づき返還する。

【詳細事業内訳】
 高額介護・予防サービス費 168,941千円

【一般財源増加理由】 高齢化の進行により介護サービス利用者が増加しているため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
18	負担金補助及び交付金	168,941	高額介護、予防給付費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	24
--------	----

重点施策	—	コード	010702100
		課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	04	特定入所者介護サービス等費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	特定入所者介護・予防サービス費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100095	特定入所者介護・予防サービス費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	259,790	0	0	0	0	259,790
前年度	287,026	0	0	0	0	287,026
増減額	△ 27,236	0	0	0	0	△ 27,236

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】・介護保険施設入所者のうち低所得者について食費、居住費の自己負担額が負担限度額を超えた場合、超過分を保険者が施設に支払う。

【効果】

低所得者への介護サービス利用の負担軽減。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

申請に基づき、一定の所得要件、資産要件を満たした介護保険施設入所者に食費、居住費の自己負担額が負担限度額を超えた場合に、超過分を保険者が施設に支払う。

【詳細事業内訳】

特定入所者介護・予防サービス費 259,790千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
18	負担金補助及び交付金	259,790	負担限度額超過給付				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	24
--------	----

重点施策	—	コード	010702100
		課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	05	高額医療合算介護サービス等費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	高額医療合算介護・予防サービス費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100096	高額医療合算介護・予防サービス費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	27,431	0	0	0	0	27,431
前年度	24,601	0	0	0	0	24,601
増減額	2,830	0	0	0	0	2,830

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・世帯内で1年間(毎年8月1日～翌7月31日)の医療及び介護両制度における自己負担が著しく高額となった場合に、一定の上限額を超える部分について給付を行う。
【効果】
 ・高額利用者への軽減措置。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・12月に該当になるとされる者に勧奨通知を送付し、申請に従って給付を行う。
 ・年間高額給付が3年間の負担軽減措置として実施。

【詳細事業内訳】
 高額医療合算介護・予防サービス費 27,431千円

【一般財源増加理由】 高齢化の進行により介護サービス利用者が増加しているため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
18	負担金補助及び交付金	27,431	合算負担限度額超過給付				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	(1)	コード	010702300 010702100
		課・係等	介護保険課 介護予防担当 介護保険担当

予算書ページ	24
--------	----

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	介護予防事業		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	一般介護予防事業費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100102	一般介護予防事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18,310	4,485	2,288	0	7,232	4,305
前年度	17,721	4,431	2,215	0	7,000	4,075
増減額	589	54	73	0	232	230

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	総合事業現年度分調整交付金	823	08	地域支援事業繰入金(新総合事業)	2,288				
03	地域支援交付金(新総合事業)	3,662								
04	支払基金支援交付金現年度分	4,944								
05	地域支援県交付金(新総合事業)	2,288								

【目的・効果】

【目的】

65歳以上の市民及びその支援者を対象に介護予防事業を行うことにより、生活機能の維持・向上を図り、できるだけ自ら介護予防の取り組みができるよう支援し、地域における介護予防の推進を図る。

【効果】

- ・65歳以上の方が介護予防に関する正しい知識をもつことで、自らの生活の中で介護予防に取り組むことができる。
- ・65歳以上の方が介護予防事業に参加することで、生活機能の維持・向上を図ることができる。
- ・65歳以上の方が介護予防事業を活用し、地域における介護予防の推進を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・目的別・地域別の体操教室など、できるだけ多くの人が参加できる介護予防教室を開催する。
- ・介護予防や認知症予防などに対する正しい知識を持っていただくための講座を開催し、普及啓発を行う。
- ・地域の自主的なグループ活動を対象とした認知機能検査による認知症予防活動の推進を図る。
- ・65歳以上の方の口腔機能の向上を図るための検診・相談・啓発活動を行う。
- ・地域や団体等の自主グループの立ち上げや介護予防活動の支援を行う。
- ・地域の介護予防拠点における介護予防教室を実施する。
- ・認知症予防に特化した教室を実施する。
- ・健康推進課、国保年金課と連携しフレイルについて正しい理解や予防の啓発に取り組み、介護予防教室での講話や、管理栄養士による個別相談を取り入れる。
- ・介護予防教室開催期間終了後に通えるの場としてのに対して支援を行う。
- ・地域が主体の高齢者の生活支援体制、介護予防体制を構築するための補助金交付事業の実施。

【詳細事業内訳】

一般介護予防事業 18,310千円

【一般財源増加理由】 各種介護予防教室の消費税増額に伴う委託料増。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	2,419	会計年度任用職員報酬、時間外手当				
03	職員手当等	516	会計年度任用職員期末手当				
07	報償費	4,247	各種介護予防教室・歯科検診・介護予防講演会等の講師謝礼と労務謝礼				
08	旅費	222	認知症予防講習会等参加旅費、コグニサイズ指導者研修旅費				
10	需用費	383	各種介護予防教室・介護予防講演会・広報活動・口腔機能向上事業のための消耗品				
12	委託料	9,230	各種体操教室と認知機能検査、データ分析委託料				
18	負担金補助及び交付金	1,293	支え合い事業体制整備補助金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	一般介護予防事業	・介護予防・認知症予防等の教室を実施し、自主的な活動への支援も強化する事業。 ・市民に対し、フレイル対策をについて周知啓発を図る。 ・事業の実施により自主的な介護予防活動の拡大、重症化予防に繋げる。	12	委託料	9,230
				07	報償費	4,247
				01	報酬	2,419
				18	負担金補助及び交付金外	2,414
					計	18,310
2					計	0

重点施策	—		コード	010702300		予算書ページ	30
			課・係等	介護保険課 介護予防担当			
予算	款	03	地域支援事業		総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	03	介護予防・日常生活支援総合事業			基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	介護予防・日常生活支援総合事業			基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100104	介護予防ケアマネジメント事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	27,951	6,847	3,494	0	11,041	6,569
前年度	27,768	6,943	3,471	0	10,968	6,386
増減額	183	△ 96	23	0	73	183

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
03	地域支援交付金(新総合事業)	5,590								
04	支払基金支援交付金現年度分	7,547								
05	地域支援県交付金(新総合事業)	3,494								

【目的・効果】
【目的】
 地域包括支援センターは、総合事業対象者が適切な介護予防ケアマネジメントを利用できるよう、自立に向けたプラン作成を行い、介護予防支援を行う。
【効果】
 総合事業対象者の状況・環境を考慮し、自立に向けたプランを作成することで、安心して地域で暮らすことができる。ケアプラン作成業務の一部を、地域包括支援センター運営協議会で承認を受けた適切な指定居宅介護支援事業所へ委託することによっても、適切なサービスを利用することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 地域包括支援センターは、総合事業対象者の介護予防ケアマネジメントを行い、適切なサービスが確保できるよう、関係機関との連携を図る。中央地域包括支援センター、北部地域包括支援センター、南部地域包括支援センターが、それぞれ総合事業対象者の介護予防ケアマネジメントを行った際、ケアプラン作成費として支払を行う。
 ケアプラン作成業務の一部を、適切な指定介護支援事業所へ委託する。

【詳細事業内訳】
 介護予防ケアマネジメント事業 27,951千円

【一般財源増加理由】		会計年度任用職員の職員手当等の増加									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	2,419	会計年度任用職員等報酬								
03	職員手当等	516	会計任用職員諸手当								
08	旅費	51	会計任用職員通勤費								
12	委託料	9,214	介護予防ケアマネジメント業務直営包括ケアプラン作成委託料、単独サービスC委託料								
18	負担金補助及び交付金	15,751	介護予防ケアマネジメント業務委託包括ケアプラン作成費								

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—		コード	010702300		予算書ページ	32
			課・係等	介護保険課 介護予防担当			
予算	款	03	地域支援事業		総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	03	介護予防・日常生活支援総合事業			基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	介護予防・日常生活支援総合事業			基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100105	介護予防生活支援サービス事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	284,652	69,740	35,581	0	112,437	66,894
前年度	282,636	70,659	35,329	0	111,641	65,007
増減額	2,016	△ 919	252	0	796	1,887

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	総合事業現年度分調整交付金	12,809	05	地域支援県交付金(新総合事業)	35,581				
03	地域支援交付金(新総合事業)	56,930	08	地域支援事業繰入金(新総合事業)	35,581					
03	保険者機能強化推進交付金	1								
04	支払基金支援交付金現年度分	76,856								

【目的・効果】

【目的】

要支援1、2の方と事業対象者が利用する介護予防訪問介護及び介護予防通所介護の事業を市が中心となって地域の実情に応じ、多様なサービスを充実させる。

【効果】

要支援1、2の方と事業対象者が、介護予防と日常生活を支援するための適正なサービスを受けることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・指定事業者による「訪問介護相当サービス」、「訪問型サービスA」、「通所介護相当サービス」、「通所型サービスA」の実施。
- ・事業所へ業務委託しての「通所型サービスC」の実施。
- ・歯科衛生士、理学療法士を自宅へ派遣する「訪問型サービスC」の実施。
- ・介護予防・日常生活支援総合事業サービスA従事者研修の実施

【詳細事業内訳】

第1号訪問事業 68,553千円 第1号通所事業 216,099千円

【一般財源増加理由】 高齢化の進化により当該事業の対象者増により事業費が増加となった。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	報償費	184	訪問型サービスC 理学療法士等訪問謝礼				
12	委託料	2,396	通所型サービスC委託、総合事業サービスA従事者研修事業委託				
18	負担金補助及び交付金	282,072	相当サービスとサービスAの国民健康保険団体連合会への支払い				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	第1号訪問事業	訪問介護相当サービス、訪問型サービスA、訪問型サービスCを実施し、介護予防と日常生活の支援を行うことにより、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送ることが出来る。	18	負担金補助及び交付金	68,368
				07	報償費	184
				12	委託料	1
					計	68,553
2	ソフト	第1号通所事業	通所介護相当サービス、通所型サービスA、通所型サービスCを実施し、介護予防と日常生活の支援を行うことにより高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送ることが出来る。	18	負担金補助及び交付金	213,704
				12	委託料	2,395
					計	216,099

重点施策	—
------	---

コード	010702300
課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算書ページ	26
--------	----

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100106	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	81,678	31,446	15,723	0	15,723	18,786
前年度	76,599	29,491	14,746	0	14,746	17,616
増減額	5,079	1,955	977	0	977	1,170

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
05	地域支援県交付金(新総合事業以外)	15,723								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業以外)	15,723								

【目的・効果】

【目的】

市内3か所の地域包括支援センターが包括的支援事業を実施することで、高齢者の方ができるだけ地域において自立した生活を営めるよう支援する。さらに、地域包括ケア推進に向けた事業の推進を図る。

【効果】

地域包括支援センターにおいて、「総合相談支援業務」、「権利擁護業務」、「包括的・継続的ケアマネジメント支援業務」、「介護予防ケアマネジメント」を行うことで、高齢者の方が要支援・要介護状態になることを防ぎ、住み慣れた地域でその人らしい自立した生活を営むことができるようになる。
在宅医療・介護連携や認知症施策の推進、地域ケア会議の充実等に関する取り組みにより、地域包括ケアの推進を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

市内3か所の地域包括支援センターの内、豊科・明科を担当する中央地域包括支援センターは本庁舎内で直営にて運営し、穂高を担当する北部地域包括支援センターは穂高支所内にて委託で運営し、三郷・堀金を担当する南部地域包括支援センターは三郷支所内にて委託でそれぞれ運営を行う。
地域包括支援センターにおいては、「総合相談支援業務」、「権利擁護業務」、「包括的・継続的ケアマネジメント支援業務」、「介護予防ケアマネジメント」を実施する。

3か所の地域包括支援センターが連携を図り、包括的支援事業を地域で一体的に実施する中核的期間を目指す。

地域包括支援センターの適切・公正・中立な運営を確保するために、地域包括支援センター運営協議会を開催する。

地域包括ケア推進のため、地域ケア個別会議を開催する。また、在宅医療・介護連携や認知症施策推進にも一定の役割を果たす。

【詳細事業内訳】

地域包括支援センター運営事業 81,678千円

【一般財源増加理由】 南部地域包括支援センター業務委託料の増加

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	9,675	会計任用職員報酬	11	役務費	36	損害賠償保険料、南部地域包括支援センターのリース物件返還費
02	給料	11,498	中央地域包括支援センター職員給与	12	委託料	44,650	南部・北部地域包括支援センター運営業務委託料
03	職員手当等	8,220	中央地域包括支援センター職員、会計任用職員職員諸手当	13	使用料及び賃借料	1,016	南部・北部地域包括支援センターパソコン等借上料・中央地域包括支援センター自動車借上料
04	共済費	3,509	中央地域包括支援センター職員の職員共済組合納付金・公務災害	18	負担金補助及び交付金	2,227	介護支援専門員研修負担金等、退職手当負担金、職員互助会負担金
07	報償費	216	介護支援専門員研修会講師謝礼・地域包括支援センター運営協議会委員出席謝礼				
08	旅費	363	地域包括ケアシステム研修会当旅費、会計任用職員通勤費				
10	需用費	268	中央地域包括センターで使用する事務消耗品、参考図書、公用車燃料費等				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—		コード	010702300 010702100		予算書ページ	28
			課・係等	介護保険課 介護予防担当 介護保険担当			
予算	款	03	地域支援事業		総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	包括的支援事業・任意事業費			基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	任意事業費			基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100107	任意事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	11,480	4,418	2,210	0	2,210	2,642
前年度	11,065	4,261	2,129	0	2,129	2,546
増減額	415	157	81	0	81	96

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	地域支援交付金(新総合事業以外)	4,418							
05	地域支援県交付金(新総合事業以外)	2,210								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業以外)	2,210								

【目的・効果】
【目的】
 高齢者が、住み慣れた地域で安心な生活を継続していくことができるようにするため、介護保険事業の運営の安定化を図るとともに、被保険者及び被要介護認定被保険者を介護する者に対して、必要な支援を行う。
【効果】
 高齢者が住み慣れた地域で可能な限り在宅生活が継続できる。
 成年後見制度を活用することにより、認知症等により判断力の低下した高齢者の権利が擁護できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・家族介護者を支援するため介護用品購入助成券を非課税世帯の対象者に交付する。助成品目は8品目。
 ・重度要介護認定を受けた高齢者を1年以上、介護保険サービスを利用せず介護する者に介護慰労金を支給する。
 ・認知症に関する理解を深め、認知症者と家族を支えていくために認知症サポーター養成講座を実施する。
 ・在宅高齢者の住宅改修について、作業療法士等の専門家を派遣し必要な助言等を行う。
 ・受給者が真に必要とする過不足のないサービスを、事業者が適切に提供されているかを確認するためケアプラン点検を行う。
 ・介護相談員を介護保険施設に派遣し、利用者の相談に応じ、サービス事業者との橋渡しを行う。

【詳細事業内訳】
 介護給付等費用適正化事業 217千円 家族介護支援事業 8,920千円 成年後見制度利用支援事業 295千円 福祉用具・住宅改修支援事業 57千円 認知症サポーター等養成事業 221千円 介護相談員派遣事業 1,770千円

【一般財源増加理由】 昨年度9月から実施した介護相談員派遣事業が年間を通じて実施となったため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	報償費	1,432	ケアプランチェック講師謝礼・認知症サポーター養成講座講師謝礼、介護相談員活動謝礼				
08	旅費	375	介護相談員研修旅費				
10	需用費	131	認知症サポーター養成講座テキスト・ステッカー				
11	役務費	78	成年後見市長申立に要する費用・ケアプラン点検連絡に関わる費用				
12	委託料	37	福祉用具及び住宅改修相談				
18	負担金補助及び交付金	247	介護相談員研修負担金				
19	扶助費	9,180	介護用品購入助成扶助・家族介護者慰労金・住宅改修理由書作成・成年後見市長申立分に係る後見人報酬費扶助				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	家族介護支援事業	市民税非課税世帯で要介護4～5の高齢者を在宅介護している人に1か月あたり5,000円の介護用品購入助成券を交付。介護慰労金の交付。介護する家族の精神的、経済的負担の緩和が図られる。	19	扶助費	8,920
					計	8,920
2					計	0

重点施策	—	コード	010702300
		課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算	款	04	介護サービス事業費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	介護予防支援事業		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	介護予防支援事業		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100108	介護サービス事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	16,705	0	0	0	16,705	0
前年度	15,836	0	0	0	15,836	0
増減額	869	0	0	0	869	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 直営の中央地域包括支援センターは、要支援者が介護予防サービスの適切な利用ができるよう、介護予防サービス計画を作成し、関係機関との連携を図るよう指定介護予防支援業務を実施する。
【効果】
 要支援者の状況・環境を勘案し、介護予防サービス計画を作成することで、要支援者が適切な介護予防サービスを利用することができる。指定介護予防支援業務の一部を、適切な指定介護予防支援事業者へ委託し、要支援者が適切な介護予防サービスを利用することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 直営の中央地域包括支援センターは、要支援者の介護予防サービス計画を作成し、適切な介護予防サービスが確保できるよう、関係機関との連絡調整を図る。
 指定介護予防支援業務の一部を、適切な指定居宅介護支援事業者へ委託する。

【詳細事業内訳】
 介護サービス事業費 16,705千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
12	委託料	16,705	介護予防支援業務(予防給付)委託料								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策	—	コード	010702100
		課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算	款	05	基金積立金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	基金積立金		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	介護保険支払準備基金積立金		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100110	介護保険支払準備基金			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,213	0	0	1,211	2
前年度	1,123	0	0	1,121	2
増減額	90	0	0	90	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	07	支払準備基金利子	1,211							

【目的・効果】
【目的】
 ・保険給付に当てるため、介護保険支払準備基金への積立。
【効果】
 ・安定した介護保険会計の運用を行う。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・保険給付に当てるため、介護保険支払準備基金への積立を行う。予算においては、利子分のみについて見込んだ。

【詳細事業内訳】
 介護保険支払準備基金積立金 1,213千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
		24	積立金	1,213	介護保険支払準備基金利子積立				

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—	コード	010702300
		課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100112	在宅医療・介護連携推進事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	180	69	35	0	35	41
前年度	1,271	489	244	0	244	294
増減額	△ 1,091	△ 420	△ 209	0	△ 209	△ 253

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
05	地域支援県交付金(新総合事業以外)	35								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業以外)	35								

【目的・効果】
【目的】
 在宅療養者に切れ目のない医療・介護のサービス提供を図るため、医療・介護関係者の「顔の見える関係作り」により連携推進事業を実施することで地域包括ケアシステムの構築を目指す。
【効果】
 医療・介護関係者と協力し、課題の分析と対応策の検討、研修、啓発活動等により、在宅医療・介護連携を推進できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・在宅医療・介護連携推進業務を市医師会へ委託し、多職種連携の研修会、市民に向けた啓発のための講演会等を実施するとともに、地域の医療・介護関係者との協力により事業を推進する。

【詳細事業内訳】
 在宅医療・介護連携推進事業費 180千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
12	委託料	180	在宅医療・介護連携推進事業業務委託料180千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策	—		コード	010702100		予算書ページ	30
			課・係等	介護保険課 介護保険担当			
予算	款	03	地域支援事業		総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	包括的支援事業・任意事業費			基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業			基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100113	生活支援体制整備事業費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,486	2,883	1,441	0	1,441	1,721
前年度	7,521	2,896	1,448	0	1,448	1,729
増減額	△ 35	△ 13	△ 7	0	△ 7	△ 8

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	地域支援交付金(新総合事業以外)	2,883							
05	地域支援県交付金(新総合事業以外)	1,441								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業以外)	1,441								

【目的・効果】
【目的】
 市内5地域それぞれに、助け合い体制や、介護予防体制、新たな資源を開発するなど、高齢者が住み慣れた地域で、できる限り自分らしく生活ができる体制を構築する。
【効果】
 介護職員不足の問題を解決する。
 介護給付費の抑制につなげる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・作成した生活支援ガイドブックを活用し、地域の高齢者が、介護予防の活動等に参加するように勧奨する。
 ・地域学習会を実施し、支えあえる地域づくりを推進する。
 ・地域見守り活動を推進する。
 ・地域支えあい推進フォーラムを実施する。

【詳細事業内訳】
 生活支援体制整備事業費 7,486千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	報償費	80	地域支え合い推進フォーラム講師謝礼他				
08	旅費	62	協議体研修会、支え合いフォーラム講師交通費				
10	需用費	291	生活支援ガイドブック製本他				
12	委託料	7,053	生活支援コーディネーター委託料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	生活支援体制整備事業費	・市内5地域に生活支援コーディネーターの配置と協議体を設置し、地域における生活支援や介護予防の体制づくりを進める。 ・高齢者が生きがいや役割を持ち生活することで介護予防や重症化防止が期待できる。	07	報償費	80
				08	旅費	62
				10	需用費	291
				12	委託料	7,053
					計	7,486
2						
					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010702300
課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算書ページ	30
--------	----

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100114	認知症総合支援事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,421	547	274	0	274	326
前年度	831	319	159	0	159	194
増減額	590	228	115	0	115	132

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
05	地域支援県交付金(新総合事業以外)	274								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業以外)	274								

【目的・効果】

【目的】

高齢者が認知症になっても地域で安心してできるだけ長く暮らせるよう、認知症の人やその家族に効果的な支援を行う。

【効果】

高齢者が住み慣れた地域で安心した生活が継続できるようになる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・3か所の地域包括支援センターに配置された認知症地域支援推進員を中心に、認知症者や家族の相談支援・関係者の連携支援を行う。
- ・認知症専門医、保健師、社会福祉士等のチーム員で構成される「認知症初期集中支援チーム」により、認知症が疑われる人、治療につながない人等に対し、自宅訪問等を行い、早期診断、早期対応に向けた支援を行う。
- ・認知症の人やその家族等の集いの場でもある「認知症カフェ」運営に対して、補助金を交付する。
- ・認知症ガイドブックを作成し市民に対し認知症への理解や相談窓口等を周知する。

【詳細事業内訳】

認知症総合支援事業 1,421千円

【一般財源増加理由】 認知症ガイドブック改訂版を作成する印刷製本費が発生するため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	200	認知症初期集中支援事業専門医訪問、会議出席報酬				
08	旅費	73	認知症初期集中支援チーム研修旅費				
10	需用費	528	認知症ガイドブック印刷製本費 42,000部				
18	負担金補助及び交付金	620	認証地域地域支援専門員研修負担金 認知症カフェ運営費補助				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010702300
課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算書ページ	30
--------	----

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100116	地域ケア会議推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	154	60	29	0	29	36
前年度	168	65	33	0	33	37
増減額	△ 14	△ 5	△ 4	0	△ 4	△ 1

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
05	地域支援県交付金(新総合事業以外)	29								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業以外)	29								

【目的・効果】
【目的】
 保健、医療、福祉サービス及び地域の社会資源の総合調整を行い、これらのサービスを必要とする市民に総合的にサービス提供を行う安曇野市地域包括ケアシステムの構築及び推進を図る。
【効果】
 集約された課題等の解決を図ることで、地域包括ケアシステムの構築につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 地域包括ケア体制構築推進のための会議を開催する。

【詳細事業内訳】
 地域ケア会議推進事業 154千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	報償費	154	地域包括ケア推進会議の委員出席謝礼				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策	—
------	---

コード	010702300
課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算書ページ	34
--------	----

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	04	その他諸費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	審査支払手数料等		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100117	地域支援事業審査支払手数料			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,122	274	140	0	443	265
前年度	995	248	125	0	393	229
増減額	127	26	15	0	50	36

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	総合事業現年度分調整交付金	50	08	地域支援事業繰入金(新総合事業)	140				
03	地域支援交付金(新総合事業)	224								
04	支払基金支援交付金現年度分	303								
05	地域支援県交付金(新総合事業)	140								

【目的・効果】

【目的】

介護予防・日常生活支援総合事業に関する、事業者の報酬の請求を審査、支払い業務等を国民健康保険団体連合会へ委託する。

【効果】

審査支払に関する事務の適正化と軽減が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 審査、支払い業務等を国民健康保険団体連合会へ委託し、手数料として支払う。

【詳細事業内訳】

審査支払手数料 1,122千円

【一般財源増加理由】 高齢化の進化により当該事業の対象者増により事業費が増加となった。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	役務費	1,122	審査支払手数料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	コード	010702100
		課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算	款	06	公債費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	公債費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	利子		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100120	一時借入金利子			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	100	0	0	0	100	0
前年度	100	0	0	0	100	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
10	介護保険会計歳計現金利子	1								100

【目的・効果】
【目的】
 ・介護保険給付費支払いに際し国・県等の負担金の歳入の遅れから一時的に金融機関からの借入を受けた場合の利息。
【効果】
 ・安定した介護保険会計の運用を行う。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する必要に応じて実施。

【詳細事業内訳】
 一時借入金利子 100千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
22	償還金、利子及び割引料	100	一時借入金利子								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—
------	---

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	36
--------	----

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金及び還付加算金		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	償還金及び還付加算金		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100140	第1号被保険者保険料還付金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,101	0	0	0	0	1,101
前年度	1,069	0	0	0	0	1,069
増減額	32	0	0	0	0	32

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

・所得段階の変更や被保険者資格の喪失(死亡・転出等)に伴う介護保険料(過年度分)を還付する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・所得段階の変更や被保険者資格の喪失(死亡・転出等)に伴う介護保険料(過年度分)を還付する。

【詳細事業内訳】

第1号被保険者保険料還付金 1,101千円

【一般財源増加理由】 返還実績による増加。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
22	償還金、利子及び割引料	1,101	保険料還付金、還付加算金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	コード	010702100
		課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金及び還付加算金		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	償還金及び還付加算金		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100141	償還金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1	0	0	0	0	1
前年度	1	0	0	0	0	1
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・県・国及び支払基金交付金等の交付超過分について、返還が翌年度に繰越す為の科目設置。

【効果】

・年度内に、返還額が確定しない事から該当年度以降に交付超過額について適切な処理ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・令和元年度の給付額確定後、負担金額を算出。決裁後に繰越し、令和2年度に返還する。

【詳細事業内訳】

償還金 1千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
22	償還金、利子及び割引料	1	国庫負担金等返還金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	コード	010702300
		課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金及び還付加算金		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	償還金及び還付加算金		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100142	地域支援事業返還金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1	0	0	0	0	1
前年度	1	0	0	0	0	1
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
							0

【目的・効果】
地域支援事業国庫・県費交付金は翌年度精算となるため、返還金が生じた場合の費用

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
地域支援事業国庫・県費交付金は翌年度精算となるため、返還金が生じた場合に支出する。

【詳細事業内訳】
地域支援事業返還金 1千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
22	償還金、利子及び割引料	1	地域支援事業補助金返還金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策	—	コード	010702100
		課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算	款	08	予備費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	予備費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	予備費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100150	予備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	50	0	0	0	50	0
前年度	50	0	0	0	50	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	08	事務費繰入金	50							

【目的・効果】
【目的】
 ・事務費において突発的な内容等、補正に間に合わない場合の予備費。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する必要に応じて実施。

【詳細事業内訳】
 予備費 50千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
29	予備費	50	予備費								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

上川手山林財産区特別会計

予算書ページ	12
--------	----

重点施策	—	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	総務管理費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	一般管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5100020	一般管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,136	0	0	0	25	1,111
前年度	879	0	0	0	26	853
増減額	257	0	0	0	△ 1	258

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	01	基金利子	25							

【目的・効果】
【目的】
 ・上川手山林財産区の森林面積170haの財産管理を行う。
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な整備により効率よく森林づくりを行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・管理会を開催し予算及び事業計画を協議する。
 ・現地踏査を行い適切な森林管理を行う。
 ・1000人サクラプロジェクトに参加する。

【詳細事業内訳】
 一般管理費 1,136千円

【一般財源増加理由】 4年に一回の視察研修開催のための増額

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	147	役員報酬(7人)	15	原材料費	24	緑化木
07	報償費	252	会議等出席謝礼	21	補償補填及び賠償金	150	貸付地権利解消補償金
08	旅費	139	視察研修	24	積立金	26	基金利子積立金
09	交際費	10	慶弔費				
10	需用費	82	事務用品、現地踏査用具、予算書印刷等				
11	役務費	24	郵送料、傷害保険				
12	委託料	282	支障木撤去等				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	02	事業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	林業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	造林費		基本施策	林業の振興
	事業	5100040	造林費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	200	0	0	0	1	199
前年度	700	0	0	0	1	699
増減額	△ 500	0	0	0	0	△ 500

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	01	立木売払収入		1						

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積170haの財産管理を行う。
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な整備により効率よく森林づくりを行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・約2.0haの森林整備。

【詳細事業内訳】
 造林費 200千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
18	負担金補助及び交付金	200	森林造成事業負担金								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	03	予備費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	予備費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	予備費		基本施策	林業の振興
	事業	5100050	予備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	246	0	0	0	0	246
前年度	246	0	0	0	0	246
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・森林面積170haの財産管理を行う。
- ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。

【効果】

- ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な整備により効率よく森林づくりを行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・上川手山林財産区特別会計の予備費。

【詳細事業内訳】

予備費 246千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
29	予備費	246	予備費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

北の沢山林財産区特別会計

重点施策	—		コード	010802200		予算書ページ	12
			課・係等	耕地林務課 林務担当			
予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち	
	項	01	総務管理費		基本方針	農林水産業を振興するまち	
	目	01	一般管理費		基本施策	林業の振興	
	事業	5200010	一般管理費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	770	0	0	0	22	748
前年度	2,069	0	0	0	24	2,045
増減額	△ 1,299	0	0	0	△ 2	△ 1,297

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	01	基金利子		22						

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積335haの財産管理を行う。
 ・水源林分収造林に伴う植林、保育、間伐等の施業について、管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・管理会を開催し予算及び事業計画を協議する。
 ・現地踏査を行い適切な森林管理を行う。
 ・水源林造林協議会等に係る事業に参加する。

【詳細事業内訳】
 一般管理費 770千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	49	委員報酬(7人)			18	負担金補助及び交付金	49	水源林造林協議会等関連団体負担金		
07	報償費	73	会議等出席謝礼			24	積立金	173	基金積立金		
09	交際費	10	慶弔費								
10	需用費	95	事務用品、現地踏査用具、予算書印刷等								
11	役務費	24	郵送料、傷害保険								
12	委託料	110	倒木処理等								
14	工事請負費	187	管理地表示看板設置工事								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1						計	0
2						計	0

重点施策	—	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	03	予備費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	予備費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	予備費		基本施策	林業の振興
	事業	5200040	予備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	113	0	0	0	0	113
前年度	587	0	0	0	0	587
増減額	△ 474	0	0	0	0	△ 474

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積335haの財産管理を行う。
 ・水源林分収造林に伴う植林、保育、間伐等の施業について、管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・北の沢山林財産区特別会計の予備費。

【詳細事業内訳】
 予備費 113千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
29	予備費	113	予備費								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

有明山林財産区特別会計

予算書ページ	12
--------	----

重点施策	—	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	総務管理費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	一般管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5300010	一般管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	889	0	0	0	52	837
前年度	3,137	0	0	0	53	3,084
増減額	△ 2,248	0	0	0	△ 1	△ 2,247

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	02	基金利子		52						

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積316haの財産管理を行う。
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・管理会を開催し予算及び事業計画を協議する。
 ・現地踏査を行い適切な森林管理を行う。

【詳細事業内訳】
 一般管理費 889千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	49	委員報酬(7人)			24	積立金	353	基金積立		
07	報償費	63	会議等出席謝礼								
09	交際費	10	慶弔費								
10	需用費	95	事務用品、現地踏査用具、予算書印刷等								
11	役務費	22	郵送料、傷害保険								
12	委託料	110	倒木処理等								
14	工事請負費	187	管理地表示看板設置工事								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策	—	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	02	予備費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	予備費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	予備費		基本施策	林業の振興
	事業	5300030	予備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	303	0	0	0	0	303
前年度	489	0	0	0	0	489
増減額	△ 186	0	0	0	0	△ 186

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積316haの財産管理を行う。
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・有明山林財産区特別会計の予備費。

【詳細事業内訳】
 予備費 303千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
29	予備費	303	予備費								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

富士尾沢山林財産区特別会計

予算書ページ	12
--------	----

重点施策	—	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	総務管理費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	一般管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5400010	一般管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	732	0	0	0	6	726
前年度	690	0	0	0	6	684
増減額	42	0	0	0	0	42

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	02	基金利子		6						

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積119haの財産管理を行う。
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・管理会を開催し予算及び事業計画を協議する。
 ・現地踏査を行い適切な森林管理を行う。

【詳細事業内訳】
 一般管理費 732千円

【一般財源増加理由】		管理地表示看板設置工事のための増額									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	49	委員報酬(7人)			24	積立金	207	基金積立		
07	報償費	63	会議等出席謝礼								
09	交際費	10	慶弔費								
10	需用費	95	事務用品、現地踏査用具、予算書印刷等								
11	役務費	22	郵送料、傷害保険								
12	委託料	110	倒木処理等								
14	工事請負費	176	管理地表示看板設置工事								

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	02	予備費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	予備費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	予備費		基本施策	林業の振興
	事業	5400030	予備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	289	0	0	0	0	289
前年度	435	0	0	0	0	435
増減額	△ 146	0	0	0	0	△ 146

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積119haの財産管理を行う。
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・富士尾沢山林財産区特別会計の予備費

【詳細事業内訳】
 予備費 289千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
		29	予備費	289					

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

穂高山林財産区特別会計

重点施策	—
------	---

コード	010802200
課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	12
--------	----

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	総務管理費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	一般管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5500010	一般管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	831	0	0	0	4	827
前年度	778	0	0	0	4	774
増減額	53	0	0	0	0	53

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	02	基金利子		4						

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積2haの財産管理を行う。
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・管理会を開催し予算及び事業計画を協議する。
 ・現地踏査を行い適切な森林管理を行う。

【詳細事業内訳】
 一般管理費 831千円

【一般財源増加理由】 管理地表示看板設置工事のための増額

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	49	委員報酬(7人)				
07	報償費	63	会議等出席謝礼				
09	交際費	10	慶弔費				
10	需用費	95	事務用品、現地踏査用具、予算書印刷等				
11	役務費	22	郵送料、傷害保険				
14	工事請負費	187	管理地表示看板設置工事				
24	積立金	405	基金積立				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	02	予備費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	予備費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	予備費		基本施策	林業の振興
	事業	5500030	予備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	261	0	0	0	0	261
前年度	461	0	0	0	0	461
増減額	△ 200	0	0	0	0	△ 200

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積2haの財産管理を行う。
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・穂高山林財産区特別会計の予備費。

【詳細事業内訳】
 予備費 261千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
29	予備費	261	予備費								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

産業団地造成事業特別会計

重点施策	—	コード	010901200
		課・係等	商工労政課 産業立地支援係

予算	款	01	産業団地事業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	産業団地事業費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	01	産業団地事業費		基本施策	工業の振興
	事業	6100010	産業団地建設事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,084,696	0	0	1,080,300	4,396	0
前年度	32,412	0	0	31,800	612	0
増減額	1,052,284	0	0	1,048,500	3,784	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	02	一般会計繰入金	4,395							
03	前年度繰越金	1								
04	地域開発事業債	1,080,300								

【目的・効果】
【目的】
 地域未来投資促進法を活用した、あづみ野産業団地拡張事業を実施する。
【効果】
 市内に開発可能な事業用地が少ないことが課題となっていることから、新たな工場用地を造成して解決を図る。また、企業誘致により市民及び就労世代の移住希望者の就業先を確保し、雇用の促進と移住定住を促す。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 実施設計
 開発事業承認手続き
 事業用地購入
 造成工事
 確定測量

【詳細事業内訳】
 産業団地建設事業 1,084,221千円 産業団地建設総務費 475千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
08	旅費	100	職員旅費		21	補償補填及び賠償金	15,060	耕作補償金		
10	需用費	106	事務用品、施設修繕費、印刷製本費		22	償還金、利子及び割引料	3,732	借入金利子		
11	役務費	690	収入証紙代							
12	委託料	21,342	確定測量業務、不動産鑑定評価書作成業務、実施設計業務、産業団地緑地管理							
14	工事請負費	618,365	造成工事費							
16	公有財産購入費	425,266	用地購入費							
18	負担金補助及び交付金	35	屋外広告物設置負担金							

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	産業団地建設事業	地域未来投資促進法を活用した、あづみ野産業団地拡張事業を実施する。新たな工場用地の造成による企業誘致により、市民及び就労世代の移住希望者の就業先を確保し、雇用の促進と移住定住を促す。	14	工事請負費	618,365
				16	公有財産購入費	425,266
				12	委託料	21,008
				21	補償補填及び賠償金外	19,582
					計	1,084,221
2					計	0

有明莊特別會計

重点施策	—		コード	010902300		予算書ページ	12
			課・係等	観光交流促進課 拠点維持整備係			
予算	款	01	施設事業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち	
	項	01	施設事業費		基本方針	商工観光業を振興するまち	
	目	01	施設事業費		基本施策	観光の振興	
	事業	7100001	有明荘施設管理費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,702	0	0	0	7,701	1
前年度	12,303	0	0	0	12,302	1
増減額	△ 4,601	0	0	0	△ 4,601	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	01	一般会計繰入金	4,081							
02	有明荘施設使用料	3,620								

【目的・効果】
【目的】・市内を訪れる観光客の受入れ環境を整備することにより快適な宿泊施設を提供し、交流人口の拡大を図ると共に、市民の憩いの場を提供し、福祉の向上を図る。
【効果】・有明荘の整備により、来訪者の市内での滞在時間の延長を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・有明荘の指定管理者と連携して、施設の維持管理を行なう。

【詳細事業内訳】
 有明荘運営管理事業 7,702千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
08	旅費	30	施設打合せ等		21	補償補填及び賠償金	50	支障木伐採に伴う国有林樹木補償		
10	需用費	2,321	施設小破修繕、公用車燃料		29	予備費	500	予備費		
11	役務費	222	電話料、レジオネラ検査料、公用車点検、建築物法定点検							
13	使用料及び賃借料	2,035	土地賃借料							
14	工事請負費	1,344	有明荘照明器具LED化工事、施設維持工事							
15	原材料費	28	施設駐車場整備用砕石							
17	備品購入費	1,172	有明荘エアコン							

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	有明荘照明器具LED化工事	施設玄関、客室等の老朽化した照明器具について段階的に更新及びLED化を進め、施設の健全化に努める。	14	工事請負費	1,344	
					計	1,344	
2							
					計	0	